

基本計画書

基本計画書																																					
事項	記入欄								備考																												
計画の区分	大学の収容定員に係る学則変更																																				
フリガナ設置者	ガッコウホウジン トウホウダイガク 学校法人 東邦大学																																				
フリガナ大学の名称	トウホウダイガク 東邦大学																																				
大学本部の位置	東京都大田区大森西5-21-16																																				
大学の目的	各々専門の学術の理論と応用とを教授し且つ研究を行い併せて一般教養に資する学科を学ばしめることを目的とし以て教養ある有能な人材を養成し文化の発展に寄与する																																				
新設学部等の目的	千葉県および新潟県が整備する医師要請に係る修学資金貸与制度を活用し、地域医療等に従事する明確な意志を有する学生の選抜枠を設定し、地域医療に携わる医師を養成することを目的に、入学定員を増員する。																																				
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地	医学部医学科の今回の13人の入学定員の増員は、令和7年度のみ臨時定員増である。また、医学部医学科の令和6年度における収容定員は710人である。 <table border="1" style="margin-top: 10px; width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">(人)</th> <th style="text-align: center;">入学定員</th> <th style="text-align: center;">収容定員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">令和6年度</td> <td style="text-align: center;">123</td> <td style="text-align: center;">710</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">令和7年度</td> <td style="text-align: center;">123</td> <td style="text-align: center;">718</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">令和8年度</td> <td style="text-align: center;">110</td> <td style="text-align: center;">713</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">令和9年度</td> <td style="text-align: center;">110</td> <td style="text-align: center;">708</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">令和10年度</td> <td style="text-align: center;">110</td> <td style="text-align: center;">698</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">令和11年度</td> <td style="text-align: center;">110</td> <td style="text-align: center;">686</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">令和12年度</td> <td style="text-align: center;">110</td> <td style="text-align: center;">673</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">令和13年度</td> <td style="text-align: center;">110</td> <td style="text-align: center;">660</td> </tr> </tbody> </table>	(人)	入学定員	収容定員	令和6年度	123	710	令和7年度	123	718	令和8年度	110	713	令和9年度	110	708	令和10年度	110	698	令和11年度	110	686	令和12年度	110	673	令和13年度	110	660
	(人)	入学定員	収容定員																																		
	令和6年度	123	710																																		
	令和7年度	123	718																																		
	令和8年度	110	713																																		
	令和9年度	110	708																																		
	令和10年度	110	698																																		
	令和11年度	110	686																																		
	令和12年度	110	673																																		
	令和13年度	110	660																																		
	医学部																																				
	医学科	6	123 (110)	-	673 (660)	学士（医学）	医学関係	令和7年4月 第1年次	東京都大田区大森西5丁目21番16号																												
	薬学部																																				
	薬学科	6	245	-	1,470	学士（薬学）	薬学関係	平成18年4月 第1年次	千葉県船橋市三山2丁目2番1号																												
	理学部																																				
生物学科	4	80	-	320	学士（理学）	理学関係	昭和25年4月 第1年次	千葉県船橋市三山2丁目2番1号																													
化学科	4	80	-	320	学士（理学）	理学関係	昭和25年4月 第1年次	同上																													
生物分子科学科	4	80	-	320	学士（理学）	理学関係	平成1年4月 第1年次	同上																													
物理学科	4	70	-	280	学士（理学）	理学関係	昭和57年4月 第1年次	同上																													
情報科学科	4	100	-	400	学士（理学）	理学関係	平成1年4月 第1年次	同上																													
生命圏環境科学科	4	60	-	240	学士（理学）	理学関係	平成17年4月 第1年次	同上																													
看護学部																																					
看護学科	4	102	-	408	学士（看護学）	保健衛生学関係	平成23年4月 第1年次	東京都大田区大森西5丁目21番16号																													
健康科学部																																					
看護学科	4	80	-	320	学士（看護学）	保健衛生学関係	平成29年4月 第1年次	千葉県船橋市三山2丁目2番1号																													
計		1,020 (1,007)	-	4,751 (4,738)																																	
同一設置者内における変更状況（定員の移行、名称の変更等）	健康科学部看護学科（80）（令和6年8月認可）																																				
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数					卒業要件単位数																														
		講義	演習	実験・実習	計																																
	—	—科目	—科目	—科目	—科目	—単位																															

学部等の名称	基幹教員					助手	基幹教員以外の教員 (助手を除く)		
	教授	准教授	講師	助教	計				
新 医学部 医学科	85 (85)	74 (74)	4 (4)	0 (0)	163 (163)	0 (0)	1007 (1007)		
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	85 (85)	74 (74)	4 (4)	0 (0)	163 (163)		大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数 105人		
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(aに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
小計(a～b)	85 (85)	74 (74)	4 (4)	0 (0)	163 (163)				
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a又はbに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a、b又はcに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
計(a～d)	85 (85)	74 (74)	4 (4)	0 (0)	163 (163)				
薬学部 薬学科	24 (24)	15 (15)	23 (23)	7 (7)	69 (69)			0 (0)	2 (2)
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	24 (24)	15 (15)	23 (23)	7 (7)	69 (69)				大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数 28人
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(aに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
小計(a～b)	24 (24)	15 (15)	23 (23)	7 (7)	69 (69)				
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a又はbに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a、b又はcに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
計(a～d)	24 (24)	15 (15)	23 (23)	7 (7)	69 (69)				
理学部 生物学科	5 (5)	8 (8)	2 (2)	0 (0)	15 (15)	0 (0)	0 (0)		
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	5 (5)	8 (8)	2 (2)	0 (0)	15 (15)		大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数 6人		
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(aに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
小計(a～b)	5 (5)	8 (8)	2 (2)	0 (0)	15 (15)				
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a又はbに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a、b又はcに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
計(a～d)	5 (5)	8 (8)	2 (2)	0 (0)	15 (15)				
理学部 化学科	7 (7)	7 (7)	2 (2)	0 (0)	16 (16)			0 (0)	0 (0)
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、主要授業科目を担当するもの	7 (7)	7 (7)	2 (2)	0 (0)	16 (16)				大学設置基準別表第一に定める基幹教員数の四分の三の数 6人
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(aに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
小計(a～b)	7 (7)	7 (7)	2 (2)	0 (0)	16 (16)				
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a又はbに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事する者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、かつ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当するもの(a、b又はcに該当する者を除く)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)				
計(a～d)	7 (7)	7 (7)	2 (2)	0 (0)	16 (16)				

設

理学部 生物分子科学科	6 (6)	7 (7)	2 (2)	0 (0)	15 (15)	0 (0)	1 (1)	大学設置基準別表第一に定める 基幹教員数の四分の三の数 6人
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの	6 (6)	7 (7)	2 (2)	0 (0)	15 (15)			
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（a～b）	6 (6)	7 (7)	2 (2)	0 (0)	15 (15)			
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）	6 (6)	7 (7)	2 (2)	0 (0)	15 (15)			
理学部 物理学科	9 (9)	4 (4)	1 (1)	0 (0)	14 (14)	0 (0)	0 (0)	大学設置基準別表第一に定める 基幹教員数の四分の三の数 6人
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの	9 (9)	4 (4)	1 (1)	0 (0)	14 (14)			
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（a～b）	9 (9)	4 (4)	1 (1)	0 (0)	14 (14)			
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）	9 (9)	4 (4)	1 (1)	0 (0)	14 (14)			
理学部 情報科学科	11 (11)	4 (4)	5 (5)	0 (0)	20 (20)	0 (0)	0 (0)	大学設置基準別表第一に定める 基幹教員数の四分の三の数 7人
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの	11 (11)	4 (4)	5 (5)	0 (0)	20 (20)			
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（a～b）	11 (11)	4 (4)	5 (5)	0 (0)	20 (20)			
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）	11 (11)	4 (4)	5 (5)	0 (0)	20 (20)			
理学部 生命圏環境科学科	5 (5)	5 (5)	1 (1)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	0 (0)	大学設置基準別表第一に定める 基幹教員数の四分の三の数 6人
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの	5 (5)	5 (5)	1 (1)	0 (0)	11 (11)			
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
小計（a～b）	5 (5)	5 (5)	1 (1)	0 (0)	11 (11)			
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)			
計（a～d）	5 (5)	5 (5)	1 (1)	0 (0)	11 (11)			

看護学部	看護学科	11 (11)	8 (8)	3 (3)	0 (0)	22 (22)	0 (0)	23 (23)	大学設置基準別表第一に定める 基幹教員数の四分の三の数 10人				
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの	11 (11)	8 (8)	3 (3)	0 (0)	22 (22)	/	/					
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
	小計（a～b）	11 (11)	8 (8)	3 (3)	0 (0)	22 (22)							
	c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
	d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
	計（a～d）	11 (11)	8 (8)	3 (3)	0 (0)	22 (22)							
	健康科学部	看護学科	7 (7)	5 (5)	3 (3)	6 (6)				21 (21)	3 (3)	6 (6)	大学設置基準別表第一に定める 基幹教員数の四分の三の数 9人
	a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの	7 (7)	5 (5)	3 (3)	6 (6)	21 (21)				/	/		
	b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（aに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)							
小計（a～b）	7 (7)	5 (5)	3 (3)	6 (6)	21 (21)								
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの（a又はbに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)								
計（a～d）	7 (7)	5 (5)	3 (3)	6 (6)	21 (21)								
計	170 (170)	137 (137)	46 (46)	13 (13)	366 (366)	3 (3)	— (—)						
既設	なし	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	大学設置基準別表第一に定める 基幹教員数の四分の三の数 9人				
a. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、主要授業科目を担当するもの	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	/	/						
b. 基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事 する者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（aに該当する者を除く）	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)								
小計（a～b）	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)								
c. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当す るもの（a又はbに該当する者を除く）	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)								
d. 基幹教員のうち、専ら当該大学の教育研究に従事す る者以外の者又は当該大学の教育研究に従事し、か つ専ら当該大学の複数の学部等で教育研究に従事す る者であって、年間8単位以上の授業科目を担当 するもの（a、b又はcに該当する者を除く）	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)								
計（a～d）	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)								
計	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)			— (—)		— (—)			
合計	170 (170)	137 (137)	46 (46)	13 (13)	366 (366)			3 (3)		— (—)			
職種	専属		その他					計		大学設置基準別表第一に定める 基幹教員数の四分の三の数 9人			
事務職員	413 (413)		127 (127)					540 (540)					
技術職員	2,741 (2,741)		121 (121)			2,862 (2,862)							
図書館職員	16 (16)		4 (4)			20 (20)							
その他の職員	69 (69)		35 (35)			104 (104)							
指導補助者	0 (0)		5 (5)			5 (5)							
計	3,239 (3,239)		292 (292)			3,531 (3,531)							

校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	校舎敷地 (借用) 須佐知行 1,014.87㎡ S47.3.1～			
	校 舎 敷 地	134,638.98 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	134,638.98 ㎡				
	そ の 他	108,624.83 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	108,624.83 ㎡				
	合 計	243,263.81 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	243,263.81 ㎡				
校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
		124,655.74 ㎡ (124,655.74 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	124,655.74 ㎡ (124,655.74 ㎡)				
教 室 ・ 教 員 研 究 室		教 室	191室	教 員 研 究 室	505室	大学全体			
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	電子図書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	機械・器具 点	標本 点		
	大学全体	422,291 [148,199] (422,291 [148,199])	4,104 [572] (4,104 [572])	4,801 [2,453] (4,801 [2,453])	13,475 [11,615] (13,475 [11,615])	25,390 (25,390)	0 (0)		
	計	422,291 [148,199] (422,291 [148,199])	4,104 [572] (4,104 [572])	4,801 [2,453] (4,801 [2,453])	13,475 [11,615] (13,475 [11,615])	25390 (25,390)	0 (0)		
スポーツ施設等		スポーツ施設		講堂	厚生補導施設		大学全体		
		0 ㎡		8,315.58 ㎡	11,453.29 ㎡				
経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	大学全体 図書費には電子 ジャーナル・デー タベースの整備費（運 用コスト含む）を 含む。
	経費の積り								
	教員1人当り研究費等		220千円	220千円	220千円	220千円	220千円	220千円	
	共同研究費等		68,795千円	68,795千円	68,795千円	68,795千円	68,795千円	68,795千円	
	図書購入費		261,016千円	261,016千円	261,016千円	261,016千円	261,016千円	261,016千円	
	設備購入費		1,726,552千円	1,726,552千円	1,726,552千円	1,726,552千円	1,726,552千円	1,726,552千円	
	学生1人当り納付金		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
	医学部		4,800千円	4,200千円	4,200千円	4,200千円	4,200千円	4,200千円	
	薬学部		2,230千円	2,050千円	2,050千円	2,050千円	2,050千円	2,050千円	
	理学部		1,632千円	1,562千円	1,562千円	1,562千円			
	看護学部		2,400千円	1,900千円	1,900千円	1,900千円			
	健康科学部		1,750千円	1,750千円	1,750千円	1,750千円			
	医学研究科修士課程		700千円	600千円					
	〃 博士課程		700千円	600千円	600千円	600千円			
	薬学研究科修士課程		800千円	450千円					
	〃 博士課程		800千円	450千円	450千円	450千円			
	理学研究科博士前期課程		700千円	500千円					
〃 博士後期課程		700千円	500千円	500千円					
看護学研究科博士前期課程		900千円	800千円						
〃 博士後期課程		800千円	500千円	500千円					
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、雑収入等							

既設大学等の状況	大学等の名称		東邦大学					開設年度	所在地	
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率			
		年	人	年次人	人		倍			
	医学部									
	医学科	6	123	-	710	学士（医学）	1.00 《0.99》	昭和27年度	東京都大田区大森西5丁目21番16号	[医学部医学科] ●平成27～令和3年度 地域枠に係る臨時入学定員増（5人） ●令和4年度 地域枠に係る臨時入学定員増（10人） ●令和5年度 地域枠に係る臨時入学定員増（12人） ●令和6年度 地域枠に係る臨時入学定員増（13人） [薬学部薬学科] 令和6年度入学定員増（25人）
	薬学部									
	薬学科	6	245	-	1,345	学士（薬学）	1.06 《1.04》	平成18年度	千葉県船橋市三山2丁目2番1号	
	理学部									
	生物学科	4	80	-	320	学士（理学）	1.04 《1.02》	昭和25年度	千葉県船橋市三山2丁目2番1号	
	化学科	4	80	-	320	学士（理学）	1.07 《1.05》	昭和25年度	同上	
	生物分子科学科	4	80	-	320	学士（理学）	1.02 《1.01》	昭和25年度	同上	
	物理学科	4	70	-	280	学士（理学）	0.99 《0.97》	平成元年度	同上	
	情報科学科	4	100	-	400	学士（理学）	1.00 《0.95》	昭和58年度	同上	
	生命圏環境科学科	4	60	-	240	学士（理学）	1.05 《1.03》	平成元年度	同上	
	看護学部									
	看護学科	4	102	-	408	学士（看護学）	1.15 《1.14》	平成17年度	同上	
	健康科学部									
	看護学科	4	60	-	240	学士（看護学）	1.06 《1.04》	平成23年度	東京都大田区大森西5丁目21番16号	
	大学院医学研究科									
	医科学専攻（修士課程）	2	5	-	10	修士（医科学）	1.10 《1.10》	平成29年度	千葉県船橋市三山2丁目2番1号	
	医学専攻（博士課程）	4	35	-	140	博士（医学）	0.4	平成18年度	東京都大田区大森西5丁目21番16号	
	大学院薬学研究科									
	薬科学専攻（修士課程）	2	10	-	20	修士（薬科学）	0.66	平成22年度	同上	
	医療薬学専攻（博士課程）	4	5	-	20	博士（薬学）	0.65	平成22年度	千葉県船橋市三山2丁目2番1号	
	大学院理学研究科									
	化学専攻（博士前期課程）	2	16	-	32	修士（理学）	1.35	平成24年度	同上	
	”（博士後期課程）	3	3	-	9	博士（理学）	1.59	昭和57年度	千葉県船橋市三山2丁目2番1号	
	生物学専攻（博士前期課程）	2	15	-	30	修士（理学）	0.11	昭和59年度	同上	
	”（博士後期課程）	3	3	-	9	博士（理学）	0.33	昭和59年度	同上	
	物理学専攻（博士前期課程）	2	18	-	36	修士（理学）	1.46	昭和57年度	同上	
	”（博士後期課程）	3	3	-	9	博士（理学）	0.33	昭和61年度	同上	
	生物分子科学専攻（博士前期課程）	2	18	-	36	修士（理学）	0.72	昭和63年度	同上	
	”（博士後期課程）	3	3	-	9	博士（理学）	0.72	平成5年度	同上	
	情報科学専攻（博士前期課程）	2	18	-	36	修士（理学）	0.11	平成7年度	同上	
	”（博士後期課程）	3	3	-	9	博士（理学）	0.11	平成8年度	同上	

大学院看護学研究科	環境科学専攻（博士前期課程）	2	6	-	12	修士（理学）	2.66	平成21年度	同上
	〃（博士後期課程）	3	2	-	6	博士（理学）	0.16	平成23年度	同上
	看護学専攻（博士前期課程）	2	15	-	30	修士（看護学）	0.83	平成25年度	東京都大田区大森西5丁目21番16号
	〃（博士後期課程）	3	5	-	15	博士（看護学）	1.33	平成25年度	同上
附属施設の概要	<p>名称：医療センター大森病院 目的：付属病院 所在地：東京都大田区大森西6丁目11-1 設置年月：大正14年12月 規模等：土地 22,818.89 m² 延べ床面積 73,579.62 m² 概要：ベッド数 916床</p> <p>名称：医療センター大橋病院 目的：付属病院 所在地：東京都目黒区大橋2丁目22-36 設置年月：昭和39年7月6日開設（平成30年6月20日移転） 規模等：土地 20,548.56 m² 延べ床面積 32,337.17 m² 概要：ベッド数 320床</p> <p>名称：医療センター佐倉病院 目的：付属病院 所在地：千葉県佐倉市下志津564番地1 設置年月：平成3年9月2日開設 規模等：土地 45,279.00 m² 延べ床面積 53,994.03 m² 概要：ベッド数 405床</p> <p>名称：薬学部付属薬用植物園造園 目的：薬用植物園（薬草園） 所在地：千葉県船橋市三山2丁目2番1号 設置年月：昭和44年3月 規模等：1,587 m²</p>								

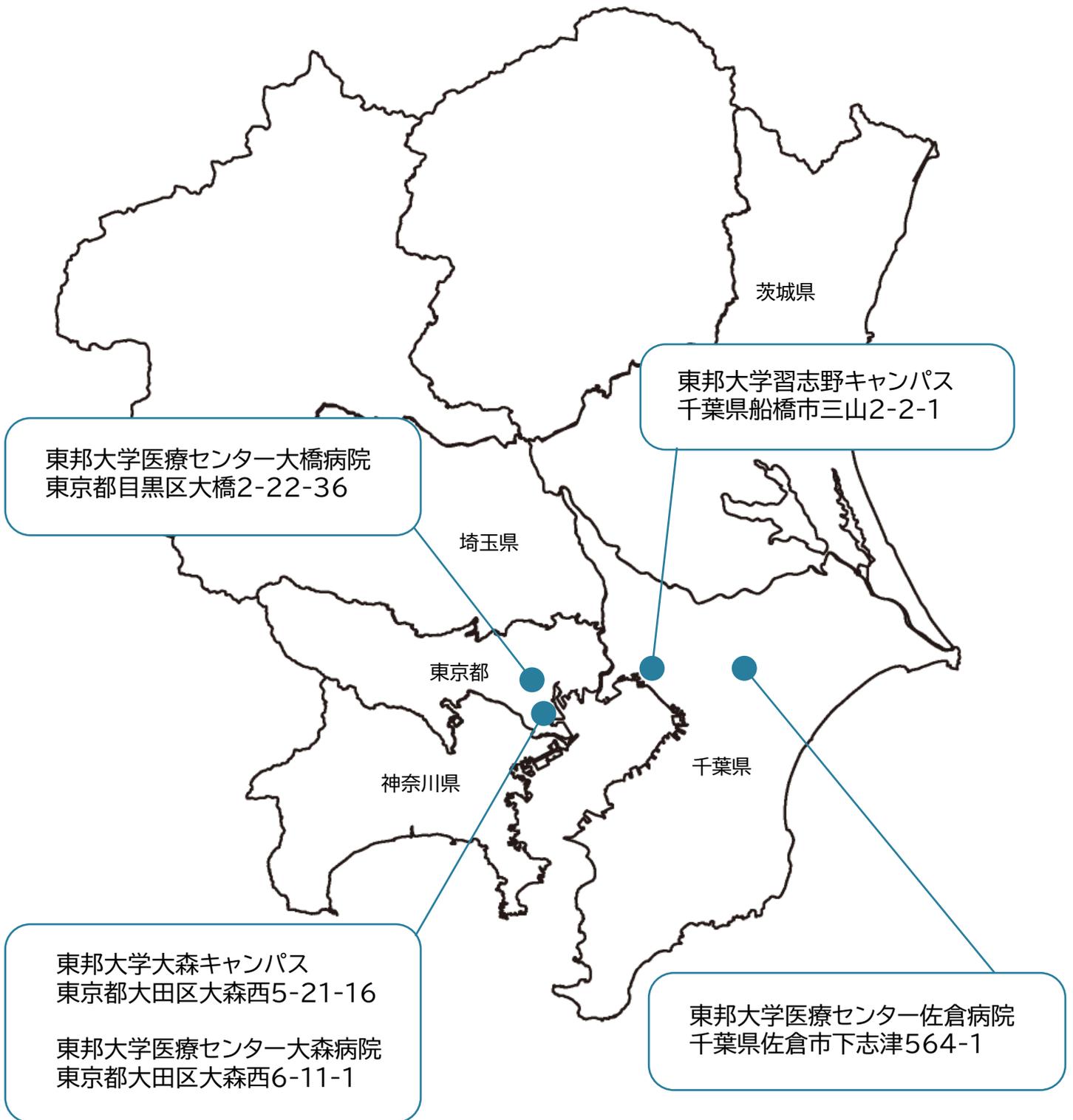
(注)

- 1 共同学科の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」、「新設学部等の目的」、「新設学部等の概要」、「教育課程」及び「新設分」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 2 「新設分」及び「既設分」の備考の「大学設置基準別表第一イ」については、専門職大学にあっては「専門職大学設置基準別表第一イ」、短期大学にあっては「短期大学設置基準別表第一イ」、専門職短期大学にあっては「専門職短期大学設置基準別表第一イ」にそれぞれ読み替えて作成すること。
- 3 「既設分」については、共同学科等に係る数を除いたものとする。
- 4 私立の大学の学部又は短期大学の学科の収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「教室・教員研究室」、「図書・設備」及び「スポーツ施設等」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 5 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「校地等」、「校舎」、「教室・教員研究室」、「図書・設備」、「スポーツ施設等」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず、斜線を引くこと。
- 6 「教育課程」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。
- 7 空欄には、「-」又は「該当なし」と記入すること。

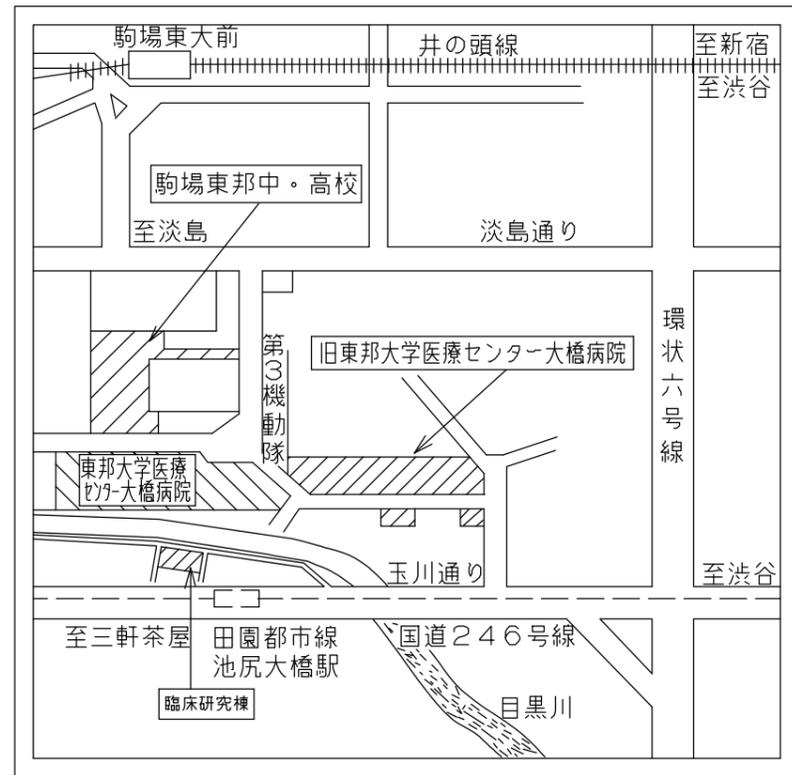
学校法人東邦大学 設置認可等に関わる組織の移行表

令和6年度	入学 定員	収容 定員	令和7年度	入学 定員	収容 定員	変更の事由
東邦大学			東邦大学			
医学部			医学部			
医学科	123	710	医学科	<u>123</u>	<u>718</u>	地域枠に係る臨時定員増による収容定員増加 (8)
薬学部			薬学部			
薬学科 (6年制)	245	1,470	薬学科 (6年制)	245	1,470	
理学部			理学部			
生物学科	80	320	生物学科	80	320	
化学科	80	320	化学科	80	320	
物理学科	70	280	物理学科	70	280	
生物分子科学科	80	320	生物分子科学科	80	320	
情報科学科	100	400	情報科学科	100	400	
生命圏環境科学科	60	240	生命圏環境科学科	60	240	
看護学部			看護学部			
看護学科	102	408	看護学科	102	408	
健康科学部			健康科学部			
看護学科	60	240	看護学科	<u>80</u>	<u>320</u>	入学定員変更 (20) (R6.8月認可)
計	1,000	4,708	計	<u>1,020</u>	<u>4,796</u>	
東邦大学大学院			東邦大学大学院			
医学研究科			医学研究科			
医科学専攻 (M)	5	10	医科学専攻 (M)	5	10	
医学専攻 (D)	35	140	医学専攻 (D)	35	140	
薬学研究科			薬学研究科			
薬科学専攻 (M)	10	20	薬科学専攻 (M)	10	20	
医療薬学専攻 (D)	5	20	医療薬学専攻 (D)	5	20	
理学研究科			理学研究科			
化学専攻 (M)	16	32	化学専攻 (M)	16	32	
化学専攻 (D)	3	9	化学専攻 (D)	3	9	
生物学専攻 (M)	15	30	生物学専攻 (M)	15	30	
生物学専攻 (D)	3	9	生物学専攻 (D)	3	9	
物理学専攻 (M)	18	36	物理学専攻 (M)	18	36	
物理学専攻 (D)	3	9	物理学専攻 (D)	3	9	
生物分子科学専攻 (M)	18	36	生物分子科学専攻 (M)	18	36	
生物分子科学専攻 (D)	3	9	生物分子科学専攻 (D)	3	9	
情報科学専攻 (M)	18	36	情報科学専攻 (M)	18	36	
情報科学専攻 (D)	3	9	情報科学専攻 (D)	3	9	
環境科学専攻 (M)	6	12	環境科学専攻 (M)	6	12	
環境科学専攻 (D)	2	6	環境科学専攻 (D)	2	6	
看護学研究科			看護学研究科			
看護学専攻 (M)	15	30	看護学専攻 (M)	15	30	
看護学専攻 (D)	5	15	看護学専攻 (D)	5	15	
計	183	468	計	183	468	

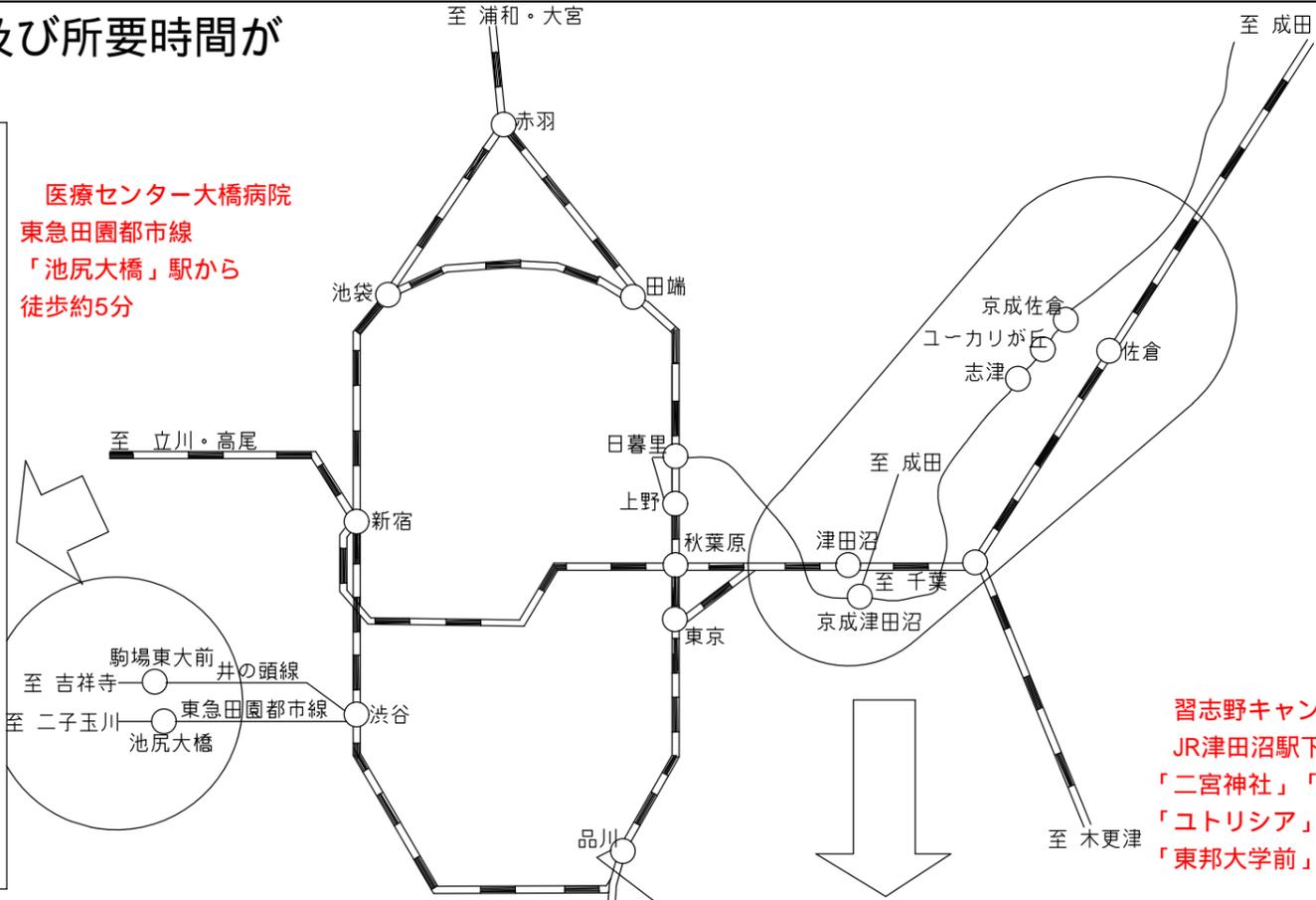
(1) 都道府県内における位置関係の図面



(2) 最寄り駅からの距離、交通機関及び所要時間がわかる図面



医療センター大橋病院
東急田園都市線
「池尻大橋」駅から
徒歩約5分



習志野キャンパス
JR津田沼駅下車後、北口4番乗り場から「三山車庫」「京成バス習志野出張所」「二宮神社」「八千代台駅」または5番乗り場から「日大実硯」「八千代台駅」「ユトリシア」行きのいずれかに乗車し(乗車時間約10分)、「東邦大学前」バス停で下車すぐ

京成本線「京成大久保」駅から徒歩約10分

駒場・大橋地区

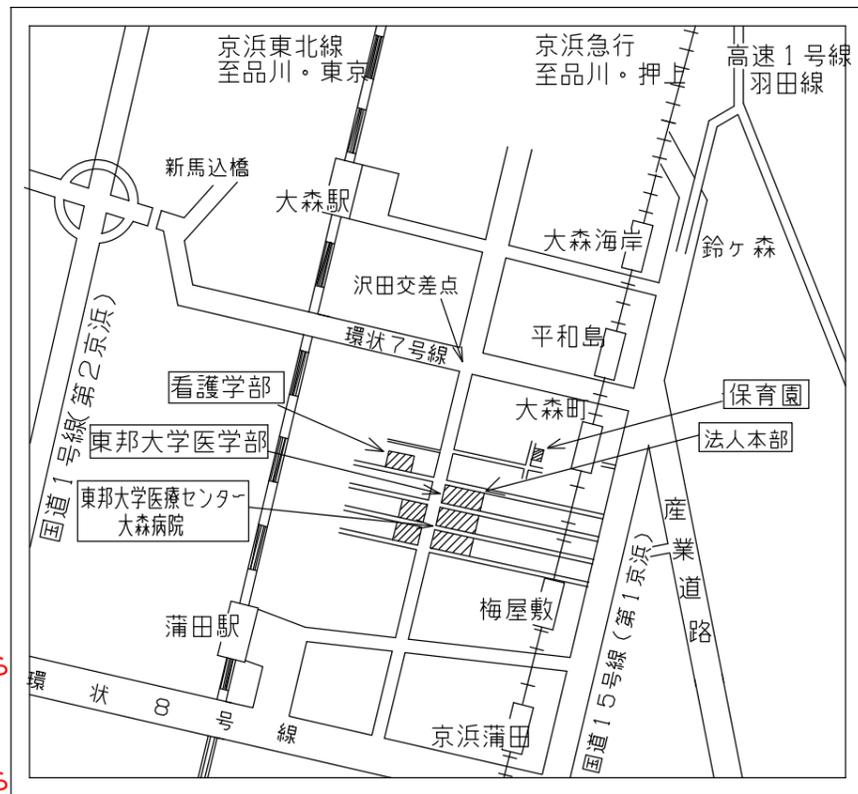
大森キャンパス
(医療センター大森病院含む)

JR・東急線蒲田駅下車、東口2番バス乗り場から「大森駅」行きに乗車し(乗車時間約4分)、「東邦大学」バス停下車後、徒歩約2分。

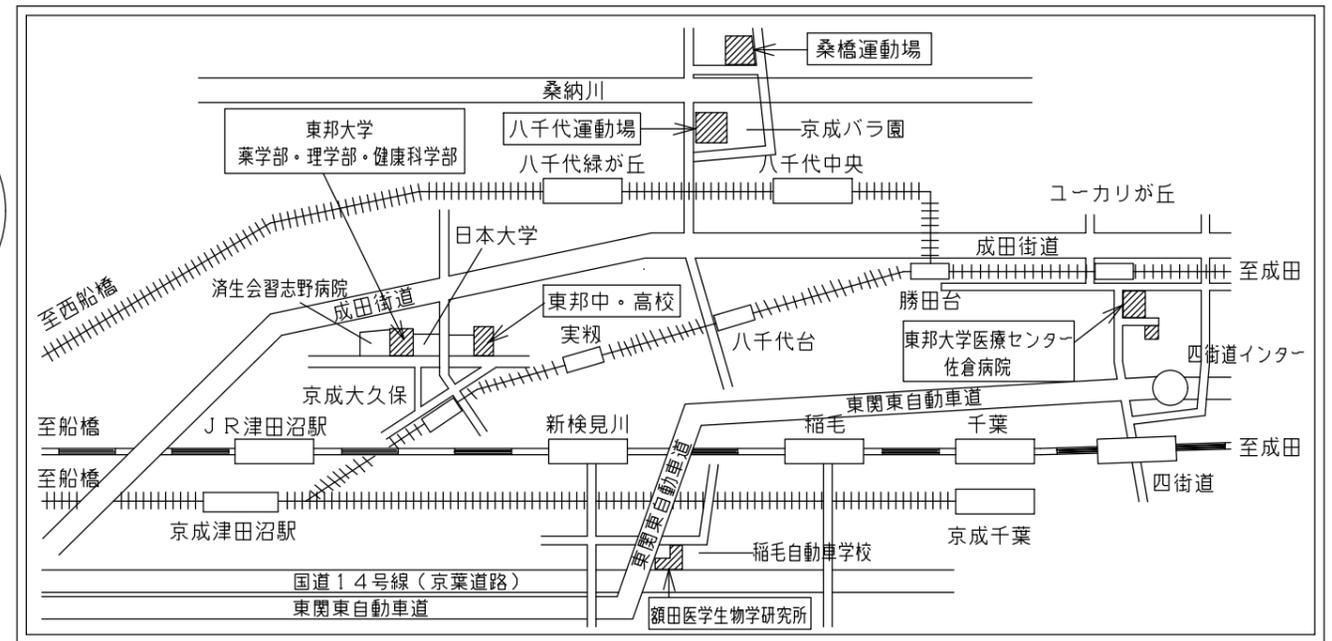
JR大森駅下車、東口1番バス乗り場から「蒲田駅」行きに乗車し(乗車時間約15分)、「東邦大学」バス停下車後、徒歩約2分。

京急線「梅屋敷駅」から徒歩約8分

京急線「大森町」駅から徒歩約10分



大森地区



習志野・八千代・稲毛・佐倉地区

医療センター佐倉病院

京成本線「志津」駅南口または「京成臼井」南口から路線バス乗車(乗車時間約15分)、「東邦大佐倉病院」バス停下車後、徒歩約2分

京成本線「ユーカリが丘」駅南口から路線バス乗車(乗車時間約5分)、「東邦大学佐倉病院正面玄関前」下車後すぐ
JR四街道駅北口から路線バス乗車(乗車時間約20分)、「東邦大学佐倉病院正面玄関前」下車後すぐ

備考

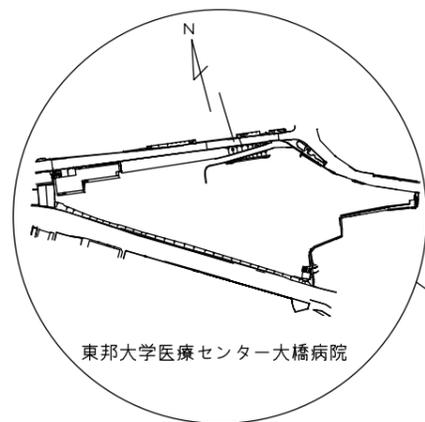
図面名称 キャンパス案内図

SCALE

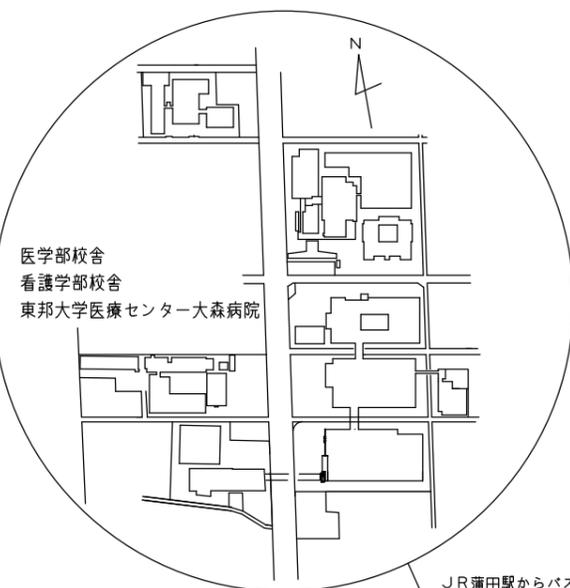
令和 6年 8月

(3) 校舎、運動場等の配置図

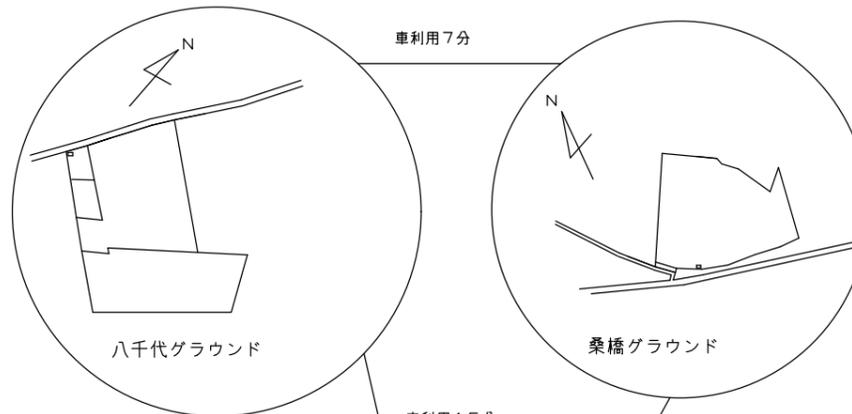
(D) 大橋校地 - 医学部
 位置 東京都世田谷区池尻4丁目
 校地 20,548.56㎡
 (内 所有 20,548.56㎡)



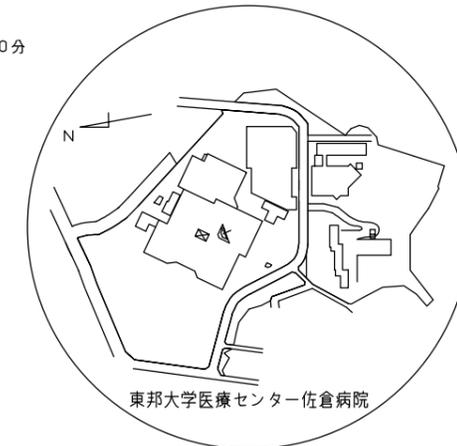
(C) 大森地区 - 医学部・看護学部
 位置 東京都大田区大森西5丁目他
 校地 48,463.02㎡
 (内 所有 47,448.15㎡ 借用 1,014.87㎡)
 1,014.87㎡ 平成14年 3月 1日から30年間借用
 校舎 120,258.28㎡
 (内 所有 120,258.28㎡)



(B) 八千代・桑橋校地 - 薬学部・理学部
 位置 千葉県八千代市大和田新田他
 校地 47,724.73㎡
 (内 運動場用地 30,935.40㎡)
 (内 所有 47,724.73㎡)
 校舎 88.76㎡
 (内 所有 88.76㎡)



(F) 佐倉校地 - 医学部
 位置 千葉県佐倉市下志津
 校地 42,576.00㎡
 (内 運動場用地 2,132.00㎡)
 (内 所有 42,576.00㎡)
 校舎 49,800.95㎡
 (内 所有 49,800.95㎡)



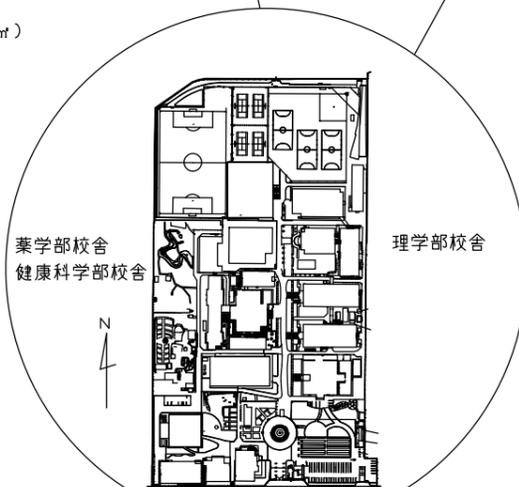
(A) 習志野校地 - 薬学部・理学部・健康科学部
 位置 千葉県船橋市三山2丁目他
 校地 85,609.44㎡
 (内 運動場用地 24,575.67㎡)
 (内 所有 85,609.44㎡)
 校舎 85,705.19㎡
 (内 所有 85,705.19㎡)

JR洗谷駅からバス7分
 東急田園都市線
 池尻大橋から徒歩4分

JR中央線

JR蒲田駅からバス7分
 京急梅屋敷駅から徒歩7分

JR京浜東北線
 東京-蒲田 19分



JR津田沼駅からバス15分

JR総武線
 東京-津田沼 30分

JR佐倉駅からバス15分
 京成ユーカリが丘駅
 から徒歩20分

JR総武線
 東京-佐倉 60分

至 横浜

至 成田

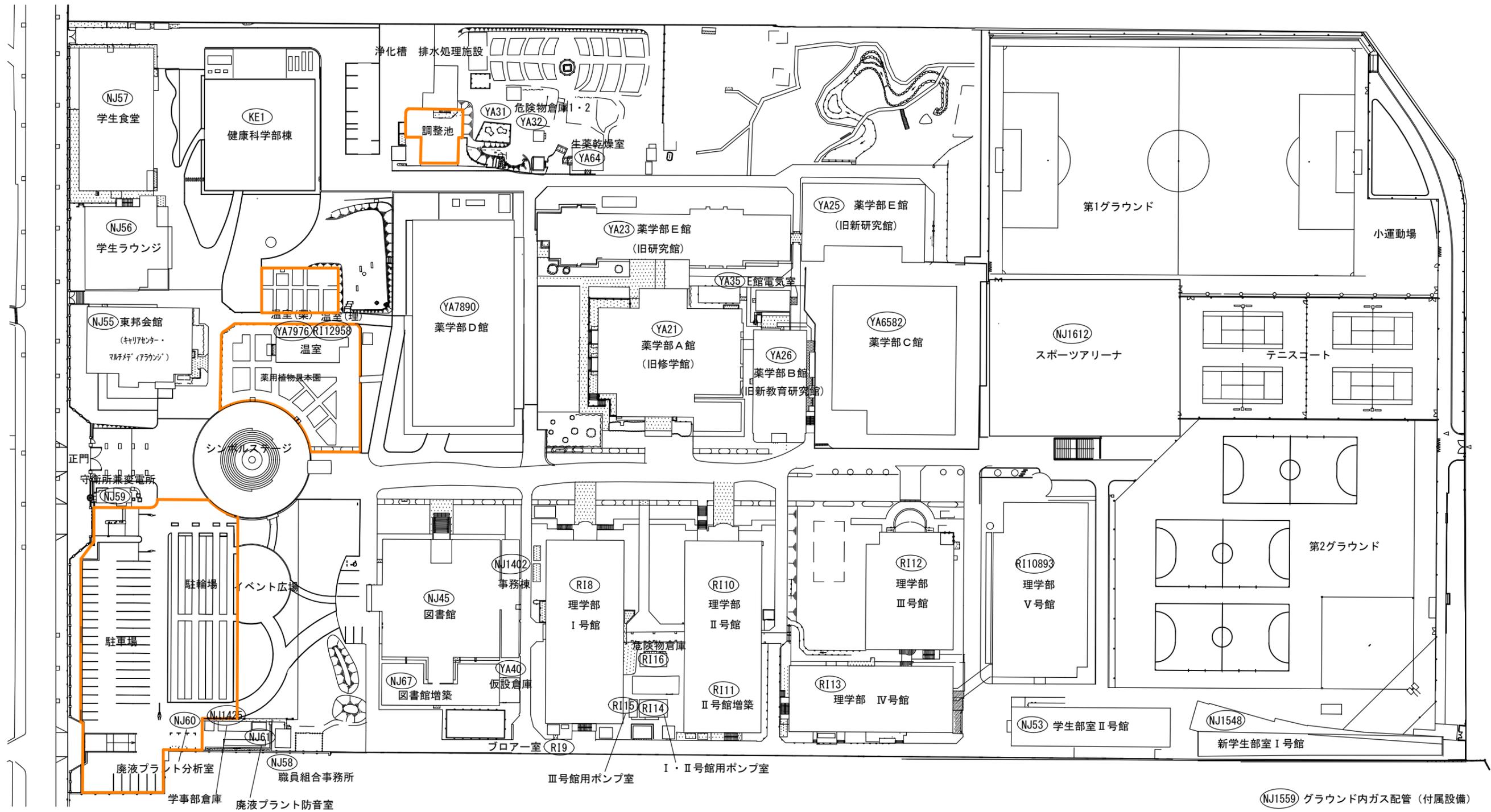
備考

図面名称 学校団地

SCALE

令和 6年 8月

校地面積不算入部分



- (NJ1559) グラウンド内ガス配管 (付属設備)
- (NJ1601) グラウンド内照明設備 (付属設備)
- (NJ1755) 総合排水処理施設 (付属設備)

図面名称 習志野三山地区 建物配置図

SCALE A1 1/600 A3 1/1200 令和 6年 8月

学校法人 東邦大学 法人本部施設部



校地面積不算入部分

駒場東邦中学校・高等学校

旧大橋病院

救急車・サービス車
出入口

一般車・歩行者
出入口

自転車及び
歩行者

自走式駐車場
(TCS所有物件)

目黒区
提供公園

救急
ロータリー

スロープ

メイン
ロータリー

サービスヤード

OH100003
マニホールド棟(物置1)
液種タンク・
マニホールド棟
マニホールド棟(物置2)
OH100004

エネルギー
センター棟

新大橋病院棟

OH100002

OH100001

世田谷区提供公園

目黒川緑道

歩行者

大橋病院 臨床研究棟
(旧 大橋寮)

OH28

OH31

ギヤポンプ室

OH30

ポンプ室

備考

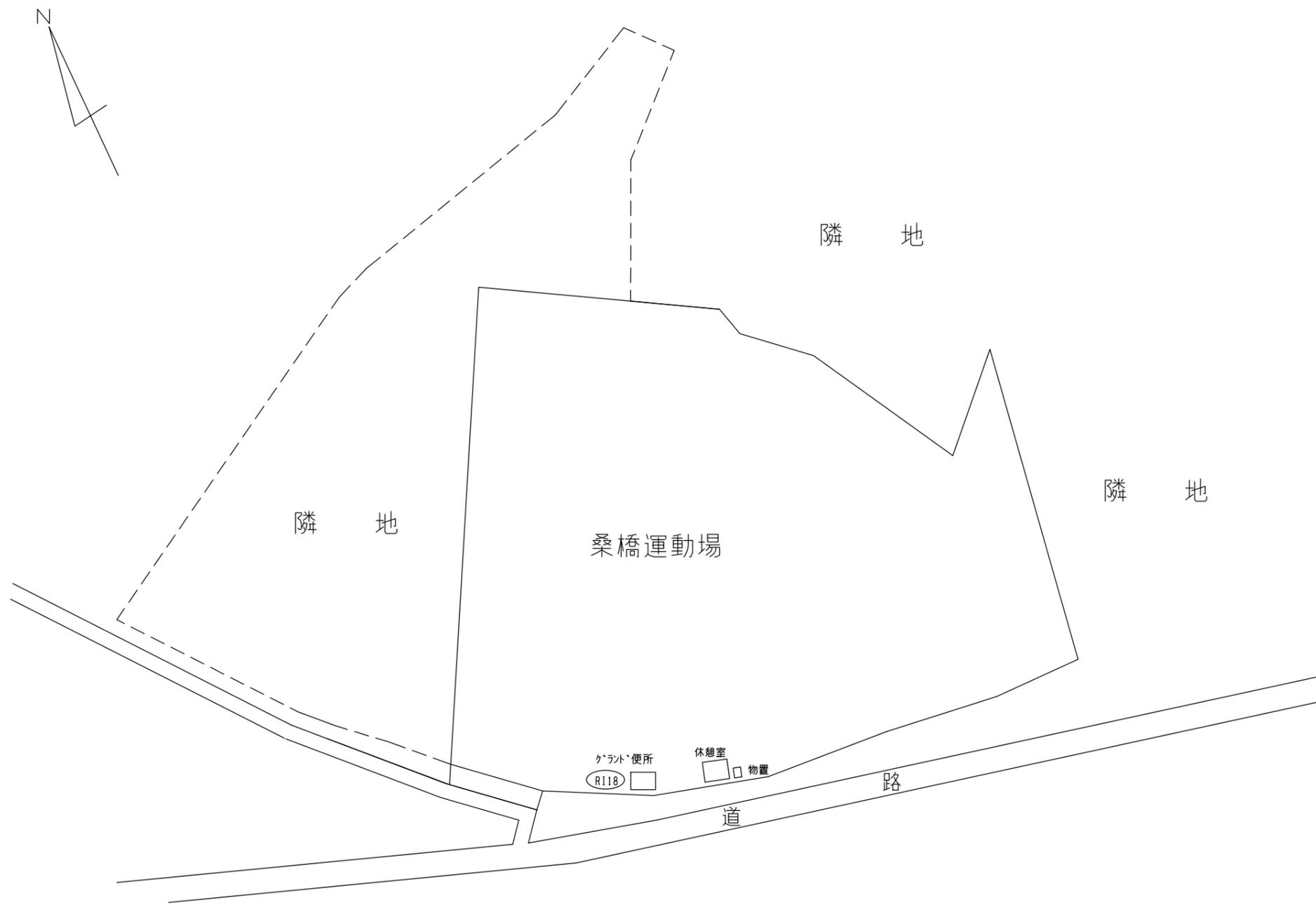
図面名称 新大橋病院・臨床研究棟建物配置図

SCALE

A1 1/800
A3 1/1600

令和 6年 8月

学校法人 東邦大学 法人本部施設部



備考	図面名称 桑橋地区建物配置図		
	SCALE	A1 1/500 A3 1/1000	令和 6年 8月
校地校舎図面-8		学校法人 東邦大学 法人本部施設部	

校地面積不算入部分



備考	図面名称 八千代地区建物配置図		
	SCALE	A1 1/600 A3 1/1200	令和 6年 8月
校地校舎図面-9		学校法人 東邦大学 法人本部施設部	

東邦大学学則（案）

第1章 総則

（目的及び使命）

第1条 東邦大学（以下「本学」という。）は教育基本法及び学校教育法の定めるところにより、各々専門の学術の理論と応用とを教授し且つ研究を行い併せて一般教養に資する学科を学ばしめることを目的とし以て教養ある有能な人材を養成し文化の発展に寄与することを使命とする。

2 学部学科ごとの人材の育成に関する目的及びその他の教育研究上の目的を別表第1のとおり定める。

（自己点検・評価）

第2条 本学は、教育研究水準の向上を図り、前条の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行う。

2 自己点検及び評価に関する規程は別にこれを定める。

（認証評価）

第3条 本学は、前条に規定する措置に加え、本学の教育研究等の総合的な状況について、政令で定める期間ごとに、文部科学大臣の認証を受けた者による評価を受けるものとする。

（学部及び学科）

第4条 本学に次の学部・学科を置く。

医学部	医学科		
薬学部	薬学科		
理学部	生物学科	化学科	生物分子科学科
	物理学科	情報科学科	生命圏環境科学科
看護学部	看護学科		
健康科学部	看護学科		

（学生定員）

第5条 本学の学生定員は、次のとおりとする。

	（学部・学科）	（入学定員）	（収容定員）
医学部			
	医学科	110	660
	（計）	（110）	（660）
薬学部			
	薬学科	245	1,470
	（計）	（245）	（1,470）
理学部			
	生物学科	80	320

化学科	80	320
生物分子科学科	80	320
物理学科	70	280
情報科学科	100	400
生命圏環境科学科	60	240
(計)	(470)	(1,880)
看護学部		
看護学科	102	408
(計)	(102)	(408)
健康科学部		
看護学科	60	240
(計)	(60)	(240)
(総計)	(987)	(4,658)

(大学院)

第6条 本学に大学院を置く。

2 大学院に関する規程は別にこれを定める。

第2章 職員組織

(学長)

第7条 本学に学長を置く。

2 学長は本学を代表し、教育理念に基づいて校務をつかさどり、所属職員を統督する。

3 学長が不在または欠けたときは学長代行者を置き、新しく学長が就任するまでの間、学長代行者が学長の職務を行う。

(副学長)

第8条 本学に副学長を置くことができる。

2 副学長は、学長を助け、命を受けて校務をつかさどることができる。

(学部長)

第9条 本学の学部に学部長を置く。

2 学部長は、学長指示のもとに当該学部の校務をつかさどり所属職員を統率し教育及び研究の責に任ずる。

(教職員)

第10条 本学に学長統督のもとに教育及び研究のため教授、准教授、講師、助教、助手を置きその定員は別にこれを定める。ただし、助手は教育職員としない。

2 本学に事務職員、技術職員、その他必要な職員を置く。

3 本学の職員を専任、兼担、兼任に区別しその勤務規程は別にこれを定める。

(大学協議会)

第11条 本学に学長の諮問機関として大学協議会を置き、大学全般にわたる学事の重要事項として、次の各号の一に掲げる事項を審議する。

- (1) 教育研究に係る中長期計画及び年度計画に関する事項
- (2) 学則その他の教育研究に係る重要な規程等の制定又は改廃に関する事項
- (3) 教育研究活動等の状況について自ら行う点検及び評価に関する事項
- (4) その他学長が必要と認める事項

2 大学協議会に関する規程は別にこれを定める。

(学長・学部長会議)

第12条 本学に学長・学部長会議を置き、各学部及び大学院各研究科間の調整を図るべく、次の各号の一に掲げる事項を企画、検討し、大学協議会に提言する。

- (1) 全学的な諸活動に係る計画、方針
- (2) 各学部及び大学院各研究科に共通する事項
- (3) その他学長が必要と認める事項

2 学長・学部長会議に関する規程は別にこれを定める。

(教授会の設置)

第13条 本学の各学部に教授会を置く。

2 教授会は、学部に所属する教授をもって組織する。但し、学部の定めるところにより、准教授、講師、助教を加えることができる。

3 教授会の規程は、別にこれを定める。

(教授会の審議事項)

第14条 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うにあたり、これについて意見を述べる。

- (1) 学生の入学、卒業及び課程の修了
- (2) 学位の授与
- (3) 前2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が別にこれを定める事項
- (4) その他、学則に定める事項

2 教授会は前項に規定するもののほか、学長、学部長の求めに応じ、教育研究に関する事項について審議し、意見を述べることができる。

3 教授会は第1項及び第2項に規定する事項のほか、教育研究に関する事項について審議し、学長及び学部長へ意見を述べるができる。

第3章 学年、学期及び休業日

(学年)

第15条 本学の学年は4月1日に始まり翌年3月31日に終る。ただし、学長が教育上必要と認めるときは、変更することができる。

(学期)

第16条 1学年を次の2学期に分ける。

春学期 4月1日から9月30日まで

秋学期 10月1日から翌年3月31日まで

2 前項の規定にかかわらず教育上必要があるときは、学長がこれを変更することができる。

(休業日)

第 17 条 休業日を次のとおりとする。

- (1) 日曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律に規定する休日
- (3) 本学の創立記念日（6月10日）
- (4) 夏期、冬期及び春期休業日については別に定める

2 前項の規定にかかわらず教育上必要があるときは、学長がこれを変更し、又は臨時に休業日を定めることができる。

第 4 章 入学、転入学、編入学、転学部・転学科及び再入学

(入学)

第 18 条 本学の入学は学年の始めとする。ただし、学長が教育上有益と認めるときは、第 16 条の秋学期の始めに入学させることができる。

(入学資格)

第 19 条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）
- (3) 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
- (8) 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18 歳に達したもの

(出願手続)

第 20 条 入学志願者は入学志願票に所定の入学検定料及び必要書類を添えて願い出なければならない。

(入学者選考)

第 21 条 前条の入学志願者については、別にこれを定めるところにより選考する。

(入学手続・入学許可)

第 22 条 選考の結果、合格の通知を受けた者は保証人を定め所定の在学誓書に入学金を添えて提出しなければならない。

2 学長は、前項の入学手続を完了した者に入学を許可する。

(保証人)

第 23 条 保証人は父母又は独立生計を営む成年者で、確実に保証人としての責を果たし得る者でなければならない。なお、その身分及び住所に変更があったとき、あるいは保証人を変更したいときは速やかに届け出なければならない。

(転入学)

第 24 条 他の大学に在学している者が現に在学する大学の許可を得て本学に転入学を願い出たときは、学長は定員に余裕がある場合に限り、考査を経て相当年次に入学を許可することがある。

2 転入学に関する規程は別にこれを定める。

(編入学)

第 25 条 次の各号の一に該当する者が本学に編入学を願い出たときは、学長は定員に余裕がある場合に限り、考査を経て相当年次に入学を許可することがある。ただし、編入学定員を定めている場合は、考査を経て相当年次に入学を許可する。

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 短期大学を卒業した者
- (3) 高等専門学校を卒業した者
- (4) 法令により編入学を認められた者
- (5) その他前各号と同等以上の学力があると認められた者

2 編入学に関する規程は別にこれを定める。

(転学部・転学科)

第 26 条 本学の学生が転学部または転学科を願い出たときは、学長は定員に余裕がある場合に限り、考査を経て許可することがある。

2 転学部、転学科に関する規程は別にこれを定める。

(再入学)

第 27 条 退学者が再入学を願い出たときは、学長はこれを許可することがある。その規程は別にこれを定める。

第 5 章 休学及び退学

(休学)

第 28 条 病気その他止むを得ない事由で引き続き 2 カ月以上授業に出席することができない者は、保証人連署で願い出て学長の許可を受け、休学することができる。

2 疾病その他の事由により修学が不相当と認められる者に対しては、学長は学校医又は専門家及び教授会の意見を参酌し、休学を命ずることができる。

(休学期間)

第 29 条 休学できる期間は、第 15 条に規定する学年末までとする。ただし、正当な事由と認められた時は、当初の休学期間を含めて 2 年間を上限とし、期間延長を許可することがある。

2 通算して休学できる期間は、医学部及び薬学部においては 3 年間、理学部、看護学部及び健康科学部においては 2 年間とする。

3 再入学、転入学、編入学、転学部及び転学科した者の休学の扱いについては別にこれを定める。

4 休学期間は第 34 条各項に規定する在学年限に算入しない。

(復学)

第 30 条 休学者は、休学事由が消滅した場合、保証人連署で願い出て学長の許可を受け、復学することができる。

(任意退学)

第 31 条 任意に退学しようとする者は、保証人連署で届け出て学長の許可を受けなければならない。

(措置退学)

第 32 条 次の各号の一に該当する者に対しては退学の措置をとるものとする。

- (1) 在学年限を越えた者
- (2) 休学期間を超えて復学できない者
- (3) 所定の期日までに授業料等の学費の納入を怠り、催告後もなお正当な事由がなく納付しない者
- (4) 正規の手続きなく 3 カ月以上修学しない者
- (5) 死亡した者

2 措置退学の日付は、次に掲げるとおりとする。

(1) 在学年限を超えた者	在学年限の最終日
(2) 休学期間を超えて復学できない者	休学期間の終了日
(3) 所定の期日までに授業料等の学費の納入を怠り、催告後もなお正当な事由がなく納付しない者	学費を完納している期の最終日
(4) 正規の手続きなく 3 カ月以上修学しない者	教授会の議を経て学長が決定する日
(5) 死亡した者	死亡日

(懲戒退学)

第 33 条 次の各号の一に該当する者に対しては懲戒による退学を命ずる。

- (1) 性行不良で改善の見込がないと認められる者
- (2) 学力劣等で成業の見込がないと認められる者
- (3) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

第6章 修業年限及び在学年限

(修業年限及び在学年限)

第34条 医学部及び薬学部の修業年限は6年とし、12年まで在学することができる。ただし、同一学年に在学できる年数は原則として2年を限度とする。

2 理学部、看護学部及び健康科学部の修業年限は4年とし、8年まで在学することができる。

3 再入学、転入学、編入学、転学部及び転学科した者については別にこれを定める。

第7章 教育課程

(授業科目及び単位数)

第35条 授業科目及び単位数は、別表第2のとおり定める。

(単位の基準)

第36条 各授業科目の単位数は、1単位あたり45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業における教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算するものとする。

(1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。

(2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。

(3) 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、その組み合わせに応じ、前2号に規定する基準を考慮して本学が定める時間の授業をもって1単位とする。

2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定めることができる。

(各授業科目の授業期間)

第37条 各授業科目の授業は、15週にわたる期間を単位として行うものとする。ただし、教育上必要があり、かつ、十分な教育効果をあげることができると認められる場合は、この限りでない。

(授業の方法)

第38条 授業は講義、演習、実験、実習もしくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。

2 前項の授業は、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

3 第1項の授業は、外国において履修させることができる。前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても同様とする。

4 第2項に規定する授業の方法により修得する単位数は60単位を上限として、卒業に必要な単位とすることができる。

(成績の評価)

第39条 成績は、秀、優、良、可及び不可の評語をもって表し、秀、優、良及び可を合格とし、不可を不合格とする。

2 前項の規定にかかわらず、段階評価に適さない授業科目に係る考査の成績は、合格又は不合格とすることができる。

(単位の授与)

第40条 一の授業科目を履修した学生に対しては、試験の上単位を与えるものとする。

2 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究等の授業科目については、適切な方法により学修の成果を評価して単位を与える。

(成績評価基準等の明示等)

第41条 本学は、学生に対して、授業の方法及び内容並びに1年間の授業の計画をあらかじめ明示するものとする。

2 本学は、学修の成果に係る評価及び卒業の認定に当たっては、客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示するとともに、当該基準にしたがって適切に行うものとする。

(他学部及び他学科、又は他大学等による指導)

第42条 教育上有益と認めるときは、他学部及び他学科、又は他大学等との協議に基づき、学生に当該他学部等において科目履修に必要な指導を受けさせることができる。

(他の大学等における履修)

第43条 他の大学又は短期大学との協議に基づき、学生に当該他大学又は短期大学の授業を履修させることができる。

2 短期大学又は高等専門学校の特攻科における学修その他文部科学大臣が別にこれを定める学修を、教育上有益と認めるときは、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

3 第1項の規定により修得した授業科目の単位数及び前項の規定により与える単位については、合わせて60単位を超えない範囲で認定することができる。

(入学前の既修得単位等認定)

第44条 本学に入学する前に他の大学又は短期大学で修得した単位(科目等履修生等として修得した単位を含む。)については、教育上有益と認めるときは、本学において修得したのものとして認定することができる。

2 本学に入学する前に行った前条第2項に規定する学修を教育上有益と認めるときは、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

3 第1項の規定により認定した単位及び第2項の規定により与える単位については、再入学、転入学、編入学等の場合を除き、前条により認定した単位数と合わせて、60単位を超えないものとする。

(教育職員の免許状)

第 45 条 本学に教員養成課程を置く。

- 2 教員の免許状授与の所要資格を取得しようとする者は、教育職員免許法及び教育職員免許法施行規則に定める所要の単位を修得しなければならない。
- 3 教員養成課程に関する専門科目及び単位数は別表第 3 のとおり定める。
- 4 本学において当該所要資格を取得できる教員免許状の種類並びに履修する学部・学科は次のとおりとする。

学部	学科	免許状の種類	免許教科
理学部	生 物 学 科	中学校教諭一種免許状	理 科
	化 学 科		
	生物分子科学科	高等学校教諭一種免許状	理 科
	物 理 学 科		
	生命圏環境科学科		
情 報 科 学 科	中学校教諭一種免許状	数 学	
	高等学校教諭一種免許状	数 学	
	高等学校教諭一種免許状	情 報	

第 8 章 進級、卒業及び学位

(進級)

第 46 条 進級に関する規程は、別にこれを定める。

(卒業)

第 47 条 第 34 条に定める修業年限以上在学し、別表第 2 のとおり定める所定の単位数を修得した者につき、当該学部教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。

- 2 前項に加え、医学部では卒業試験に合格した者につき、当該学部教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。
- 3 第 1 項の規定にかかわらず、理学部では卒業単位を優秀な成績で修得したと認めるときは、3年以上在学すれば足りるものとする。

(学位の授与)

第 48 条 卒業を認めた者には、学長が学士の学位を授与する。

- 2 付記する専攻分野の名称は、それぞれ次のとおりとする。

医学部医学科	学士 (医学)
薬学部薬学科	学士 (薬学)
理学部各学科	学士 (理学)
看護学部看護学科	学士 (看護学)
健康科学部看護学科	学士 (看護学)

第9章 入学金、授業料等の学費及び徴収

(学費等)

第49条 本学の入学金、授業料及びその他の学費は、別表第4のとおり定める。

2 学生の実験及び実習に要する経費を定めて別に徴収することがある。

3 授業料及びその他の学費の納入については別にこれを定める。

(学費等の取扱)

第50条 在学中授業料及びその他の学費について変更のあった場合には、新たに定められた金額を納入するものとする。

2 一旦納入した授業料及びその他の学費は、原則として返還しない。

第10章 委託生、科目等履修生、特別聴講生、聴講生及び留学生

(委託生)

第51条 学長は公共団体又はその他の機関より本学に特定の学科目について修学を委託された場合は、選考の上、委託生として入学を許可することがある。

2 委託生に関する細則は、別にこれを定める。

(科目等履修生)

第52条 学長は本学各学部の所定の授業科目のうち一又は複数の授業科目の単位を修得することを希望する者がいるときは、選考の上、科目等履修生として入学を許可することがある。

2 科目等履修生に関する細則は、別にこれを定める。

(特別聴講生)

第53条 学長は本学各学部の所定の授業科目のうち、他の大学との協議に基づき、当該他大学の学生が授業科目の単位を修得することを希望する場合は、特別聴講生として許可することができる。

(聴講生)

第54条 学長は本学各学部の所定の授業科目のうち、一又は複数の授業科目について聴講を希望する者がいるときは、選考の上、聴講生として入学を許可することがある。

2 聴講生に関する細則は、別にこれを定める。

(留学生)

第55条 学長は日本国籍をもたない者で、修学する目的をもって入国し、本学に入学を志願する者がいるときは、選考の上、留学生として入学を許可することがある。

2 留学生は、本学則を準用する。

第11章 附属施設

(メディアセンター)

第56条 本学にメディアセンターを置き、その規程は別にこれを定める。

(附属病院)

第57条 本学医学部に教育及び臨床実習のために附属病院を置く。

2 医学部長のもとに付属病院長を置き、院務をつかさどらしめる。

(付属薬用植物園)

第 58 条 本学薬学部に付属薬用植物園を置き、その規程は別にこれを定める。

(その他教育研究施設)

第 59 条 その他、必要な教育研究施設を置くことができる。

第 12 章 厚生補導及び厚生保健施設

(厚生補導)

第 60 条 本学に、学生の福利厚生をはかり、かつ、学生生活を指導助育するため、学生部を置き、その規程は別にこれを定める。

(厚生保健施設)

第 61 条 本学に厚生保健施設を置き、その規程は別にこれを定める。

第 13 章 賞罰

(表彰)

第 62 条 人物及び学業の優秀な者を表彰することができる。

(懲戒)

第 63 条 本学の学則又はこれに基づいた諸規則に背き、あるいは学生の本分に反する行為をした者は学長の決定に基づき懲戒する。

2 懲戒は訓告、停学、退学の 3 種とする。

3 懲戒に該当する事項については、別にこれを定める。

第 14 章 雑則

(改廃)

第 64 条 この学則の改正は、大学協議会の議を経て、理事会の承認を得るものとする。

附 則

この学則は、昭和48年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ昭和50年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ昭和51年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ昭和52年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ昭和53年4月1日から施行する。

(第19条は昭和52年度以前の入学生については従前の例による。)

この学則は、一部改正のうえ昭和54年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ昭和55年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ昭和56年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ昭和57年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ昭和58年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ昭和59年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ昭和60年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ昭和61年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ昭和62年4月1日から施行する。

附 則

- この学則は、一部改正のうえ昭和63年4月1日から施行する。
- 第70条の規定にかかわらず昭和63年度から昭和71年度までの間、理学部生物学科及び物理学科の入学定員並びに総定員は次表に掲げるとおりとする。

学科・定員		昭和・年度								
		63	64	65	66	67	68	69	70	71
生物学科	入学定員	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	総定員	340	360	380	400	400	400	400	400	400
物理学科	入学定員	100	100	100	100	100	100	100	100	100
	総定員	280	320	360	400	400	400	400	400	400

附 則

- この学則は、一部改正のうえ平成元年4月1日から施行する。
- 第70条及び附則（昭和63年4月1日施行）の規定にかかわらず、平成元年度から同8年度までの間、理学部物理学科、同生物分子科学科及び情報科学科の入学定員並びに総定員は次表に掲げるとおりとし、同生物学科に係る期間を付した定員増加は、昭和63年度をもって停止する。

学科・定員		平成・年度							
		元	2	3	4	5	6	7	8
物理学科	入学定員	80	80	80	80	80	80	80	80
	総定員	300	320	340	320	320	320	320	320
生物分子 科学科	入学定員	80	80	80	80	80	80	80	80
	総定員	80	160	240	320	320	320	320	320
情 報 科学科	入学定員	60	60	60	60	60	60	60	60
	総定員	60	120	180	240	240	240	240	240
理学部 総定員		1220	1340	1460	1520	1520	1520	1520	1520

附 則

この学則は、一部改正のうえ平成2年4月1日から施行する。

この学則は、一部改正のうえ平成3年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、一部改正のうえ平成3年7月1日から施行する。
- 2 期間を付した定員増加に係る附則中「総定員」とあるものを「収容定員」に読み替えるものとする。

附 則

この学則は、一部改正のうえ平成3年10月1日から施行する。
この学則は、一部改正のうえ平成4年4月1日から施行する。
この学則は、一部改正のうえ平成5年4月1日から施行する。
この学則は、一部改正のうえ平成6年4月1日から施行する。
この学則は、一部改正のうえ平成7年4月1日から施行する。
この学則は、一部改正のうえ平成7年12月22日から施行する。
この学則は、一部改正のうえ平成8年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、一部改正のうえ平成9年4月1日から施行する。
- 2 第70条の規定にかかわらず、平成9年度から同11年度までの間、理学部物理学科、同生物分子科学科及び情報科学科の入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。

学科・定員		平成・年度		
		9	10	11
物理学科	入学定員	80	80	80
	収容定員	320	320	320
生物分子科学科	入学定員	80	80	80
	収容定員	320	320	320
情報科学科	入学定員	100	100	100
	収容定員	280	320	360
理学部収容定員		1,560	1,600	1,640

附 則

この学則は、一部改正のうえ平成10年4月1日から施行する。
この学則は、一部改正のうえ平成11年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、一部改正のうえ平成12年4月1日から施行する。
- 2 第70条の規定にかかわらず、平成12年度から同18年度までの間、理学部物理学科の入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。

学科・定員		平成・年度						
		12	13	14	15	16	17	18
物理学科	入学定員	78	76	74	72	70	70	70
	収容定員	318	314	308	300	292	286	282
理学部収容定員		1,678	1,674	1,668	1,660	1,652	1,646	1,642

附 則

この学則は、一部改正のうえ平成12年9月1日から施行する。
この学則は、一部改正のうえ平成13年4月1日から施行する。
この学則は、一部改正のうえ平成13年9月1日から施行する。
この学則は、一部改正のうえ平成14年4月1日から施行する。
この学則は、一部改正のうえ平成15年4月1日から施行する。
この学則は、一部改正のうえ平成16年4月1日から施行する。
この学則は、一部改正のうえ平成17年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、一部改正のうえ平成18年4月1日から施行する。
但し、薬学部平成17年度以前の入学者の取扱いについては、なお従前の例による。

附 則

この学則は、一部改正のうえ平成19年4月1日から施行する。
この学則は、一部改正のうえ平成20年4月1日から施行する。
この学則は、一部改正のうえ平成21年4月1日から施行する。
この学則は、一部改正のうえ平成22年4月1日から施行する。

附 則

- この学則は、一部改正（看護学部設置に伴う改正を含む）のうえ平成23年4月1日から施行する。
但し、医学部看護学科の入学者の取扱いについては、なお従前の例による。
- 医学部看護学科は、平成23年4月より学生募集を停止し、在学者が卒業次第、廃止する。

附 則

この学則は、一部改正のうえ平成24年4月1日から施行する。

附 則

- この学則は、一部改正のうえ平成25年4月1日から施行する。
- 第70条の規定にかかわらず、平成25年度から同28年度までの間、理学部生命圏環境科学科の入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。

学科・定員		平成・年度			
		25	26	27	28
生命圏環境科学科	入学定員	60	60	60	60
	収容定員	300	280	260	240
理学部収容定員		1,940	1,920	1,900	1,880

附 則

この学則は、一部改正のうえ平成26年4月1日から施行する。

附 則

- この学則は、一部改正（学校教育法及び同法施行規則の一部改正、地域の医師確保等の観点による医学部入学定員増、薬学部カリキュラム及び教育充実費の改定に伴う改正を含む）のうえ平成27年4月1日から施行する。

但し、薬学部平成26年度以前の入学者の卒業に必要な必修科目単位数及び教育充実費の納付額については、なお従前の例による。

- 第47条の規定にかかわらず、平成27年度から同31年度までの間、医学部の入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。

学部・定員		平成・年度				
		27	28	29	30	31
医学部	入学定員	115	115	115	115	115
	収容定員	665	670	675	680	685

附 則

- この学則は、一部改正（医学部・薬学部の各年次の在学年限及び休学に関する取扱いの変更、医学部カリキュラムの改訂に伴う改正を含む）のうえ平成28年4月1日から施行する。

但し、平成27年度以前の入学者の取扱いについては、なお従前の例による。

附 則

- この学則は、一部改正（健康科学部設置に伴う改正を含む）のうえ平成29年4月1日から施行する。

但し、平成28年度以前の入学者の取扱いについては、なお従前の例による。

- 第96条の規定にかかわらず、平成29年度から同31年度までの間、健康科学部の入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。

学部・定員		平成・年度		
		29	30	31
健康科学部	入学定員	60	60	60
	収容定員	60	120	180

附 則

- 1 この学則は、一部改正（大学協議会規程制定、薬学部授業料の改定及び理学部の授業科目の変更に伴う改正を含む）のうえ平成30年4月1日から施行する。

但し、平成29年度以前の入学者の取扱いについては、なお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、一部改正（医学部及び薬学部の授業科目及び教員養成課程に係る変更に伴う改正を含む）のうえ平成31年4月1日から施行する。

但し、平成30年度以前の入学者の取扱いについては、なお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、一部改正（医学部及び薬学部の授業科目及び教員養成課程に係る変更に伴う改正を含む）のうえ平成31年4月1日から施行する。

但し、平成30年度以前の入学者の取扱いについては、なお従前の例による。

附 則

- 1 この学則は、一部改正（医学部の地域枠臨時定員増の再申請並びに医学部卒業要件における文言修正に係る改正）のうえ令和2年4月1日から施行する。

- 2 第47条の規定にかかわらず、令和2年度から同8年度までの医学部の入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。

学部・定員		令和・年度						
		2	3	4	5	6	7	8
医学部	入学定員	115	115	110	110	110	110	110
	収容定員	690	690	685	680	675	670	665

附 則

- 1 この学則は、一部改正（理学部の入学金、授業料等の学費の改定に係る改正）のうえ令和3年4月1日から施行する。

但し、理学部令和2年度以前の入学者の授業料の納付額については、なお従前の例による。

- 2 この学則は、一部改正（理学部の授業科目の変更に伴う改正）のうえ令和3年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、一部改正（学則の形式的・実質的な改正並びに、理学部、看護学部及び健康科学部の授業科目に係る変更に伴う改正を含む）のうえ令和4年4月1日から施行する。
- 2 この学則は、一部改正（医学部の地域枠臨時定員増の申請）のうえ、令和4年4月1日から施行する。
- 3 第5条の規定にかかわらず、令和4年度から同9年度での医学部入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。

学部・定員		令和・年度					
		4	5	6	7	8	9
医学部	入学定員	120	110	110	110	110	110
	収容定員	695	690	685	680	675	670

- 4 この学則は、一部改正（全学部の授業科目及び単位表に係る改正）のうえ令和4年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、一部改正（健康科学部授業料等の学費の改定に係る改正）のうえ、令和5年4月1日から施行する。
但し、健康科学部令和5年度以前の入学者の授業料の納付額については、なお従前の例による。
- 2 この学則は、一部改正（医学部の地域枠臨時定員増の申請）のうえ、令和5年4月1日から施行する。
- 3 第5条の規定にかかわらず、令和5年度から同10年度での医学部入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。

学部・定員		令和・年度					
		5	6	7	8	9	10
医学部	入学定員	122	110	110	110	110	110
	収容定員	702	697	692	687	682	672

- 4 この学則は、一部改正（医学部の人材養成ならびに教育研究上の目的に係る改正、別表2（第35条関係）の体裁統一にかかる改正、医学部ならびに理学部のカリキュラムに係る改正、別表3（第45条関係）教員養成課程のカリキュラムに係る改正）のうえ、令和5年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この学則は、一部改正（薬学部の入学定員・収容定員の増員）のうえ、令和6年4月1日から施行する。
- 2 第5条の規定に関わらず、令和6年度から同11年度での薬学部入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。

学部・定員		令和・年度					
		6	7	8	9	10	11
薬学部	入学定員	245	245	245	245	245	245
	収容定員	1,345	1,370	1,395	1,420	1,445	1,470

3 この学則は、一部改正（医学部の地域枠臨時定員増の申請及び授業科目に係る変更に伴う改正を含む）のうえ、令和6年4月1日から施行する。

4 第5条の規定に関わらず、令和6年度から同11年度での医学部入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。

学部・定員		令和・年度					
		6	7	8	9	10	11
医学部	入学定員	123	110	110	110	110	110
	収容定員	710	705	700	695	685	673

5 この学則は、一部改正（薬学部カリキュラムに係る改正）のうえ、令和6年4月1日から施行する。

附 則

1 この学則は、一部改正（健康科学部の入学定員・収容定員の増員ならびにカリキュラムに係る改正）のうえ、令和7年4月1日から施行する。

2 第5条の規定に関わらず、令和7年度から同10年度での健康科学部入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。

学部・定員		令和・年度			
		7	8	9	10
健康科学部	入学定員	80	80	80	80
	収容定員	260	280	300	320

3 この学則は、一部改正（医学部の地域枠臨時定員増の申請）のうえ、令和7年4月1日から施行する。

4 第5条の規定に関わらず、令和7年度から同12年度での医学部入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。

学部・定員		令和・年度					
		7	8	9	10	11	12
医学部	入学定員	123	110	110	110	110	110
	収容定員	718	713	708	698	686	673

別表1 (第1条関係)

本学の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的を以下に定める。

(1) 医学部

本医学部は医学の理論と応用とを教授し且つ研究することを目的とする。

[人材の養成に関する目的]

豊かな人間性を備え、倫理観を持って社会に貢献する「より良き臨床医」を育成する。

[教育研究上の目的]

教育に関しては、教養を高め人間性を涵養するとともに、倫理観を持って専門性に基ついた課題探求・問題解決能力、社会や文化の変化に対応できる生涯学修能力を持った人材を育成することを目的とする。

研究に関しては、基礎医学並びに臨床医学に関する学術研究活動の推進を図り、地域はもとより広く社会に貢献することを目的とする。

(2) 薬学部

本薬学部は薬学の理論と応用とを教授し且つ研究し併せて一般教育科目を学ばしめることを目的とする。

[人材の養成に関する目的]

心の温かい薬の専門家として、自他ともに高め合い、医療の最前線で他職種とともに患者や生活者の立場に立って人々の健康を守り、高い倫理観と豊かな人間性を持って地域はもとより広く社会に貢献する医療人の育成を目的とする。

[教育研究上の目的]

教育に関しては、高い倫理観、豊かな人間性、自他ともに高め合う態度、基礎薬学並びに医療薬学に関するバランスのとれた豊富で正確な知識・技術及び問題解決能力を育成し、チーム医療に資するためのコミュニケーション能力及び実践的能力を醸成する。

研究に関しては、基礎薬学並びに医療薬学に関する学術研究活動の推進を図り、地域はもとより広く社会に貢献する。

(3) 理学部

本理学部は理学の理論と応用とを教授し且つ研究し併せて教養教育科目を学ばしめることを目的とする。

[人材の養成に関する目的・教育研究上の目的]

教育については、自然・生命・人間を探究する過程を通して、社会に貢献する「科学人」を育てることを目的とする。科学人の基礎的な要件は次の点に要約される。

1. 十分な知識・技能と、科学的な探究心・思考力・批判力をもつ。

専門分野における十分な基礎知識・技能と、関連する分野における概括的な知識・技能をもつ。

科学的な推論を行う能力、科学的な手法で実験・実証をする能力、問題の科学的な分析を試みる態度をもつ。

2. 主体的に学ぶ力をもつ。

問題を多角的に把握し、問題解決に必要な知識・技能を同定し、不足する知識・技能を自覚し、自ら獲得できる力をもつ。

3. 他者と協力して課題を解決する力をもつ。

チーム・仲間と協働して解決する力をもつ。

<p>コミュニケーション能力・リーダーシップ、外国語を含む文章の読み書き能力、協働して解決する態度、多様性を受け入れる態度をもつ。</p> <p>社会と協調し、科学の役割を理解し、社会に対して責任を果たす態度をもつ。</p> <p>科学的倫理をわきまえていること、自然に対する畏敬の念・生命の尊重・人間としての謙虚な心をもつ。</p> <p>研究については、理学部を構成する各専門分野の立場から理学の理論と応用を研究し、科学者・技術者からの視点で社会の発展に貢献することを目指す。</p>
<p>生物学科：</p> <p>生物を通して自然・生命・人間を探究することにより、生物と環境の双方に適切な意見を有する科学人を育てる。広範な生物学の基礎科目を基盤とし、分子生物学や環境保全などを取り込んだ総合的な生物学の知識を身につけ、それを活用した課題解決力、論理思考力、コミュニケーション能力を涵養する。</p>
<p>化学科：</p> <p>化学を通して自然・生命・人間を探究することにより、自然に対する畏敬の念をもち、自然現象を化学の言葉で語ることができ、かつ持続性のある社会の構築に貢献する科学人を育てる。無機化学、分析化学、有機化学、物理化学を基礎的内容の柱とし、講義・演習・実験の効果的な連携によって化学の知識と技能を修得させ、それらを踏まえて、課題解決力、論理思考力、コミュニケーション能力を涵養することにより、化学に関わる多様な応用場面に対応できる科学人を育成する。</p>
<p>生物分子科学科：</p> <p>化学と生物学を通して自然・生命・人間を探究することにより、自然に対する畏敬の念をもち、生命現象を化学の言葉で語ることができる研究者や技術者の育成を目指す。化学及び生物学の確かな基礎知識を身につけさせ、それを踏まえて課題解決力、論理思考力、コミュニケーション能力を涵養する。</p>
<p>物理学科：</p> <p>物理学を通して自然・生命・人間を探究することにより、自然の仕組みを物理的思考から深く理解し、自然に対する畏敬の念をもち、科学及び社会の発展に貢献できる人材を育成する。物理学の基本的な知識と方法を十分に身につけ、それを踏まえて実践的な問題解決力、柔軟な思考力、科学者・技術者倫理、自然・生命・人間を守る態度、豊かな人間性、国際性、創造性、高いコミュニケーション能力を涵養する。</p>
<p>情報科学科：</p> <p>情報科学を通して自然・生命・人間を探究することにより、常に人間の視点に立って社会貢献できる人材の育成を目指す。情報科学の基本的な理論と技術、ならびに現象を科学的、論理的、かつ数理的に分析・理解して問題を解決できる能力を身につけ、情報科学の多様な応用場面に対して対応できる技術者・科学者を育成する。</p>
<p>生命圏環境科学科：</p> <p>環境科学を通して自然・生命・人間を探究することにより、環境問題の解決に取り組み、持続性のある社会の構築に貢献できる人材を育成する。自然科学の理解、人文・社会科学的視点の涵養、科学的思考力やコミュニケーション能力の向上を図り、その上で地球科学、環境生態学、環境化学、環境管理・創成科学についてより専門的な教育を行い、豊かな人間性をもって意欲的に活躍できる人材を育成する。</p>

(4) 看護学部

本看護学部は看護の理論と応用とを教授し且つ研究することを目的とする。

[人材の養成に関する目的]

長く受け継がれた看護教育の文化や歴史を継承するとともに、知的探究心を持った誠実で思いやりのある調和のとれた看護実践者の育成を図る。さらに、社会の構成員としてその使命を自覚し、自然、生命、人間に対して畏敬の念を持ち、人間の生命の尊厳と権利の尊重を基盤として、医療人としてすべての人々を公正に受容しうる自主の精神に充ちた心身ともに健康で感性豊かな人間性の育成を図り、国際的な感覚を身につけ、地球規模で思考し、保健・医療の発展に貢献できる人材を育成する。

[教育研究上の目的]

深い人間愛を持ち、創造的、全人的見方のできる看護職に必要な品性・知性・感性を養う多様な看護教育及び人間教育を提供すると共に看護学の発展に貢献するため、科学的な研究態度を有し、新たな知的財産の獲得を常に目指した実践と研究を推進する。

(5) 健康科学部

本健康科学部は健康に関する科学の理論と応用とを教授し且つ研究することを目的とする。

[人材の養成に関する目的]

健康科学に関わる専門知識と確かな技術を学び、洗練された倫理性を備え、人々の健康生活を支援する医療・福祉・政策の分野に貢献できる人材の育成を目的とする。

[教育研究上の目的]

教育に関しては、人々の健康を科学的に探究し支援できるよう、知性・感性・品性及び問題発見・解決能力、生涯学習能力を兼ね備えた実践者と研究者の育成を目的とする。

研究に関しては、健康科学分野の基礎研究とともに、変化する社会情勢に即した応用分野の研究に携わることを目的とする。

別表2（第35条関係）

(1) 医学部医学科開設科目単位表

令和6年度以降の入学者に適用

領域名	サブ領域	ユニット	単位数			備考
			必修	選択	自由	
人文・社会学	人文・社会学①	心理学 倫理学	4			
	人文・社会学②	社会学 法学				
	選択人文・社会学	選択人文・社会学Ⅰ ¹⁾		1		
		選択人文・社会学Ⅱ ¹⁾		1		
		選択人文・社会学Ⅲ ¹⁾ 選択人文・社会学Ⅳ ¹⁾		1 1		
選択芸術	選択芸術Ⅰ ¹⁾ 選択芸術Ⅱ ¹⁾		1 1			
医学教養	選択医学教養	医学教養Ⅰ ¹⁾		1	1) 選択人文・社会学、選択芸術、選択医学教養、選択短期集中講座、選択地域医療、全学共通選択科目、選択英語コミュニケーション、英語単位認定科目、選択初修外国語、選択自然・環境科学から、1～4年次で合計12単位以上取得	
		医学教養Ⅱ ¹⁾		1		
		医学教養Ⅲ ¹⁾		1		
		医学教養Ⅳ ¹⁾		1		
		医学教養Ⅴ ¹⁾		1		
		医学教養Ⅵ ¹⁾		1		
		医学教養Ⅶ ¹⁾		1		
		医学教養Ⅷ ¹⁾		1		
	選択短期集中講座	学生テュータ養成講座 ¹⁾		1		
		実用医療英語 ¹⁾ チーム医療演習 ¹⁾		1 1		
選択地域医療	地域医療学Ⅰ ¹⁾²⁾		1	2) 千葉県、新潟県奨学金受給生はこの科目の選択を必修とする		
	地域医療学Ⅱ ¹⁾²⁾		1			
	地域医療学Ⅲ ¹⁾²⁾		1			
	地域医療学（千葉）Ⅰ ¹⁾²⁾		2			
	地域医療学（千葉）Ⅱ ¹⁾²⁾ 地域医療学（千葉）Ⅲ ¹⁾²⁾		2 2			
全学共通教養	全学共通選択科目	リベラルアーツセミナー ¹⁾		2		
		リベラルアーツフォーラム ¹⁾		1		

領域名	サブ領域	ユニット	単位数			備考	
			必修	選択	自由		
外国語科目	英語1	英語1	英語総合	4			
	英語2	英語2	基礎医学英語	2			
	英語3	英語3	臨床医学英語 I	2			
	英語4	英語4	臨床医学英語 II	1			
	英語	選択英語コミュニケーション	英会話 ¹⁾		1		1) 選択人文・社会学、選択芸術、選択医学教養、選択短期集中講座、選択地域医療、全学共通選択科目、選択英語コミュニケーション、英語単位認定科目、選択初修外国語、選択自然・環境科学から、1~4年次で合計12単位以上取得
			Listening Skills ¹⁾		1		
	Cross Cultural Communication ¹⁾			1			
	続英会話 ¹⁾			1			
	Writing ¹⁾			1			
	Advanced Writing ¹⁾			1			
TOEFL講座 ¹⁾		1					
USMLEコース ¹⁾		1					
選択英語単位認定科目	海外集中英語コース ¹⁾		1				
	英語検定 ¹⁾		1				
初修外国語	選択初修外国語	フランス語 I ¹⁾		2			
		フランス語 II ¹⁾		1			
		ドイツ語 I ¹⁾		2			
		ドイツ語 II ¹⁾		1			
		中国語 I ¹⁾		2			
		中国語 II ¹⁾		1			
		韓国語 I ¹⁾		2			
		韓国語 II ¹⁾		1			
医用工学1	医用工学1-①	データサイエンス	5				
	医用工学1-②	数理情報学 I 医科物理学 I					
	医用工学1-③	数理情報学 II 医科物理学 II					
医用工学2	医用工学2	基礎放射線	1				
生体物質の科学	生体物質の科学①	生体無機化学	4				
		生体有機化学 I 遺伝生化学 I					
		生体有機化学 II 代謝生化学 I					
生体物質の科学②	代謝生化学 II 遺伝生化学 II						
	生体物質の科学③						
生体の構造1	生体の構造1-①	生体の構造概論 組織学総論	4				
		運動器・末梢神経系 呼吸・循環器系					
	生体の構造1-②	消化器系 内分泌・泌尿生殖器系					
		生体の構造1-③					
生体の構造1実習	生体の構造1実習	生体の構造1実習 I 生体の構造1実習 II 生体の構造1実習 III	2				
		生体の構造2	局所解剖学 感覚器・中枢神経系	2			
			生体の構造2実習	生体の構造2実習 I 生体の構造2実習 II	5		

領域名	サブ領域	ユニット		単位数			備考
				必修	選択	自由	
医学 準備・基礎 医学 統合 科目	生体の機能1	生体の機能1-① 生体の機能1-② 生体の機能1-③	細胞生理 神経筋		4		
			血液・リンパ 呼吸・循環				
			腎・尿路 消化・吸収 内分泌・生殖				
	生体の機能2	生体の機能2	感覚機能 運動機能 高次中枢・自律機能		2		
	病態の科学	病態の科学① 病態の科学②	微生物・感染症学 免疫学		7		
			病態の科学概論 薬理学 病理学				
		病態の科学実習	病態の科学実習Ⅰ 病態の科学実習Ⅱ 病態の科学実習Ⅲ		3		
	統合型基礎医学実習1	基礎準備実習	基礎準備実習		1		
		基礎統合実習1	基礎統合実習1		2		
	統合型基礎医学実習2	基礎統合実習2	基礎統合実習2		1		
自然・環境科学	選択自然・環境科学	選択化学Ⅰ ¹⁾ 選択化学Ⅱ ¹⁾ 選択生物Ⅰ ¹⁾ 選択生物Ⅱ ¹⁾ 選択環境科学Ⅰ ¹⁾ 選択環境科学Ⅱ ¹⁾ 選択物理 ¹⁾ 選択数学Ⅰ ¹⁾ 選択数学Ⅱ ¹⁾			1 1 1 1 1 1 1 1 1		1) 選択人文・社会学、選択芸術、選択医学教養、選択短期集中講座、選択地域医療、全学共通選択科目、選択英語コミュニケーション、英語単位認定科目、選択初修外国語、選択自然・環境科学から、1～4年次で合計12単位以上取得
臨床 医学科 目	臨床医学入門	医学総論	臨床検査・ 生理機能検査演習		3		
			医学総論	内科総論 外科総論			
	臨床医学1	臨床医学1	循環器系		3		
			腎臓・電解質系				
	臨床医学2	臨床医学2	呼吸器系		4		
			膠原病・アレルギー病学				
			感染症学				
臨床医学3	臨床医学3	血液病学		3			
		脳・神経系					
臨床医学4	臨床医学4	消化器系		4			
		代謝・内分泌系					
		臨床栄養学					
臨床医学5	臨床医学5	産科婦人科学		3			
		泌尿器科学					

領域名	サブ領域	ユニット	単位数			備考	
			必修	選択	自由		
臨床医学科目	臨床医学6	眼科学	2				
		耳鼻・咽喉・口腔外科学					
	臨床医学7	臨床医学7	整形外科	2			
			皮膚・形成外科学				
	臨床医学8	臨床医学8	中毒・救急医学	2			
			麻酔・集中治療学				
	臨床医学9	臨床医学9	精神神経医学	2			
			心身医学				
	臨床医学10	臨床医学10	小児科学	3			
	臨床医学11	臨床医学11	放射線医学	2			
			臨床遺伝学				
			移植・再生医療				
	臨床医学12	臨床医学12	腫瘍学	2			
			緩和医療学				
			リハビリテーション医学				
臨床医学13	臨床医学13	総合医療系	2			総合医療系には地域医療必修分を含む	
		医療安全					
臨床医学14	臨床医学14	臨床実習入門	4				
		臨床検査・生理機能検査実習					
		シミュレーション実習					
		EBM					
臨床医学15	臨床医学15	統合型臨床演習	1				
臨床医学16	臨床医学16	統合型臨床医学演習	2				
行動科学1	行動科学1	行動科学1	1				
行動科学2	行動科学2	行動科学2	1				
臨床病理学	臨床病理学	臨床病理学	3				
診断学実習	診断学実習	診断学実習	2				
臨床実習	臨床実習1	診療参加型臨床実習1	12				
	臨床実習2	診療参加型臨床実習2	36				
	臨床実習3	選択診療参加型臨床実習 ³⁾	12			3) 選択必修科目	
社会医学科目	社会医学1	社会医学1-①	4				
		公衆衛生学／医療政策・経営科学 衛生学 疫学・医療統計学					
	社会医学1-②	法医学					
社会医学2	社会医学実習	統合型社会医学実習	1				
社会医学3	社会医学演習	統合型社会医学演習	2				
キャリア教育科目	全人の医療人教育1	レディネス 倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム	4				
		倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム					
		倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム					
全人の医療人教育2	全人の医療人教育2	倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム	3				
全人の医療人教育3	全人の医療人教育3	倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム	2				

領域名	サブ領域	ユニット	単位数			備考	
			必修	選択	自由		
キャリア教育科目	全人的医療人教育4	全人的医療人教育4	倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム	1			
	全人的医療人教育5	全人的医療人教育5	倫理 プロフェッショナリズム	1			
	全人的医療人教育6	全人的医療人教育6	倫理 プロフェッショナリズム	1			
	課題解決学習1	課題解決学習基礎編1	PBLテュートリアルⅠ	1			
	課題解決学習2	課題解決学習基礎編2	PBLテュートリアルⅡ	1			
	課題解決学習3	課題解決学習臨床編	臨床推論	4			
	医学研究	先端医学	医学論文 ⁴⁾	10			4) 6年間で論文作成は必修
		先端医学演習 ⁵⁾				5) 自由選択科目15時間1単位と換算、 ※年間6単位を上限として付与	
		先端医学実習 ⁶⁾				6) 自由選択科目30時間1単位と換算、 ※年間6単位を上限として付与	
合計			202	60	0	卒業所要単位数は、必修202単位、選択12単位以上、計214単位以上とする。	

領域名	サブ領域	ユニット	単位数			備考
			必修	選択	自由	
教養教育科目	人文・社会学	人文・社会学① 心理学Ⅰ 倫理学 社会学	4.5			
		人文・社会学② 心理学Ⅱ 法学				
	人文・社会学	選択人文・社会学	選択人文・社会学Ⅰ ¹⁾		1	1) 選択人文・社会学、選択芸術、選択医学教養、選択短期集中講座、選択英語コミュニケーション、英語単位認定科目、選択初修外国語、選択自然・環境科学から、1～3年次で合計9単位以上取得
			選択人文・社会学Ⅱ ¹⁾		1	
			選択人文・社会学Ⅲ ¹⁾		1	
	選択人文・社会学Ⅳ ¹⁾			1		
	選択芸術	選択芸術Ⅰ ¹⁾		1		
		選択芸術Ⅱ ¹⁾		1		
	医学教養	選択医学教養	医学教養Ⅰ ¹⁾		1	1) 選択人文・社会学、選択芸術、選択医学教養、選択短期集中講座、選択英語コミュニケーション、英語単位認定科目、選択初修外国語、選択自然・環境科学から、1～3年次で合計9単位以上取得
			医学教養Ⅱ ¹⁾		1	
医学教養Ⅲ ¹⁾				1		
医学教養Ⅳ ¹⁾				1		
医学教養Ⅴ ¹⁾				1		
医学教養Ⅵ ¹⁾				1		
医学教養Ⅶ ¹⁾				1		
医学教養Ⅷ ¹⁾				1		
選択短期集中講座		学生テュータ養成講座 ¹⁾		1		
		実用医療英語 ¹⁾		1		
	チーム医療演習 ¹⁾		1			
	データサイエンス実践入門 ¹⁾		2			
選択地域医療	地域医療学Ⅰ ¹⁾		1			
	地域医療学Ⅱ ¹⁾		1			
	地域医療学Ⅲ ¹⁾		1			
	地域医療学(千葉)Ⅰ ¹⁾		2			
	地域医療学(千葉)Ⅱ ¹⁾		2			
	地域医療学(千葉)Ⅲ ¹⁾		2			

領域名	サブ領域	ユニット	単位数			備考	
			必修	選択	自由		
外国語科目	英語1	英語1-①	英語総合	4			
		英語1-②					医学英語入門
	英語2	英語2	基礎医学英語	2			
	英語3	英語3	臨床医学英語 I	2			
	英語4	英語4	臨床医学英語 II	1			
	英語	選択英語コミュニケーション	英会話 ¹⁾		1		
			Listening Skills ¹⁾		1		
	Cross Cultural Communication ¹⁾			1			
	Writing ¹⁾			1			
		選択英語単位認定科目	海外集中英語コース ¹⁾ 英語検定 ¹⁾		1 1		
初修外国語	選択初修外国語	フランス語 I ¹⁾		2			
		フランス語 II ¹⁾		1			
		ドイツ語 I ¹⁾		2			
		ドイツ語 II ¹⁾		1			
		中国語 I ¹⁾		2			
		中国語 II ¹⁾		1			
医学準備・基礎医学統合科目	医用理工学1	医用理工学1-①	数理情報学 I 医科物理学 I	3			
		医用理工学1-②					数理情報学 II 医科物理学 II
		医用理工学1実習	医用理工学1実習 ²⁾				0.5
	医用理工学2	医用理工学2	基礎放射線	1			
	生体物質の科学	生体物質の科学①	生体無機化学	生体有機化学 I 遺伝生化学 I 生体有機化学 II 代謝生化学 I 代謝生化学 II 遺伝生化学 II	4		
			生体有機化学 I				
		生体物質の科学②	生体有機化学 II				
		生体物質の科学③	代謝生化学 I				
		生体物質の科学実習	生体物質の科学実習 ³⁾	1			3) 1、3期で実施されるが評価は3期に行う
	生体の構造1	生体の構造1-①	生体の構造概論	組織学総論 運動器・末梢神経系 呼吸・循環器系 消化器系 内分泌・泌尿生殖器系	4		
			組織学総論				
		生体の構造1-②	運動器・末梢神経系				
		生体の構造1-③	呼吸・循環器系				
	生体の構造1実習	生体の構造1実習 I ²⁾	生体の構造1実習 II 生体の構造1実習 III 生体の構造1実習 IV	2.5		2) 医用理工学1実習と合わせて実施	
生体の構造1実習 II							
生体の構造1実習 III							
生体の構造1実習 IV							
生体の構造2	生体の構造2	局所解剖学	感覚器・中枢神経系	2			
		生体の構造2実習 I					
	生体の構造2実習	生体の構造2実習 I	生体の構造2実習 II	3.5			
		生体の構造2実習 II					

領域名	サブ領域	ユニット	単位数			備考	
			必修	選択	自由		
医学 準備 ・ 基礎 医学 統合 科目	生体の機能1	生体の機能1-①	4				
		生体の機能1-②					
		生体の機能1-③					
		生体の機能1実習					1
	生体の機能2	生体の機能2	2				
	病態の科学	病態の科学①	7			4) 1～2期で実施されるが評価は2期に行う	
		病態の科学②					
		病態の科学実習	3.5			5) 2～3期で実施されるが評価は3期に行う	
	自然・環境科学	選択自然・環境科学	選択化学Ⅰ ¹⁾		1		1) 選択人文・社会学、選択芸術、選択医学教養、選択短期集中講座、選択英語コミュニケーション、英語単位認定科目、選択初修外国語、選択自然・環境科学から、1～3年次で合計9単位以上取得
			選択化学Ⅱ ¹⁾		1		
選択生物Ⅰ ¹⁾				1			
選択生物Ⅱ ¹⁾				1			
選択環境科学Ⅰ ¹⁾				1			
選択環境科学Ⅱ ¹⁾				1			
選択物理 ¹⁾				1			
選択数学Ⅰ ¹⁾				1			
選択数学Ⅱ ¹⁾		1					
臨床医学科目	臨床医学入門	臨床検査・ 生理機能検査演習	1				
		医学総論	内科総論 外科総論	2			
	臨床医学1	臨床医学1	循環器系	内科 外科	6		
			呼吸器系	内科 外科 乳腺・胸壁			
			腎臓・電解質系				
			感染症学				

領域名	サブ領域	ユニット	単位数			備考						
			必修	選択	自由							
臨床医学目	臨床医学2	臨床医学2-①	消化器系	内科(消化管) 内科(肝胆膵) 外科・腹壁	8							
			脳・神経系	内科 外科								
	臨床医学2-②	血液病学 腫瘍学	内分泌 糖尿病 甲状腺外科									
		膠原病・アレルギー病学										
		代謝・内分泌系										
	臨床医学3(小児・生殖・泌尿)	臨床医学3-①	小児科学	小児科 新生児科 外科					6			
		臨床医学3-②	臨床遺伝学	産科 婦人科								
産科婦人科学												
臨床医学4(骨・運動・感覚器)	臨床医学4	泌尿器科学	小児科 新生児科 外科	6								
		眼科学										
		耳鼻・咽喉・口腔外科学						耳鼻科 口腔外科				
		皮膚・形成外科学						皮膚科 形成外科				
臨床医学5(放射線・全身管理)	臨床医学5	整形外科学	診断 治療	3								
		放射線医学										
		中毒・救急医学										
臨床医学6(精神領域)	臨床医学6	麻酔・集中治療学	麻酔科 集中治療	2								
		行動科学										
		心身医学										
臨床医学7(総合医学)	臨床医学7	精神神経医学	高齢者医療 地域・僻地医療 総合・家庭診療 東洋医学	4								
		総合医療系										
		医療安全										
		リハビリテーション医学										
		臨床栄養学										
		移植・再生医療										

領域名	サブ領域	ユニット	単位数			備考	
			必修	選択	自由		
臨床 医 学 科 目	臨床医学8(臨床実践技能)	臨床医学8	臨床実習入門 臨床検査・生理機能検査実習 シミュレーション実習	3			
	臨床医学9(統合型臨床講義)	臨床医学9	統合型臨床講義	3			
	臨床医学10(統合型臨床医学演習)	臨床医学10	統合型臨床医学演習	2			
	臨床病理学1	臨床病理学1	臨床病理学Ⅰ	1			
	臨床病理学2	臨床病理学2	臨床病理学Ⅱ	2			
	診断学実習	診断学実習	診断学実習	2			
	臨床実習	臨床実習1	臨床実習1	基本臨床実習	21		
臨床実習2			必修診療参加型臨床実習	40			
臨床実習3			選択診療参加型臨床実習6)	8		6) 選択必修科目	
社会 医 学 科 目	社会医学1	社会医学1-①	公衆衛生学／医療政策・経営科学 衛生学 疫学・医療統計学	4			
		社会医学1-②	法医学				
	社会医学2	社会医学実習	統合型社会医学実習	1			
	社会医学3	社会医学演習	統合型社会医学演習	3			
キ ャ リ ア 教 育 科 目	全人の医療人教育1	全人の医療人教育1	レディネス 倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム	4.5			
	全人の医療人教育2	全人の医療人教育2	倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム	3			
	全人の医療人教育3	全人の医療人教育3	倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム	1.5			
	全人の医療人教育4	全人の医療人教育4	倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム	2			
	全人の医療人教育5	全人の医療人教育5	倫理 プロフェッショナリズム	1			
	全人の医療人教育6	全人の医療人教育6	倫理 プロフェッショナリズム	1			
	課題解決学習1	課題解決学習基礎編1	PBLテュートリアルⅠ	1			
	課題解決学習2	課題解決学習基礎編2	PBLテュートリアルⅡ	1			
	課題解決学習3	課題解決学習臨床編	臨床推論	4.5			
	医学研究	先端医学	医学論文 ⁹⁾		10		9) 6年間で論文作成は必修
先端医学演習 ¹⁰⁾						10) 自由選択科目15時間1単位と換算、 ※年間6単位を上限として付与	
先端医学実習 ¹¹⁾						11) 自由選択科目30時間1単位と換算、 ※年間6単位を上限として付与	
合計				208	52	0	卒業所要単位数は、必修208単位、選択9 単位以上、計217単位以上とする。

領域名	サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備考	
			講義	演習	実習	講義	演習	実習		
教 養 教 育 科 目	人文・社会学	人文・社会学①	心理学Ⅰ	4.5						
			倫理学							
		社会学								
		心理学Ⅱ								
		法学								
	選択人文・社会学	選択人文・社会学Ⅰ ¹⁾				1			1) 選択人文・社会学、選択芸術、選択医学教養、選択短期集中講座、選択英語コミュニケーション、英語単位認定科目、選択初修外国語、選択自然・環境科学から、1～3年次で合計9単位以上取得	
		選択人文・社会学Ⅱ ¹⁾				1				
		選択人文・社会学Ⅲ ¹⁾				1				
	選択芸術	選択人文・社会学Ⅳ ¹⁾				1				
		選択芸術Ⅰ ¹⁾				1				
	医学教養	選択医学教養	選択芸術Ⅱ ¹⁾				1			
			医学教養Ⅰ ¹⁾				1			
			医学教養Ⅱ ¹⁾					1		
			医学教養Ⅲ ¹⁾							1
医学教養Ⅳ ¹⁾								1		
医学教養Ⅴ ¹⁾								1		
医学教養Ⅵ ¹⁾						1				
医学教養Ⅶ ¹⁾					1					
選択短期集中講座		医学教養Ⅷ ¹⁾					1			
		学生テュータ養成講座 ¹⁾				1				
	実用医療英語 ¹⁾					1				
選択地域医療	チーム医療演習 ¹⁾						1			
	データサイエンス実践入門 ¹⁾						2			
	地域医療学Ⅰ ¹⁾						1			
外 国 語 科 目	英語1	地域医療学Ⅱ ¹⁾						1		
		地域医療学Ⅲ ¹⁾						1		
	英語1	英語1-①	英語総合	4						
		英語1-②	医学英語入門							
	英語2	英語2	基礎医学英語	2						
	英語3	英語3	臨床医学英語Ⅰ	2						
	英語4	英語4	臨床医学英語Ⅱ	1						
	英語	選択英語コミュニケーション	英会話 ¹⁾				1			
			Listening Skills ¹⁾				1			
	Cross Cultural Communication ¹⁾					1				
	Writing ¹⁾					1				
	初修外国語	選択初修外国語	海外集中英語コース ¹⁾				1		1) 選択人文・社会学、選択芸術、選択医学教養、選択短期集中講座、選択英語コミュニケーション、英語単位認定科目、選択初修外国語、選択自然・環境科学から、1～3年次で合計9単位以上取得	
			英語検定 ¹⁾				1			
	フランス語Ⅰ ¹⁾	フランス語Ⅱ ¹⁾	フランス語Ⅰ ¹⁾				2			
フランス語Ⅱ ¹⁾						1				
ドイツ語Ⅰ ¹⁾						2				
ドイツ語Ⅱ ¹⁾						1				
中国語Ⅰ ¹⁾						2				
中国語Ⅱ ¹⁾						1				

領域名	サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備考		
			講義	演習	実習	講義	演習	実習			
医学 準備・基礎 医学 統合科目	医用理工学1	医用理工学1-①	3								
		医用理工学1-②									
		医用理工学1実習	医用理工学1実習 ²⁾			0.5				²⁾ 生体の構造1実習 I と合わせて実施	
	医用理工学2	医用理工学2	基礎放射線	1							
	生体物質の科学	生体物質の科学①	生体無機化学	4							
			生体有機化学 I 遺伝生化学 I								
		生体物質の科学②	生体有機化学 II 代謝生化学 I								
			生体物質の科学③								代謝生化学 II 遺伝生化学 II
	生体物質の科学実習	生体物質の科学実習 ³⁾			1			³⁾ 1、3期で実施されるが評価は3期に行う			
	生体の構造1	生体の構造1-①	生体の構造概論 組織学総論	4							
			生体の構造1-②								運動器・末梢神経系 呼吸・循環器系
			生体の構造1-③								消化器系 内分泌・泌尿生殖器系
生体の構造1実習		生体の構造1実習 I ²⁾ 生体の構造1実習 II 生体の構造1実習 III 生体の構造1実習 IV									
生体の構造2	生体の構造2	局所解剖学 感覚器・中枢神経系	2								
	生体の構造2実習	生体の構造2実習 I 生体の構造2実習 II			3.5						

領域名	サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備考	
			講義	演習	実習	講義	演習	実習		
医学 準備 ・ 基礎 医学 統 合 科 目	生体の機能1	生体の機能1-①	4							
		生体の機能1-②								
		生体の機能1-③								
		生体の機能1実習			1					
	生体の機能2	生体の機能2	2							
	病態の科学	病態の科学①	7							4) 1～2期で実施されるが評価は2期に行う
		病態の科学②								
		病態の科学実習			3.5				5) 2～3期で実施されるが評価は3期に行う	
	自然・環境科学	選択自然・環境科学	選択化学Ⅰ ¹⁾				1	1		1) 選択人文・社会学、選択芸術、選択医学教養、選択短期集中講座、選択英語コミュニケーション、英語単位認定科目、選択初修外国語、選択自然・環境科学から、1～3年次で合計9単位以上取得
			選択化学Ⅱ ¹⁾							
選択生物Ⅰ ¹⁾										
選択生物Ⅱ ¹⁾										
選択環境科学Ⅰ ¹⁾										
選択環境科学Ⅱ ¹⁾										
選択物理 ¹⁾										
選択数学Ⅰ ¹⁾										
選択数学Ⅱ ¹⁾										
臨床医学入門	医学総論	臨床検査・ 生理機能検査演習		1						
		医学総論 内科総論 外科総論		2						
	臨床医学1	臨床医学1	循環器系 内科 外科	6						
			呼吸器系 内科 外科 乳腺・胸壁							
腎臓・電解質系										
		感染症学								

領域名	サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備考							
			講義	演習	実習	講義	演習	実習								
臨床医学目	臨床医学2	臨床医学2-①	消化器系	内科(消化管) 内科(肝胆膵) 外科・腹壁	8											
			脳・神経系	内科 外科												
	臨床医学2-②	血液病学 腫瘍学	内分泌 糖尿病 甲状腺外科													
		膠原病・アレルギー病学														
		代謝・内分泌系														
	臨床医学3 (小児・生殖・泌尿)	臨床医学3-①	小児科学	小児科 新生児科 外科							6					
		臨床医学3-②	臨床遺伝学													
産科 婦人科学			産科 婦人科													
		泌尿器科学														
臨床医学4 (骨・運動・感覚器)	臨床医学4	眼科学		4												
		耳鼻・咽喉・ 口腔外科学	耳鼻科 口腔外科													
		皮膚・ 形成外科学	皮膚科 形成外科													
		整形外科科学														
臨床医学5 (放射線・全身管理)	臨床医学5	放射線 医学	診断 治療	3												
		中毒・救急医学														
		麻酔・集中 治療学	麻酔科 集中治療													
臨床医学6 (精神領域)	臨床医学6	行動科学		2												
		心身医学														
		精神神経医学														
臨床医学7 (総合医学)	臨床医学7	総合医療系	高齢者医療 地域・僻地医療 総合・家庭診療 東洋医学	4												
			医療安全													
			リハビリテーション医学													
			臨床栄養学													
		移植・再生医療														

領域名	サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備考	
			講義	演習	実習	講義	演習	実習		
臨床医学科目	臨床医学8 (臨床実践技能)	臨床医学8	臨床実習入門			3				
			臨床検査・ 生理機能検査実習							
			シミュレーション実習							
	臨床医学9 (統合型臨床講義)	臨床医学9	統合型臨床講義	3						
	臨床医学10 (統合型臨床医学演習)	臨床医学10	統合型臨床医学演習		2					
	臨床病理学1	臨床病理学1	臨床病理学Ⅰ		1					
	臨床病理学2	臨床病理学2	臨床病理学Ⅱ		2					
診断学実習	診断学実習	診断学実習			2					
臨床実習	臨床実習1	臨床実習1			21					
		臨床実習2	必修診療参加型臨床実習			40				
		臨床実習3	選択診療参加型臨床実習 ⁶⁾			8				⁶⁾ 選択必修科目
社会医学科目	社会医学1	社会医学1-①	公衆衛生学/ 医療政策・経営科学 衛生学 疫学・医療統計学	4						
			社会医学1-②							法医学
	社会医学2	社会医学実習	統合型社会医学実習			1				
	社会医学3	社会医学演習	統合型社会医学演習		3					

領域名	サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備考
			講義	演習	実習	講義	演習	実習	
キャリア教育科目	全人的医療人教育1	全人的医療人教育1	レディネス 倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム		4.5				
	全人的医療人教育2	全人的医療人教育2	倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム		3				
	全人的医療人教育3	全人的医療人教育3	倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム		1.5				
	全人的医療人教育4	全人的医療人教育4	倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム		2				
	全人的医療人教育5	全人的医療人教育5	倫理 プロフェッショナリズム		1				
	全人的医療人教育6	全人的医療人教育6	倫理 プロフェッショナリズム		1				
	課題解決学習1	課題解決学習基礎編1	PBLテュートリアルI		1				
	課題解決学習2	課題解決学習基礎編2	PBLテュートリアルII		1				
	課題解決学習3	課題解決学習臨床編	臨床推論		4.5				
	医学研究	先端医学	医学論文 ⁹⁾		10				
先端医学演習 ¹⁰⁾							※		¹⁰⁾ 自由選択科目15時間1単位と換算、※年間6単位を上限として付与
先端医学実習 ¹¹⁾								※	¹¹⁾ 自由選択科目30時間1単位と換算、※年間6単位を上限として付与
小計			80.5	40.5	87	34	12	0	
合計			208			46			
卒業時必要総単位数			217						

領域名	サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備考	
			講義	演習	実習	講義	演習	実習		
教養教育科目	人文・社会学	人文・社会学①	心理学Ⅰ	4.5						
			倫理学							
		社会学								
		人文・社会学②	心理学Ⅱ							
			法学							
	選択人文・社会学	選択人文・社会学Ⅰ ¹⁾				1				
		選択人文・社会学Ⅱ ¹⁾				1				
	選択芸術	選択人文・社会学Ⅲ ¹⁾				1				
		選択人文・社会学Ⅳ ¹⁾				1				
	医学教養	選択医学教養	選択芸術Ⅰ ¹⁾				1			
選択芸術Ⅱ ¹⁾						1				
医学教養Ⅰ ¹⁾						1				
医学教養Ⅱ ¹⁾						1				
医学教養Ⅲ ¹⁾							1			
医学教養Ⅳ ¹⁾							1			
医学教養Ⅴ ¹⁾							1			
医学教養Ⅵ ¹⁾					1					
選択短期集中講座	医学教養Ⅶ ¹⁾				1					
	医学教養Ⅷ ¹⁾				1					
	医学教養Ⅷ ¹⁾					1				
		学生テュータ養成講座 ¹⁾				1				
		実用医療英語 ¹⁾					1			
		チーム医療演習 ¹⁾					1			
外国語科目	英語1	英語1-①	英語総合	4						
		英語1-②	医学英語入門							
	英語2	英語2	基礎医学英語	2						
	英語3	英語3	臨床医学英語Ⅰ	2						
	英語4	英語4	臨床医学英語Ⅱ	1						
	英語	選択英語コミュニケーション	英会話 ¹⁾				1			
			Listening Skills ¹⁾				1			
	Cross Cultural Communication ¹⁾					1				
	Writing ¹⁾					1				
		選択英語単位認定科目	海外集中英語コース ¹⁾				1			
		英語検定 ¹⁾				1				
初修外国語	選択初修外国語	フランス語Ⅰ ¹⁾				2				
		フランス語Ⅱ ¹⁾				1				
		ドイツ語Ⅰ ¹⁾				2				
		ドイツ語Ⅱ ¹⁾				1				
		中国語Ⅰ ¹⁾				2				
		中国語Ⅱ ¹⁾				1				

領域名	サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備考	
			講義	演習	実習	講義	演習	実習		
医学 準備・基礎 医学 統合科目	医用理工学1	医用理工学1-①	3							
		医用理工学1-②								
		医用理工学1実習	医用理工学1実習 ²⁾			0.5			²⁾ 生体の構造1実習 I と合わせて実施	
	医用理工学2	医用理工学2	基礎放射線	1						
	生体物質の科学	生体物質の科学①	生体無機化学	4						
			生体有機化学 I 遺伝生化学 I							
		生体物質の科学②	生体有機化学 II 代謝生化学 I							
			生体物質の科学③		代謝生化学 II 遺伝生化学 II					
	生体物質の科学実習	生体物質の科学実習 ³⁾			1			³⁾ 1、3期で実施されるが評価は3期に行う		
	生体の構造1	生体の構造1-①	生体の構造概論 組織学総論	4						
			生体の構造1-②		運動器・末梢神経系 呼吸・循環器系					
			生体の構造1-③		消化器系 内分泌・泌尿生殖器系					
		生体の構造1実習	生体の構造1実習 I ²⁾ 生体の構造1実習 II 生体の構造1実習 III 生体の構造1実習 IV				2.5			²⁾ 医用理工学1実習と合わせて実施
	生体の構造2	生体の構造2	局所解剖学 感覚器・中枢神経系	2						
生体の構造2実習		生体の構造2実習 I 生体の構造2実習 II			3.5					

領域名	サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備考	
			講義	演習	実習	講義	演習	実習		
医学 準備 ・ 基礎 医学 統 合 科 目	生体の機能1	生体の機能1-①	4							
		生体の機能1-②								
		生体の機能1-③								
		生体の機能1実習			1					
	生体の機能2	生体の機能2	2							
	病態の科学	病態の科学①	7							4) 1～2期で実施されるが評価は2期に行う
		病態の科学②								
		病態の科学実習			3.5				5) 2～3期で実施されるが評価は3期に行う	
	自然・環境科学	選択自然・環境科学	選択化学Ⅰ ¹⁾				1			1) 選択人文・社会学、選択芸術、選択医学教養、選択短期集中講座、選択英語コミュニケーション、英語単位認定科目、選択初修外国語、選択自然・環境科学から、1～3年次で合計9単位以上取得
			選択化学Ⅱ ¹⁾					1		
選択生物Ⅰ ¹⁾							1			
選択生物Ⅱ ¹⁾							1			
選択環境科学Ⅰ ¹⁾							1			
選択環境科学Ⅱ ¹⁾							1			
選択物理 ¹⁾							1			
選択数学Ⅰ ¹⁾							1			
選択数学Ⅱ ¹⁾					1					
臨床医学科目	臨床医学入門	医学総論			1					
		臨床検査・ 生理機能検査演習								
	臨床医学1	医学総論	内科総論 外科総論			2				
		臨床医学1	循環器系	内科 外科	6					
呼吸器系			内科 外科 乳腺・胸壁							
腎臓・電解質系										
		感染症学								

領域名	サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備考							
			講義	演習	実習	講義	演習	実習								
臨床医学目	臨床医学2	臨床医学2-①	消化器系	内科(消化管) 内科(肝胆膵) 外科・腹壁	8											
			脳・神経系	内科 外科												
	臨床医学2-②	血液病学 腫瘍学	内分泌 糖尿病 甲状腺外科													
		膠原病・アレルギー病学														
		代謝・内分泌系														
	臨床医学3 (小児・生殖・泌尿)	臨床医学3-①	小児科学	小児科 新生児科 外科							6					
		臨床医学3-②	臨床遺伝学													
産科 婦人科学			産科 婦人科													
臨床医学4 (骨・運動・感覚器)	臨床医学4	眼科学		4												
		耳鼻・咽喉・ 口腔外科学	耳鼻科 口腔外科													
		皮膚・ 形成外科学	皮膚科 形成外科													
臨床医学5 (放射線・全身管理)	臨床医学5	放射線 医学	診断 治療	3												
		中毒・救急医学														
		麻酔・集中 治療学	麻酔科 集中治療													
臨床医学6 (精神領域)	臨床医学6	行動科学		2												
		心身医学														
		精神神経医学														
臨床医学7 (総合医学)	臨床医学7	総合医療系	高齢者医療 地域・僻地医療 総合・家庭診療 東洋医学	4												
			医療安全													
		リハビリテーション医学														
		臨床栄養学														
		移植・再生医療														

領域名	サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備考
			講義	演習	実習	講義	演習	実習	
臨床医学科目	臨床医学8 (臨床実践技能)	臨床医学8	臨床実習入門			3			
			臨床検査・ 生理機能検査実習						
			シミュレーション実習						
	臨床医学9 (統合型臨床講義)	臨床医学9	統合型臨床講義	3					
	臨床医学10 (統合型臨床医学演習)	臨床医学10	統合型臨床医学演習		2				
	臨床病理学1	臨床病理学1	臨床病理学Ⅰ		1				
	臨床病理学2	臨床病理学2	臨床病理学Ⅱ		2				
	診断学実習	診断学実習	診断学実習			2			
	臨床実習	臨床実習1	基本臨床実習			21			
		臨床実習2	必修診療参加型臨床実習			40			
Clinical Skills Assessment Course (CSA) ⁶⁾							1	⁶⁾ 自由選択科目、選択すると1単位付与	
臨床実習3	選択診療参加型臨床実習 ^{7), 8)}			8			⁷⁾ 選択必修科目、 ⁸⁾ 海外ECCを希望する場合はCSAの受講が必須		
社会医学科目	社会医学1	社会医学1-①	公衆衛生学/ 医療政策・経営科学 衛生学 疫学・医療統計学	4					
		社会医学1-②	法医学						
	社会医学2	社会医学実習	統合型社会医学実習			1			
	社会医学3	社会医学演習	統合型社会医学演習		3				

領域名	サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備考
			講義	演習	実習	講義	演習	実習	
キャリア教育科目	全人的医療人教育1	全人的医療人教育1	レディネス 倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム		4.5				
	全人的医療人教育2	全人的医療人教育2	倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム		3				
	全人的医療人教育3	全人的医療人教育3	倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム		1.5				
	全人的医療人教育4	全人的医療人教育4	倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム		2				
	全人的医療人教育5	全人的医療人教育5	倫理 プロフェッショナリズム		1				
	全人的医療人教育6	全人的医療人教育6	倫理 プロフェッショナリズム		1				
	課題解決学習1	課題解決学習基礎編1	PBLテュートリアルI		1				
	課題解決学習2	課題解決学習基礎編2	PBLテュートリアルII		1				
	課題解決学習3	課題解決学習臨床編	臨床推論		4.5				
	医学研究	先端医学	医学論文 ⁹⁾		10				
先端医学演習 ¹⁰⁾							※		¹⁰⁾ 自由選択科目15時間1単位と換算、※年間6単位を上限として付与
先端医学実習 ¹¹⁾								※	¹¹⁾ 自由選択科目30時間1単位と換算、※年間6単位を上限として付与
小計			80.5	40.5	87	34	8	0	
合計			208			42			
卒業時必要総単位数			217						

平成28年度から平成30年度の入学者に適用

領域名	サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備考		
			講義	演習	実習	講義	演習	実習			
教養教育科目	人文・社会学	人文・社会学①	心理学Ⅰ 倫理学 社会学	4.5							
		人文・社会学②								心理学Ⅱ 法学	
		選択人文・社会学	選択人文・社会学Ⅰ ¹⁾ 選択人文・社会学Ⅱ ¹⁾ 選択人文・社会学Ⅲ ¹⁾ 選択人文・社会学Ⅳ ¹⁾							1 1 1 1	
			選択芸術							選択芸術Ⅰ ¹⁾ 選択芸術Ⅱ ¹⁾	1 1
	医学教養	選択医学教養	医学教養Ⅰ ¹⁾ 医学教養Ⅱ ¹⁾ 医学教養Ⅲ ¹⁾ 医学教養Ⅳ ¹⁾ 医学教養Ⅴ ¹⁾ 医学教養Ⅵ ¹⁾ 医学教養Ⅶ ¹⁾ 医学教養Ⅷ ¹⁾	1 1 1 1 1 1 1 1							
			選択短期集中講座	学生テュータ養成講座 ¹⁾ 実用医療英語 ¹⁾ チーム医療演習 ¹⁾	1 1 1						
			1) 選択人文・社会学、選択芸術、選択医学教養、選択短期集中講座、選択英語コミュニケーション、英語単位認定科目、選択初修外国語、選択自然・環境科学から、1～3年次で合計9単位以上取得								
			英語1	英語1-① 英語1-②	英語総合 医学英語入門	4					
			英語2	英語2	基礎医学英語	2					
			英語3	英語3	臨床医学英語Ⅰ	2					
英語4	英語4	臨床医学英語Ⅱ	1								
外国語科目	英語	英会話 ¹⁾ Listening Skills ¹⁾ Cross Cultural Communication ¹⁾ Writing ¹⁾	1 1 1 1					1) 選択人文・社会学、選択芸術、選択医学教養、選択短期集中講座、選択英語コミュニケーション、英語単位認定科目、選択初修外国語、選択自然・環境科学から、1～3年次で合計9単位以上取得			
		選択英語単位認定科目	海外集中英語コース ¹⁾ 英語検定 ¹⁾	1 1							
	初修外国語	選択初修外国語	フランス語Ⅰ ¹⁾ フランス語Ⅱ ¹⁾ ドイツ語Ⅰ ¹⁾ ドイツ語Ⅱ ¹⁾ 中国語Ⅰ ¹⁾ 中国語Ⅱ ¹⁾	2 1 2 1 2 1							
基礎医学統合科目 医学準備科目	医用工学1	医用工学1-①	数情報学Ⅰ 医科物理学Ⅰ	3							
		医用工学1-②	数情報学Ⅱ 医科物理学Ⅱ								
		医用工学1実習	医用工学1実習 ²⁾	0.5				2) 生体の構造1実習Ⅰと合わせて実施			

領域名	サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備考
			講義	演習	実習	講義	演習	実習	
医学 準備 ・ 基礎 医学 統 合 科 目	医用理工学2	医用理工学2	基礎放射線	1					
	生体物質の科学	生体物質の科学①	生体無機化学	4					
			生体有機化学Ⅰ 遺伝生化学Ⅰ						
		生体物質の科学②	生体有機化学Ⅱ 代謝生化学Ⅰ						
			生体物質の科学③						
	生体物質の科学実習	生体物質の科学実習 ³⁾			1				³⁾ 1、3期で実施されるが評価は3期に行う
	生体の構造1	生体の構造1-①	生体の構造概論 組織学総論	4					
			生体の構造1-②						
		生体の構造1-③	消化器系 内分泌・泌尿生殖器系						
			生体の構造1実習						
	生体の構造2	生体の構造2	局所解剖学 感覚器・中枢神経系	2					
		生体の構造2実習	生体の構造2実習Ⅰ 生体の構造2実習Ⅱ			3.5			
	生体の機能1	生体の機能1-①	細胞生理 神経筋	4					
			生体の機能1-②						
		生体の機能1-③	腎・尿路 消化・吸収 内分泌・生殖						
			生体の機能1実習						
	生体の機能2	生体の機能2	感覚機能 運動機能 高次中枢・自律機能	2					
病態の科学	病態の科学①	微生物・感染症学 免疫学	7						
		病態の科学②							病態の科学概論 ⁴⁾ 薬理学 病理学
	病態の科学実習								病態の科学実習Ⅰ 病態の科学実習Ⅱ 病態の科学実習Ⅲ ⁵⁾

領域名	サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備考	
			講義	演習	実習	講義	演習	実習		
医学準備・基礎医学統合科目	自然・環境科学	選択自然・環境科学	選択化学Ⅰ ¹⁾					1		1) 選択人文・社会学、選択芸術、選択医学教養、選択短期集中講座、選択英語コミュニケーション、英語単位認定科目、選択初修外国語、選択自然・環境科学から、1～3年次で合計9単位以上取得
			選択化学Ⅱ ¹⁾						1	
			選択生物Ⅰ ¹⁾						1	
			選択生物Ⅱ ¹⁾						1	
			選択環境科学Ⅰ ¹⁾						1	
			選択環境科学Ⅱ ¹⁾						1	
			選択物理 ¹⁾						1	
			選択数学Ⅰ ¹⁾						1	
選択数学Ⅱ ¹⁾						1				
臨床医学科目	臨床医学入門	医学総論	臨床検査・生理機能検査演習			1				
			医学総論	内科総論 外科総論	2					
	臨床医学1	臨床医学1	循環器系	内科 外科	6					
			呼吸器系	内科 外科 乳腺・胸壁						
			腎臓・電解質系							
			感染症学							
	臨床医学2	臨床医学2-①	消化器系	内科(消化管) 内科(肝胆臓) 外科・腹壁	8					
			脳・神経系	内科 外科						
		臨床医学2-②	血液病学 腫瘍学							
			膠原病・アレルギー病学							
	臨床医学3 (小児・生殖・泌尿)	臨床医学3-①	小児科学	小児科 新生児科 外科	6					
			臨床医学3-②	臨床遺伝学						
		産科婦人科学		産科 婦人科						
泌尿器科学										
臨床医学4 (骨・運動・感覚器)	臨床医学4	眼科学		4						
		耳鼻・咽喉・口腔外科学	耳鼻科 口腔外科							
		皮膚・形成外科学	皮膚科 形成外科							
		整形外科学								

領域名	サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備考
			講義	演習	実習	講義	演習	実習	
臨床 医 学 科 目	臨床医学5 (放射線・全身管理)	臨床医学5	放射線医学	診断 治療	3				
			中毒・救急医学						
			麻酔・集中治療学	麻酔科 集中治療					
	臨床医学6 (精神領域)	臨床医学6	行動科学	2					
			心身医学						
			精神神経医学						
	臨床医学7 (総合医学)	臨床医学7	総合医療系	高齢者医療 地域・僻地医療 総合・家庭診療 東洋医学	4				
			医療安全						
			リハビリテーション医学						
			臨床栄養学						
			移植・再生医療						
	臨床医学8 (臨床実践技能)	臨床医学8	臨床実習入門	3					
			臨床検査・ 生理機能検査実習						
シミュレーション実習									
臨床医学9 (統合型臨床講義)	臨床医学9	統合型臨床講義	3						
臨床医学10 (統合型臨床医学演習)	臨床医学10	統合型臨床医学演習		2					
臨床病理学1	臨床病理学1	臨床病理学Ⅰ		1					
臨床病理学2	臨床病理学2	臨床病理学Ⅱ		2					
診断学実習	診断学実習	診断学実習			2				
臨床実習	臨床実習1	基本臨床実習			21				
	臨床実習2	必修診療参加型臨床実習			40				
		Clinical Skills Assessment Course (CSA) ⁶⁾					1	⁶⁾ 自由選択科目、選択すると1単位付与	
	臨床実習3	選択診療参加型臨床実習 ^{7), 8)}			8			⁷⁾ 選択必修科目、 ⁸⁾ 海外ECCを希望する場合はCSAの受講が必須	
社会 医 学 科 目	社会医学1	社会医学1-①	公衆衛生学／ 医療政策・経営科学 衛生学 疫学・医療統計学	4					
		社会医学1-②	法医学						
	社会医学2	社会医学実習	統合型社会医学実習			1			
	社会医学3	社会医学演習	統合型社会医学演習		3				

領域名	サブ領域	ユニット	必修単位			選択単位			備考
			講義	演習	実習	講義	演習	実習	
キャリア教育科目	全人的医療人教育1	全人的医療人教育1	レディネス 倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム		4.5				
	全人的医療人教育2	全人的医療人教育2	倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム		3				
	全人的医療人教育3	全人的医療人教育3	倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム		1.5				
	全人的医療人教育4	全人的医療人教育4	倫理 コミュニケーション プロフェッショナリズム		2				
	全人的医療人教育5	全人的医療人教育5	倫理 プロフェッショナリズム		1				
	全人的医療人教育6	全人的医療人教育6	倫理 プロフェッショナリズム		1				
	課題解決学習1	課題解決学習基礎編1	PBLテュートリアルI		1				
	課題解決学習2	課題解決学習基礎編2	PBLテュートリアルII		1				
	課題解決学習3	課題解決学習臨床編	臨床推論		4.5				
	医学研究	先端医学	医学論文 ⁹⁾		10				⁹⁾ 6年間で論文作成は必修
先端医学演習 ¹⁰⁾						※		¹⁰⁾ 自由選択科目15時間1単位と換算、※年間6単位を上限として付与	
先端医学実習 ¹¹⁾							※	¹¹⁾ 自由選択科目30時間1単位と換算、※年間6単位を上限として付与	
小 計			82.5	38.5	87	34	8		
合 計			208			42			
卒業時必要総単位数			217						

	授 業 科 目	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
(1) 医学 教育 準備 科目	健康心理学	28						
	英語総合・英語総合基礎	56						
	基礎物理学	21						2科目から1科目選択必修
	基礎生物学	21						
	基礎化学	14						
	生体無機化学	14						
	生体有機化学	14						
	化学実習	30						
	物理学	21						
	物理学実習	30						
	人体生物学	21						
	細胞生物学	21						
	細胞生物学実習	30						
	医学情報学	28						
	数学	14						
	運動科学	14						
	PBLテュートリアル I	19						
(2) 基礎 医学 科目	組織学総論	30						
	細胞生理学	12						
	血液・リンパ系	10						
	内分泌系		18					
	呼吸・循環器系		24					
	消化器系		13					
	腎・泌尿生殖器系		14					
	運動器（骨格）系	20						
	末梢神経・筋系		17					
	中枢神経構造・感覚器系		17					
	中枢神経機能系		24					
	マクロ形態実習		102					
	ミクロ形態実習		45					
	生理機能(生理)実習		39					
	人体発生学		19					
	生化学基礎編	60						
	生化学応用編		28					
	医動物学		10					
	微生物学		80					
	免疫学		40					
	薬理学総論		38					
	薬理学各論					※16		
病理学総論		58						
病理学各論 I				※51				
病理学各論 II					※24			
放射線医学（基礎編）		24						

	授 業 科 目	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
(2) 基礎 医学 科目	東洋医学（基礎編）		8					
	基礎医学英語		22					
	検査医学演習（基礎編）		34					
	先端医科学演習		44					
	PBLテュートリアルⅡ		30					
(3) 臨床 医学 科目	臨床医学入門*†			46				
	臨床医学英語Ⅰ			28				
	臨床医学英語Ⅱ				16			
	臨床推論演習			22				
	外科学総論*			7				
	臨床遺伝学			9				
	呼吸器・乳腺*†			63				
	循環器系*†			81				
	腎臓学・電解質*			43				
	脳・神経系*†			63				
	代謝・内分泌学*†			48				
	消化器系*			72				
	膠原病・アレルギー学†			29				
	感染症学*			15				
	血液学			21				
	腫瘍学			14				
	加齢・高齢医学			9				
	眼科学			18				
	耳鼻咽喉科学			18				
	皮膚科学			18				
	産科婦人科学*					70		
	小児科学*†					69		
	整形外科学†					47		
	精神科学†					40		
	心身医学*					20		
	行動科学					18		
	形成外科学					6		
	泌尿器科学					26		
	救急医学					15		
	麻酔科学					18		
	輸血学					10		
	放射線医学（臨床編）					18		
	東洋医学（臨床編）					8		
	検査医学演習（臨床編）					14		
	栄養学				※14	※4		
リハビリテーション医学 （*含栄養学） （†含リハビリテーション医学）				※8	※5			
診断学実習					49			

	授 業 科 目	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
(3) 臨床 医学 科目	症候・病態学演習 PBLテュートリアルⅢ PBLテュートリアルⅣ 総合臨床講義 臨床実習入門 臨床実習 集中臨床講義 選択制臨床実習			※63	12 ※63	36 20 990	42 240	
(4) 社会 医学 科目	E B M入門 衛生学 公衆衛生学 法医学 統合型社会医学実習 (衛生学、公衆衛生学、法医学)				16 20 23 21 34			
(5) 医療 人 教育 科目	全人的医療人教育Ⅰ 全人的医療人教育Ⅱ 全人的医療人教育Ⅲ 全人的医療人教育Ⅳ 全人的医療人教育Ⅴ(C B M)	66	16	11	22	28		
	計 (時限数)	594	764	635	682	1194	282	

※「病理学各論Ⅰ」「病理学各論Ⅱ」「薬理学各論」

「栄養学」「リハビリテーション医学」は、統合科目として実施する。

※「PBLテュートリアルⅢ」「PBLテュートリアルⅣ」は、各ユニットに含まれる。

	授 業 科 目	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
* (6) 選 択 科 目	①人文科学							
	倫理学	1						
	哲学	1						
	宗教学	1						
	言語学	1						
	②社会科学							
	法学1	1						
	法学2	1						
	経済学	1						
	社会学	1						
	行動分析学入門	1						
	③芸術・健康科学							
	音楽	1						
	美術	1						
	スポーツ科学演習	2						
	ロジカルライティング入門	1						
	教材作成から学ぶ	1						
	④自然・環境科学							
	選択基礎化学	1						
	線形数学入門	1						
	かたちの科学入門	1						
	微分積分学入門	1						
	地球環境科学	1						
	特殊環境の生命を探る	1						
	バイオインフォマティクス入門	1						
	生体関連分子特論	1						
	演習生体有機化学	1						
	応用物理学	1						
	細胞の生物学	1						
	選択基礎物理学	1						
	⑤医療教養学							
	医療人のための日本語表現	1						
	男女共同参画と医療	1						
	役立つ最新の心理療法	1						
	医学生の学術情報活用演習	1						
	⑥基礎医科学							
	基礎免疫学	1						
	からだの化学的調節と循環器疾患	1						
	法医学入門	1						
	感染症の最前線	1						
	分子神経科学	1						
呼吸を科学する	1							
航空宇宙医学	1							
人体構造学演習	1							

	授 業 科 目	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
	行動神経解剖学 (心理解剖学)	1						
	NEJM Case Recordsを読む	1						
	臨床微生物学・感染症学の基礎と応用	1						
	⑦臨床医科学							
	東洋医学概論	1						
	身体・心理・社会・医療モデル1	1						
	身体・心理・社会・医療モデル2	1						
	医療の変遷と潮流	1						
	シミュレーションで学ぶ医療技術入門Ⅰ	1						
	シミュレーションで学ぶ医療技術入門Ⅱ	1						
	英国疫学の歴史に学ぶEBM看護の機能と役割	1						
	看護の機能と役割	1						
	赤ちゃんを巡るところとからだ	1						
	⑧基礎語学							
	選択英語1	2						
	選択基礎2	2						
	CMESⅠ※	1						
* (6) 選 択 科 目	CMESⅡ※	1						
	CMESⅢ※	1						
	フランス語基礎	2						
	フランス語初級	2						
	MSFを読む1	1						
	MSFを読む2	1						
	ドイツ語基礎	2						
	ドイツ語初級	2						
	中国語基礎1	2						
	中国語基礎2	2						
	⑨言語コミュニケーション学							
	英会話初級1	2						
	英会話初級2	2						
	英会話中級1	2						
	英会話中級2	2						
	英会話上級1	2						
	英会話上級2	2						
	E L 1-Listening	1						
	E L 2-Reading	1						
	E L 3-Reading	1						
ニュースのME1	2							
ニュースのME2	2							
ME医学英語1	2							
ME医学英語2	2							
Writing	2							
C S A	1							
オックスフォード・イングリッシュ・プログラム	2-3							
Medical English Vocabulary	2							

	授 業 科 目	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
* (6) 選 択 科 目	Speech Shadowing	2						
	Presentation	2						
	⑩語学検定							
	独語検定 1	1						
	独語検定 2	1						
	英語検定 (TOEFLコース)	2						
	⑪テュートリアル							
	インターネットテュートリアル	1						
	学生テュータ養成講座 I	1						
	学生テュータ養成講座 II	1						
	⑫多職種連携							
	チーム医療演習	1						
	実用医療英語	1						
	計 (単位数)	116						
	計 (時限数)	594	764	635	682	1194	282	

※ 「CMES I」「CMES II」「CMES III」は英語成績不良者の必修補講科目である。

※ 選択科目は第 4 年次までに18単位以上取得。

*計：授業時間数（1時限は70分）を示す。選択科目は単位数を示す。

(2) 薬学部教養教育科目、外国語科目、保健体育科目単位表

【平成27年度から平成28年度までの入学者に適用】

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
教 養 教 育	法学	1						
	倫理哲学	1						
	心理学	1						
	保健環境論	1						
	文章表現論	1						
	基礎物理学Ⅰ	1						
	基礎物理学Ⅱ	1						
	基礎物理学Ⅲ	1						
	基礎化学	1						
	基礎生物学	1						
	基礎数学Ⅰ	1						
	基礎数学Ⅱ	1						
	初等物理学演習		1					
	初等化学演習		0.5					
	コンピュータ入門		1					
	基礎生物学実習			0.5				
	初等数学演習					0.5		
	現代日本史				1			*1
	国際関係論				1			*1
	自己表現論				1			*1
民俗学				1			*1	
経済学				1			*1	
スポーツ科学				1			*1	
外 国 語	英語Ⅰa	2						
	英語Ⅰb	2						
	英語Ⅱa	2						
	英語Ⅱb	2						
	英会話				2			
	ドイツ語Ⅰa				2			
	ドイツ語Ⅰb				2			
	中国語Ⅰa				2			
	中国語Ⅰb				2			
	フランス語Ⅰa				2			
フランス語Ⅰb				2				
健 保 育 体	スポーツ実習Ⅰ						1	
	スポーツ実習Ⅱ						1	
	小 計	20	2.5	0.5	20	0.5	2	
	合 計	23			22.5			

*1 選択必修単位（2単位履修する）

薬学専門教育科目単位表

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
医療人意識形成	薬学入門	1						
	薬史学	1						
	コミュニケーション プレゼンテーション	0.5	1					
	ヒューマニズムⅠ		0.5					
	ヒューマニズムⅡ		0.5					
	ヒューマニズムⅢ		0.5					
	ヒューマニズムⅣ		0.5					
	早期臨床体験			0.5				
薬学と社会	薬事関係法規・制度Ⅰ	1						
	薬事関係法規・制度Ⅱ	2						
	地域医療Ⅰ	1						
	地域医療Ⅱ	0.5						
	薬局管理学	1						
	薬事関係法規・制度Ⅲ				0.5			
薬学基礎 (物理)	分析化学Ⅰ	1						
	分析化学Ⅱ	1						
	分析化学Ⅲ	1						
	薬学機器分析学	0.5						
	構造化学	1						
	物理化学Ⅰ	1						
	物理化学Ⅱ	1						
	放射薬品学	1						
	分析化学実習			1				
	物理化学実習			1				
放射薬品学実習						0.5		
薬学基礎 (化学)	生薬学	1						
	天然物化学	1						
	漢方薬学	1						
	植物療法学	1						
	無機化学	1						
	有機化学Ⅰ	1						
	有機化学Ⅱ	1						
	有機化学Ⅲ	1						
	有機化学Ⅳ	1						
	有機構造解析学	1						
	生物有機化学	1						
	医薬品合成化学Ⅰ	1						
	医薬品合成化学Ⅱ	1						
	医薬品化学	1						
	有機化学実習Ⅰ			0.5				
	有機化学実習Ⅱ			1				
生薬学実習			1					

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
薬学基礎 (生物)	生化学Ⅰ	1						
	生化学Ⅱ	1						
	生化学Ⅲ	1						
	細胞生物学	1						
	人体生理学Ⅰ	1						
	人体生理学Ⅱ	1						
	人体生理学Ⅲ	1						
	微生物学	1						
	病原微生物学	1						
	分子生物学Ⅰ	1						
	分子生物学Ⅱ	1						
	免疫学Ⅰ	1						
	免疫学Ⅱ	1						
	分子腫瘍学	0.5						
	微生物学実習			1				
	生化学実習			0.5				
	分子生物学・免疫学実習			0.5				
衛生薬学	環境Ⅰ	1						
	環境Ⅱ	1						
	健康Ⅰ	1						
	健康Ⅱ	1						
	健康Ⅲ	1						
	健康Ⅳ	1						
	衛生薬学実習			1				
医療薬学	薬理学Ⅰ	1						
	薬理学Ⅱ	1						
	薬理学Ⅲ	1						
	薬理学Ⅳ	1						
	薬理学Ⅴ	1						
	製剤学Ⅰ	1						
	製剤学Ⅱ	1						
	製剤学Ⅲ	1						
	薬物動態学Ⅰ	1						
	薬物動態学Ⅱ	1						
	薬物動態学Ⅲ	1						
	生物統計学	1						
	化学療法学	1						
	症候学	1						
	動態検査学	1						
	薬物治療学Ⅰ	1						
	薬物治療学Ⅱ	1						
	薬物治療学Ⅲ	1						
	薬物治療学Ⅳ	1						
	薬物治療学Ⅴ	1						

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
医療薬学	薬物治療学VI	1						
	薬物治療学VII	1						
	感染症学	1						
	臨床腫瘍学	0.5						
	臨床漢方治療学	1						
	医薬品安全性学	1						
	一般用医薬品学	1						
	先端医療薬学	1						
	医療情報 I	1						
	医療情報 II	1						
	医療情報 III	1						
	臨床薬学総論	1						
	薬物治療学演習		0.5					
	薬理学実習			1.5				
	製剤学実習			1				
	薬物動態学実習			1				
	病態検査学実習			0.5				
薬理学VI				1				
薬学臨床	1	1						
	プレ実務実習 I (調剤)			1				
	プレ実務実習 I (医薬品管理・患者応対)			0.5				
	プレ実務実習 II (実践薬学)			2.5				
	プレ実務実習 II (医療情報)			1				
プレ実務実習 II (総合演習)			1					
薬学総合	総合科学演習		1					
	薬学演習 I		1					
	薬学演習 II		2					
	薬学総合演習 I		2					
	薬学総合演習 II		4					
	病院実習			10				
	薬局実習			10				
	卒業研究 I			8				
	薬学総合講義 I				1		*2	
	薬学総合講義 II				1		*2	
	卒業研究 II a					4	*2	
卒業研究 II b					2	*2		
薬学アドバンス	高齢者医療 I	0.5						
	臨床医学総論 I	1						
	臨床医学総論 II	1						
	処方設計管理学	1						
	社会への招待 I	0.5						
	薬剤師のためのやさしい英会話				1			
	実用医療英語				1			
	生体分子解析学				1			
	医薬品開発 I				1			

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
薬学 アド バン スト	医薬銀開発Ⅱ				1			
	医用工学概論				1			
	看護学				1			
	形態機能学総論				1			
	臨床心理学				1			
	生命科学				1			
	人体解剖学				0.5			
	臨床栄養学				0.5			
	高齢者医療Ⅱ				0.5			
	環境学総論Ⅰ				0.5			
	環境学総論Ⅱ				0.5			
	化粧品学				0.5			
	レギュラトリーサイエンス				0.5			
	薬剤経済				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅰ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅱ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅲ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅳ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅴ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅵ				0.5			
	生命科学特別講義				0.5			*3
	社会薬学特別講義				0.5			*3
	社会への招待Ⅱa				0.5			*4
	社会への招待Ⅱb				0.5			*4
	社会への招待Ⅱc				0.5			*4
	社会への招待Ⅱd				0.5			*4
実用薬学英語					1			
チーム医療演習					1			
海外実務実習						2		
小計		85.5	13.5	46	23.5	2	8.5	
合計		145			34			

*2 選択必修単位（4単位履修する）

*3 選択必修単位（0.5単位履修する）

*4 選択必修単位（0.5単位履修する）

※平成27年度から平成28年度までの入学者の卒業所要単位は、必修科目168単位を含めて、総計186単位とする。

薬学部教養教育科目、外国語科目、保健体育科目単位表

【平成29年度から平成30年度までの入学者に適用】

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
教 養 教 育	法学	1						
	倫理哲学	1						
	心理学	1						
	保健環境論	1						
	文章表現論	1						
	基礎物理学Ⅰ	1						
	基礎物理学Ⅱ	1						
	基礎物理学Ⅲ	1						
	基礎化学	1						
	基礎生物学	1						
	基礎数学Ⅰ	1						
	基礎数学Ⅱ	1						
	初等物理学演習		1					
	初等化学演習		0.5					
	コンピュータ入門		1					
	基礎生物学実習			0.5				
	初等数学演習					0.5		
	現代日本史				1			*1
	国際関係論				1			*1
	自己表現論				1			*1
民俗学				1			*1	
経済学				1			*1	
スポーツ科学				1			*1	
外 国 語	英語Ⅰa	2						
	英語Ⅰb	2						
	英語Ⅱa	2						
	英語Ⅱb	2						
	英会話				2			
	ドイツ語Ⅰa				2			
	ドイツ語Ⅰb				2			
	中国語Ⅰa				2			
	中国語Ⅰb				2			
	フランス語Ⅰa				2			
フランス語Ⅰb				2				
健 保 育 体	スポーツ実習Ⅰ						1	
	スポーツ実習Ⅱ						1	
小 計		20	2.5	0.5	20	0.5	2	
合 計		23			22.5			

*1 選択必修単位（2単位履修する）

薬学専門教育科目単位表

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
医療 人 意 識 形 成	薬学入門	1						
	薬史学	1						
	コミュニケーション	0.5						
	プレゼンテーション		1					
	ヒューマニズムⅠ		0.5					
	ヒューマニズムⅡ		0.5					
	ヒューマニズムⅢ		0.5					
	ヒューマニズムⅣ		0.5					
	早期臨床体験			0.5				
人間と生命				1				
薬学 と 社 会	薬事関係法規・制度Ⅰ	1						
	薬事関係法規・制度Ⅱ	2						
	地域医療Ⅰ	1						
	地域医療Ⅱ	0.5						
	薬局管理学	1						
	薬事関係法規・制度Ⅲ				0.5			
薬学 基 礎 (物 理)	分析化学Ⅰ	1						
	分析化学Ⅱ	1						
	分析化学Ⅲ	1						
	薬学機器分析学	0.5						
	構造化学	1						
	物理化学Ⅰ	1						
	物理化学Ⅱ	1						
	放射薬品学	1						
	分析化学実習			1				
	物理化学実習			1				
放射薬品学実習						0.5		
薬学 基 礎 (化 学)	生薬学	1						
	天然物化学	1						
	漢方薬学	1						
	植物療法学	1						
	無機化学	1						
	有機化学Ⅰ	1						
	有機化学Ⅱ	1						
	有機化学Ⅲ	1						
	有機化学Ⅳ	1						
	有機構造解析学	1						
	生物有機化学	1						
	医薬品合成化学Ⅰ	1						
	医薬品合成化学Ⅱ	1						
	医薬品化学	1						
	有機化学実習Ⅰ			0.5				
	有機化学実習Ⅱ			1				
	生薬学実習			1				

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
薬学基礎 (生物)	生化学Ⅰ	1						
	生化学Ⅱ	1						
	生化学Ⅲ	1						
	細胞生物学	1						
	人体生理学Ⅰ	1						
	人体生理学Ⅱ	1						
	人体生理学Ⅲ	1						
	微生物学	1						
	病原微生物学	1						
	分子生物学Ⅰ	1						
	分子生物学Ⅱ	1						
	免疫学Ⅰ	1						
	免疫学Ⅱ	1						
	分子腫瘍学	0.5						
	微生物学実習				1			
	生化学実習				0.5			
	分子生物学・免疫学実習				0.5			
衛生薬学	環境Ⅰ	1						
	環境Ⅱ	1						
	健康Ⅰ	1						
	健康Ⅱ	1						
	健康Ⅲ	1						
	健康Ⅳ	1						
	衛生薬学実習				1			
医療薬学	薬理学Ⅰ	1						
	薬理学Ⅱ	1						
	薬理学Ⅲ	1						
	薬理学Ⅳ	1						
	薬理学Ⅴ	1						
	製剤学Ⅰ	1						
	製剤学Ⅱ	1						
	製剤学Ⅲ	1						
	薬物動態学Ⅰ	1						
	薬物動態学Ⅱ	1						
	薬物動態学Ⅲ	1						
	生物統計学	1						
	化学療法学	1						
	症候学	1						
	動態検査学	1						
	薬物治療学Ⅰ	1						
	薬物治療学Ⅱ	1						
	薬物治療学Ⅲ	1						
	薬物治療学Ⅳ	1						
	薬物治療学Ⅴ	1						

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
医療薬学	薬物治療学Ⅵ	1						
	薬物治療学Ⅶ	1						
	感染症学	1						
	臨床腫瘍学	0.5						
	臨床漢方治療学	1						
	医薬品安全性学	1						
	一般用医薬品学	1						
	先端医療薬学	1						
	医療情報Ⅰ	1						
	医療情報Ⅱ	1						
	医療情報Ⅲ	1						
	臨床薬学総論	1						
	薬物治療学演習		0.5					
	薬理学実習			1.5				
	製剤学実習			1				
	薬物動態学実習			1				
	病態検査学実習			0.5				
薬理学Ⅵ				1				
薬学臨床	実践薬物治療学	1						
	プレ実務実習Ⅰ(調剤)			1				
	プレ実務実習Ⅰ (医薬品管理・患者対応)			0.5				
	プレ実務実習Ⅱ(実践薬学)			2.5				
	プレ実務実習Ⅱ(医療情報)			1				
プレ実務実習Ⅱ(総合演習)			1					
薬学総合	総合科学演習		1					
	薬学演習Ⅰ		1					
	薬学演習Ⅱ		2					
	薬学総合演習Ⅰ		2					
	薬学総合演習Ⅱ		4					
	病院実習			10				
	薬局実習			10				
	卒業研究Ⅰ			8				
	薬学総合講義Ⅰ				1			*2
	薬学総合講義Ⅱ				1			*2
	卒業研究Ⅱa						4	*2
卒業研究Ⅱb						2	*2	
薬学アドバンス	高齢者医療Ⅰ	0.5						
	臨床医学総論Ⅰ	1						
	臨床医学総論Ⅱ	1						
	処方設計管理学	1						
	社会への招待Ⅰ	0.5						
	薬剤師のためのやさしい英会話				1			
	実用医療英語				1			
	生体分子解析学				1			
	医薬品開発Ⅰ				1			
	医薬品開発Ⅱ				1			

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
薬学アドバンスト	医用工学概論				1			
	看護学				1			
	形態機能学総論				1			
	臨床心理学				1			
	生命科学				1			
	人体解剖学				0.5			
	臨床栄養学				0.5			
	高齢者医療Ⅱ				0.5			
	環境学総論Ⅰ				0.5			
	環境学総論Ⅱ				0.5			
	化粧品学				0.5			
	レギュラトリーサイエンス				0.5			
	薬剤経済				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅰ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅱ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅲ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅳ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅴ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅵ				0.5			
	生命科学特別講義				0.5			*3
	社会薬学特別講義				0.5			*3
	社会への招待Ⅱa				0.5			*4
	社会への招待Ⅱb				0.5			*4
社会への招待Ⅱc				0.5			*4	
社会への招待Ⅱd				0.5			*4	
実用薬学英語					1			
チーム医療演習					1			
海外実務実習						2		
小計		85.5	13.5	46	24.5	2	8.5	
合計		145			35			

*2 選択必修単位（4単位履修する）

*3 選択必修単位（0.5単位履修する）

*4 選択必修単位（0.5単位履修する）

※平成29年度から平成30年度までの入学者の卒業所要単位は、必修科目168単位を含めて、総計186単位とする。

薬学部教養教育科目、外国語科目、保健体育科目単位表

【平成31年度から令和3年度までの入学者に適用】

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
教 養 教 育	法学	1						
	倫理哲学	1						
	心理学	1						
	保健環境論	1						
	文章表現論	1						
	基礎物理学Ⅰ	1						
	基礎物理学Ⅱ	1						
	基礎物理学Ⅲ	1						
	基礎化学	1						
	基礎生物学	1						
	基礎数学Ⅰ	1						
	基礎数学Ⅱ	1						
	初等物理学演習		1					
	初等化学演習		0.5					
	コンピュータ入門		1					
	基礎生物学実習			0.5				
	初等数学演習					0.5		
	現代日本史				1			*1
	国際関係論				1			*1
自己表現論				1			*1	
民俗学				1			*1	
経済学				1			*1	
スポーツ科学				1			*1	
外 国 語	英語Ⅰa	2						
	英語Ⅰb	2						
	英語Ⅱa	2						
	英語Ⅱb	2						
	英会話				2			
	ドイツ語Ⅰa				2			
	ドイツ語Ⅰb				2			
	中国語Ⅰa				2			
	中国語Ⅰb				2			
	フランス語Ⅰa				2			
フランス語Ⅰb				2				
健 保 育 体	スポーツ実習Ⅰ						1	
	スポーツ実習Ⅱ						1	
小 計		20	2.5	0.5	20	0.5	2	
合 計		23			22.5			

*1 選択必修単位（2単位履修する）

薬学専門教育科目単位表

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
医療 人意 識 形 成	薬学入門	1						
	薬史学	1						
	コミュニケーション プレゼンテーション	0.5						
	ヒューマニズムⅠ		1					
	ヒューマニズムⅡ		0.5					
	ヒューマニズムⅢ		0.5					
	ヒューマニズムⅣ		0.5					
	早期臨床体験			0.5				
	人間と生命				1			
薬学 と 社 会	薬事関係法規・制度Ⅰ	0.5						
	薬事関係法規・制度Ⅱ	2						
	地域医療	0.5						
	薬局管理学	1						
	社会薬学総合演習					0.5		
薬学 基 礎 (物 理)	分析化学Ⅰ	1						
	分析化学Ⅱ	1						
	分析化学Ⅲ	1						
	薬学機器分析学	0.5						
	構造化学	1						
	物理化学Ⅰ	1						
	物理化学Ⅱ	1						
	放射薬品学	1						
	分析化学実習			1				
	物理化学実習			1				
	放射薬品学実習						0.5	
薬学 基 礎 (化 学)	生薬学	1						
	天然物化学	1						
	漢方薬学	1						
	植物療法学	1						
	無機化学	1						
	有機化学Ⅰ	1						
	有機化学Ⅱ	1						
	有機化学Ⅲ	1						
	有機化学Ⅳ	1						
	有機構造解析学	1						
	生物有機化学	1						
	医薬品合成化学Ⅰ	1						
	医薬品合成化学Ⅱ	1						
	医薬品化学	1						
	有機化学実習Ⅰ			0.5				
	有機化学実習Ⅱ			1				
	生薬学実習			1				

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
薬学基礎 (生物)	生化学Ⅰ	1						
	生化学Ⅱ	1						
	生化学Ⅲ	1						
	細胞生物学	1						
	人体生理学Ⅰ	1						
	人体生理学Ⅱ	1						
	人体生理学Ⅲ	1						
	微生物学	1						
	病原微生物学	1						
	分子生物学Ⅰ	1						
	分子生物学Ⅱ	1						
	免疫学Ⅰ	1						
	免疫学Ⅱ	1						
	分子腫瘍学	0.5						
	微生物学実習			1				
	生化学実習			0.5				
分子生物学・免疫学実習			0.5					
衛生薬学	環境Ⅰ	2						
	環境Ⅱ	1						
	健康Ⅰ	1						
	健康Ⅱ	1						
	健康Ⅲ	1						
	健康Ⅳ	1						
	臨床衛生学	1						
	衛生薬学実習			1				
医療薬学	薬理学Ⅰ	1						
	薬理学Ⅱ	1						
	薬理学Ⅲ	1						
	薬理学Ⅳ	1						
	薬理学Ⅴ	1						
	製剤学Ⅰ	1						
	製剤学Ⅱ	1						
	製剤学Ⅲ	1						
	薬物動態学Ⅰ	1						
	薬物動態学Ⅱ	1						
	薬物動態学Ⅲ	1						
	生物統計学	1						
	化学療法学	1						
	症候学	1						
	病態検査学	1						
	薬物治療学Ⅰ	1						
	薬物治療学Ⅱ	1						
	薬物治療学Ⅲ	1						
	薬物治療学Ⅳ	1						
	薬物治療学Ⅴ	1						

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
医療薬学	薬物治療学Ⅵ	1						
	薬物治療学Ⅶ	1						
	感染症学	1						
	臨床腫瘍学	0.5						
	臨床漢方治療学	1						
	医薬品安全性学	0.5						
	一般用医薬品学	1						
	先端医療薬学	1						
	医療情報Ⅰ	1						
	医療情報Ⅱ	1						
	医療情報Ⅲ	1						
	臨床薬学総論	1						
	薬物治療学演習		0.5					
	薬理学実習			1.5				
	製剤学実習			1				
	薬物動態学実習			1				
病態検査学実習			0.5					
薬理学Ⅵ				1				
薬学臨床	実践薬物治療学	1						
	プレ実務実習Ⅰ(調剤)			1				
	プレ実務実習Ⅰ (医薬品管理・患者対応)			0.5				
	プレ実務実習Ⅱ(実践薬学)			2.5				
	プレ実務実習Ⅱ(医療情報)			1				
	プレ実務実習Ⅱ(総合演習)			1				
薬学総合	総合科学演習		1					
	薬学演習Ⅰ		1					
	薬学演習Ⅱ		2					
	薬学総合演習Ⅰ		2					
	薬学総合演習Ⅱ		4					
	病院実習			10				
	薬局実習			10				
	卒業研究Ⅰ			8				
	薬学総合講義Ⅰ				1			*2
	薬学総合講義Ⅱ				1			*2
	卒業研究Ⅱa						4	*2
	卒業研究Ⅱb						2	*2
薬学アドバンス	高齢者医療	0.5						
	臨床医学総論Ⅰ	1						
	臨床医学総論Ⅱ	1						
	処方設計管理学	1						
	社会への招待Ⅰ	0.5						
	薬剤師のためのやさしい英会話				1			
	実用医療英語				1			
	生体分子解析学				1			

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
薬学アドバンス	医薬品開発Ⅰ				1			
	医薬品開発Ⅱ				1			
	医用工学概論				1			
	看護学				1			
	形態機能学総論				1			
	臨床心理学				1			
	生命科学				1			
	人体解剖学				0.5			
	臨床栄養学				0.5			
	環境学総論Ⅰ				0.5			
	環境学総論Ⅱ				0.5			
	化粧品学				0.5			
	レギュラトリーサイエンス				0.5			
	薬剤経済				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅰ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅱ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅲ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅳ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅴ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅵ				0.5			
	生命科学特別講義				0.5			*3
	社会薬学特別講義				0.5			*3
	社会への招待Ⅱa				0.5			*4
	社会への招待Ⅱb				0.5			*4
	社会への招待Ⅱc				0.5			*4
	社会への招待Ⅱd				0.5			*4
実用薬学英語					1			
チーム医療演習					1			
海外実務実習						2		
小計		85.5	13.5	46	23.5	2.5	8.5	
合計		145			34.5			

*2 選択必修単位（4単位履修する）

*3 選択必修単位（0.5単位履修する）

*4 選択必修単位（0.5単位履修する）

※平成31年度から令和3年度までの入学者の卒業所要単位は、必修科目168単位を含めて、総計186単位とする。

薬学部教養教育科目、外国語科目、保健体育科目単位表

【令和4年度の入学者に適用】

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
教 養 教 育	法学	1						
	倫理哲学	1						
	心理学	1						
	保健環境論	1						
	文章表現論	1						
	基礎物理学Ⅰ	1						
	基礎物理学Ⅱ	1						
	基礎物理学Ⅲ	1						
	基礎化学	1						
	基礎生物学	1						
	基礎数学Ⅰ	1						
	基礎数学Ⅱ	1						
	初等物理学演習		1					
	初等化学演習		0.5					
	コンピュータ入門		1					
	基礎生物学実習			0.5				
	初等数学演習					0.5		
	データサイエンス実践入門					2		*1
	現代日本史				1			*2
	国際関係論				1			*2
自己表現論				1			*2	
民俗学				1			*2	
経済学				1			*2	
スポーツ科学				1			*2	
外 国 語	英語Ⅰa	2						
	英語Ⅰb	2						
	英語Ⅱa	2						
	英語Ⅱb	2						
	英会話				2			
	ドイツ語Ⅰa				2			
	ドイツ語Ⅰb				2			
	中国語Ⅰa				2			
	中国語Ⅰb				2			
	フランス語Ⅰa				2			
フランス語Ⅰb				2				
健 保 育 体	スポーツ実習Ⅰ						1	
	スポーツ実習Ⅱ						1	
小 計		20	2.5	0.5	20	2.5	2	
合 計		23			24.5			

*1 講義、演習を併用する

*2 選択必修単位（2単位履修する）

薬学専門教育科目単位表

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
医療 人意識 形成	薬学入門	1						
	薬史学	1						
	コミュニケーション プレゼンテーション	0.5						
	ヒューマニズムⅠ		1					
	ヒューマニズムⅡ		0.5					
	ヒューマニズムⅢ		0.5					
	ヒューマニズムⅣ		0.5					
	早期臨床体験			0.5				
	人間と生命				1			
薬学 と社会	薬事関係法規・制度Ⅰ	0.5						
	薬事関係法規・制度Ⅱ	2						
	地域医療	0.5						
	薬局管理学	1						
	社会薬学総合演習					0.5		
薬学 基礎 (物理)	分析化学Ⅰ	1						
	分析化学Ⅱ	1						
	分析化学Ⅲ	1						
	薬学機器分析学	0.5						
	構造化学	1						
	物理化学Ⅰ	1						
	物理化学Ⅱ	1						
	放射薬品学	1						
	分析化学実習			1				
	物理化学実習			1				
	放射薬品学実習						0.5	
薬学 基礎 (化学)	生薬学	1						
	天然物化学	1						
	漢方薬学	1						
	植物療法学	1						
	無機化学	1						
	有機化学Ⅰ	1						
	有機化学Ⅱ	1						
	有機化学Ⅲ	1						
	有機化学Ⅳ	1						
	有機構造解析学	1						
	生物有機化学	1						
	医薬品合成化学Ⅰ	1						
	医薬品合成化学Ⅱ	1						
	医薬品化学	1						
	有機化学実習Ⅰ			0.5				
	有機化学実習Ⅱ			1				
	生薬学実習			1				

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
薬学基礎 (生物)	生化学Ⅰ	1						
	生化学Ⅱ	1						
	生化学Ⅲ	1						
	細胞生物学	1						
	人体生理学Ⅰ	1						
	人体生理学Ⅱ	1						
	人体生理学Ⅲ	1						
	微生物学	1						
	病原微生物学	1						
	分子生物学Ⅰ	1						
	分子生物学Ⅱ	1						
	免疫学Ⅰ	1						
	免疫学Ⅱ	1						
	分子腫瘍学	0.5						
	微生物学実習			1				
	生化学実習			0.5				
分子生物学・免疫学実習			0.5					
衛生薬学	環境Ⅰ	2						
	環境Ⅱ	1						
	健康Ⅰ	1						
	健康Ⅱ	1						
	健康Ⅲ	1						
	健康Ⅳ	1						
	臨床衛生学	1						
	衛生薬学実習			1				
医療薬学	薬理学Ⅰ	1						
	薬理学Ⅱ	1						
	薬理学Ⅲ	1						
	薬理学Ⅳ	1						
	薬理学Ⅴ	1						
	製剤学Ⅰ	1						
	製剤学Ⅱ	1						
	製剤学Ⅲ	1						
	薬物動態学Ⅰ	1						
	薬物動態学Ⅱ	1						
	薬物動態学Ⅲ	1						
	生物統計学	1						
	化学療法学	1						
	症候学	1						
	病態検査学	1						
	薬物治療学Ⅰ	1						
	薬物治療学Ⅱ	1						
	薬物治療学Ⅲ	1						
	薬物治療学Ⅳ	1						
	薬物治療学Ⅴ	1						

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
医療薬学	薬物治療学Ⅵ	1						
	薬物治療学Ⅶ	1						
	感染症学	1						
	臨床腫瘍学	0.5						
	臨床漢方治療学	1						
	医薬品安全性学	0.5						
	一般用医薬品学	1						
	先端医療薬学	1						
	医療情報Ⅰ	1						
	医療情報Ⅱ	1						
	医療情報Ⅲ	1						
	臨床薬学総論	1						
	薬物治療学演習		0.5					
	薬理学実習			1.5				
	製剤学実習			1				
	薬物動態学実習			1				
	病態検査学実習			0.5				
薬理学Ⅵ				1				
薬学臨床	実践薬物治療学	1						
	プレ実務実習Ⅰ(調剤)			1				
	プレ実務実習Ⅰ (医薬品管理・患者対応)			0.5				
	プレ実務実習Ⅱ(実践薬学)			2.5				
	プレ実務実習Ⅱ(医療情報)			1				
	プレ実務実習Ⅱ(総合演習)			1				
薬学総合	総合科学演習		1					
	薬学演習Ⅰ		1					
	薬学演習Ⅱ		2					
	薬学総合演習Ⅰ		2					
	薬学総合演習Ⅱ		4					
	病院実習			10				
	薬局実習			10				
	卒業研究Ⅰ			8				
	薬学総合講義Ⅰ				1			*3
	薬学総合講義Ⅱ				1			*3
	卒業研究Ⅱa						4	*3
	卒業研究Ⅱb						2	*3
薬学アドバンス	高齢者医療	0.5						
	臨床医学総論Ⅰ	1						
	臨床医学総論Ⅱ	1						
	処方設計管理学	1						
	社会への招待Ⅰ	0.5						
	薬剤師のためのやさしい英会話				1			
	実用医療英語				1			
	生体分子解析学				1			

授 業 科 目		必修単位			選択単位			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
薬学アドバンス	医薬品開発Ⅰ				1			
	医薬品開発Ⅱ				1			
	医用工学概論				1			
	看護学				1			
	形態機能学総論				1			
	臨床心理学				1			
	生命科学				1			
	人体解剖学				0.5			
	臨床栄養学				0.5			
	環境学総論Ⅰ				0.5			
	環境学総論Ⅱ				0.5			
	化粧品学				0.5			
	レギュラトリーサイエンス				0.5			
	薬剤経済				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅰ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅱ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅲ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅳ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅴ				0.5			
	先端応用薬学総論Ⅵ				0.5			
	生命科学特別講義				0.5			*4
	社会薬学特別講義				0.5			*4
	社会への招待Ⅱa				0.5			*5
	社会への招待Ⅱb				0.5			*5
	社会への招待Ⅱc				0.5			*5
	社会への招待Ⅱd				0.5			*5
実用薬学英語					1			
チーム医療演習					1			
海外実務実習						2		
小計		85.5	13.5	46	23.5	2.5	8.5	
合計		145			34.5			

*3 選択必修単位（4単位履修する）

*4 選択必修単位（0.5単位履修する）

*5 選択必修単位（0.5単位履修する）

※令和4年度以降の入学者の卒業所要単位は、必修科目168単位を含めて、総計186単位とする。

薬学部薬学科開設科目単位表

【令和5年度の入学者に適用】

授業科目 の 区分	授業科目	単位数			備 考
		必修	選択	自由	
教養教育	法学	1			
	倫理哲学	1			
	心理学	1			
	保健環境論	1			
	文章表現論	1			
	基礎物理学Ⅰ	1			
	基礎物理学Ⅱ	1			
	基礎物理学Ⅲ	1			
	基礎化学	1			
	基礎生物学	1			
	基礎数学Ⅰ	1			
	基礎数学Ⅱ	1			
	初等物理学演習	1			
	初等化学演習	0.5			
	コンピュータ入門	1			
	基礎生物学実習	0.5			
	初等数学演習		0.5		
	データサイエンス実践入門			2	
	現代日本史			1	*1
	国際関係論			1	*1
自己表現論			1	*1	
民俗学			1	*1	
経済学			1	*1	
スポーツ科学			1	*1	
外国語	英語Ⅰa	2			
	英語Ⅰb	2			
	英語Ⅱa	2			
	英語Ⅱb	2			
	英会話		2		
	ドイツ語Ⅰa		2		
	ドイツ語Ⅰb		2		
	中国語Ⅰa		2		
	中国語Ⅰb		2		
	フランス語Ⅰa		2		
	フランス語Ⅰb		2		
	体 育 健	スポーツ実習Ⅰ		1	
スポーツ実習Ⅱ			1		

授業科目 の 区分	授業科目	単位数			備 考
		必修	選択	自由	
医療人意識形成	薬学入門	1			
	薬史学	1			
	コミュニケーション	0.5			
	プレゼンテーション	1			
	ヒューマニズムⅠ	0.5			
	ヒューマニズムⅡ	0.5			
	ヒューマニズムⅢ	0.5			
	ヒューマニズムⅣ	0.5			
	早期臨床体験	0.5			
人間と生命		1			
薬学と社会	薬事関係法規・制度Ⅰ	0.5			
	薬事関係法規・制度Ⅱ	2			
	地域医療	0.5			
	薬局管理学	1			
	社会薬学総合演習		0.5		
薬学基礎 (物理)	分析化学Ⅰ	1			
	分析化学Ⅱ	1			
	分析化学Ⅲ	1			
	薬学機器分析学	0.5			
	構造化学	1			
	物理化学Ⅰ	1			
	物理化学Ⅱ	1			
	放射薬品学	1			
	分析化学実習	1			
	物理化学実習	1			
	放射薬品学実習		0.5		
薬学基礎 (化学)	生薬学	1			
	天然物化学	1			
	漢方薬学	1			
	植物療法学	1			
	無機化学	1			
	有機化学Ⅰ	1			
	有機化学Ⅱ	1			
	有機化学Ⅲ	1			
	有機化学Ⅳ	1			
	有機構造解析学	1			
	生物有機化学	1			
	医薬品合成化学Ⅰ	1			
	医薬品合成化学Ⅱ	1			
	医薬品化学	1			
	有機化学実習Ⅰ	0.5			
	有機化学実習Ⅱ	1			
	生薬学実習	1			

授業科目 の 区分	授業科目	単位数			備 考
		必修	選択	自由	
薬学基礎 (生物)	生化学Ⅰ	1			
	生化学Ⅱ	1			
	生化学Ⅲ	1			
	細胞生物学	1			
	人体生理学Ⅰ	1			
	人体生理学Ⅱ	1			
	人体生理学Ⅲ	1			
	微生物学	1			
	病原微生物学	1			
	分子生物学Ⅰ	1			
	分子生物学Ⅱ	1			
	免疫学Ⅰ	1			
	免疫学Ⅱ	1			
	分子腫瘍学	0.5			
	微生物学実習	1			
	生化学実習	0.5			
	分子生物学・免疫学実習	0.5			
衛生薬学	環境Ⅰ	2			
	環境Ⅱ	1			
	健康Ⅰ	1			
	健康Ⅱ	1			
	健康Ⅲ	1			
	健康Ⅳ	1			
	臨床衛生学	1			
	衛生薬学実習	1			
医療薬学	薬理学Ⅰ	1			
	薬理学Ⅱ	1			
	薬理学Ⅲ	1			
	薬理学Ⅳ	1			
	薬理学Ⅴ	1			
	製剤学Ⅰ	1			
	製剤学Ⅱ	1			
	製剤学Ⅲ	1			
	薬物動態学Ⅰ	1			
	薬物動態学Ⅱ	1			
	薬物動態学Ⅲ	1			
	生物統計学	1			
	化学療法学	1			
	症候学	1			
	病態検査学	1			
	薬物治療学Ⅰ	1			
	薬物治療学Ⅱ	1			
	薬物治療学Ⅲ	1			
	薬物治療学Ⅳ	1			
	薬物治療学Ⅴ	1			

授業科目 の 区分	授業科目	単位数			備 考
		必修	選択	自由	
医療薬学	薬物治療学Ⅵ	1			
	薬物治療学Ⅶ	1			
	感染症学	1			
	臨床腫瘍学	0.5			
	臨床漢方治療学	1			
	医薬品安全性学	0.5			
	一般用医薬品学	1			
	先端医療薬学	1			
	医療情報Ⅰ	1			
	医療情報Ⅱ	1			
	医療情報Ⅲ	1			
	臨床薬学総論	1			
	薬物治療学演習	0.5			
	薬理学実習	1.5			
	製剤学実習	1			
	薬物動態学実習	1			
	病態検査学実習	0.5			
薬理学Ⅵ			1		
薬学臨床	実践薬物治療学	1			
	プレ実務実習Ⅰ(調剤)	1			
	プレ実務実習Ⅰ(医薬品管理・患者対応)	0.5			
	プレ実務実習Ⅱ(実践薬学)	2.5			
	プレ実務実習Ⅱ(医療情報)	1			
プレ実務実習Ⅱ(総合演習)	1				
薬学総合	総合科学演習	1			
	薬学演習Ⅰ	1			
	薬学演習Ⅱ	2			
	薬学総合演習Ⅰ	2			
	薬学総合演習Ⅱ	4			
	病院実習	10			
	薬局実習	10			
	卒業研究Ⅰ	8			
	薬学総合講義Ⅰ		1		*2
	薬学総合講義Ⅱ		1		*2
	卒業研究Ⅱa		4		*2
卒業研究Ⅱb		2		*2	
薬学アドバンス	高齢者医療	0.5			
	臨床医学総論Ⅰ	1			
	臨床医学総論Ⅱ	1			
	処方設計管理学	1			
	社会への招待Ⅰ	0.5			
	薬剤師のためのやさしい英会話		1		
	実用医療英語		1		
	生体分子解析学		1		

授業科目 の 区分	授業科目	単位数			備 考
		必修	選択	自由	
薬学 アド バンスト	医薬品開発Ⅰ		1		
	医薬品開発Ⅱ		1		
	医用工学概論		1		
	看護学		1		
	形態機能学総論		1		
	臨床心理学		1		
	生命科学		1		
	人体解剖学		0.5		
	臨床栄養学		0.5		
	環境学総論Ⅰ		0.5		
	環境学総論Ⅱ		0.5		
	化粧品学		0.5		
	レギュラトリーサイエンス		0.5		
	薬剤経済		0.5		
	先端応用薬学総論Ⅰ		0.5		
	先端応用薬学総論Ⅱ		0.5		
	先端応用薬学総論Ⅲ		0.5		
	先端応用薬学総論Ⅳ		0.5		
	先端応用薬学総論Ⅴ		0.5		
	先端応用薬学総論Ⅵ		0.5		
	生命科学特別講義		0.5		*3
	社会薬学特別講義		0.5		*3
	社会への招待Ⅱa		0.5		*4
	社会への招待Ⅱb		0.5		*4
	社会への招待Ⅱc		0.5		*4
	社会への招待Ⅱd		0.5		*4
実用薬学英語			1		
チーム医療演習			1		
海外実務実習			2		
	合計	168	59	0	卒業所要単位数は、必修168単位、選択18単位以上、計186単位以上とする。

*1 選択必修単位（2単位履修する）

*2 選択必修単位（4単位履修する）

*3 選択必修単位（0.5単位履修する）

*4 選択必修単位（0.5単位履修する）

薬学部薬学科開設科目単位表

【令和6年度以降の入学者に適用】

授業科目の 区分	授業科目	単位数			備 考
		必修	選択	自由	
総合 教育科目	法学	1			
	倫理哲学	1			
	心理学	1			
	保健環境論	1			
	文章表現論	1			
	基礎物理学Ⅰ	1			
	基礎物理学Ⅱ	1			
	基礎物理学Ⅲ	1			
	基礎化学	1			
	基礎生物学	1			
	基礎数学Ⅰ	1.5			
	基礎数学Ⅱ	1			
	初等物理学演習	1			
	初等化学演習	0.5			
	数理データサイエンスAI入門	1			
	データサイエンスリテラシー演習	1			
	基礎生物学実習	0.5			
	現代日本史		1		*1
	国際関係論		1		*1
	自己表現論		1		*1
	民俗学		1		*1
	経済学		1		*1
	スポーツ科学		1		*1
	プログラミング入門		1		
	全学共通科目A		2		
	全学共通科目B		2		
	全学共通科目C		1		
	全学共通科目D		1		
	全学共通科目E		1		
	全学共通科目F		1		
	初等コンピューター技術				0.5
	外国語	英語Ⅰa	1		
英語Ⅰb		1			
英語Ⅱa		1			
英語Ⅱb		1			
英語Ⅲa		1			
英語Ⅲb		1			
英語Ⅳa		1			
英語Ⅳb		1			
英会話			1		

授業科目の 区分		授業科目	単位数			備 考
			必修	選択	自由	
総合教育科目	外国語	ドイツ語 I a		1		
		ドイツ語 I b		1		
		ドイツ語 II a		1		
		ドイツ語 II b		1		
		中国語 I a		1		
		中国語 I b		1		
		中国語 II a		1		
		中国語 II b		1		
		フランス語 I a		1		
		フランス語 I b		1		
		フランス語 II a		1		
		フランス語 II b		1		
		外国語セミナーA		1		
	外国語セミナーB		1			
体保 育健	スポーツ実習 I		1			
	スポーツ実習 II		1			
専門基礎教育科目	薬学基礎 (物理)	分析化学 I	1			
		分析化学 II	1			
		分析化学 III	0.5			
		薬学機器分析学	0.5			
		構造化学	1			
		物理化学 I	1			
		物理化学 II	1			
		分析化学実習	1			
		物理化学実習	1			
	薬学基礎 (化学)	生薬学	1			
		天然物化学	1			
		漢方薬学	1			
		植物療法学	1			
		無機化学	1			
		有機化学 I	1			
		有機化学 II	1			
		有機化学 III	1			
		有機化学 IV	1			
		有機化学 V	1			
		有機化学 VI	1			
		有機構造解析学	1			
		生物有機化学	1			
		医薬品化学	1			
		有機化学実習 I	0.5			
		有機化学実習 II	1			
		生薬学実習	1			

授業科目の 区分		授業科目	単位数			備 考
			必修	選択	自由	
専門基礎 教育科目	薬学基礎 (生物)	生化学Ⅰ	1			
		生化学Ⅱ	1			
		生化学Ⅲ	1			
		細胞生物学	1			
		人体生理学Ⅰ	1			
		人体生理学Ⅱ	1			
		人体生理学Ⅲ	1			
		微生物学	1			
		病原微生物学	1			
		分子生物学Ⅰ	1			
		分子生物学Ⅱ	1			
		免疫学Ⅰ	1			
		免疫学Ⅱ	1			
		分子腫瘍学	0.5			
		微生物学実習	1			
生化学実習	0.5					
分子生物学・免疫学実習	0.5					
専門教育 科目	医療人意識 形成	薬学入門	1			
		コミュニケーション	0.5			
		ヒューマニズムⅠ	0.5			
		ヒューマニズムⅡ	0.5			
		ヒューマニズムⅢ	0.5			
		ヒューマニズムⅣ	0.5			
		早期臨床体験	0.5			
	人間と生命		1			
	薬学と社会	薬事関係法規・制度Ⅰ	1			
		薬事関係法規・制度Ⅱ	1			
		薬事関係法規・制度Ⅲ	0.5			
		地域医療	0.5			
		薬局管理学	1			
		社会薬学総合演習		0.5		
	衛生薬学	環境Ⅰ	2			
		環境Ⅱ	1			
		健康Ⅰ	1			
		健康Ⅱ	1			
		健康Ⅲ	1			
		健康Ⅳ	1			
		臨床衛生学	1			
放射薬品学		0.5				
衛生薬学実習		1				
放射薬品学実習			0.5			

授業科目の 区分	授業科目	単位数			備 考
		必修	選択	自由	
専門 教育 科目	薬理学Ⅰ	1			
	薬理学Ⅱ	1			
	薬理学Ⅲ	1			
	薬理学Ⅳ	1			
	薬理学Ⅴ	1			
	薬理学Ⅵ	1			
	製剤学Ⅰ	1			
	製剤学Ⅱ	1			
	製剤学Ⅲ	1			
	薬物動態学Ⅰ	1			
	薬物動態学Ⅱ	1			
	薬物動態学Ⅲ	1			
	生物統計学	1			
	化学療法学	1			
	症候学	1			
	病態検査学Ⅰ	1			
	病態検査学Ⅱ	0.5			
	薬物治療学Ⅰ	1			
	薬物治療学Ⅱ	1			
	薬物治療学Ⅲ	1			
	薬物治療学Ⅳ	1			
	薬物治療学Ⅴ	1			
	薬物治療学Ⅵ	1			
	薬物治療学Ⅶ	1			
	感染症学	1			
	臨床腫瘍学	0.5			
	臨床漢方治療学	1			
	医薬品安全性学	0.5			
	一般用医薬品学	1			
	先端医療薬学	1			
	医療情報Ⅰ	1			
	医療情報Ⅱ	1			
	医療情報Ⅲ	1			
臨床薬学総論	1				
薬物治療学演習	0.5				
薬理学実習	1.5				
製剤学実習	1				
薬物動態学実習	1				
病態検査学実習	0.5				
医療データサイエンス	0.5				
医療データサイエンス演習	0.5				

授業科目の 区分		授業科目	単位数			備 考
			必修	選択	自由	
専門 教育 科目	臨床 薬学	実践薬物治療学	1			
		ブレ実務実習Ⅰ(調剤)	1			
		ブレ実務実習Ⅰ(医薬品管理・患者応対)	0.5			
		ブレ実務実習Ⅱ(実践薬学)	2			
		ブレ実務実習Ⅱ(医療情報)	1			
		ブレ実務実習Ⅱ(総合演習)	0.5			
	薬学 総合	総合科学演習	1			
		薬学演習Ⅰ	1			
		薬学演習Ⅱ	2			
		薬学総合演習Ⅰ	2			
		薬学総合演習Ⅱ	4			
		病院実習	10			
		薬局実習	10			
		薬学研究Ⅰ	8			
		薬学総合講義Ⅰ		1		*2
		薬学総合講義Ⅱ		1		*2
		薬学研究Ⅱa		4		*2
		薬学研究Ⅱb		2		*2
	薬学 アド バン スト	高齢者医療	0.5			
		臨床医学総論Ⅰ	1			
		臨床医学総論Ⅱ	1			
		処方設計管理学	1			
		社会への招待Ⅰ	0.5			
		多職種臨床推論	0.5			
		薬剤師のためのやさしい英会話		1		
		実用医療英語		1		
		生体分子解析学		1		
		医薬品開発Ⅰ		1		
		医薬品開発Ⅱ		1		
		医用工学概論		1		
		看護学		1		
		臨床心理学		1		
		生命科学		1		
		人体解剖学		0.5		
		臨床栄養学		0.5		
		先端応用薬学総論Ⅰ		0.5		
先端応用薬学総論Ⅱ			0.5			
先端応用薬学総論Ⅲ			0.5			
先端応用薬学総論Ⅳ		0.5				
先端応用薬学総論Ⅴ		0.5				
先端応用薬学総論Ⅵ		0.5				
生命科学特別講義		0.5		*3		
社会薬学特別講義		0.5		*3		

授業科目の 区分		授業科目	単位数			備 考
			必修	選択	自由	
専 門 教 育 科 目	薬 学 ア ド バ ン ス ト	社会への招待Ⅱa		0.5		*4
		社会への招待Ⅱb		0.5		*4
		社会への招待Ⅱc		0.5		*4
		社会への招待Ⅱd		0.5		*4
		実用薬学英语		1		
		チーム医療演習		1		
		海外実務実習		2		
		合計	168.5	62	0.5	卒業所要単位数は、必修168.5単位、選択17.5単位以上、計186単位以上とする。

*1 選択必修単位（2単位履修する）

*2 選択必修単位（4単位履修する）

*3 選択必修単位（0.5単位履修する）

*4 選択必修単位（0.5単位履修する）

(3-1) 理学部生物学科開設科目単位表

授業科目の区分		授業科目	単位数			備考
			必修	選択	自由	
総合教育科目	教養教育科目	人文・社会科学系	人文社会科学入門		2	
			哲学		2	
			現代思想		2	
			倫理学		2	
			文学		2	
			日本文化論		2	
			芸術学		2	
			日本国憲法		2	
			法学		2	
			情報法		2	
			経済学A		2	
			経済学B		2	
			会計学		2	
			社会学		2	
			ダイバーシティ論		2	
			文化人類学		2	
			自然人類学		2	
			歴史学		2	
			科学史		2	
			心理学A		2	
			心理学B		2	
			教育心理学		2	
	教育原理		2			
	言語表現系	College English A1	1			
		College English A2	1			
		College English B1	1			
		College English B2	1			
		College English C1	1			
		College English C2	1			
		日本語文章表現A		1		
		日本語文章表現B		1		
		中国語A		1		
		中国語B		1		
		外国語セミナーA		1		
外国語セミナーB			1			
外国語セミナーC		1				
外国語セミナーD		1				
外国語セミナーE		1				
外国語セミナーF		1				
実用医療英語		1				

授業科目の区分		授業科目	単位数			備考	
			必修	選択	自由		
総合教育科目	教養教育科目	スポーツ・健康科学系		2			
			スポーツ・健康科学理論		2		
			スポーツ・健康科学実技A 1		1		
			スポーツ・健康科学実技A 2		1		
			スポーツ・健康科学実技B 1		1		
			スポーツ・健康科学実技B 2		1		
			スポーツ・健康科学実技C 1		1		
			スポーツ・健康科学実技C 2		1		
			スポーツ・健康科学実技D 1		1		
			スポーツ・健康科学実技D 2		1		
			スポーツ・健康科学実技E 1		1		
			スポーツ・健康科学実技E 2		1		
			スポーツ・健康科学実技F 1		1		
			スポーツ・健康科学実技F 2		1		
			スポーツ・健康科学実技G 1		1		
			スポーツ・健康科学実技G 2		1		
			スポーツ・健康科学実技H 1		1		
			スポーツ・健康科学実技H 2		1		
			スポーツ・健康科学実技I 1		1		
			スポーツ・健康科学実技I 2		1		
			スポーツ・健康科学実技J 1		1		
			スポーツ・健康科学実技J 2		1		
			スポーツ・健康科学実技K 1		1		
			スポーツ・健康科学実技K 2		1		
			スポーツ・健康科学実技L		1		
			スポーツ・健康科学実技M		1		
			スポーツ・健康科学実技N		1		
			スポーツ・健康科学実技O		1		
			スポーツ・健康科学演習A		1		
			スポーツ・健康科学演習B		1		
			スポーツ・健康科学演習C		1		
			スポーツ・健康科学演習D		1		
			スポーツ・健康科学演習E		1		
スポーツ・健康科学演習F		1					
スポーツ・健康科学演習G		1					
スポーツ・健康科学演習H		1					
スポーツ・健康科学演習I		1					
スポーツ・健康科学演習J		1					
スポーツ・健康科学演習K		1					
スポーツ・健康科学演習L		1					

授業科目の区分		授業科目	単位数			備考
			必修	選択	自由	
総合教育科目	教養教育科目	その他の教養教育科目	リベラルアーツ・セミナーA		2	
			リベラルアーツ・セミナーB		2	
			リベラルアーツ・セミナーC		2	
			リベラルアーツ・セミナーD		2	
			リベラルアーツ・セミナーE		2	
			リベラルアーツ・セミナーF		2	
			リベラルアーツ・セミナーG		2	
			リベラルアーツ・セミナーH		2	
			リベラルアーツ・フォーラムA		1	
			リベラルアーツ・フォーラムB		1	
			リベラルアーツ・フォーラムC		1	
			リベラルアーツ・フォーラムD		1	
			インターンシップ		1	
			キャリアデザイン		1	
			海外体験プログラムA		1	
			海外体験プログラムB		1	
			海外体験プログラムC		1	
			海外体験プログラムD		1	
	教育制度論		2			
	教育社会学		2			
	人間と生命		1			
	基礎教育科目		数学A 1	2		
			数学A 2	2		
			数学B 1		2	
			数学B 2		2	
			確率と統計A		2	
			確率と統計B		2	
			情報科学A 1		1	
情報科学A 2				1		
情報科学B 1				2		
情報科学B 2				2		
データサイエンス実践入門				2		
一般化学			2			
生命科学				2		
物理学概論				2		
一般物理学				2		
地球宇宙科学				2		
化学実験				1		
生命科学実験				1		
物理学実験				1		
地球宇宙科学実験				1		
初年次セミナー		2				
化学ベーシックA			1			
化学ベーシックB			1			
生物ベーシックA			1			
生物ベーシックB			1			
数学ベーシックA			1			
数学ベーシックB			1			

授業科目の区分		授業科目	単位数			備考
			必修	選択	自由	
総合教育科目	統合科目	医学概論		2		
		臨床病態学		2		
		統合科目 1		2		
		統合科目 2		2		
		統合科目 3		2		
		統合科目 4		2		
		統合科目 5		2		
		統合科目 6		2		
		統合科目 7		2		
		統合科目 8		2		
		統合科目 9		2		
		統合科目 1 0		2		
		統合科目 1 1		2		
		統合科目 1 2		2		
		統合科目 1 3		2		
		統合科目 1 4		2		
		統合科目 1 5		2		
		統合科目 1 6		2		
		統合科目 1 7		2		
		統合科目 1 8		2		
		統合科目 1 9		2		
統合科目 2 0		2				
専門教育科目	生物学序論	1				
	細胞生物学	2				
	遺伝学	2				
	基礎生物科学演習 I	1				
	生物基礎実験	1				
	物質生化学	2				
	基礎生理学	2				
	動物生態学	2				
	発生生物学	2				
	分子生物学	2				
	植物生理学 I	2				
	基礎生物科学演習 II	1				
	分子・細胞生物学実習	1				
	組織学	2				
	基礎免疫生物学	2				
	代謝生化学	2				
	系統分類学	1				
	植物生態学	2				
	生化学実習	1				
	卒業研究 I	1				
	多様性生物学		2			
	植物生理学 II		2			
	動物行動学		2			
	発生学実習		1			
野外生態学実習 I		1				

授業科目の区分	授業科目	単位数			備考
		必修	選択	自由	
専門教育科目	応用生化学		2		
	分子細胞生物学		2		
	分子遺伝学		1		
	分子発生生物学		2		
	植物系統学		1		
	進化生態学		2		
	解剖学実習		1		
	組織学実習		1		
	植物生理学実習		1		
	遺伝学実習		1		
	動物生理学		2		
	生物統計学		2		
	微生物学Ⅰ		1		
	微生物学Ⅱ		1		
	免疫生物学		2		
	幹細胞生物学		2		
	分子生理学		2		
	動物形態進化学		2		
	生物学特論Ⅰ		1		
	生命科学研究セミナー		1		
	微生物学実習		1		
	免疫生物学実習		1		
	生命工学実習		1		
	動物生理学実習		1		
	野外生態学実習Ⅱ		1		
	分子進化学		1		
	行動生理学		1		
	霊長類生態学		1		
	高山生態学		1		
	生物科学英語		1		
	生物学特論Ⅱ		1		
	生物科学実践実習		3		
	生物学特論Ⅲ		1		
	卒業研究Ⅱ		4		
生物学演習Ⅱ		1			
生物学特論Ⅳ		1			
卒業研究Ⅲ		4			
生物学演習Ⅲ		1			
生物学特論Ⅴ		1			
生物学特論Ⅵ		1			
学外講義		2			
学外実習		1			

授業科目の区分	授業科目	単位数			備考	
		必修	選択	自由		
専門教育科目	臨床検査技師資格関連科目	(医用電子工学概論実習)		(0.5)		物理学実験をもってこれに代える
		医学概論		(2)		(再掲：統合科目)
		臨床病態学		(2)		(再掲：統合科目)
		公衆衛生学		2		
		臨床情報科学概論		1		
		血液学		2		
		一般検査学		1		
		一般検査学実習		0.5		
		臨床生化学Ⅰ		2		
		臨床検査総合管理学Ⅰ		3		
		解剖学		2		
		病理解剖学実習		1		
		検査機器総論		1		
		臨床血液学		2		
		医動物学		1		
		医動物学実習		0.5		
		臨床生化学Ⅱ		2		
		医療安全管理学		2		
		病原微生物学		2		
		生理検査学Ⅰ		2		
		生理検査学Ⅱ		3		
		輸血移植検査学		2		
		臨床生理学Ⅰ		2		
		臨床生理学Ⅱ		2		
		生理検査学実習		1		
		栄養学		1		
		臨床栄養学		1		
		薬理学		1		
		病態薬理学		1		
		医用電子工学概論		2		
		病理学Ⅰ		1		
		病理学Ⅱ		1		
		病理検査学		3		
		病理検査学実習		1		
		微生物検査学		2		
		臨床検査学実習Ⅰ		0.7		
		臨床検査学実習Ⅱ		0.4		
		臨床検査学実習Ⅲ		0.4		
		臨床検査総合管理学Ⅱ		1		
		臨床検査総合管理学Ⅲ		1		
		臨床検査総合管理学Ⅳ		1		
臨地実習		12				
臨床特別講義		1				
チーム医療演習		1				
	合計	44	340.5	6	卒業所要単位数は、必修44単位、選択80単位以上、計124単位以上とする。	

(3-2) 理学部化学科開設科目単位表

授業科目の区分		授業科目	単位数			備考
			必修	選択	自由	
総合 教育科目	人文・ 社会科学系	人文社会科学入門		2		
		哲学		2		
		現代思想		2		
		倫理学		2		
		文学		2		
		日本文化論		2		
		芸術学		2		
		日本国憲法		2		
		法学		2		
		情報法		2		
		経済学A		2		
		経済学B		2		
		会計学		2		
		社会学		2		
		ダイバーシティ論		2		
		文化人類学		2		
		自然人類学		2		
		歴史学		2		
		科学史		2		
		心理学A		2		
	心理学B		2			
	教育心理学		2			
	教育原理		2			
	言語 表現系	College English A1	1			
		College English A2	1			
		College English B1	1			
		College English B2	1			
		College English C1	1			
		College English C2	1			
		日本語文章表現A		1		
		日本語文章表現B		1		
		中国語A		1		
		中国語B		1		
外国語セミナーA			1			
外国語セミナーB			1			
外国語セミナーC			1			
外国語セミナーD		1				
外国語セミナーE		1				
外国語セミナーF		1				
実用医療英語		1				

授業科目の区分		授業科目	単位数			備考	
			必修	選択	自由		
総合教育科目	教養教育科目 その他の教養教育科目	リベラルアーツ・セミナーA		2			
		リベラルアーツ・セミナーB		2			
		リベラルアーツ・セミナーC		2			
		リベラルアーツ・セミナーD		2			
		リベラルアーツ・セミナーE		2			
		リベラルアーツ・セミナーF		2			
		リベラルアーツ・セミナーG		2			
		リベラルアーツ・セミナーH		2			
		リベラルアーツ・フォーラムA		1			
		リベラルアーツ・フォーラムB		1			
		リベラルアーツ・フォーラムC		1			
		リベラルアーツ・フォーラムD		1			
		インターンシップ		1			
		キャリアデザイン		1			
		海外体験プログラムA		1			
		海外体験プログラムB		1			
		海外体験プログラムC		1			
		海外体験プログラムD		1			
		教育制度論		2			
		教育社会学		2			
	人間と生命		1				
	総合教育科目	基盤教育科目	数学A 1	2			
			数学A 2	2			
			数学B 1		2		
			数学B 2		2		
			確率と統計A		2		
			確率と統計B		2		
情報科学A 1				1			
情報科学A 2				1			
情報科学B 1				2			
情報科学B 2				2			
データサイエンス実践入門				2			
一般化学			2				
生命科学				2			
物理学概論				2			
一般物理学			2				
地球宇宙科学				2			
化学実験				1			
生命科学実験				1			
物理学実験				1			
地球宇宙科学実験				1			
初年次セミナー		2					
化学ベーシックA			1				
化学ベーシックB			1				
生物ベーシックA			1				
生物ベーシックB			1				
数学ベーシックA			1				
数学ベーシックB			1				

授業科目の区分		授業科目	単位数			備考	
			必修	選択	自由		
総合教育科目	統合科目	医学概論		2			
		臨床病態学		2			
		統合科目1		2			
		統合科目2		2			
		統合科目3		2			
		統合科目4		2			
		統合科目5		2			
		統合科目6		2			
		統合科目7		2			
		統合科目8		2			
		統合科目9		2			
		統合科目10		2			
		統合科目11		2			
		統合科目12		2			
		統合科目13		2			
		統合科目14		2			
		統合科目15		2			
		統合科目16		2			
		統合科目17		2			
		統合科目18		2			
統合科目19		2					
統合科目20		2					
専門教育科目		基礎化学	2				
		基礎化学実験	2				
		基礎物理学実験	2				
		情報化学		2			
		卒業研究		10			
		化学輪講Ⅰ	(1)				臨床検査技師課程以外は化学輪講Ⅰ・化学輪講Ⅱが必修。臨床検査技師課程は臨床検査総合管理学Ⅲ・臨床検査総合管理学Ⅳが必修。
		化学輪講Ⅱ	(1)				
		臨床検査総合管理学Ⅲ	(1)				
		臨床検査総合管理学Ⅳ	(1)				
		特別問題研究		2			
		微生物学Ⅰ		1			
		微生物学Ⅱ		1			
		生物化学Ⅰ		2			
		生物化学Ⅱ		2			
		生物化学実験		1			
		分析化学Ⅰ	2				
		分析化学Ⅱ	2				
		分析化学Ⅲ		2			
		分析化学Ⅳ		2			
		分析化学Ⅴ		2			
地球・環境化学Ⅰ		2					
地球・環境化学Ⅱ		2					
無機・分析化学演習Ⅰ	1						
分析化学実験	2						

授業科目の区分	授業科目	単位数			備考
		必修	選択	自由	
専門教育科目	無機化学Ⅰ	2			
	無機化学Ⅱ	2			
	無機化学Ⅲ		2		
	無機化学Ⅳ		2		
	無機化学Ⅴ		2		
	放射化学		2		
	錯体化学		2		
	無機・分析化学演習Ⅱ	1			
	無機化学実験	2			
	有機化学Ⅰ	2			
	有機化学Ⅱ	2			
	有機化学Ⅲ		2		
	有機化学Ⅳ		2		
	有機化学Ⅴ		2		
	有機化学Ⅵ		2		
	有機化学Ⅶ		2		
	有機化学演習Ⅰ	1			
	有機化学演習Ⅱ	1			
	有機化学実験	4			
	物理化学Ⅰ	2			
	物理化学Ⅱ		2		
	物理化学Ⅲ	2			
	物理化学Ⅳ		2		
	物理化学Ⅴ		2		
	物理化学Ⅵ		2		
	物理化学Ⅶ		2		
	物理化学演習Ⅰ	1			
	物理化学演習Ⅱ	1			
	物理化学実験	4			
	化学特論Ⅰ			1	
	化学特論Ⅱ			1	
	化学特論Ⅲ			1	
	化学特論Ⅳ			1	
	化学特論Ⅴ			1	
化学特論Ⅵ			1		
化学特論Ⅶ			1		
化学特論Ⅷ			1		

授業科目の区分	授業科目	単位数			備考
		必修	選択	自由	
専門教育科目 臨床検査技師資格関連科目	基礎生理学		2		基礎物理学実験をもってこれに代える (再掲) (再掲)
	組織学		2		
	分子生物学 I		2		
	免疫学		2		
	免疫検査学		2		
	微生物学実習		1		
	(医用電子工学概論実習)		(0.5)		
	医学概論		(2)		
	臨床病態学		(2)		
	公衆衛生学		2		
	臨床情報科学概論		1		
	血液学		2		
	一般検査学		1		
	一般検査学実習		0.5		
	臨床生化学 I		2		
	臨床検査総合管理学 I		3		
	解剖学		2		
	病理解剖学実習		1		
	検査機器総論		1		
	臨床血液学		2		
	医動物学		1		
	医動物学実習		0.5		
	臨床生化学 II		2		
	医療安全管理学		2		
	病原微生物学		2		
	生理検査学 I		2		
	生理検査学 II		3		
	輸血移植検査学		2		
	臨床生理学 I		2		
	臨床生理学 II		2		
	生理検査学実習		1		
	栄養学		1		
	臨床栄養学		1		
	薬理学		1		
	病態薬理学		1		
	医用電子工学概論		2		
	病理学 I		1		
	病理学 II		1		
	病理検査学		3		
	病理検査学実習		1		
	微生物検査学		2		
	臨床検査学実習 I		0.7		
	臨床検査学実習 II		0.4		
臨床検査学実習 III		0.4			
臨床検査総合管理学 II		1			
臨床検査総合管理学 III		(1)			
臨床検査総合管理学 IV		(1)			
臨地実習		12			
臨床特別講義		1			
チーム医療演習		1			
	合計	56	347.5	6	卒業所要単位は、必修56単位、選択68単位以上、計124単位以上とする。

(3-3) 理学部生物分子科学科開設科目単位表

授業科目の区分		授業科目	単位数			備考	
			必修	選択	自由		
総合教育科目	教養教育科目	人文・社会科学系	人文社会科学入門		2		
			哲学		2		
			現代思想		2		
			倫理学		2		
			文学		2		
			日本文化論		2		
			芸術学		2		
			日本国憲法		2		
			法学		2		
			情報法		2		
			経済学A		2		
			経済学B		2		
			会計学		2		
			社会学		2		
			ダイバーシティ論		2		
			文化人類学		2		
			自然人類学		2		
			歴史学		2		
			科学史		2		
			心理学A		2		
		心理学B		2			
		教育心理学		2			
		教育原理		2			
		言語表現系	College English A1	1			
			College English A2	1			
			College English B1	1			
			College English B2	1			
			College English C1	1			
			College English C2	1			
日本語文章表現A			1				
日本語文章表現B			1				
中国語A			1				
中国語B			1				
外国語セミナーA			1				
外国語セミナーB			1				
外国語セミナーC			1				
外国語セミナーD			1				
外国語セミナーE		1					
外国語セミナーF		1					
実用医療英語		1					

授業科目の区分		授業科目	単位数			備考	
			必修	選択	自由		
総合教育科目	教養教育科目	スポーツ・健康科学系		2			
			スポーツ・健康科学理論		2		
			スポーツ・健康科学実技A 1		1		
			スポーツ・健康科学実技A 2		1		
			スポーツ・健康科学実技B 1		1		
			スポーツ・健康科学実技B 2		1		
			スポーツ・健康科学実技C 1		1		
			スポーツ・健康科学実技C 2		1		
			スポーツ・健康科学実技D 1		1		
			スポーツ・健康科学実技D 2		1		
			スポーツ・健康科学実技E 1		1		
			スポーツ・健康科学実技E 2		1		
			スポーツ・健康科学実技F 1		1		
			スポーツ・健康科学実技F 2		1		
			スポーツ・健康科学実技G 1		1		
			スポーツ・健康科学実技G 2		1		
			スポーツ・健康科学実技H 1		1		
			スポーツ・健康科学実技H 2		1		
			スポーツ・健康科学実技I 1		1		
			スポーツ・健康科学実技I 2		1		
			スポーツ・健康科学実技J 1		1		
			スポーツ・健康科学実技J 2		1		
			スポーツ・健康科学実技K 1		1		
			スポーツ・健康科学実技K 2		1		
			スポーツ・健康科学実技L		1		
			スポーツ・健康科学実技M		1		
			スポーツ・健康科学実技N		1		
			スポーツ・健康科学実技O		1		
			スポーツ・健康科学演習A		1		
			スポーツ・健康科学演習B		1		
			スポーツ・健康科学演習C		1		
			スポーツ・健康科学演習D		1		
			スポーツ・健康科学演習E		1		
			スポーツ・健康科学演習F		1		
スポーツ・健康科学演習G		1					
スポーツ・健康科学演習H		1					
スポーツ・健康科学演習I		1					
スポーツ・健康科学演習J		1					
スポーツ・健康科学演習K		1					
スポーツ・健康科学演習L		1					

授業科目の区分		授業科目	単位数			備考	
			必修	選択	自由		
総合教育科目	教養教育科目 その他の教養教育科目	リベラルアーツ・セミナーA		2			
		リベラルアーツ・セミナーB		2			
		リベラルアーツ・セミナーC		2			
		リベラルアーツ・セミナーD		2			
		リベラルアーツ・セミナーE		2			
		リベラルアーツ・セミナーF		2			
		リベラルアーツ・セミナーG		2			
		リベラルアーツ・セミナーH		2			
		リベラルアーツ・フォーラムA		1			
		リベラルアーツ・フォーラムB		1			
		リベラルアーツ・フォーラムC		1			
		リベラルアーツ・フォーラムD		1			
		インターンシップ		1			
		キャリアデザイン		1			
		海外体験プログラムA		1			
		海外体験プログラムB		1			
		海外体験プログラムC		1			
		海外体験プログラムD		1			
		教育制度論		2			
	教育社会学		2				
	人間と生命		1				
	総合教育科目	基盤教育科目	数学A 1	2			
			数学A 2	2			
			数学B 1		2		
			数学B 2		2		
			確率と統計A		2		
			確率と統計B		2		
情報科学A 1				1			
情報科学A 2				1			
情報科学B 1				2			
情報科学B 2				2			
データサイエンス実践入門				2			
一般化学			2				
生命科学				2			
物理学概論				2			
一般物理学				2			
地球宇宙科学				2			
化学実験				1			
生命科学実験				1			
物理学実験				1			
地球宇宙科学実験				1			
初年次セミナー				2			
化学ベーシックA					1		
化学ベーシックB					1		
生物ベーシックA					1		
生物ベーシックB					1		
数学ベーシックA					1		
数学ベーシックB					1		

授業科目の区分		授業科目	単位数			備考
			必修	選択	自由	
総合教育科目	統合科目	医学概論		2		
		臨床病態学		2		
		統合科目 1		2		
		統合科目 2		2		
		統合科目 3		2		
		統合科目 4		2		
		統合科目 5		2		
		統合科目 6		2		
		統合科目 7		2		
		統合科目 8		2		
		統合科目 9		2		
		統合科目 1 0		2		
		統合科目 1 1		2		
		統合科目 1 2		2		
		統合科目 1 3		2		
		統合科目 1 4		2		
		統合科目 1 5		2		
		統合科目 1 6		2		
		統合科目 1 7		2		
		統合科目 1 8		2		
		統合科目 1 9		2		
統合科目 2 0		2				
専門教育科目		有機化学 I	2			
		基礎生理学	2			
		細胞生物学	2			
		基礎生化学	2			
		生物分子科学実験 I	1			
		物理化学 I	2			
		生化学 I	2			
		分子生物学 I	2			
		生物分子科学実験 II	1			
		生物分子科学実験 III	1			
		細胞組織学	2			
		遺伝子工学 I	2			
		生物分子科学実験 IV	1			
		生物分子科学実験 V	1			
		生物分子科学特論 III	2			
		生物分子科学演習 I	1			
		生物分子科学演習 II	1			
		基礎化学演習		1		
		基礎細胞生物学		2		
		基礎遺伝学		2		
		生命科学概論		2		
		生物分子科学セミナー I		1		
		基礎進化生物学		2		
		分析化学		2		
		有機化学 II		2		

授業科目の区分	授業科目	単位数			備考
		必修	選択	自由	
専門教育科目	情報生物学		2		
	生理学 I		2		
	臨床遺伝学		2		
	有機分析法		2		
	情報科学概論		2		
	発生生物学		2		
	分子医学概論		2		
	野外実習		1		
	生体分子構造論A		1		
	生体分子構造論B		1		
	生物無機化学A		1		
	生物無機化学B		1		
	生物有機化学A		1		
	生物有機化学B		1		
	生理学 II A		1		
	生理学 II B		1		
	免疫学		2		
	微生物学 I		1		
	微生物学 II		1		
	生物分子科学実験VI		1		
	機能性材料化学A		1		
	機能性材料化学B		1		
	分子医学 I		2		
	分子医学 II A		1		
	分子医学 II B		1		
	分子医学 III A		1		
	分子医学 III B		1		
	応用ゲノム科学A		1		
	応用ゲノム科学B		1		
	生物物理化学A		1		
	生物物理化学B		1		
	生物分子科学特論 I		2		
	生物分子科学特論 IV A		1		
	生物分子科学特論 IV B		1		
	卒業研究		10		
	生物分子科学演習 III		1		
	生物分子科学特論 II		2		
	生物分子科学特論 V		2		
	生物分子科学特論 VI		2		
	生物分子科学特論 VII		2		
	生物分子科学特論 VIII		2		
生物分子科学セミナー II		1			
学外実習		2			

授業科目の区分		授業科目	単位数			備考
			必修	選択	自由	
専門教育科目	臨床検査技師資格関連科目	医用電子工学概論実習		0.5		(再掲) (再掲)
		医学概論		(2)		
		臨床病態学		(2)		
		公衆衛生学		2		
		臨床情報科学概論		1		
		血液学		2		
		一般検査学		1		
		一般検査学実習		0.5		
		臨床生化学Ⅰ		2		
		臨床検査総合管理学Ⅰ		3		
		解剖学		2		
		病理解剖学実習		1		
		検査機器総論		1		
		臨床血液学		2		
		医動物学		1		
		医動物学実習		0.5		
		臨床生化学Ⅱ		2		
		医療安全管理学		2		
		病原微生物学		2		
		生理検査学Ⅰ		2		
		生理検査学Ⅱ		3		
		輸血移植検査学		2		
		臨床生理学Ⅰ		2		
		臨床生理学Ⅱ		2		
		生理検査学実習		1		
		栄養学		1		
		臨床栄養学		1		
		薬理学		1		
		病態薬理学		1		
		医用電子工学概論		2		
		病理学Ⅰ		1		
		病理学Ⅱ		1		
		病理検査学		3		
病理検査学実習		1				
微生物検査学		2				
臨床検査学実習Ⅰ		0.7				
臨床検査学実習Ⅱ		0.4				
臨床検査学実習Ⅲ		0.4				
臨床検査総合管理学Ⅱ		1				
臨床検査総合管理学Ⅲ		1				
臨床検査総合管理学Ⅳ		1				
臨地実習		12				
臨床特別講義		1				
チーム医療演習		1				
合計		39	354	6	卒業所要単位は、必修39単位、選択85単位以上、計124単位以上とする。	

(3-4) 理学部物理学科開設科目単位表

授業科目の区分		授業科目	単位数			備考
			必修	選択	自由	
総合教育科目	教養教育科目	人文社会科学入門		2		
		哲学		2		
		現代思想		2		
		倫理学		2		
		文学		2		
		日本文化論		2		
		芸術学		2		
		日本国憲法		2		
		法学		2		
		情報法		2		
		経済学A		2		
		経済学B		2		
		会計学		2		
		社会学		2		
		ダイバーシティ論		2		
		文化人類学		2		
		自然人類学		2		
		歴史学		2		
		科学史		2		
		心理学A		2		
		心理学B		2		
		教育心理学		2		
	教育原理		2			
	言語表現系	College English A1	1			
		College English A2	1			
		College English B1	1			
		College English B2	1			
		College English C1	1			
		College English C2	1			
		日本語文章表現A		1		
		日本語文章表現B		1		
		中国語A		1		
中国語B			1			
外国語セミナーA		1				
外国語セミナーB		1				
外国語セミナーC		1				
外国語セミナーD		1				
外国語セミナーE		1				
外国語セミナーF		1				
実用医療英語		1				

授業科目の区分		授業科目	単位数			備考	
			必修	選択	自由		
総合 教育科目	教養 教育科目	スポーツ・健康科学系		2			
			スポーツ・健康科学理論		2		
			スポーツ・健康科学実技A 1		1		
			スポーツ・健康科学実技A 2		1		
			スポーツ・健康科学実技B 1		1		
			スポーツ・健康科学実技B 2		1		
			スポーツ・健康科学実技C 1		1		
			スポーツ・健康科学実技C 2		1		
			スポーツ・健康科学実技D 1		1		
			スポーツ・健康科学実技D 2		1		
			スポーツ・健康科学実技E 1		1		
			スポーツ・健康科学実技E 2		1		
			スポーツ・健康科学実技F 1		1		
			スポーツ・健康科学実技F 2		1		
			スポーツ・健康科学実技G 1		1		
			スポーツ・健康科学実技G 2		1		
			スポーツ・健康科学実技H 1		1		
			スポーツ・健康科学実技H 2		1		
			スポーツ・健康科学実技I 1		1		
			スポーツ・健康科学実技I 2		1		
			スポーツ・健康科学実技J 1		1		
			スポーツ・健康科学実技J 2		1		
			スポーツ・健康科学実技K 1		1		
			スポーツ・健康科学実技K 2		1		
			スポーツ・健康科学実技L		1		
			スポーツ・健康科学実技M		1		
			スポーツ・健康科学実技N		1		
			スポーツ・健康科学実技O		1		
			スポーツ・健康科学演習A		1		
			スポーツ・健康科学演習B		1		
			スポーツ・健康科学演習C		1		
			スポーツ・健康科学演習D		1		
			スポーツ・健康科学演習E		1		
			スポーツ・健康科学演習F		1		
スポーツ・健康科学演習G		1					
スポーツ・健康科学演習H		1					
スポーツ・健康科学演習I		1					
スポーツ・健康科学演習J		1					
スポーツ・健康科学演習K		1					
スポーツ・健康科学演習L		1					

授業科目の区分		授業科目	単位数			備考
			必修	選択	自由	
総合教育科目	教養教育科目	その他の教養教育科目		リベラルアーツ・セミナーA	2	
				リベラルアーツ・セミナーB	2	
				リベラルアーツ・セミナーC	2	
				リベラルアーツ・セミナーD	2	
				リベラルアーツ・セミナーE	2	
				リベラルアーツ・セミナーF	2	
				リベラルアーツ・セミナーG	2	
				リベラルアーツ・セミナーH	2	
				リベラルアーツ・フォーラムA	1	
				リベラルアーツ・フォーラムB	1	
				リベラルアーツ・フォーラムC	1	
				リベラルアーツ・フォーラムD	1	
				インターンシップ	1	
				キャリアデザイン	1	
				海外体験プログラムA	1	
				海外体験プログラムB	1	
				海外体験プログラムC	1	
				海外体験プログラムD	1	
				教育制度論	2	
				教育社会学	2	
				人間と生命	1	
		基盤教育科目	数学A 1	2		
			数学A 2	2		
			数学B 1	2		
			数学B 2	2		
			確率と統計A		2	
			確率と統計B		2	
	情報科学A 1			1		
	情報科学A 2			1		
	情報科学B 1			2		
	情報科学B 2			2		
	データサイエンス実践入門			2		
	一般化学			2		
	生命科学			2		
	物理学概論			2		
	一般物理学			2		
	地球宇宙科学			2		
	化学実験			1		
	生命科学実験			1		
	物理学実験			1		
	地球宇宙科学実験			1		
	初年次セミナー		2			
	化学ベーシックA			1		
	化学ベーシックB			1		
	生物ベーシックA			1		
	生物ベーシックB			1		
	数学ベーシックA			1		
	数学ベーシックB			1		

授業科目の区分		授業科目	単位数			備考
			必修	選択	自由	
総合教育科目	統合科目	医学概論		2		
		臨床病態学		2		
		統合科目 1		2		
		統合科目 2		2		
		統合科目 3		2		
		統合科目 4		2		
		統合科目 5		2		
		統合科目 6		2		
		統合科目 7		2		
		統合科目 8		2		
		統合科目 9		2		
		統合科目 10		2		
		統合科目 11		2		
		統合科目 12		2		
		統合科目 13		2		
		統合科目 14		2		
		統合科目 15		2		
		統合科目 16		2		
		統合科目 17		2		
		統合科目 18		2		
統合科目 19		2				
統合科目 20		2				
専門教育科目		力学 I	2			
		力学演習 I	1			
		力学 II	2			
		力学演習 II	1			
		解析力学	2			
		解析力学演習	1			
		電磁気学 I	2			
		電磁気学演習 I	1			
		電磁気学 II	2			
		電磁気学演習 II	1			
		電磁気学 III		2		
		基礎数学演習 I	1			
		基礎数学演習 II	1			
		物理数学 I	2			
		物理数学演習 I	1			
		物理数学 II	1			
		物理数学演習 II	0.5			
		物理数学 III		1		
		物理数学演習 III		0.5		
		微分方程式		2		

授業科目の区分	授業科目	単位数			備考
		必修	選択	自由	
専門教育科目	熱力学	2			
	統計力学Ⅰ	2			
	統計力学演習Ⅰ	1			
	統計力学Ⅱ	1			
	統計力学演習Ⅱ	0.5			
	統計力学Ⅲ		1		
	統計力学演習Ⅲ		0.5		
	原子物理学	2			
	量子力学Ⅰ	2			
	量子力学演習Ⅰ	1			
	量子力学Ⅱ	1			
	量子力学演習Ⅱ	0.5			
	量子力学Ⅲ		1		
	量子力学演習Ⅲ		0.5		
	物理数学入門	2			
	物理学実験Ⅰ	2			
	物理学実験ⅡA	2			
	物理学実験ⅡB	2			
	物理学実験ⅢA	2			
	物理学実験ⅢB	2			
	卒業研究A	5			
	卒業研究B	5			
	コンピュータープログラミング		1		
	物理計測学		2		
	相対性理論		2		
	化学		2		
	原子核物理学		2		
	物理光学		2		
	銀河天文学		2		
	素粒子物理学		2		
	高エネルギー物理学		2		
	固体物理学A		2		
	電子工学		2		
	固体物理学B		2		
	化学物理学		2		
	宇宙物理学		2		
物理学特別講義Ⅰ		2			
物理学特別講義Ⅱ		2			
物理学特論Ⅰ		2			
物理学特論Ⅱ		2			
	合計	70.5	243.5	6	卒業所要単位は、必修70.5単位、選択53.5単位以上、計124単位以上とする。

(3-5) 理学部情報科学科開設科目単位表

授業科目の区分		授業科目	単位数			備考
			必修	選択	自由	
総合教育科目	教養教育科目	人文・社会科学系	人文社会科学入門		2	
			哲学		2	
			現代思想		2	
			倫理学		2	
			文学		2	
			日本文化論		2	
			芸術学		2	
			日本国憲法		2	
			法学		2	
			情報法		2	
			経済学A		2	
			経済学B		2	
			会計学		2	
			社会学		2	
			ダイバーシティ論		2	
			文化人類学		2	
			自然人類学		2	
			歴史学		2	
			科学史		2	
			心理学A		2	
			心理学B		2	
	教育心理学		2			
	教育原理		2			
	言語表現系	College English A1		1		
		College English A2		1		
		College English B1		1		
		College English B2		1		
		College English C1		1		
		College English C2		1		
		日本語文章表現A			1	
		日本語文章表現B			1	
		中国語A			1	
		中国語B			1	
外国語セミナーA				1		
外国語セミナーB				1		
外国語セミナーC			1			
外国語セミナーD			1			
外国語セミナーE			1			
外国語セミナーF			1			
実用医療英語			1			

授業科目の区分		授業科目	単位数			備考	
			必修	選択	自由		
総合教育科目	教養教育科目	スポーツ・健康科学系		2			
			スポーツ・健康科学理論		2		
			スポーツ・健康科学実技A 1		1		
			スポーツ・健康科学実技A 2		1		
			スポーツ・健康科学実技B 1		1		
			スポーツ・健康科学実技B 2		1		
			スポーツ・健康科学実技C 1		1		
			スポーツ・健康科学実技C 2		1		
			スポーツ・健康科学実技D 1		1		
			スポーツ・健康科学実技D 2		1		
			スポーツ・健康科学実技E 1		1		
			スポーツ・健康科学実技E 2		1		
			スポーツ・健康科学実技F 1		1		
			スポーツ・健康科学実技F 2		1		
			スポーツ・健康科学実技G 1		1		
			スポーツ・健康科学実技G 2		1		
			スポーツ・健康科学実技H 1		1		
			スポーツ・健康科学実技H 2		1		
			スポーツ・健康科学実技I 1		1		
			スポーツ・健康科学実技I 2		1		
			スポーツ・健康科学実技J 1		1		
			スポーツ・健康科学実技J 2		1		
			スポーツ・健康科学実技K 1		1		
			スポーツ・健康科学実技K 2		1		
			スポーツ・健康科学実技L		1		
			スポーツ・健康科学実技M		1		
			スポーツ・健康科学実技N		1		
			スポーツ・健康科学実技O		1		
			スポーツ・健康科学演習A		1		
			スポーツ・健康科学演習B		1		
			スポーツ・健康科学演習C		1		
			スポーツ・健康科学演習D		1		
			スポーツ・健康科学演習E		1		
			スポーツ・健康科学演習F		1		
スポーツ・健康科学演習G		1					
スポーツ・健康科学演習H		1					
スポーツ・健康科学演習I		1					
スポーツ・健康科学演習J		1					
スポーツ・健康科学演習K		1					
スポーツ・健康科学演習L		1					

授業科目の区分		授業科目	単位数			備考
			必修	選択	自由	
総合教育科目	教養教育科目	その他の教養教育科目		2		
				2		
				2		
				2		
				2		
				2		
				2		
				2		
				2		
				1		
				1		
				1		
				1		
				1		
				1		
				1		
				1		
				2		
				2		
		1				
		基盤教育科目	数学A 1	2		
			数学A 2	2		
			数学B 1	2		
			数学B 2	2		
			確率と統計A		2	
			確率と統計B		2	
			情報科学A 1		1	
			情報科学A 2		1	
			情報科学B 1		2	
	情報科学B 2			2		
	データサイエンス実践入門		2			
	一般化学		2			
	生命科学		2			
	物理学概論		2			
	一般物理学		2			
	地球宇宙科学		2			
	化学実験		1			
	生命科学実験		1			
	物理学実験		1			
	地球宇宙科学実験		1			
	初年次セミナー		2			
	化学ベーシックA			1		
	化学ベーシックB			1		
	生物ベーシックA			1		
	生物ベーシックB			1		
	数学ベーシックA			1		
	数学ベーシックB			1		

授業科目の区分	授業科目	単位数			備考	
		必修	選択	自由		
総合教育科目	統合科目	医学概論		2		
		臨床病態学		2		
		統合科目1		2		
		統合科目2		2		
		統合科目3		2		
		統合科目4		2		
		統合科目5		2		
		統合科目6		2		
		統合科目7		2		
		統合科目8		2		
		統合科目9		2		
		統合科目10		2		
		統合科目11		2		
		統合科目12		2		
		統合科目13		2		
		統合科目14		2		
		統合科目15		2		
		統合科目16		2		
		統合科目17		2		
		統合科目18		2		
統合科目19		2				
統合科目20		2				
専門教育科目	情報数理A	2			数理知能科学コースのみ必修	
	情報数理演習A	1				
	プログラミングA	2				
	情報数理B	2				
	情報数理演習B	1				
	プログラミングB	2				
	コンピュータアーキテクチャ	2				
	確率論入門	2				
	情報数理C	(2)				
	情報数理演習C	(1)				
	データ解析	(2)			メディア生命科学コースのみ必修	
	情報数理D	(2)				
	情報数理演習D	(1)				
	コンピュータ数学	(2)				
	アルゴリズムとデータ構造	(2)				
	アルゴリズムとデータ構造演習	(1)				
	データ活用概論	(2)				
	データ活用演習	(1)				
	UNIXとネットワーク	(2)				
	データ構造とプログラミング	(2)				
	プロジェクトA	2				
	プロジェクトB	2				
	情報科学セミナー	2				
卒業研究A	5					
卒業研究B	5					

授業科目の区分	授業科目	単位数			備考
		必修	選択	自由	
専門教育科目	情報基盤分野	フーリエ解析		2	
		グラフ理論		2	
		コンピュータネットワーク		2	
		ソフトウェア工学		2	
		メディア情報処理		2	
		データ科学基礎		2	
		コンパイラと形式言語		2	
		マルチパラダイムプログラミング		2	
		データベース論		2	
		自然言語処理		2	
		社会情報学		2	
		情報・符号理論		2	
		暗号と情報セキュリティ		2	
		人工知能		2	
		情報産業論		2	
	数理先進分野	確率過程論		2	
		離散数学		2	
		ラプラス変換		2	
		ベクトル解析		2	
		複素関数論		2	
		実関数論		2	
		確率解析学		2	
		応用幾何学		2	
		形式論理学		2	
		行動計量学		2	
		数理知能科学講究A		2	
		数理計画法		2	
		情報代数学		2	
		数理知能科学講究B		2	
		関数解析学		2	
	メディア生命科学分野	メディア創作概論		2	
		医療情報学		2	
		基礎分子生物学		2	
		CGクリエーション		2	
		デジタル信号処理		2	
		コンピュータグラフィックス		2	
		神経回路理論		2	
		CGクリエーション演習		1	
		バイオインフォマティクス基礎論		2	
		コンピュータビジョン		2	
		メディア生命科学講究A		2	
		シミュレーション		2	
		パターン認識		2	
		メディア生命科学講究B		2	
		生命医科学情報ネットワーク論		2	

授業科目の区分		授業科目	単位数			備考	
			必修	選択	自由		
専門 教育 科目	その 他の 科目	情報テクノロジー		2			
		情報マネジメント・ストラテジ		2			
		社会調査論		2			
		社会調査演習A		1			
		社会調査演習B		1			
		社会調査法		2			
	(教 職)	教職数学A			2		
		教職数学B			2		
			合計	54	309	10	卒業所要単位は、必修54単位、選択70単位以上、計124単位以上とする。

(3-6) 理学部生命圏環境科学科開設科目単位表

授業科目の区分		授業科目	単位数			備考
			必修	選択	自由	
総合教育科目	教養教育科目	人文・社会科学系	人文社会科学入門		2	
			哲学		2	
			現代思想		2	
			倫理学		2	
			文学		2	
			日本文化論		2	
			芸術学		2	
			日本国憲法		2	
			法学		2	
			情報法		2	
			経済学A		2	
			経済学B		2	
			会計学		2	
			社会学		2	
			ダイバーシティ論		2	
			文化人類学		2	
			自然人類学		2	
			歴史学		2	
			科学史		2	
			心理学A		2	
			心理学B		2	
			教育心理学		2	
	教育原理		2			
	言語表現系	College English A1		1		
		College English A2		1		
		College English B1		1		
		College English B2		1		
		College English C1		1		
		College English C2		1		
日本語文章表現A				1		
日本語文章表現B				1		
中国語A				1		
中国語B				1		
外国語セミナーA				1		
外国語セミナーB				1		
外国語セミナーC				1		
外国語セミナーD				1		
外国語セミナーE				1		
外国語セミナーF				1		
実用医療英語				1		

授業科目の区分		授業科目	単位数			備考	
			必修	選択	自由		
総合教育科目	教養教育科目	その他の教養教育科目		2			
			リベラルアーツ・セミナーA		2		
			リベラルアーツ・セミナーB		2		
			リベラルアーツ・セミナーC		2		
			リベラルアーツ・セミナーD		2		
			リベラルアーツ・セミナーE		2		
			リベラルアーツ・セミナーF		2		
			リベラルアーツ・セミナーG		2		
			リベラルアーツ・セミナーH		2		
			リベラルアーツ・フォーラムA		1		
			リベラルアーツ・フォーラムB		1		
			リベラルアーツ・フォーラムC		1		
			リベラルアーツ・フォーラムD		1		
			インターンシップ		1		
			キャリアデザイン		1		
			海外体験プログラムA		1		
			海外体験プログラムB		1		
			海外体験プログラムC		1		
			海外体験プログラムD		1		
			教育制度論		2		
	教育社会学		2				
	人間と生命		1				
	総合教育科目	基盤教育科目	数学A 1	2			
			数学A 2	2			
			数学B 1		2		
			数学B 2		2		
			確率と統計A		2		
確率と統計B				2			
情報科学A 1				1			
情報科学A 2				1			
情報科学B 1				2			
情報科学B 2				2			
データサイエンス実践入門				2			
一般化学				2			
生命科学				2			
物理学概論				2			
一般物理学				2			
地球宇宙科学				2			
化学実験				1			
生命科学実験				1			
物理学実験				1			
地球宇宙科学実験				1			
初年次セミナー				2			
化学ベーシックA					1		
化学ベーシックB					1		
生物ベーシックA					1		
生物ベーシックB					1		
数学ベーシックA					1		
数学ベーシックB					1		

授業科目の区分		授業科目	単位数			備考
			必修	選択	自由	
総合教育科目	統合科目	医学概論		2		
		臨床病態学		2		
		統合科目1		2		
		統合科目2		2		
		統合科目3		2		
		統合科目4		2		
		統合科目5		2		
		統合科目6		2		
		統合科目7		2		
		統合科目8		2		
		統合科目9		2		
		統合科目10		2		
		統合科目11		2		
		統合科目12		2		
		統合科目13		2		
		統合科目14		2		
		統合科目15		2		
		統合科目16		2		
		統合科目17		2		
		統合科目18		2		
		統合科目19		2		
統合科目20		2				
専門教育科目	環境科学概論科目	自然環境科学概論		1		
		生命環境科学概論		1		
		人間環境科学概論		1		
		地球環境科学概論		1		
		環境科学体験実習		1		
	環境科学基礎科目	一般化学Ⅱ		2		
		生命科学Ⅱ		2		
		一般物理学Ⅱ		2		
		地球宇宙科学Ⅱ		2		
		環境統計基礎		2		
		コミュニケーションⅠ		2		
		コミュニケーションⅡ		2		
		化学実験Ⅱ		1		
		生命科学実験Ⅱ		1		
		物理学実験Ⅱ		1		
		地球宇宙科学実験Ⅱ		1		
		環境科学プロジェクト実習		2		
	環境科学応用科目	物質科学		2		
		グリーンケミストリー		2		
		保全生態学		2		
		エネルギー環境学		2		
		再生可能エネルギー論		2		
		環境経済学		2		
		環境法		2		
環境倫理学			2			

授業科目の区分	授業科目	単位数			備考	
		必修	選択	自由		
専門教育科目	環境化学Ⅰ		2			
	環境化学Ⅱ		2			
	環境分析科学		2			
	環境技術企業論		2			
	生物分類論		2			
	群集生態学		2			
	海洋生態学		2			
	地球・惑星科学Ⅰ		2			
	地球・惑星科学Ⅱ		2			
	リモートセンシング		2			
	気象予報論		2			
	環境マネジメント		2			
	環境政策		2			
	環境情報システム		2			
	国際環境ビジネス論		2			
	生命圏環境科学特論Ⅰ		2			
	生命圏環境科学特論Ⅱ		2			
	生命圏環境科学特論Ⅲ		2			
	生命圏環境科学特論Ⅳ		2			
	プログラミング		2			
	環境科学海外研修		2			
	環境科学野外実習Ⅰ		1			
	環境科学野外実習Ⅱ		1			
	環境科学野外実習Ⅲ		1			
	環境科学野外実習Ⅳ		1			
	環境科学野外実習Ⅴ		1			
	環境科学野外実習Ⅵ		1			
	環境科学応用演習Ⅰ		1			
	環境科学応用演習Ⅱ		1			
	環境科学ユニット	地球科学ユニット科目	(3)			所属コースに沿っていずれか必修
		環境生態学ユニット科目	(3)			
		環境化学ユニット科目	(3)			
		環境管理・創成科学ユニット科目	(3)			
卒業研究	卒業研究Ⅰ	4			臨床検査技師課程配属者は課程の別科目の履修により「卒業研究Ⅰ、Ⅱ」の単位にあてる	
	卒業研究Ⅱ	4				

授業科目の区分	授業科目	単位数			備考
		必修	選択	自由	
専門教育科目	臨床検査技師資格関連科目	生物化学Ⅰ		2	
		生物化学Ⅱ		2	
		生物化学実験		1	
		基礎生理学		2	
		組織学		2	
		微生物学Ⅰ		1	
		微生物学Ⅱ		1	
		分子生物学Ⅰ		2	
		免疫学		2	
		免疫検査学		2	
		微生物学実習		1	
		(医用電子工学概論実習)		(0.5)	
		医学概論		(2)	
		臨床病態学		(2)	
		公衆衛生学		2	
		臨床情報科学概論		1	
		血液学		2	
		一般検査学		1	
		一般検査学実習		0.5	
		臨床生化学Ⅰ		2	
		臨床検査総合管理学Ⅰ		3	
		解剖学		2	
		病理解剖学実習		1	
		検査機器総論		1	
		臨床血液学		2	
		医動物学		1	
		医動物学実習		0.5	
		臨床生化学Ⅱ		2	
		医療安全管理学		2	
		病原微生物学		2	
		生理検査学Ⅰ		2	
		生理検査学Ⅱ		3	
		輸血移植検査学		2	
		臨床生理学Ⅰ		2	
		臨床生理学Ⅱ		2	
		生理検査学実習		1	
		栄養学		1	
		臨床栄養学		1	
		薬理学		1	
		病態薬理学		1	
医用電子工学概論		2			
病理学Ⅰ		1			
病理学Ⅱ		1			
病理検査学		3			
病理検査学実習		1			
微生物検査学		2			

* 1
物理学実験をもってこれに代える
(再掲)
(再掲)

* 1

* 1

授業科目の区分		授業科目	単位数			備考
			必修	選択	自由	
専門 教育 科目	臨床 検査 技師 資格 関連 科目	臨床検査学実習Ⅰ		0.7		* 1 * 1（臨床検査技師課程の学生は* 1の4科目の履修をもって「卒業研究Ⅰ」の履修とみなす）
		臨床検査学実習Ⅱ		0.4		
		臨床検査学実習Ⅲ		0.4		
		臨床検査総合管理学Ⅱ		1		
		臨床検査総合管理学Ⅲ		1		* 2（臨床検査技師課程の学生はこの科目の履修をもって「卒業研究Ⅱ」の履修とみなす）
		臨床検査総合管理学Ⅳ		1		
		臨地実習		12		
		臨床特別講義		1		
		チーム医療演習		1		
		合計	21	382.5	6	卒業所要単位は、必修21単位、選択103単位以上、計124単位以上とする。

(4) 看護学部看護学科開設科目単位表【令和5年度以降入学者対象授業科目】

授業科目の 区分		授業科目	単位数			備 考
			必修	選択	自由	
基礎分野	生命と自然と人間の営みについて学ぶ	哲学		1		17単位以上 必修8単位 + 選択9単位以上
		人間論	1			
		死生表象論		1		
		文学		1		
		文化人類学		1		
		法学（日本国憲法）	1			
		法律と医療		1		
		社会学		1		
		教育学		1		
		心理学	1			
		臨床心理学		1		
		医療人間論	1			
		コミュニケーション・スキル		1		
		自然科学の基礎	1			
		化学		1		
		生物学	1			
		物理学		1		
		宇宙科学		1		
		人と芸術	1			
		チームビルディングと自然体験	1			
異文化理解 I		1				
異文化理解 II		1				
データサイエンス実践入門		2				
視野を広げる	英語 I a	1			10単位以上 必修8単位 + 選択2単位以上 (ただし、英語集中講座以外から最低1単位必要)	
	English Communication		1			
	英語 I b	1				
	英語 I c	1				
	英語 II a	1				
	英語 II b	1				
	Medical English	1				
	第2外国語 a	1				
	第2外国語 b	1				
	English Communication for Nurses a/b		1			
	英語集中講座 a（海外）		2			
	英語集中講座 b（国内）		1			
	Advanced Reading I		1			
	Advanced Reading II		1			
	English Proficiency Test I		1			
	English Proficiency Test II		1			
実用医療英語		1				

授業科目の 区分		授業科目	単位数			備 考	
			必修	選択	自由		
専門基礎分野	人体と環境と健康を学ぶ	人体の構造と機能Ⅰ	2			23単位以上 必修21単位 + 選択2単位以上	
		人体の構造と機能Ⅱ	2				
		生化学と栄養	1				
		遺伝学	1				
		病態と治療Ⅰ	2				
		病態と治療Ⅱ	2				
		病態と治療Ⅲ	2				
		感染と防御	2				
		感染制御学	1				
		人体と薬物	2				
		運動科学		1			
		東洋医学		1			
		音楽療法		1			
		公衆衛生学	1				
		疫学と保健統計	2				
	地域共生社会論		1				
	健康支援と社会保障	1					
	探究	アカデミック・スキルⅠ	1			必修 8単位	
		アカデミック・スキルⅡ	1				
		基礎統計学	1				
研究方法論		2					
卒業研究		3					
専門分野	看護の基盤	看護学概論	1			必修 10単位	
		基礎看護学Ⅰ	2				
		基礎看護学Ⅱ	2				
		看護過程論	2				
		基礎看護学Ⅲ	2				
		基礎看護学Ⅳ	1				
		基礎看護学実習Ⅰ	1				必修 3単位
		基礎看護学実習Ⅱ	2				
	看護の展開	看護管理学	2			必修 3単位	
		看護倫理学	1				
		成人看護学概論	1			必修 5単位	
		成人看護学Ⅰ	2				
		成人看護学Ⅱ	2				
		成人看護学実習	4			必修 4単位	
		高齢者看護学概論	1			必修 4単位	
高齢者看護学Ⅰ	1						
高齢者看護学Ⅱ	2						
高齢者看護学実習	3			必修 3単位			

授業科目の 区分		授業科目	単位数			備 考
			必修	選択	自由	
専門分野	看護の 展開	小児看護学概論	1			必修 4単位
		小児看護学Ⅰ	1			
		小児看護学Ⅱ	1			
		小児看護学演習	1			
		小児看護学実習	2			必修 2単位
		母性看護学概論	1			必修 4単位
		母性看護学Ⅰ	2			
		母性看護学Ⅱ	1			
		母性看護学実習	2			必修 2単位
		精神看護学概論	1			必修 4単位
		精神看護学Ⅰ	1			
		精神看護学Ⅱ	2			
		精神看護学実習	2			
		がん看護学Ⅰ	1			必修 2単位
		がん看護学Ⅱ	1			
		がん看護学実習	2			必修 2単位
		在宅看護学概論	2			必修 6単位
		在宅看護学方法論	2			
	地域看護学概論	1				
	地域看護学活動論	1				
	地域・在宅看護学実習	2			必修 2単位	
	公衆衛生看護学概論	1			必修 1単位	
	看護の 応用	国際看護学	2			必修 2単位
		国際看護学演習		1		
		チーム医療演習		1		必修 3単位
		統合実習	3			
合計		113	32	0	卒業所要単位数は、必修118単位、選択8単位以上、計126単位以上とする。	

看護学部看護学科開設科目単位表【令和4年度入学者対象授業科目】

授業科目の 区分		授業科目	単位数		備 考
			必修	選択	
基礎分野	生命と自然と人間の営みについて学ぶ	哲学		1	17単位以上 必修8単位 + 選択9単位以上
		人間論	1		
		死生表象論		1	
		文学		1	
		文化人類学		1	
		法学（日本国憲法）	1		
		法律と医療		1	
		社会学		1	
		教育学		1	
		心理学	1		
		臨床心理学		1	
		医療人間論	1		
		コミュニケーション・スキル		1	
		自然科学の基礎	1		
		化学		1	
		生物学	1		
		物理学		1	
		宇宙科学		1	
		人と芸術	1		
		チームビルディングと自然体験	1		
異文化理解Ⅰ		1			
異文化理解Ⅱ		1			
データサイエンス実践入門		2			
視野を広げる	英語Ⅰa	1		10単位以上 必修8単位 + 選択2単位以上 (ただし、英語集中講座以外から 最低1単位必要)	
	English Communication		1		
	英語Ⅰb	1			
	英語Ⅰc	1			
	英語Ⅱa	1			
	英語Ⅱb	1			
	Medical English	1			
	第2外国語 a	1			
	第2外国語 b	1			
	English Communication for Nurses a/b		1		
	英語集中講座 a (海外)		2		
	英語集中講座 b (国内)		1		
	Advanced Reading Ⅰ		1		
	Advanced Reading Ⅱ		1		
	English Proficiency Test Ⅰ		1		
	English Proficiency Test Ⅱ		1		
実用医療英語		1			

授業科目の 区分		授業科目	単位数		備 考
			必修	選択	
専門基礎分野	人体と環境と健康を学ぶ	人体の構造と機能Ⅰ	2		23単位以上 必修21単位 + 選択2単位以上
		人体の構造と機能Ⅱ	2		
		生化学と栄養	1		
		遺伝学	1		
		病態と治療Ⅰ	2		
		病態と治療Ⅱ	2		
		病態と治療Ⅲ	2		
		感染と防御	2		
		感染制御学	1		
		人体と薬物	2		
		運動科学		1	
		東洋医学		1	
		音楽療法		1	
		公衆衛生学	1		
		疫学と保健統計	2		
		地域共生社会論		1	
		健康支援と社会保障	1		
		探究	アカデミック・スキルⅠ	1	
アカデミック・スキルⅡ	1				
基礎統計学	1				
研究方法論	2				
卒業研究	3				
専門分野	看護の基盤	看護学概論	1		必修 10単位
		基礎看護学Ⅰ	2		
		基礎看護学Ⅱ	2		
		看護過程論	2		
		基礎看護学Ⅲ	2		
		基礎看護学Ⅳ	1		
		基礎看護学実習Ⅰ	1		必修 3単位
		基礎看護学実習Ⅱ	2		
		看護管理学	2		必修 3単位
	看護倫理学	1			
	看護の展開	成人看護学概論	1		必修 5単位
		成人看護学Ⅰ	2		
		成人看護学Ⅱ	2		
		成人看護学実習	4		必修 4単位
		高齢者看護学概論	1		必修 4単位
高齢者看護学Ⅰ		1			
高齢者看護学Ⅱ		2			
高齢者看護学実習		3		必修 3単位	

授業科目の 区分		授業科目	単位数		備 考
			必修	選択	
専門分野	看護の展開	小児看護学概論	1		必修 4単位
		小児看護学Ⅰ	1		
		小児看護学Ⅱ	1		
		小児看護学演習	1		
		小児看護学実習	2		必修 2単位
		母性看護学概論	1		必修 4単位
		母性看護学Ⅰ	2		
		母性看護学Ⅱ	1		
		母性看護学実習	2		必修 2単位
		精神看護学概論	1		必修 4単位
		精神看護学Ⅰ	1		
		精神看護学Ⅱ	2		
		精神看護学実習	2		必修 2単位
		がん看護学Ⅰ	1		必修 2単位
		がん看護学Ⅱ	1		
		がん看護学実習	2		必修 2単位
		在宅看護学概論	2		必修 6単位
		在宅看護学方法論	2		
		地域看護学概論	1		
	地域看護学活動論	1			
	地域・在宅看護学実習	2		必修 2単位	
	公衆衛生看護学概論	1		必修 1単位	
	看護の応用	国際看護学	2		必修 2単位
		国際看護学演習		1	
チーム医療演習			1		
統合実習		3		必修 3単位	
		合計	113	32	卒業所要単位数は、必修113単位、 選択13単位以上、計126単位以上とする。

看護学部看護学科開設科目単位表【令和3年度以前入学者対象授業科目】

授業科目の 区分		授業科目	単位数		備 考
			必修	選択	
一 般 教 育 領 域	基 礎 自 然 科 学 を 学 ぶ の	化学		1	4単位以上
		物理学		1	
		宇宙科学		1	
		自然科学の基礎	1		
		生物学	1		
	視 野 を 広 げ る	English for Communication I	2		10単位以上
		English for Communication II	2		
		English for Communication III	1		
		English for Communication IV	1		
		Medical English I	1		
		Medical English II		1	
		夏期英語集中講座		1	
		Advanced Reading I		1	
		Advanced Reading II		1	
		English for Communication V		1	
		第2外国語 I	1		
		第2外国語 II	1		
		実用医療英語		1	
	人 間 性 を 養 い 感 性 を 培 う	日本文化研修	1		
		文化講座	1		
		自然体験学習	1		
		運動科学	1		
		人間論	1		
	人 間 の 営 み を 理 解 す る	心理学	1		4単位以上 但し、保健師国家試験受資格を得るためには法学を必修とする。
		社会学		1	
		教育学		1	
		法学（日本国憲法）		1	
文化人類学			1		
手話			1		
文学			1		
海外研修 I			1		
海外研修 II			1		

授業科目の 区分		授業科目	単位数		備 考
			必修	選択	
基礎 領域	人体を学ぶ	人体の構造と機能Ⅰ	2		13単位以上
		人体の構造と機能Ⅱ	2		
		生体の化学	1		
		栄養と代謝	1		
		遺伝学	1		
	人間と健康	病態と治療Ⅰ	2		
		病態と治療Ⅱ	2		
		病態と治療Ⅲ	2		
		病態と治療Ⅳ	2		
		感染と防御	2		
		人体と薬物	2		
		東洋医学		1	
		臨床心理学		1	
	音楽療法		1		
	健康と環境	医療人間論	1		
		保健・医療・福祉と行政	1		
		公衆衛生学	2		
		疫学と保健統計	2		
		情報と統計学	2		
		法律と医療	1		
研究	研究方法論	1			
	卒業研究	4			
専門 領域Ⅰ	基礎看護学	看護学概論	1		
		基礎看護学Ⅰ	2		
		基礎看護学Ⅱ	2		
		看護過程論	1		
		基礎看護学Ⅲ	2		
		基礎看護学Ⅳ	1		
	実基礎 習	看護学基礎実習	1		
基礎看護学実習		3			
専門 領域Ⅱ	看護学 成人	成人看護学概論	1		
		成人看護学Ⅰ	2		
		成人看護学Ⅱ	2		
	看護学 高齢者	高齢者看護学概論	1		
		高齢者看護学Ⅰ	1		
		高齢者看護学Ⅱ	2		
	看護学 小児	小児看護学概論	1		
		小児看護学Ⅰ	1		
		小児看護学Ⅱ	1		
		小児看護学演習	1		

授業科目の 区分		授業科目	単位数		備 考
			必修	選択	
専 門 領 域 II	看護学 母性	母性看護学概論	1		
		母性看護学 I	2		
		母性看護学 II	1		
	看護学 精神	精神看護学概論	1		
		精神看護学 I	1		
		精神看護学 II	2		
	看護学 がん	がん看護学 I	1		
		がん看護学 II	1		
	専門 実習	成人看護学実習	4		
		高齢者看護学実習	3		
		小児看護学実習	2		
		母性看護学実習	2		
		精神看護学実習	2		
がん看護学実習		2			
統 合 領 域	看護学 在宅	在宅看護学概論	2		
		在宅看護方法論	2		
	看護学 公衆衛生	公衆衛生看護学概論	2		2単位以上 但し、保健師国家試験受験資格を得るためには、公衆衛生看護学 I・II は必修とする。
		公衆衛生看護学 I		2	
		公衆衛生看護学 II		2	
	看護学 国際	国際看護学	2		6単位以上 但し、保健師国家試験受験資格を得るためには、健康政策論は必修とする。
	看護の 統合と 実践	看護管理学	2		
		看護倫理学	1		
		感染制御学	1		
		死生表象論		1	
		健康政策論		1	
		国際看護学演習		1	
		チーム医療演習		1	
	看護専門分野実践入門		1		
実 統 合 実 習	在宅看護学実習	2			
	統合実習	2			
保 健 師 課 程	保健・医療・福祉行政論		2	保健師課程選択者（保健師国家試験受験資格を得るため）は、13単位の履修を必要とする。	
	公衆衛生看護管理論		2		
	公衆衛生看護活動展開論 I		2		
	公衆衛生看護活動展開論 II		2		
	公衆衛生看護学実習 I		2		
	公衆衛生看護学実習 II		3		
合 計		118	42	卒業所要単位数は、必修118単位、選択8単位以上（保健師課程は除く）、計126単位以上とする。	

(5) 健康科学部看護学科開設科目単位表

令和7年度以降の入学者に適用

授業科目の 区分	授業科目	単位数			備 考	
		必修	選択	自由		
総合 教育 科目	自然科学	自然科学概論	1			
		データサイエンス	1			
		化学	1			
		生物学	1			
		看護のための物理学	1			
	語学	実用英語 I A		1		選択1単位以上
		実用英語 I B		1		
		実用英語 II	1			
		医療英語A		1		選択1単位以上
		医療英語B		1		
		実用英語Ⅲ		1		選択1単位以上
		実用英語Ⅳ		1		
		実用医療英語		1		
		ドイツ語入門		1		選択1単位以上
	フランス語入門		1			
	中国語入門		1			
	健康科学	健康科学概論	1			
		コミュニケーション論	1			
		プレゼンテーション論	1			
		人間と生命		1		選択1単位以上 ※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする
		千葉県の地域医療		1		
		スポーツ健康科学※		1		
	スポーツ健康科学実技※		1			
	人文科学	心理学	1			
		社会学	1			
		倫理学	1			
		教育学		1		選択2単位以上 ※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする
組織論※			1			
経済学			1			
法学（日本国憲法を含む）※			2			
文学			1			
人類学			1			
哲学			1			

授業科目の区分		授業科目	単位数			備 考
			必修	選択	自由	
専門基礎教育科目	人間と健康	人体の構造と機能Ⅰ	2			
		人体の構造と機能Ⅱ	2			
		人体の構造と機能Ⅲ	2			
		生化学	1			
		臨床栄養学	1			
		微生物学	1			
		疾病と治療Ⅰ	2			
		疾病と治療Ⅱ	2			
		疾病と治療Ⅲ	2			
		疾病と治療Ⅳ	2			
		疾病と治療Ⅴ	2			
		薬理学	2			
		薬剤学	1			
		リハビリテーション論	1			
	臨床遺伝学		1		選択1単位以上	
	臨床心理学		1			
	社会と健康	保健医療福祉行政論	2			
		社会保障制度	2			
		保健統計	1			
		公衆衛生	1			
疫学Ⅰ（基礎編）※			1		選択1単位以上 ※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする	
疫学Ⅱ（応用編）※			1			
健康生活支援論※		1				
政策形成過程論※		1				
専門教育科目	トランスレーショナル看護領域	看護学概論	1			
		臨床看護学概論	1			
		看護倫理学	1			
		看護理論	1			
		看護展開論	0.5			
		機能障害のある患者の看護	2			
		がん看護	1			
		周手術期看護・急性重症患者看護	2			
		感染看護	0.5			
		看護の基本技術1（療養環境の整備技術）	1			
		看護の基本技術2（ヘルスアセスメント）	1			
		看護の基本技術3（日常生活援助技術）	1.5			
		看護の基本技術4（診療の補助技術）	1.5			
		看護の基本技術5（慢性期看護技術）	1			
	看護の基本技術6（急性期看護技術）	1				
	臨地実習	看護入門実習Ⅰ	1			
		臨床看護学実習Ⅰ	3			
		臨床看護学実習Ⅱ	3			
		臨床看護学実習Ⅲ	2			

授業科目の 区分		授業科目	単位数			備 考	
			必修	選択	自由		
専門教育科目	ファミリーヘルス看護領域	基礎科目Ⅰ	発達看護論 ファミリーヘルス看護論 援助的人間関係論	1 1 1			
		小児看護学	小児看護学概論 小児看護学方法論 看護の基本技術7（小児看護技術）	1 1 1			
		母性看護学	母性看護学概論 母性看護学方法論 看護の基本技術8（母性看護技術）	1 1 1			
		精神看護学	精神看護学概論 精神看護学方法論 看護の基本技術9（精神看護技術）	1 1 1			
		臨地実習	小児看護学実習 母性看護学実習 精神看護学実習	2 2 2			
		科目Ⅱ	コミュニティヘルス看護概論 コミュニティヘルス看護展開論	1 1			
	コミュニティヘルス看護領域	看護学 老年	老年看護学概論 老年看護学方法論 看護の基本技術10（老年看護技術）	1 2 1			
		在宅地域看護論	地域・在宅看護概論 地域・在宅看護方法論 看護の基本技術11（在宅看護技術）	1 1 1			
		看護学 公衆衛生	公衆衛生看護学概論 看護の基本技術12（地区診断）	1 0.5			
		臨地実習	老年看護学実習 看護入門実習Ⅱ 在宅看護実習 コミュニティヘルス看護実習	3 1 1 1			
		プレ・プロフェSSIONAL看護領域	看護の統合と実践	看護研究入門 看護研究 看護の役割と実践の探究 臨床実践技術の探究 看護管理論 リスクマネジメント エンドオブライフケア	0.5 2 1 1 1 1 1		
			臨地実習	国際保健論（災害看護論を含む）※ 専門看護への招待 チーム活動論 チーム医療演習 国際看護論		1 1 1 1 1	選択2単位以上 ※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする
	看護実践の探究			2			

授業科目の 区分			授業科目	単位数			備 考
				必修	選択	自由	
専門 教育科目	保健師 専門科目	公衆衛生 看護学	公衆衛生看護学の技術※		2		※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする
			公衆衛生看護学活動論※		2		
			学校保健・産業保健※		1		
			公衆衛生看護管理論※		1		
実 臨 地	公衆衛生看護学実習Ⅰ※		2				
	公衆衛生看護学実習Ⅱ※		2				
専門 基 盤 科 目	初 年 次 教 育	トランスレーショナルへの挑戦Ⅰ	1			選択1単位以上	
		トランスレーショナルへの挑戦Ⅱ	1				
	ア キ ヤ 教 育	トランスレーショナルへの挑戦Ⅲ		1			
		トランスレーショナルへの挑戦Ⅳ		1			
リメディアル 教育科目		生物学入門			1	卒業所要単位に含めない	
		化学入門			1		
合計				113	45	2	卒業所要単位数は、必修113単位、選択12単位以上、計125単位以上とする。

授業科目の 区分	授業科目	単位数			備 考	
		必修	選択	自由		
総合 教育 科目	自然科学	自然科学概論	1		※※自由選択 講義、演習を併用する	
		データサイエンス	1			
		データサイエンス実践入門※※		2		
		化学	1			
		生物学	1			
		看護のための物理学	1			
	語学	実用英語 I A		1		選択1単位以上
		実用英語 I B		1		
		実用英語 II	1			
		医療英語A		1		選択1単位以上
		医療英語B		1		
		実用英語Ⅲ		1		選択1単位以上
		実用英語Ⅳ		1		
		実用医療英語		1		
		ドイツ語入門		1		選択1単位以上
	フランス語入門		1			
	中国語入門		1			
	健康科学	健康科学概論	1			選択1単位以上 ※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする
		コミュニケーション論	1			
		プレゼンテーション論	1			
		人間と生命		1		
		千葉県の地域医療		1		
		スポーツ健康科学※		1		
	スポーツ健康科学実技※		1			
	人文科学	心理学	1			選択2単位以上 ※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする
		社会学	1			
		倫理学	1			
教育学			1			
組織論※			1			
経済学			1			
法学（日本国憲法を含む）※			2			
文学			1			
人類学			1			
哲学		1				

授業科目の 区分		授業科目	単位数			備 考
			必修	選択	自由	
専門基礎 教育科目	人間と 健康	人体の構造と機能Ⅰ	2			
		人体の構造と機能Ⅱ	2			
		人体の構造と機能Ⅲ	2			
		生化学	1			
		臨床栄養学	1			
		微生物学	1			
		疾病と治療Ⅰ	2			
		疾病と治療Ⅱ	2			
		疾病と治療Ⅲ	2			
		疾病と治療Ⅳ	2			
		疾病と治療Ⅴ	2			
		薬理学	2			
		薬剤学	1			
		リハビリテーション論	1			
	臨床遺伝学		1		選択1単位以上	
	臨床心理学		1			
	社会と 健康	保健医療福祉行政論	2			
		社会保障制度	2			
		保健統計	1			
		公衆衛生	1			
疫学Ⅰ（基礎編）※			1		選択1単位以上 ※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする	
疫学Ⅱ（応用編）※			1			
健康生活支援論※		1				
政策形成過程論※		1				
専門 教育科目	トラン スレー シヨ ナル 看護 領域	看護学概論	1			
		臨床看護学概論	1			
		看護倫理学	1			
		看護理論・看護展開論	1			
		機能障害のある患者の看護	2			
		周手術期看護・急性重症患者看護	2			
		リスクマネジメント	1			
		看護の基本技術1（療養環境の整備技術）	1			
		看護の基本技術2（ヘルスアセスメント）	1			
		看護の基本技術3（日常生活援助技術）	2			
		看護の基本技術4（診療の補助技術）	2			
		看護の基本技術5（慢性期看護技術）	1			
		看護の基本技術6（急性期看護技術）	1			
		臨地 実習	看護入門実習Ⅰ	1		
	臨床看護学実習Ⅰ		3			
	臨床看護学実習Ⅱ		3			
	臨床看護学実習Ⅲ		2			

授業科目の 区分		授業科目	単位数			備 考
			必修	選択	自由	
専門教育科目	ファミリーヘルス看護領域	基礎 科目 I	発達看護論	1		
			ファミリーヘルス看護論	1		
			援助的人間関係論	1		
		小児 看護学	小児看護学概論	1		
			小児看護学方法論	1		
			看護の基本技術7（小児看護技術）	1		
	母性 看護学	母性看護学概論	1			
		母性看護学方法論	1			
		看護の基本技術8（母性看護技術）	1			
	精神 看護学	精神看護学概論	1			
		精神看護学方法論	1			
		看護の基本技術9（精神看護技術）	1			
	臨地 実習	小児看護学実習	2			
		母性看護学実習	2			
		精神看護学実習	2			
	コミュニティヘルス看護領域	科 基 目 礎 II	コミュニティヘルス看護概論	1		
			コミュニティヘルス看護展開論	1		
		看 老 護 年 学	老年看護学概論	1		
			老年看護学方法論	2		
			看護の基本技術10（老年看護技術）	1		
在 地 宅 域 看 護 論		地域・在宅看護概論	1			
		地域・在宅看護方法論	1			
		看護の基本技術11（在宅看護技術）	1			
看 衛 公 護 生 衆 学	公衆衛生看護学概論	1				
	看護の基本技術12（地区診断）	1				
臨地 実習	老年看護学実習	3				
	看護入門実習Ⅱ	1				
	在宅看護実習	1				
	コミュニティヘルス看護実習	1				
専門教育科目	プレ・プロフェッショナル看護領域	看護研究入門	1			
		看護研究	2			
		看護の役割と実践の探究	1			
		臨床実践技術の探究	1			
		看護管理論	1			
		エンドオブライフケア	1			
		国際保健論（災害看護論を含む）※		1		選択2単位以上 ※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする
		専門看護への招待		1		
		がん看護		1		
		チーム活動論※		1		
	チーム医療演習		1			
国際看護		1				
臨地 実習	看護実践の探究	2				

授業科目の 区分			授業科目	単位数			備 考
				必修	選択	自由	
専門 教育科目	保健師 専門科目	公衆衛生 看護学	公衆衛生看護学の技術※		2		※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする
			公衆衛生看護学活動論※		2		
			学校保健・産業保健※		1		
			公衆衛生看護管理論※		1		
	実臨 習地	公衆衛生看護学実習Ⅰ※		2			
公衆衛生看護学実習Ⅱ※			2				
リメディアル 教育科目			生物学入門		1		卒業所要単位に含めない
			化学入門		1		
専門 基盤 科目	初年 次 教育		トランスレーショナルへの挑戦Ⅰ	1			選択1単位以上
			トランスレーショナルへの挑戦Ⅱ	1			
	アキ ャリ 教育		トランスレーショナルへの挑戦Ⅲ		1		
			トランスレーショナルへの挑戦Ⅳ		1		
合計				113	50	0	卒業所要単位数は、必修113単位、選択12単位以上、計125単位以上とする。

科目 区分	授業科目	必修			選択			備 考	
		講義	演習	実習	講義	演習	実習		
総 合 教 育 科 目	自 然 科 学	自然科学概論	1					**自由選択 講義、演習を併用する	
		データサイエンス		1					
		データサイエンス実践入門**					2		
		化学	1						
		生物学	1						
		看護のための物理学	1						
	語 学	実用英語ⅠA					1		選択1単位以上
		実用英語ⅠB					1		
		実用英語Ⅱ		1					
		医療英語A					1		選択1単位以上
		医療英語B					1		
		実用英語Ⅲ					1		選択1単位以上
		実用英語Ⅳ					1		
		実用医療英語					1		
		ドイツ語入門					1		選択1単位以上
		フランス語入門					1		
	中国語入門					1			
	健 康 科 学	健康科学概論	1						選択1単位以上 ※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする
		コミュニケーション論	1						
		プレゼンテーション論	1						
		人間と生命				1			
		千葉県の地域医療				1			
		スポーツ健康科学※				1			
		スポーツ健康科学実技※					1		
	人 文 科 学	心理学	1						選択2単位以上 ※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする
		社会学	1						
		倫理学	1						
		教育学				1			
		組織論※				1			
		経済学				1			
法学（日本国憲法を含む）※					2				
文学					1				
人類学					1				
哲学					1				

科目 区分	授業科目	必修			選択			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
専 門 基 礎 教 育 科 目	人 間 と 健 康	人体の構造と機能Ⅰ	2					
		人体の構造と機能Ⅱ	2					
		人体の構造と機能Ⅲ	2					
		生化学	1					
		臨床栄養学	1					
		微生物学		1				
		疾病と治療Ⅰ	2					
		疾病と治療Ⅱ	2					
		疾病と治療Ⅲ	2					
		疾病と治療Ⅳ	2					
		疾病と治療Ⅴ	2					
		薬理学	2					
		薬剤学	1					
		リハビリテーション論	1					
	臨床遺伝学				1			選択1単位以上
	臨床心理学				1			
	社 会 と 健 康	保健医療福祉行政論	2					
		社会保障制度	2					
		保健統計	1					
		公衆衛生	1					
疫学Ⅰ(基礎編)※					1			選択1単位以上 ※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする
疫学Ⅱ(応用編)※					1			
健康生活支援論※					1			
政策形成過程論※				1				
専 門 教 育 科 目	ト ラ ン ス レ ー シ ョ ナ ル 看 護 領 域	看護学概論	1					
		臨床看護学概論	1					
		看護倫理学	1					
		看護理論・看護展開論		1				
		機能障害のある患者の看護	2					
		周手術期看護・急性重症患者看護	2					
		リスクマネジメント		1				
		看護の基本技術1 (療養環境の整備技術)		1				
		看護の基本技術2 (ヘルスアセスメント)		1				
		看護の基本技術3 (日常生活援助技術)		2				
		看護の基本技術4 (診療の補助技術)		2				
		看護の基本技術5 (慢性期看護技術)		1				
		看護の基本技術6 (急性期看護技術)		1				
		臨 地 実 習	看護入門実習Ⅰ			1		
	臨床看護学実習Ⅰ				3			
	臨床看護学実習Ⅱ				3			
	臨床看護学実習Ⅲ				2			

科目 区分		授業科目	必修			選択			備考	
			講義	演習	実習	講義	演習	実習		
専 門 教 育 科 目	ファミリーヘルス看護領域	基礎 科目 I	発達看護論	1						
			ファミリーヘルス看護論		1					
			援助の人間関係論	1						
		看護学 小児	小児看護学概論	1						
			小児看護学方法論	1						
			看護の基本技術7 (小児看護技術)		1					
		看護学 母性	母性看護学概論	1						
			母性看護学方法論	1						
			看護の基本技術8 (母性看護技術)		1					
	看護学 精神	精神看護学概論	1							
		精神看護学方法論	1							
		看護の基本技術9 (精神看護技術)		1						
	臨地 実習	小児看護学実習			2					
		母性看護学実習			2					
		精神看護学実習			2					
	コミュニ ティヘル ス看護 領域	科目 II 基礎	コミュニティヘルス看護概論	1						
			コミュニティヘルス看護展開論		1					
		看護学 老年	老年看護学概論	1						
			老年看護学方法論	2						
			看護の基本技術10 (老年看護技術)		1					
		地域・ 在宅 看護論	地域・在宅看護概論	1						
			地域・在宅看護方法論	1						
			看護の基本技術11 (在宅看護技術)		1					
		生 学 公衆 看護	公衆衛生看護学概論	1						
			看護の基本技術12 (地区診断)		1					
			老年看護学実習			3				
			看護入門実習Ⅱ			1				
		臨地 実習	在宅看護実習			1				
			コミュニティヘルス看護実習			1				
			プレ・ プロフ ェッシ ョナル 看護 領域	看護研究入門		1				
看護研究				2						
看護の役割と実践の探究		1								
臨床実践技術の探究		1								
看護管理論	1									
エンドオブライフケア	1									
国際保健論 (災害看護論を含む) ※					1					
専門看護への招待					1					
がん看護					1					
チーム活動論※					1					
チーム医療演習						1				
国際看護					1					
臨地実習	看護実践の探究			2						

選択2単位以上
※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする

科目 区分			授業科目	必修			選択			備 考
				講義	演習	実習	講義	演習	実習	
専門教育科目	保健師専門科目	公衆衛生看護学	公衆衛生看護学の技術※					2		※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする
			公衆衛生看護学活動論※				2			
			学校保健・産業保健※				1			
			公衆衛生看護管理論※				1			
		実習地	公衆衛生看護学実習Ⅰ※						2	
			公衆衛生看護学実習Ⅱ※						2	
リメディアル教育科目			生物学入門				1		卒業所要単位に含めない	
			化学入門				1			
専門基盤科目	初年次教育		トランスレーショナルへの挑戦Ⅰ		1					選択1単位以上
			トランスレーショナルへの挑戦Ⅱ	1						
	アキヤリ教育		トランスレーショナルへの挑戦Ⅲ				1			
			トランスレーショナルへの挑戦Ⅳ				1			
小 計			63	27	23	29	17	4	卒業所要単位は、必修113単位、選択12単位以上、計125単位以上とする	
合 計			113			50				

科目 区分	授業科目	必修			選択			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
教 養 教 育 科 目	自然科学	自然科学概論	1					
		情報科学概論	1					
		化学	1					
		生物学	1					
		看護のための物理学	1					
	語 学	実用英語 I A					1	選択1単位以上
		実用英語 I B					1	
		実用英語 II		1				
		医療英語 I A					1	選択1単位以上
		医療英語 I B					1	
		実用英語 III					1	選択1単位以上
		実用英語 IV					1	
		医療英語 II					1	
		実用医療英語					1	
		ドイツ語入門					1	選択1単位以上
	フランス語入門					1		
	中国語入門					1		
	健康 科学	健康科学概論	1					
		コミュニケーション論	1					
		プレゼンテーション論	1					
		スポーツ健康科学※				1		選択1単位以上 ※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする
		スポーツ健康科学実技※					1	
	人 文 科 学	心理学	1					
		教育学	1					
		組織論※				1		選択2単位以上 ※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする
		経済学				1		
		社会学				1		
法学(日本国憲法を含む)※					2			
文学					1		選択2単位以上	
人類学					1			
哲学				1				
倫理学				1				
専 門 基 礎 教 育 科 目	人 間 と 健 康	人体の構造と機能 I	2					
		人体の構造と機能 II	2					
		人体の構造と機能 III	2					
		生化学	1					
		臨床栄養学	1					
		微生物学		1				
		疾病と治療 I	2					
		疾病と治療 II	2					

科目 区分		授業科目	必修			選択			備 考	
			講義	演習	実習	講義	演習	実習		
専門 基礎 教育 科目	人間 と 健康	疾病と治療Ⅲ	2							
		疾病と治療Ⅳ	2							
		疾病と治療Ⅴ	1							
		薬理学	2							
		薬剤学	1							
		リハビリテーション論	1							
		臨床遺伝学				1				選択1単位以上
		臨床心理学				1				
	社会 と 健康	保健医療福祉行政論	2							
		社会保障制度	2							
		研究方法の基礎	1							
		保健統計と情報処理	1							
		疫学と公衆衛生	2							
		健康生活支援論※ 政策形成過程論※					1 1			選択1位以上 ※保健師国家試験受験資格を得るためには必須とする
専門 教育 科目	トランス レー シ ョ ナ ル 看護 領域	臨床 看護 学	看護学概論	1						
			臨床看護学概論	1						
			看護倫理学	1						
			看護理論	1						
			トランスレーショナルへの挑戦	1						
			看護展開論		1					
			機能障害のある患者の看護	2						
			周手術期看護・急性重症患者看護	2						
			がん看護・緩和ケア	1						
			感染看護	1						
			臨床 看護 学	看護の基本技術Ⅰ		1				
	看護の基本技術Ⅱ			2						
	看護の基本技術Ⅲ			2						
	看護の基本技術Ⅳ			1						
	臨床 実 習	看護入門実習Ⅱ			1					
		看護実践の基礎			2					
		臨床実践Ⅰ			2					
		臨床実践Ⅱ			2					
		臨床実践Ⅲ			2					
	ファミ リー ヘル ス 看護 領域	基 盤 科 目 Ⅰ	発達看護論	1						
			ファミリーヘルス看護論		1					
			援助的人間関係論	1						
	小児 看護 学	小児看護学概論	1							
小児看護学方法論		1								
看護の基本技術Ⅴ			1							

科目 区分		授業科目	必修			選択			備考	
			講義	演習	実習	講義	演習	実習		
専 門 教 育 科 目	ファミリ ーヘル ス看護 領域	看護学 母性	母性看護学概論	1						
			母性看護学方法論	1						
			看護の基本技術VI		1					
		看護学 精神	精神看護学概論	1						
			精神看護学方法論	2						
			臨地実習	小児看護学実習			2			
			母性看護学実習			2				
			精神看護学実習			2				
		コミュニ ティヘル ス看護 領域	基盤 科目 II	コミュニティヘルス看護概論	1					
	コミュニティヘルス看護展開論				1					
	国際保健論（災害看護論を含む）			1						
	ターミナルケア			1						
	看護学 老年		老年看護学概論	1						
			看護の基本技術VII		2					
	看護学 在宅		在宅看護概論	1						
			看護の基本技術VIII		1					
	生公 学衆 看護		公衆衛生看護学概論	1						
			看護の基本技術IX		1					
	臨地 実習		老年看護学実習 I			2				
			老年看護学実習 II			1				
			老年看護学実習 III			1				
			看護入門実習 I			1				
			在宅看護実習			1				
		コミュニティヘルス看護実習			1					
	プレ・ プロフ ェッシ ョナル 看護 領域	看護 の統 合と 実践	看護研究入門	1						
			看護研究		2					
			看護の役割と実践の探究	1						
臨床実践技術の探究				1						
看護安全論※						1			選択3単位以上 ※保健師国家試験受験資格を 得るためには必須とする	
看護管理論※						1				
看護哲学						1				
チーム活動論※					1					
実習 地		チーム医療演習					1			
		看護実践の探究			2					
	保健 師専 門科 目	看護 学 公衆 衛生	公衆衛生看護学の技術※					1	選択9単位 ※保健師国家試験受験資格を 得るためには必須とする	
公衆衛生看護学活動論※						2				
学校保健・産業保健※						1				
公衆衛生看護管理論※						1				
実習 地		公衆衛生看護学実習 I ※						2		
	公衆衛生看護学実習 II ※						2			

科目 区分	授業科目	必修			選択			備 考
		講義	演習	実習	講義	演習	実習	
自由 科目	生物学入門				1			卒業所要単位に含めない
	化学入門				1			
	文章表現入門				1			
	千葉県の地域医療				1			
	倫理ことはじめ				1			
	小 計	67	20	24	27	14	4	卒業所要単位は、必修111単位、選択14単位以上、計125単位以上とする
	合 計	111			45			

別表3（第45条関係）

教員養成課程開設授業科目並びに単位表（1）

理学部生物学科、同化学科、同物理学科、同生物分子科学科、同生命圏環境科学科

授業科目	単位数		備考
	必修	選択	
理科教育法Ⅰ		2	1科目以上を選択必修とする
理科教育法Ⅱ		2	
理科教育法Ⅲ		2	
理科指導法Ⅰ		2	1科目以上を選択必修とする
理科指導法Ⅱ		2	
理科指導法Ⅲ		2	
理科実験指導法	2		
理科授業論	2		
理科教育演習Ⅰ		1	
理科教育演習Ⅱ		1	
理科教育演習Ⅲ		1	
教育原理	2		
教育学概説		2	
教職論	1		
教育社会学		2	いずれか1科目選択必修
教育制度論		2	
教育法規		2	
教育心理学	2		
教育心理学特論		2	
特別支援教育概論	2		
教育課程総論	1		
道徳教育論	2		中学免許取得希望者のみ必修
総合的な学習の時間の指導法	1		
特別活動論	1		
教育方法とICT活用	2		
生徒・進路指導論	2		
教育相談	2		
人間関係論		2	
教育実習Ⅰ	1		(事前事後指導含む)
教育実習Ⅱ		2	(高校免許用)
教育実習Ⅲ		4	(中学・高校免許用)
教職実践演習	2		いずれか1科目選択必修
介護等体験	1		
総合演習Ⅰ		1	1科目以上を選択必修とする
総合演習Ⅱ		1	
総合演習Ⅲ		1	
総合演習Ⅳ		1	
総合演習Ⅴ		1	
総合演習Ⅵ		1	
総合演習Ⅶ		1	
総合演習Ⅷ		1	
教職体験		1	

授業科目	単位数		備考
	必修	選択	
学校インターンシップ		2	
教職特別問題研究 I		4	免許申請科目外とする
教職特別問題研究 II		4	免許申請科目外とする

教員養成課程開設授業科目並びに単位表 (2)

理学部情報科学科

授業科目	単位数		備考
	必修	選択	
数学教育概論	2		数学免許取得希望者のみ必修
数学科指導法	2		数学免許取得希望者のみ必修
数学科教育法	2		数学免許取得希望者のみ必修
数学科授業論	2		数学免許取得希望者のみ必修
数学教育演習Ⅰ		1	
数学教育演習Ⅱ		1	
数学教育演習Ⅲ		1	
情報科教育法	2		情報免許取得希望者のみ必修
情報科授業論	2		情報免許取得希望者のみ必修
教育原理	2		
教育学概説		2	
教職論	1		
教育社会学		2	} いずれか1科目選択必修
教育制度論		2	
教育法規		2	
教育心理学	2		
教育心理学特論		2	
特別支援教育概論	2		
教育課程総論	1		
道徳教育論	2		中学免許取得希望者のみ必修
総合的な学習の時間の指導法	1		
特別活動論	1		
教育方法とICT活用	2		
生徒・進路指導論	2		
教育相談	2		
人間関係論		2	
教育実習Ⅰ	1		(事前事後指導含む)
教育実習Ⅱ		2	(高校免許用)
教育実習Ⅲ		4	(中学・高校免許用)
教職実践演習	2		} いずれか1科目選択必修
介護等体験	1		
総合演習Ⅰ		1	} 1科目以上を選択必修とする
総合演習Ⅱ		1	
総合演習Ⅲ		1	
総合演習Ⅳ		1	
総合演習Ⅴ		1	
総合演習Ⅵ		1	
総合演習Ⅶ		1	
総合演習Ⅷ		1	
教職体験		1	
学校インターンシップ		2	
教職特別問題研究Ⅰ		4	免許申請科目外とする
教職特別問題研究Ⅱ		4	免許申請科目外とする

別表 4 (第 49 条関係)

(単位円)

学部	入学金	授業料		教育充実費		施設設備費	
		春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
医学部	1,500,000	2,500,000		(900,000) 500,000		(800,000) 300,000	
薬学部	400,000	(670,000) 560,000	(670,000) 560,000	(355,000) 355,000	(355,000) 355,000		
理学部	250,000	531,000	531,000	(250,000) 160,000	(250,000) 160,000		
看護学部	500,000	550,000	550,000	(150,000) 150,000	(150,000) 150,000	(250,000) 250,000	(250,000) 250,000
健康科学部	300,000	475,000	475,000	(400,000) 150,000	(400,000) 350,000		

- 備考 1 医学部の在学中の授業料は、初年度と同額とする。
- 2 薬学部の在学中の授業料の括弧書きは、2年次以降の納付額を示す。
- 3 教育充実費及び施設設備費欄の括弧書きは、2年次以降の年間納付額（薬学部・理学部・看護学部・健康科学部は春学期・秋学期の納付額）を示す。
- 4 教育充実費については、入学試験の総合成績の優秀なものについては全額または一部を免除することがある。ただし、初年度分に限りこれを適用する。

変更事項を記載した書類

1. 変更の事由

本学医学部においては、これまで以下に記す経緯のとおり、地域枠に係る臨時定員増員を実施してきたところである。

- 平成 27～平成 31（令和元）年度：「経済財政改革の基本方針 2009」および「新成長戦略」に基づく平成 22～平成 31 年度の医学部定員の暫定増の取り扱いを受け、千葉県と協議し臨時定員 5 名の増員を申請。
- 令和 2～3 年度：文部科学省から 2 年間の暫定的増員申請を認める方針が出されたため、千葉県と協議し 2 年間の臨時定員 5 名の増員を申請。
- 令和 4 年度：文部科学省から単年度の暫定的増員申請を認める方針が出されたため、千葉県との協議のほか、新たに新潟県から打診を受け協議し、千葉県 5 名、新潟県 5 名の臨時定員増員を申請。
- 令和 5 年度：文部科学省から再び単年度の暫定的増員申請を認める方針が出されたため、千葉県・新潟県と協議のうえ、千葉県 5 名、新潟県 7 名の臨時定員増員を申請。
- 令和 6 年度：令和 5 年度と同様の理由により、千葉県・新潟県と協議のうえ、千葉県 5 名、新潟県 8 名の臨時定員増員を申請。

令和 7 年度についても、「地域の医師確保等の観点からの令和 7 年度医学部入学定員の増加について（令和 6 年 8 月 6 日付 6 文科高第 738 号・医政発 0807 第 5 号）」において、令和 6 年度に引き続き地域の医師確保等に対応するため、令和 7 年度の医学部入学定員増加を取り扱うことが決定し、再度の増員申請を認める方針が発出された。これに伴い、千葉県および新潟県が整備する医師要請に係る修学資金貸与制度を活用し、地域医療等に従事する明確な意志を有する学生を選抜して地域医療に携わる医師を養成することを目的とし、実績に基づき協議した結果、千葉県地域枠 5 名、新潟県地域枠 8 名の計 13 名の臨時定員（入学定員）を増員することとし、学則を変更する。

2. 変更点

(1) 附則

臨時定員の増員が恒久定員の増員と誤認されないよう、本則には恒久定員を記載し、臨時定員を含めた入学定員および収容定員を附則に記載するための改正である。

東邦大学学則の変更部分の新旧対照表

改正後			現 行		
《 略 》			《 略 》		
(学生定員) 第5条 本学の学生定員は、次のとおりとする。			(学生定員) 第5条 本学の学生定員は、次のとおりとする。		
(学部・学科)	(入学定員)	(収容定員)	(学部・学科)	(入学定員)	(収容定員)
医学部			医学部		
医学科	110	660	医学科	110	660
(計)	(110)	(660)	(計)	(110)	(660)
薬学部			薬学部		
薬学科	245	1,470	薬学科	245	1,470
(計)	(245)	(1,470)	(計)	(245)	(1,470)
理学部			理学部		
生物学科	80	320	生物学科	80	320
化学科	80	320	化学科	80	320
生物分子科学科	80	320	生物分子科学科	80	320
物理学科	70	280	物理学科	70	280
情報科学科	100	400	情報科学科	100	400
生命圏環境科学科	60	240	生命圏環境科学科	60	240
(計)	(470)	(1,880)	(計)	(470)	(1,880)
看護学部			看護学部		
看護学科	102	408	看護学科	102	408
(計)	(102)	(408)	(計)	(102)	(408)
健康科学部			健康科学部		
看護学科	80	320	看護学科	80	320
(計)	(80)	(320)	(計)	(80)	(320)
(総計)	(1,007)	(4,738)	(総計)	(1,007)	(4,738)
《 略 》			《 略 》		
附 則 この学則は、昭和48年4月1日から施行する。			附 則 この学則は、昭和48年4月1日から施行する。		
《 略 》			《 略 》		

改正後						現 行											
<p>附 則</p> <p>1 この学則は、一部改正（薬学部の入学定員・収容定員の増員）のうえ、令和6年4月1日から施行する。</p> <p>2 第5条の規定に関わらず、令和6年度から同11年度での薬学部入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。</p>						<p>附 則</p> <p>1 この学則は、一部改正（薬学部の入学定員・収容定員の増員）のうえ、令和6年4月1日から施行する。</p> <p>2 第5条の規定に関わらず、令和6年度から同11年度での薬学部入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。</p>											
令和・年度 学部・定員		6	7	8	9	10	令和・年度 学部・定員		6	7	8	9	10				
薬学部	入学定員	245	245	245	245	245	薬学部	入学定員	245	245	245	245	245				
	収容定員	1,345	1,370	1,395	1,420	1,445		収容定員	1,345	1,370	1,395	1,420	1,445				
令和・年度 学部・定員		11					令和・年度 学部・定員		11								
薬学部	入学定員	245					薬学部	入学定員	245								
	収容定員	1,470						収容定員	1,470								
<p>3 この学則は、一部改正（医学部の地域枠臨時定員増の申請及び授業科目に係る変更に伴う改正を含む）のうえ、令和6年4月1日から施行する。</p> <p>4 第5条の規定に関わらず、令和6年度から同11年度での医学部入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。</p>						<p>3 この学則は、一部改正（医学部の地域枠臨時定員増の申請及び授業科目に係る変更に伴う改正を含む）のうえ、令和6年4月1日から施行する。</p> <p>4 第5条の規定に関わらず、令和6年度から同11年度での医学部入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。</p>											
令和・年度 学部・定員		6	7	8	9	10	令和・年度 学部・定員		6	7	8	9	10				
医学部	入学定員	123	110	110	110	110	医学部	入学定員	123	110	110	110	110				
	収容定員	710	705	700	695	685		収容定員	710	705	700	695	685				
令和・年度 学部・定員		11					令和・年度 学部・定員		11								
医学部	入学定員	110					医学部	入学定員	110								
	収容定員	673						収容定員	673								
<p>5 この学則は、一部改正（薬学部カリキュラムに係る改正）のうえ、令和6年4月1日から施行する。</p>						<p>5 この学則は、一部改正（薬学部カリキュラムに係る改正）のうえ、令和6年4月1日から施行する。</p>											
<p>附 則</p> <p>1 この学則は、一部改正（健康科学部の入学定員・収容定員の増員ならびにカリキュラムに係る改正）のうえ、令和7年4月1日から施行する。</p> <p>2 第5条の規定に関わらず、令和7年度から同10年度での健康科学部入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。</p>						<p>附 則</p> <p>1 この学則は、一部改正（健康科学部の入学定員・収容定員の増員ならびにカリキュラムに係る改正）のうえ、令和7年4月1日から施行する。</p> <p>2 第5条の規定に関わらず、令和7年度から同10年度での健康科学部入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。</p>											
令和・年度 学部・定員		7	8	9	10	令和・年度 学部・定員		7	8	9	10	令和・年度 学部・定員					
健康科学部	入学定員	80	80	80	80	健康科学部	入学定員	80	80	80	80	健康科学部	入学定員	80	80	80	80
	収容定員	260	280	300	320		収容定員	260	280	300	320		収容定員	260	280	300	320

改正後

現 行

3 この学則は、一部改正（医学部の地域枠臨時定員増の申請）のうえ、令和7年4月1日から施行する。

4 第5条の規定に関わらず、令和7年度から同12年度での医学部入学定員並びに収容定員は次表に掲げるとおりとする。

令和・年度 学部・定員		7	8	9	10	11
		医学部	入学定員	123	110	110
	収容定員	718	713	708	698	686

令和・年度 学部・定員		12
医学部	入学定員	110
	収容定員	673

《 以下省略 》

《追記》

《 以下省略 》

学則の変更の趣旨等を記載した書類

ア 学則変更（収容定員変更）の内容

「地域の医師確保等の観点からの令和7年度医学部入学定員の増加について（令和6年8月6日付6文科高第738号・医政発0807第5号）」において、地域の医師確保等に対応するため、令和7年度の医学部入学定員増加を取り扱うことが決定したことから、東邦大学（以下、「本学」という。）は、医学部において実績に基づき千葉県地域枠5名、新潟県地域枠8名の計13名の臨時定員（入学定員）を増員することとし、学則を変更する。

医学部は令和6年度も13名の入学定員臨時定員増を行っていたが、1年間のみの臨時定員増であったため、当初は恒久定員である110名に戻る予定であった。しかし、令和7年度においても110名から再度13名増員して123名とし、収容定員を718名とする。収容定員変更の概要は、以下表1のとおりである。

表1. 収容定員変更の概要

学部	学科	令和6年度		令和7年度	
		入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
医学部	医学科	123	710	<u>123</u>	<u>718</u>
薬学部	薬学科	245	1,470	245	1,470
理学部	生物学科	80	320	80	320
	化学科	80	320	80	320
	生物分子科学科	80	320	80	320
	物理学科	70	280	70	280
	情報科学科	100	400	100	400
	生命圏環境科学科	60	240	60	240
看護学部	看護学科	102	408	102	408
健康科学部	看護学科	60	240	<u>80</u>	<u>320</u>
総計		1,000	4,708	<u>1,020</u>	<u>4,796</u>

(※) 薬学部薬学科 令和6年度から入学定員増（220→245）

(※) 健康科学部看護学科 令和7年度から入学定員増（60→80）：令和6年8月認可

(※) 薬学部・健康科学部の収容定員は、完成年度時の人数を記載している

今回の臨時定員は令和 7 年度のみ適用されるため、令和 7 年度から令和 12 年度までの医学部医学科の入学定員および収容定員は以下のとおりとする。

学部・定員		年度					
		令和 7 (2025)	令和 8 (2026)	令和 9 (2027)	令和 10 (2028)	令和 11 (2029)	令和 12 (2030)
医学部	入学定員	123	110	110	110	110	110
医学科	収容定員	718	713	708	698	686	673

イ 学則変更（収容定員変更）の必要性

本学医学部においては、これまで以下に記す経緯のとおり、地域枠に係る臨時定員増員を実施してきたところである。

- 平成 27～平成 31（令和元）年度：「経済財政改革の基本方針 2009」および「新成長戦略」に基づく平成 22～平成 31 年度の医学部定員の暫定増の取り扱いを受け、千葉県と協議し臨時定員 5 名の増員を申請。
- 令和 2～3 年度：文部科学省から 2 年間の暫定的増員申請を認める方針が出されたため、千葉県と協議し 2 年間の臨時定員 5 名の増員を申請。
- 令和 4 年度：文部科学省から単年度の暫定的増員申請を認める方針が出されたため、千葉県との協議のほか、新たに新潟県から打診を受け協議し、千葉県 5 名、新潟県 5 名の臨時定員増員を申請。
- 令和 5 年度：文部科学省から再び単年度の暫定的増員申請を認める方針が出されたため、千葉県・新潟県と協議のうえ、千葉県 5 名、新潟県 7 名の臨時定員増員を申請。
- 令和 6 年度：令和 5 年度と同様の理由により、千葉県・新潟県と協議のうえ、千葉県 5 名、新潟県 8 名の臨時定員増員を申請。

令和 7 年度についても、令和 6 年度に続き文部科学省から再度の増員申請を認める方針が出されたため、実績に基づき協議した結果、千葉県枠として 5 名、新潟県枠として 8 名の臨時定員を申請するものである。

【資料 1】

千葉県地域枠においては、平成 27 年度から令和 6 年度の 10 年間、毎年臨時定員 5 名を増員・充足し、令和 3 年 3 月には初の地域枠卒業生 5 名を輩出した。現在までに 20 名が初期臨床研修を開始し、うち 10 名が初期臨床研修を修了し、地域貢献の第一歩を踏み出している。千葉県内の臨床研修病院のうち、これまで本学地域枠卒業生が初期臨床研修を行った医療機関の内訳は、本学医学部附属病院である東邦大学医療センター佐倉病院（6 名）、国立国際医療研究センター国府台病院、国立病院機構千葉医療センター、国保直営総合病院君津中央病院、千葉県済生会習志野病院、セコメディック病院（各 2 名）、船橋市立医療センター、千葉大学医学部附属病院、東京慈恵会医科大学附属柏病院、千葉市立海浜病院（各 1 名）である。令和 7 年度に向けて、千葉県において山武長生夷隅保健医療圏に加え、今年度から君津保健医療圏が医師少数地域になることから、医師不足および地域偏在の現状に鑑み、千葉県から継続して千葉県医師修学資金貸付制度を活用した医師確保の強い要請があり、協議のうえ、

千葉県地域枠 5 名の入学定員増を申請する。

新潟県地域枠においては、令和 3 年に医師偏在指標全国順位 47 位（当時）である新潟県から臨時定員増員について打診を受け、協議のうえ、医師不足や地域偏在の解決に貢献することを目的に、新たに新潟県医師養成修学資金貸与制度を活用した新潟県地域枠臨時定員 5 名を令和 4 年度に増員した。令和 5 年度以降、新潟県から更なる医師の育成と確保の要請があり、協議のうえ、令和 5 年度 7 名、令和 6 年度 8 名を増員した。今般、一層の医療体制の整備を企図している新潟県から再度増員の要請があったことを受け、協議のうえ、実績を踏まえ新潟県枠 8 名の入学定員増を申請する。

【資料 2】

ウ 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

(ア) 教育課程の変更内容について

地域医療の概要、人口および年齢構成、医師数、診療科偏在、医療圏等を学ぶ科目として、令和 4 年度から新潟県地域枠入学生の必修科目として「地域医療学」を、令和 5 年度から千葉県地域枠入学生の必修科目として「地域医療学（千葉）」を開講している。

「地域医療学（千葉）」においては、1 年次は地域医療の概要および課題等を学んだ後、千葉県内の地域医療を支える地域医療施設の病院長や総合診療医、千葉県の行政職員による講義を経て、7 月下旬の夏季休暇期間に本学付属医療センター佐倉病院で開催する病院体験会に参加し、印旛地区における地域中核病院の地域医療提供体制について学ぶ。2 年次は、地域医療に関する行政への関わりに触れてもらうことを目的に印旛保健所、佐倉市健康管理センター、千葉県衛生研究所、千葉県庁での現場体験を行う。3 年次は、災害現場における医師の役割を学んだうえで、災害現場を再現した施設シミュレーション実習により地域での救急医療を体験するほか、訪問診療に関する体験施設での演習を行う。4 年次以降は、上述の佐倉病院だけでなく、南房総地域をはじめ千葉県内の医療過疎とされる地域の医療施設において臨床実習を行い、地域医療についての理解を深める。

新潟県地域枠入学生に必修科目として開講している「地域医療学」においては、1 年次と 2 年次は地域医療の概要および課題点等を座学で学んだ後、7 月下旬に新潟県内の地域医療施設で見学実習を行い、地域医療施設のスタッフと訪問診療先へ出向くことで、急激な高齢化社会へ向かっている地域の現状を知り、グループワークを通じて医療施設ごとに抱えている課題を学ぶ。3 年次は、地域社会へ参加・貢献をしながら、地域のことを学ぶ地域参加型医学教育と題して、医療現場のスタッフから複数の離島を持つ新潟県の地理的事情を踏まえた講演を聞き、グループワークを通じて考察する。4 年次以降の臨床実習については、新潟県における実習生の受け入れ先病院として、新潟県立中央病院、新潟県立柿崎病院、長岡赤十字病院を確保している。なお、新潟県地域枠の学生には、新潟県が行う地域医療夏季実習への参加が義務付けられるほか、医療行政担当者や医師などから新潟県の地域医療についての現状と課題などを学ぶ地域医療セミナーへの参加を求めている。

実際に新潟県地域枠入学生が地域医療実習を行うのは令和 7 年度からとなるが、事前に県と調整のうえ、地域枠学生以外にも新潟県の地域医療を学べる環境を整備・拡充することを

目的に、令和5年度は5年次生3名が地域医療実習として新潟県で実習を行っている。

【資料1（再掲）、3】

以上は地域枠学生に特化した教育プログラムの内容を中心に述べたが、それ以外の学生も対象とした通常の教育プログラムの運用方針・内容等について、以下に記す。

[教育課程の編成の考え方および特色]

① 学部・学科の理念目的や教育目標との対応関係におけるカリキュラムの体系的性

本学医学部の人材の養成に関する目的「豊かな人間性を備え、倫理観を持って社会に貢献する「より良き臨床医」を育成する」および教育研究上の目的「教育に関しては、教養を高め人間性を涵養するとともに、倫理観を持って専門性に基づいた課題探究・問題解決能力、社会や文化の変化に対応できる生涯学修能力を持った人材を育成することを目的とする」を達成するためのカリキュラム編成としている。ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーのほか、アセスメント・ポリシーを定めただうえで、学修成果基盤型のカリキュラム体系としている。医学を学ぶための基礎を固めるため、1年次、2年次に医学準備・基礎医学統合科目、統合型基礎医学実習・課題解決型学修科目を、3年次から4年次に臨床医学科目、臨床実習準備科目、行動科学系科目、社会医学科目を配置している。4年次後半から6年次まで「診療参加型臨床実習」を配置し、医師としての実践力を高めるためのカリキュラム体制を整えている。

【資料4】

② 医師としての基本的な資質・能力の育成

医師としての倫理性・人間性を涵養するために、全学年を通して全人的医療人教育プログラムを導入している。1年次の早期から高齢者施設での体験実習、様々な臨床課題を用いた能動的学修を導入し、医療人としての自覚を高めるとともに倫理性を培っている。2年次では本学付属病院での病院見学実習を行い、臨床医学を学ぶための準備教育を充実させている。また、将来的にチーム医療の現場で必要になる医療従事者の相互理解の態度やコミュニケーション能力育成を目的に、多職種連携教育を推進している。本学5学部が合同で取り組む「チーム医療演習」や「生命倫理シンポジウム」を開講しているほか、薬学部や健康科学部との合同授業などにより、学部間連携の充実を図っている。

人文系教養科目に関しては、「心理学」のみならず、「倫理学」、「法学」、「社会学」を必修科目として、幅広い視野を涵養するようなカリキュラムとしている。また、文理を問わない幅広い教養科目に関しては、選択科目制を取り入れ、学生のニーズに合った学修を提供している。選択科目の授業時間は全学年を通じて水曜日の午前が当てられている。また、学年を越えて履修でき、特定の学年に選択科目の履修が集中しないように配慮している。

医学・医療の国際化が進む中、本学は英語教育を重視している。1年次から4年次まで英語に関する科目を配置しており、一般的な英会話などの英語能力の修得から始まり、医学英語、診療現場で用いる実用医療英語へとスパイラル教育を行っている。4年次では

English OSCE による実用医療英語能力評価を導入している。

また、科学的探究心を涵養するために卒業論文の作成を必修としている。また、昨今急速に普及が進んでいる数理・データサイエンス・AI 教育に関しては、従前から数理情報学を必修として実施していたが、令和 6 年度入学生からは、データサイエンスで用いられる数理的な考え方や表計算ソフトウェアを利用した基本的なデータの分析およびデータの図的表現を理解することを目指した必修科目「データサイエンス」を新たに開設した。

③ 臨床実習準備教育

専門教育授業科目は、モデル・コア・カリキュラムに準拠し十分内容を満たす内容となっている。医学準備科目と基礎医学科目を水平・垂直統合し、講義と実習を効率よく実施できるように構成することで、従来から行ってきた PBL（課題解決型学習）テュートリアル の充実も図っている。また、臨床医学においても可能な限り水平統合を図り、効率の良い授業を行い、4 年次夏までに共用試験（CBT・OSCE）に十分対応できる能力の修得を図っている。4 年次後半から始まる「診療参加型臨床実習」のための準備として、「シミュレーション実習」および「臨床推論演習」を 4 年次前半に配置し、実地修練に必要な能力の向上ができるようにしている。また、診療科だけでなく他職種の臨床現場（看護実習や医療安全、感染管理など）を経験できるように配慮している。

④ 診療参加型臨床実習

4 年次後半で 12 週、5 年次 36 週、6 年次 12 週の合計 60 週にわたり「診療参加型臨床実習」を行う。4 年次と 5 年次における付属病院コア診療科と地域医療の実習については、医療チームの一員として活躍できるよう 1 診療科あたり 3 週間ないし 4 週間の期間で実習を行う。特に、地域医療の実践能力を高められるように全学生の地域医療実習施設を確保している。

6 年次は 1 診療科あたり 4 週間の選択制実習で、付属病院の全ての診療科に加え、国内外の医療施設、研究施設での実習が可能であり、学生の多様なキャリア形成支援に配慮した体制を確保している。なお、地域枠学生には、当該地域の医療施設での実習を必ず 1 つ 選択するよう義務付けている。

【資料 5】

このような実践の場での学修機会を多く確保したカリキュラムにより、豊かな人間性を備え、倫理観を持って社会に貢献する「より良き臨床医」の育成を目指している。

(イ) 教育方法および履修指導方法の変更内容について

今回の臨時定員増加申請に伴い、現在の教育方法および履修指導方法に変更は予定していない。

[教育方法]

学修成果基盤型教育に基づいて、学生には修得すべき能力を明示し、学生が自ら学修するような教育環境構築を目指している。

新型コロナウイルス感染症蔓延下での経験を受けて、講義はオンライン授業（オンデマンド型）で行っていたが、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが昨年5月以降2類から5類へ移行してからは、講義は対面で実施するとともに、対面での講義の様子を録画してオンデマンド教材として配信することで、学生が自由に振り返り学修ができる環境を整備した。また、演習、実習は少人数を基本とし、全て対面形式で実施している。演習科目においては、TBL（チーム基盤型学習）、PBL（課題解決型学習）テュートリアルなどを取り入れるなど、アクティブラーニングを積極的に導入し、令和7年度以降も同様に実施することとしている。

[履修指導方法]

全学生を対象とした履修指導として、1年次には入学式翌日に新入生ガイダンス、2年次から6年次には新学期初日に新学年ガイダンスを実施している。各学年の担当責任者（年次部会長）が、当該学年の履修科目、講義・演習・実習予定、履修基準・出席要件、評価方法の概略と試験予定、進級基準等を説明するほか、これらが格納されている学務システム（教育ポータル）、電子シラバス、出席管理システム、成績管理システム等の利用方法についても説明している。また、教員は自主的にオフィスアワーを設定のうえ電子シラバスに公開し、授業時間外にも学生からの問い合わせ等に積極的に対応している。

個々の学生への指導として、約10人の学生あたりに1人の教員をメンターとして配置し、定期的に面談を繰り返しながら、履修面、生活面等をはじめとして総合的な修学指導を行っている。

メンターには担当学生の保護者との面談を年1回は必須とし、必要に応じて適宜情報を共有することで、問題事象への早期対応を心掛けており、令和7年度以降も同様に行うこととしている。

(ウ) 教員組織の変更内容について

医学部の令和6年度の収容定員は710名であり、今回申請する学則変更後の令和7年度収容定員は718名となるが、この人数を基に算出される大学設置基準に定められた必要基幹教員数は140名で、うち教授が30名以上でなければならない。これに対して、令和6年5月1日現在の本学医学部の基幹教員数は163名であり、必要な基幹教員数を確保している。また、専任教員（週5日勤務する本務教員）数は1,170名（教授91名、准教授76名、講師113名、助教890名）であり、学生数を718名とした場合の教員1人あたりの学生数（ST比）は0.61であるため、項目（ア）に示した教育課程において、現在の教員組織を維持することで十分に対応可能である。また、今後診療参加型臨床実習等の教育を滞りなく進める上でも、十分な教員組織となっている。

以上のことから、学則変更（収容定員変更）に伴う教員組織の変更は予定していない。

[現在の教員組織の編成の考え方および特色]

教員組織は、医学準備教育を担う一般教育系と、医学専門教育を担う基礎医学系（社会医学系を含む）と臨床医学系の大きく3つの系で編成している。

- 一般教育系：医学教育に直結する自然科学（物理学、化学、生物学）、心理学、英語学の医学部専任教員を配置している。これら専任教員は、多様化する入学者の資質に合わせ、個性を伸ばし、不足を補い、医学教育への導入教育に当たっている。専任教員が不在の教育領域については兼任または非常勤教員で補っている。
- 基礎医学系：教育上必要とされる全ての科目に対して18の講座・研究室・分野が配置され、学生数に十分に見合った教員数が定員化されており、充足している。
- 臨床医学系：3つの付属病院の診療科を母体として診療・教育・研究面から36の講座・研究室・分野とする組織体制としている。教育課程に必要とされる教育分野が置かれ、学生数に対して必要な教員数が定員化されており、各講座・研究室・分野ともに定員をほぼ充足している。

上記3つの系に加え、学部教育の目標達成、質の向上のため、医学教育センター、教学IRセンターを置いている。また、卒前教育から卒後教育、特に臨床実習から臨床研修のシームレスな教育を推進するため臨床実習運営管理センター、卒後臨床研修／生涯教育センターを置いている。これら教育推進組織が一体となって活動している。

(エ) 大学全体の施設・設備の変更内容について

本学医学部では教育研究上の目的に沿った教育研究活動に必要な施設を計画的に整備している。大森キャンパス内にある本館、1号館、2号館、3号館の4つの建物は、教育課程の改訂や教育方法、研究活動動向の変更などに先駆けて施設・設備を更新、整備している。例えば、令和4年度には、ICTを活用した学修や小グループ学修の更なる強化を目指し、小グループ討論用教室（SDL室）の拡張整備を行い、令和5年度から演習科目等で効果的に活用している。本学付属の医療センター佐倉病院に隣接する「さくら教育研修センター」は宿泊可能な滞在型教育施設であり、地域医療、救急医療、総合診療等を学ぶ臨床実習に活用している。

以上のように、学則変更（収容定員変更）を行った場合にも、これまで同様の医学教育の質を維持・向上するために十分な施設・設備を整備している。今後も、効果的な教育の展開に向け、遅滞なく迅速かつ確実に対応できる施設・設備の整備を検討、実施していく。

【資料6】

学則の変更の趣旨等を記載した書類・添付資料目次

資料 1	令和 7 年度医学部入学定員増員計画（写し）	…P. 9
資料 2	地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書の写し（千葉県・新潟県）	…P. 18
資料 3	「地域医療学」および「地域医療学（千葉）」シラバス	…P. 20
資料 4	医学部カリキュラムマップ	…P. 32
資料 5	「診療参加型臨床実習」シラバス	…P. 33
資料 6	医学部教育用施設等一覧表	…P. 37

大学名	国公立
東邦大学	私立

1. 現在（令和6年度）の入学定員（編入学定員）及び収容定員

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
123	0	0	710

(収容定員計算用)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6	計
(ア) 入学定員	115	115	115	120	122	123	710
(イ) 2年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
(ウ) 3年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
計	115	115	115	120	122	123	710

2. 本増員計画による入学定員増を行わない場合の令和7年度の入学定員（編入学定員）及び収容定員

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
110	0	0	660

(収容定員計算用)

	R7	R8	R9	R10	R11	R12	計
(ア) 入学定員	110	110	110	110	110	110	660
(イ) 2年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
(ウ) 3年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
計	110	110	110	110	110	110	660
(臨時的な措置で減員した場合、その人数)							

3. 令和7年度の増員計画

入学定員	2年次編入学定員	3年次編入学定員	収容定員
123	0	0	673

(収容定員計算用)

	R7	R8	R9	R10	R11	R12	計
(ア) 入学定員	123	110	110	110	110	110	673
(イ) 2年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
(ウ) 3年次編入学定員	0	0	0	0	0	0	0
計	123	110	110	110	110	110	673
(臨時的な措置で減員した場合、その人数)							

増員希望人数 **13**

(内訳)

(1) 地域の医師確保のための入学定員／編入学定員増（地域枠）	13
(2) 研究医養成のための入学定員／編入学定員増（研究医枠）	0
計	13

1. 地域の医師確保のための入学定員増について

増員希望人数 13

(1) 対象都道府県名及び増員希望人数

都道府県名	増員希望人数	
大学が所在する都道府県		
大学所在地以外の都道府県	千葉県	5
	新潟県	8
計	13	

※「大学所在地以外の都道府県」が5都道府県未満の場合は、残りの欄は空欄でご提出ください。

(2) 修学資金の貸与を受けた地域枠学生の確保状況

都道府県名	R5地域枠定員 (※1)	R5貸与者数 (※2)	R6地域枠定員 (※1)	R6貸与者数 (※2)	R5とR6の貸与 者数のうち多い 方の数
千葉県	5	5	5	5	5
新潟県	7	7	8	8	8
					0
					0
					0
計	12	12	13	13	13

(※1) 臨時定員分のみご記入ください。

(※2) 恒久定員の中で地域枠を実施している場合、恒久定員分の地域枠の人数も含めた修学資金の貸与実績をご記入ください。

※6都道府県未満の場合は、残りの欄は空欄でご提出ください。

(3) 令和7年度地域の医師確保のための入学定員増について

1. 大学が講ずる措置

1-1. 地域枠学生の選抜

①令和5年度に実施した地域枠学生(令和6年入学)の選抜について、下記をご記入ください。複数種類の選抜を行った場合には、それぞれご記入ください。また、参考として学生募集要項の写しをご提出ください。

名称	入試区分	選抜方式	募集人数		選抜方法(※1)	出願要件(※1)	診療科の選定の有無	(診療科の選定(推奨)がある場合)その診療科名	開始年度	備考
				うち臨時定員分						
推薦入試(公募制-千葉県地域枠)	(i) 学校推薦型選抜	別枠(先行型)	3	3	1次:基礎学力、適性試験 2次:面接	<ul style="list-style-type: none"> 出身学校長の推薦を受けた者 入学後に「千葉県医師修学資金」の貸与を受け、本学卒業後に「千葉県キャリア形成プログラム(※)」に則り、医師として千葉県が指定する医療機関において修学資金の貸与期間の1.5倍の期間従事することを誓約できる者 合格をした場合、入学を確約できる者 修学資金の貸与を受けるにあたり、保証人を2名たてることのできる者 (※) 在学中はキャリア形成卒前支援プランが適用される。	無		R4	
一般入試(千葉県地域枠)	(iii) 一般選抜地域枠(前期・後期)	別枠(区別型)	2	2	1次:学力試験 2次:基礎学力、面接	<ul style="list-style-type: none"> 入学後に「千葉県医師修学資金」の貸与を受け、本学卒業後に「千葉県キャリア形成プログラム(※)」に則り、医師として千葉県が指定する医療機関において修学資金の貸与期間の1.5倍の期間従事することを誓約できる者 合格をした場合、入学を確約できる者 修学資金の貸与を受けるにあたり、保証人を2名たてることのできる者 ※在学中はキャリア形成卒前支援プランが適用される。	無		R1	
推薦入試(公募制-新潟県地域枠)	(i) 学校推薦型選抜	別枠(先行型)	6	6	1次:基礎学力、適性試験 2次:面接	<ul style="list-style-type: none"> 出身学校長の推薦を受けた者 入学後に「新潟県医師養成修学資金」の貸与を受け、本学卒業後に医師として新潟県が指定する医療機関等に9年間従事することを誓約できる者 合格をした場合、入学を確約できる者 修学資金の貸与を受けるにあたり、保証人を2名たてることのできる者 新潟県内で夏期休暇等を利用して行う地域医療に関する実習(2~3日間程度)に毎年(1~5年生まで)必ず参加すること 	有(推奨)	特に地域医療に貢献できる内科・総合診療科等	R3	

一般入試（新潟県地域枠）	(iii) 一般選抜地域枠（前期・後期）	別枠（区別型）	2	2	1次：学力試験 2次：基礎学力、面接	・入学後に「新潟県医師養成修学資金」の貸与を受け、本学卒業後に医師として新潟県が指定する医療機関等に9年間従事することを誓約できる者 ・合格をした場合、入学を確約できる者 ・修学資金の貸与を受けるにあたり、保証人を2名たてることのできる者 ・新潟県内で夏期休暇等を利用して行う地域医療に関する実習（2～3日間程度）に毎年（1～5年生まで）必ず参加すること	有（推奨）	特に地域医療に貢献できる内科・総合診療科等	R3	
合計			13	13						

(※1) 貴大学において作成した学生募集要項に記載の内容をご記入ください。

※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

②令和6年度に実施する地域枠学生(令和7年入学)の選抜について、下記をご記入ください。複数種類の選抜を行っている場合には、それぞれご記入ください。
また、参考としてPRのために作成した文書（リーフレット、ホームページ、テレビ、新聞、雑誌等）の写しをご提出ください。

名称	入試区分	選抜方式	募集人数		選抜方法（※1）	出願要件（※1）	診療科の選定の有無	（診療科の選定（推奨）がある場合）その診療科名	開始年度	備考
			うち臨時定員分							
推薦入試（公募制－千葉県地域枠）	(i) 学校推薦型選抜	別枠（先行型）	3	3	1次：基礎学力、適性試験 2次：面接	・出身学校長の推薦を受けた者 ・入学後に「千葉県医師修学資金」の貸与を受け、本学卒業後に「千葉県キャリア形成プログラム（※）」に則り、医師として千葉県が指定する医療機関において修学資金の貸与期間の1.5倍の期間従事することを誓約できる者 ・合格をした場合、入学を確約できる者 ・修学資金の貸与を受けるにあたり、保証人を2名たてることのできる者 （※）在学中はキャリア形成卒前支援プログラムが適用される	無		R4	
一般入試（千葉県地域枠）	(iii) 一般選抜地域枠（前期・後期）	別枠（区別型）	2	2	1次：学力試験 2次：基礎学力、面接	・入学後に「千葉県医師修学資金」の貸与を受け、本学卒業後に「千葉県キャリア形成プログラム（※）」に則り、医師として千葉県が指定する医療機関において修学資金の貸与期間の1.5倍の期間従事することを誓約できる者 ・合格をした場合、入学を確約できる者 ・修学資金の貸与を受けるにあたり、保証人を2名たてることのできる者 （※）在学中はキャリア形成卒前支援プログラムが適用される	無		R1	

推薦入試（公募制－新潟県地域枠）	(i) 学校推薦型選抜	別枠（先行型）	6	6	1次：基礎学力、適性試験 2次：面接	<ul style="list-style-type: none"> ・出身学校長の推薦を受けた者 ・入学後に「新潟県医師養成修学資金」の貸与を受け、本学卒業後に医師として新潟県が指定する医療機関等に9年間従事することを誓約できる者 ・合格をした場合、入学を確約できる者 ・修学資金の貸与を受けるにあたり、保証人を2名たてることのできる者 ・新潟県内で夏期休暇等を利用して行う地域医療に関する実習（2～3日間程度）に毎年（1～5年生まで）必ず参加すること 	有（推奨）	特に地域医療に貢献できる内科・総合診療科等	R3	
一般入試（新潟県地域枠）	(iii) 一般選抜地域枠（前期・後期）	別枠（区別型）	2	2	1次：学力試験 2次：基礎学力、面接	<ul style="list-style-type: none"> ・入学後に「新潟県医師養成修学資金」の貸与を受け、本学卒業後に医師として新潟県が指定する医療機関等に9年間従事することを誓約できる者 ・合格をした場合、入学を確約できる者 ・修学資金の貸与を受けるにあたり、保証人を2名たてることのできる者 ・新潟県内で夏期休暇等を利用して行う地域医療に関する実習（2～3日間程度）に毎年（1～5年生まで）必ず参加すること 	有（推奨）	特に地域医療に貢献できる内科・総合診療科等	R3	
合計			13	13						

（※1）貴大学において、PRのために作成した文書（リーフレット、ホームページ、テレビ、新聞、雑誌等）に記載の内容（貴大学において作成予定の学生募集要項に記載予定の内容）をご記入ください。

※空欄がある場合は、何も記入せずそのままご提出ください。

1-2. 教育内容

①地域枠学生が卒後に勤務することが見込まれる都道府県での地域医療実習など、地域医療を担う医師養成の観点からの教育内容の概要（令和7年度）について、5～6行程度で簡潔にご記入ください。

新潟県地域枠学生には1～3年次に「地域医療学Ⅰ～Ⅲ」、千葉県地域枠学生には1～3年次に「地域医療学（千葉）Ⅰ～Ⅲ」の履修を義務付け、大学での講義、演習と共に地域医療施設等の実習を通じて地域医療の実態について学ぶ。また、4年次～6年次前半の「基本臨床実習」、「必修診療参加型臨床実習」および「選択診療参加型臨床実習」において、実践能力向上を目指し、地域枠学生に対しては千葉県、新潟県の教育関連病院、診療所での臨床実習を義務付けている。

（参考：記入例）

1～2年次には、「○○」という科目を開講するとともに「△△」を必修化し、～～を学んでいる。3～4年次には、××実習を行い、～～を学んでいる。またキャリア支援として□□を実施している。令和7年度からは、■●を新たに開始するなど、～～を図ることとしている。

②（過去に地域枠を設定したことがある場合）これまでの取組・実績を、3～5行程度で簡潔にご記入ください。

平成27年度から千葉県地域枠による増員を開始し、令和6年度までに50名の地域枠学生を確保した。このうち20名が初期臨床研修医として千葉県内の病院で研修を行い、地域医療に貢献している。令和4年度からは新潟県地域枠による増員も開始し、これまで20名の地域枠学生を確保し、全員が在学中である。

（参考：記入例）

平成○年度から地域枠による増員を開始し、□□、■●などの取組を行ってきた。令和6年度までに△名の地域枠学生を確保し、そのうち▲名が現在～～として地域医療に貢献している。

③上記①の教育内容（正規科目）について、講義・実習科目内容をご記入ください。また、参考としてシラバスの写しをご提出ください。

対象学年	講義・実習名	対象者 (※1)	必修／選択の別		講義／実習の 別	単位 数	開始年度
			地域枠学生	その他の学生			
1・2・3	地域医療学Ⅰ～Ⅲ	全員	必修	選択	実習	3	R4
1・2・3	地域医療学（千葉）Ⅰ～Ⅲ	全員	必修	選択	実習	6	R5
4	基本臨床実習	全員	必修	必修	実習	21	R1
5	必修診療参加型臨床実習	全員	必修	必修	実習	40	R2
6	選択診療参加型臨床実習	全員	選択必修	選択必修	実習	8	R3

（※1）対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「地域枠学生」「全員」のうちから選択ください。（地域枠学生の希望者のみの場合は、対象者を「地域枠学生」、必修／選択の別を「選択」とご記載ください。）

※空欄がある場合は、何も記入せずそのままにご提出ください。

④大学の正規科目以外で、提供する地域医療教育プログラムがあれば、その内容をご記入ください。

対象学年	プログラム名	対象者 (※1)	都道府県との連携	期間 (例：○週間)	プログラムの概要（1～2行程度）	開始年度

(※1) 対象者は、当該講義・実習を受講可能な学生を「地域枠学生」「全員」のうちから選択ください。
※該当がない場合は、何も記入せずにご提出ください。

⑤上記③④以外に、地域医療を担う医師の養成に関する取組等があれば、簡潔にご記入ください。(令和5年度以前から継続する取組を含む) (1～2行程度)

取組の名称	取組の概要（1～2行程度）	開始年度
地域枠意識付けの交流会	修学資金制度の確認、卒後のキャリア形成プログラムの説明を実施している。	R4

※空欄がある場合は、何も記入せずそのままご提出ください。

2. 都道府県等との連携

①都道府県が設定する奨学金について、以下をご記入ください。併せて、都道府県が厚生労働省に提出する予定の地域の医師確保等に関する計画及び「地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律」（平成元年法律第64号）第4条に規定する都道府県計画等に位置づけることを約束する文書を添付して下さい。

なお、複数の奨学金を設定している場合は、それぞれ記入ください。

奨学金の設定 主体	貸与人数	貸与対象	貸与額（例：200,000）		返還免除要件	選抜方法		診療科の選定の有無	（診療科の選定（推奨）がある場合） その診療科名	備考
			月額	総貸与額		選抜時期	大学の関与の有無（※1）			
千葉県	5	新入生	200,000	14,400,000	大学を卒業した日の属する月の翌月の初日から起算して1年3月以内に医師の免許を取得し、貸付期間の1.5倍の期間、知事が定める医療機関に勤務したとき	③地域枠入学者であれば別途選抜を実施せず貸与	○	無		大学が貸与者（＝入学者）を選抜
新潟県	8	新入生	300,000	21,600,000	・大学を卒業した後、2年以内に医師の免許を取得すること ・医師免許取得後、直ちに、新潟県内の臨床研修病院で臨床研修に従事すること ・臨床研修修了後、直ちに指定する医療機関に勤務すること ・指定勤務期間（義務年限）：9年間（臨床研修の2年間を含む）	③地域枠入学者であれば別途選抜を実施せず貸与	○	有（推奨）	特に地域医療に貢献できる内科・総合診療科等	大学が貸与者（＝入学者）を選抜 診療科について指定はないが、特に地域医療に貢献できる内科・総合診療科等を推奨

（※1）診療科の限定または推奨がある場合は、備考欄に詳細をご記入ください。

※該当がない場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

②その他、都道府県と連携した取組があれば、簡潔にご記入ください。（例：在学中の学生に対する都道府県と連携した相談・指導、卒後のキャリアパス形成等に対する支援）（1～2行程度）

取組の名称	取組の概要（1～2行程度）	開始年度
-------	---------------	------

地域枠意識付けの交流会	修学資金制度の確認、卒後のキャリア形成プログラムの説明を実施している。	R4
新潟県地域医療夏季実習	新潟県の地域医療を志す医学生が実習を通じて交流し、卒業後、新潟県でともに医療に従事し地域医療に貢献していく共通意識を醸成する。	R5

※空欄がある場合は、何も記入せずにそのままご提出ください。

3. その他

1～2に記入したものの以外で、その他、地域の医師確保の観点から大学の今後の取組があれば、簡潔にご記入ください。（1～3行程度）

特に、都道府県からの奨学金の貸与を受ける者、地域枠入学者を確保するために貴大学で取り組まれていることや今後の取組み予定がありましたら、ご記入ください。

・本学付属校（千葉県）にて入試説明会を実施し、地域枠制度を周知しているほか、新潟県主催のオンライン地域枠入試説明会に参加し、志願者確保に努めている。
 ・新潟県内の高校や予備校での進学相談会に参加するとともに、本学志望者へのDM送付を予定している。

医第1232号
令和6年8月16日

厚生労働省医政局長 様

千葉県知事 熊谷 俊人
(公印省略)

地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書

令和6年8月7日付け6文科高第738号、医政発0807第5号に基づき、下記のとおり、令和7年度における地域の医師確保のための入学定員増を行うこととしました。

地域の医師確保等に関する計画、都道府県計画等に沿って、地域枠入学者が地域に定着するよう取組を行います。

記

- 増員数 34名
 - ・ 千葉大学医学部における地域枠：15名
 - ・ 順天堂大学医学部における地域枠：5名
 - ・ 帝京大学医学部における地域枠：2名
 - ・ 東邦大学医学部における地域枠：5名
 - ・ 日本医科大学医学部における地域枠：7名

【担当者】

担 当：千葉県健康福祉部医療整備課
医師確保・地域医療推進室 荒川
電 話：043-223-3883
FAX：043-221-7379
メール：d-chibank@mz.pref.chiba.lg.jp

厚生労働省医政局長 殿

新潟県福祉保健部長 中村 洋心

地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書

令和6年8月7日付け6文科高第738号、医政発0807第5号に基づき、下記のとおり、令和7年度における地域の医師確保のための入学定員増を行うこととしました。

地域の医師確保等に関する計画、都道府県計画等に沿って、地域枠入学者が地域に定着するよう取組を行います。

記

増員数

79名

- ・新潟大学医学部における地域枠 : 40名
- ・順天堂大学医学部における地域枠 : 1名
- ・関西医科大学医学部における地域枠 : 2名
- ・昭和大学医学部における地域枠 : 7名
- ・東邦大学医学部における地域枠 : 8名
- ・東京医科大学医学部における地域枠 : 3名
- ・杏林大学医学部における地域枠 : 4名
- ・北里大学医学部における地域枠 : 3名
- ・日本医科大学医学部における地域枠 : 2名
- ・日本大学医学部における地域枠 : 4名
- ・獨協医科大学医学部における地域枠 : 2名
- ・帝京大学医学部における地域枠 : 1名
- ・金沢医科大学医学部における地域枠 : 2名

担 当 : 医師・看護職員確保対策課 医師確保企画係 綿貫 電話番号 : 025-280-5969 メールアドレス : ngt040290@pref.niigata.lg.jp

科目名称：[MM620-101J] 地域医療学Ⅰ（2024年度）

科目責任者	中村 陽一						
科目対象学年	1	科目授業期間	通年	科目時限数	14	科目分類	演習

科目の学修アウトカム

アウトカム（達成目標）	対応する達成レベル
01 新潟県における医療の状況、医師の偏在の問題点を指摘できる。	1g, 1h, 1i, 5a
02 新潟県における医療現場における、多職種の役割を理解できる。	3e, 3h, 3i, 5a
03 新潟県における救急医療、離島・僻地医療、災害医療の問題点を想起できる。	1g, 1h, 1i, 5a
04 新潟県の地域医療の現場で見学したことを概説できる。	1g, h, 1i, 3h, 3i, 5a

科目の科目達成レベル

科目について

2024年度入学の新潟県地域枠学生（1年生）は選択科目の中で、「選択科目」として「地域医療学Ⅰ」を「必修」で受講すること。（学則に規定されており、入学試験要項にも明記されている。）

通年での開催として新潟県での特別プログラム以外に前期1回、後期2回の土曜日の演習形式での授業とする（45時間の学修で1単位）。なお新潟県地域枠以外の学生も若干名、「選択科目」として履修することが可能である。

2024年度は、「地域医療学Ⅰ」と「地域医療学Ⅱ」、「地域医療学Ⅲ」を合同で授業を行い「地域参加型医学教育」をテーマとして実施する。

受講前に必要とされる知識及び技能・態度

地域医療に興味を持ち、新潟県が抱える問題点を想起することができる。病院での見学があり、基本的な身だしなみ、各施設の医療者・患者との適切なコミュニケーションを行うことができる。

科目の評価について

プログラムの振り返りを行い、発表会を開催する。
発表内容に関する評価を行う。

指定教科書他

授業内で随時資料を提示します。

備考

2023 年度以後に入学の千葉県地域枠学生は、文部科学省「ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業」による「地域医療学(千葉)1、2、3」の選択が必要となり、「地域医療学 I、II、III」を選択することはできない。
2024 年度入学の千葉県地域枠学生は「地域医療学(千葉)1」が選択必修である。

科目名称：[MM620-201J] 地域医療学Ⅱ（2024年度）

科目責任者	中村 陽一						
科目対象学年	2	科目授業期間	通年	科目時限数	14	科目分類	演習

科目の学修アウトカム

アウトカム（達成目標）	対応する達成レベル
01 新潟県における医療の状況、医師の偏在の問題点を指摘できる。	1g, 1h, 1i, 5a
02 新潟県における医療現場における、多職種の役割を理解できる。	3e, 3h, 3i, 5a
03 新潟県における救急医療、離島・僻地医療、災害医療の問題点を想起できる。	1g, 1h, 1i, 5a
04 新潟県の地域医療の現場で見学したことを概説できる。	1g, h, 1i, 3h, 3i, 5a

科目の科目達成レベル

科目について

2024年度入学の新潟県地域枠学生（1年生）は選択科目の中で、「選択科目」として「地域医療学Ⅰ」を「必修」で受講すること。（学則に規定されており、入学試験要項にも明記されている。）

通年での開催として新潟県での特別プログラム以外に前期1回、後期2回の土曜日の演習形式での授業とする（45時間の学修で1単位）。なお新潟県地域枠以外の学生も若干名、「選択科目」として履修することが可能である。

2024年度は、「地域医療学Ⅰ」と「地域医療学Ⅱ」、「地域医療学Ⅲ」を合同で授業を行い「地域参加型医学教育」をテーマとして実施する。

受講前に必要とされる知識及び技能・態度

地域医療に興味を持ち、新潟県が抱える問題点を想起することができる。病院での見学があり、基本的な身だしなみ、各施設の医療者・患者との適切なコミュニケーションを行うことができる。

科目の評価について

プログラムの振り返りを行い、発表会を開催する。
発表内容に関する評価を行う。

指定教科書他

授業内で随時資料を提示します。

備考

2023 年度以後に入学の千葉県地域枠学生は、文部科学省「ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業」による「地域医療学(千葉)1、2、3」の選択が必要となり、「地域医療学 I、II、III」を選択することはできない。
2024 年度入学の千葉県地域枠学生は「地域医療学(千葉)1」が選択必修である。

科目名称：[MM620-301J] 地域医療学Ⅲ（2024年度）

科目責任者	中村 陽一						
科目対象学年	2	科目授業期間	通年	科目時限数	14	科目分類	演習

科目の学修アウトカム

アウトカム（達成目標）	対応する達成レベル
01 新潟県における医療の状況、医師の偏在の問題点を指摘できる。	1g, 1h, 1i, 5a
02 新潟県における医療現場における、多職種の役割を理解できる。	3e, 3h, 3i, 5a
03 新潟県における救急医療、離島・僻地医療、災害医療の問題点を想起できる。	1g, 1h, 1i, 5a
04 新潟県の地域医療の現場で見学したことを概説できる。	1g, h, 1i, 3h, 3i, 5a

科目の科目達成レベル

科目について

2024年度入学の新潟県地域枠学生（1年生）は選択科目の中で、「選択科目」として「地域医療学Ⅰ」を「必修」で受講すること。（学則に規定されており、入学試験要項にも明記されている。）

通年での開催として新潟県での特別プログラム以外に前期1回、後期2回の土曜日の演習形式での授業とする（45時間の学修で1単位）。なお新潟県地域枠以外の学生も若干名、「選択科目」として履修することが可能である。

2024年度は、「地域医療学Ⅰ」と「地域医療学Ⅱ」、「地域医療学Ⅲ」を合同で授業を行い「地域参加型医学教育」をテーマとして実施する。

受講前に必要とされる知識及び技能・態度

地域医療に興味を持ち、新潟県が抱える問題点を想起することができる。病院での見学があり、基本的な身だしなみ、各施設の医療者・患者との適切なコミュニケーションを行うことができる。

科目の評価について

プログラムの振り返りを行い、発表会を開催する。
発表内容に関する評価を行う。

指定教科書他

授業内で随時資料を提示します。

備考

2023 年度以後に入学の千葉県地域枠学生は、文部科学省「ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業」による「地域医療学(千葉)1、2、3」の選択が必要となり、「地域医療学 I、II、III」を選択することはできない。
2024 年度入学の千葉県地域枠学生は「地域医療学(千葉)1」が選択必修である。

科目名称：[MM620-103J] 地域医療学（千葉）I（2024年度）

科目責任者	蛭田 啓之						
科目対象学年	1	科目授業期間	通年	科目時限数	28	科目分類	演習

科目の学修アウトカム

アウトカム（達成目標）	対応する達成レベル
01 専門分野に偏らない、幅広い臨床医学・社会医学の知識を修得し、それらを医療現場で生かすことができる（DP1）。	
02 専門分野に偏らない、幅広い医療を実践する能力を修得する（DP2）。	
03 患者とその家族に寄り添い、患者のニーズに基づいた全人的医療を提供する能力を修得する（DP3）。	
04 実地医療に基づいた臨床研究を遂行する能力を修得する（DP4）。	
05 地域の保健・福祉・医療を理解した医療者となる（DP5）。	
06 地域に根付いた文化を尊重した医療を実践する（DP6）。	
07 学生や医療者の地域医療に対する高い情熱と好奇心を有する地域志向型リーダーシップを涵養する（DP7）。	

08 千葉県総合/救急診療の現状について、地域における医療および介護を学ぶ。	
--	--

科目の科目達成レベル

科目について

大学の専門診療とは異なる視点でいわゆる総合診療・救急医学について低学年のうちから学びつつ、地方(千葉県)で行われている医療行政、災害時対応を段階的に学んで頂きます。また、知識の学びを現実と結び付けられるように体験実習と振り返りを行うことで地域医療への高い情熱と好奇心を育み、地域医療に貢献できる人材を養成します。

具体的には次のような人材像・知識基盤を中心に、態度領域をまでの学びを深めることが可能です。

- 1)総合力:地域医療の現場で総合的に患者・生活者をみることが出来る。
- 2)適応力:医療や社会の状況に応じて、自らの能力を最適化し、発揮できる。
- 3)教育力:地域医療人材を育成し、地域の課題を踏まえた教育研究を実施する。

2023年4月入学以後の千葉県地域枠学生は選択科目の中で、「選択」としてⅠ・Ⅱ・Ⅲを受講しなければならない。通年での開催として特別プログラム以外に前期2回・後期2回+αの土曜日の演習および講義形式での授業とする(千葉県の地域医療・行政施設での特別プログラム時間数が未定であり、学内での授業コマ数を適宜調整する。Ⅰ～Ⅲそれぞれ28時間の学修で各2単位)。

なお、地域医療学(千葉県・新潟県)との合同授業となる場合があり、地域枠以外の学生も若干名、履修することが可能である。

受講前に必要とされる知識及び技能・態度

地域医療に興味を持ち、千葉県が抱える問題点を想起することができる。

医療・行政施設での見学があり、基本的な身だしなみ、各施設の医療者・患者・利用者・職員との適切なコミュニケーションを行うことができる。

- Ⅰ(1年次):千葉県の総合/救急診療や介護の現場の現状について。
- Ⅱ(2年次):千葉県の医療行政の現状と、リーダーシップ能力育成について。
- Ⅲ(3年次):千葉県の災害医療の現状(災害時対応と医療体制)について。

科目の評価について

地域医療プログラムの準備段階では、課題に対する評価を行う。

プログラムの振り返りを行い、発表会を開催し、発表内容に関しての評価を行う。

指定教科書他

授業内で随時資料を提示します。

科目名称：[MM620-203J] 地域医療学（千葉）Ⅱ（2024年度）

科目責任者	蛭田 啓之						
科目対象学年	1	科目授業期間	通年	科目時限数	28	科目分類	演習

科目の学修アウトカム

アウトカム（達成目標）	対応する達成レベル
01 専門分野に偏らない、幅広い臨床医学・社会医学の知識を修得し、それらを医療現場で生かすことができる（DP1）。	
02 専門分野に偏らない、幅広い医療を実践する能力を修得する（DP2）。	
03 患者とその家族に寄り添い、患者のニーズに基づいた全人的医療を提供する能力を修得する（DP3）。	
04 実地医療に基づいた臨床研究を遂行する能力を修得する（DP4）。	
05 地域の保健・福祉・医療を理解した医療者となる（DP5）。	
06 地域に根付いた文化を尊重した医療を実践する（DP6）。	
07 学生や医療者の地域医療に対する高い情熱と好奇心を有する地域志向型リーダーシップを涵養する（DP7）。	

08 千葉県総合/救急診療の現状について、地域における医療および介護を学ぶ。	
--	--

科目の科目達成レベル

科目について

大学の専門診療とは異なる視点でいわゆる総合診療・救急医学について低学年のうちから学びつつ、地方(千葉県)で行われている医療行政、災害時対応を段階的に学んで頂きます。また、知識の学びを現実と結び付けられるように体験実習と振り返りを行うことで地域医療への高い情熱と好奇心を育み、地域医療に貢献できる人材を養成します。具体的には次のような人材像・知識基盤を中心に、態度領域をまでの学びを深めることが可能です。

- 1)総合力:地域医療の現場で総合的に患者・生活者をみることが出来る。
- 2)適応力:医療や社会の状況に応じて、自らの能力を最適化し、発揮できる。
- 3)教育力:地域医療人材を育成し、地域の課題を踏まえた教育研究を実施する。

2023年4月入学以後の千葉県地域枠学生は選択科目の中で、「選択」としてⅠ・Ⅱ・Ⅲを受講しなければならない。通年での開催として特別プログラム以外に前期2回・後期2回+αの土曜日の演習および講義形式での授業とする(千葉県の地域医療・行政施設での特別プログラム時間数が未定であり、学内での授業コマ数を適宜調整する。Ⅰ～Ⅲそれぞれ28時間の学修で各2単位)。

なお、地域医療学(千葉県・新潟県)との合同授業となる場合があり、地域枠以外の学生も若干名、履修することが可能である。

受講前に必要とされる知識及び技能・態度

地域医療に興味を持ち、千葉県が抱える問題点を想起することができる。

医療・行政施設での見学があり、基本的な身だしなみ、各施設の医療者・患者・利用者・職員との適切なコミュニケーションを行うことができる。

- Ⅰ(1年次):千葉県の総合/救急診療や介護の現場の現状について。
- Ⅱ(2年次):千葉県の医療行政の現状と、リーダーシップ能力育成について。
- Ⅲ(3年次):千葉県の災害医療の現状(災害時対応と医療体制)について。

科目の評価について

地域医療プログラムの準備段階では、課題に対する評価を行う。

プログラムの振り返りを行い、発表会を開催し、発表内容に関しての評価を行う。

指定教科書他

授業内で随時資料を提示します。

科目名称：[MM620-203J] 地域医療学（千葉）Ⅲ（2025年度開講予定）（案）

科目責任者	佐々木 陽典 一林 亮						
科目対象学年	3	科目授業期間	通年	科目時限数	28	科目分類	演習

科目の学修アウトカム

アウトカム（達成目標）	対応する達成レベル
01 専門分野に偏らない、幅広い臨床医学・社会医学の知識を修得し、それらを医療現場で生かすことができる（DP1）。	
02 専門分野に偏らない、幅広い医療を実践する能力を修得する（DP2）。	
03 患者とその家族に寄り添い、患者のニーズに基づいた全人的医療を提供する能力を修得する（DP3）。	
04 実地医療に基づいた臨床研究を遂行する能力を修得する（DP4）。	
05 地域の保健・福祉・医療を理解した医療者となる（DP5）。	
06 地域に根付いた文化を尊重した医療を実践する（DP6）。	
07 学生や医療者の地域医療に対する高い情熱と好奇心を有する地域志向型リーダーシップを涵養する（DP7）。	

08 千葉県総合/救急診療の現状について、地域における医療および介護を学ぶ。	
--	--

科目の科目達成レベル

科目について

大学の専門診療とは異なる視点でいわゆる総合診療・救急医学について低学年のうちから学びつつ、地方(千葉県)で行われている医療行政、災害時対応を段階的に学んで頂きます。また、知識の学びを現実と結び付けられるように体験実習と振り返りを行うことで地域医療への高い情熱と好奇心を育み、地域医療に貢献できる人材を養成します。

具体的には次のような人材像・知識基盤を中心に、態度領域をまでの学びを深めることが可能です。

- 1)総合力:地域医療の現場で総合的に患者・生活者をみることが出来る。
- 2)適応力:医療や社会の状況に応じて、自らの能力を最適化し、発揮できる。
- 3)教育力:地域医療人材を育成し、地域の課題を踏まえた教育研究を実施する。

2023年4月入学以後の千葉県地域枠学生は選択科目の中で、「選択」としてⅠ・Ⅱ・Ⅲを受講しなければならない。通年での開催として特別プログラム以外に前期2回・後期2回+αの土曜日の演習および講義形式での授業とする(千葉県の地域医療・行政施設での特別プログラム時間数が未定であり、学内での授業コマ数を適宜調整する。Ⅰ～Ⅲそれぞれ28時間の学修で各2単位)。

なお、地域医療学(千葉県・新潟県)との合同授業となる場合があり、地域枠以外の学生も若干名、履修することが可能である。

受講前に必要とされる知識及び技能・態度

地域医療に興味を持ち、千葉県が抱える問題点を想起することができる。

医療・行政施設での見学があり、基本的な身だしなみ、各施設の医療者・患者・利用者・職員との適切なコミュニケーションを行うことができる。

- Ⅰ(1年次):千葉県の総合/救急診療や介護の現場の現状について。
- Ⅱ(2年次):千葉県の医療行政の現状と、リーダーシップ能力育成について。
- Ⅲ(3年次):千葉県の災害医療の現状(災害時対応と医療体制)について。

科目の評価について

地域医療プログラムの準備段階では、課題に対する評価を行う。

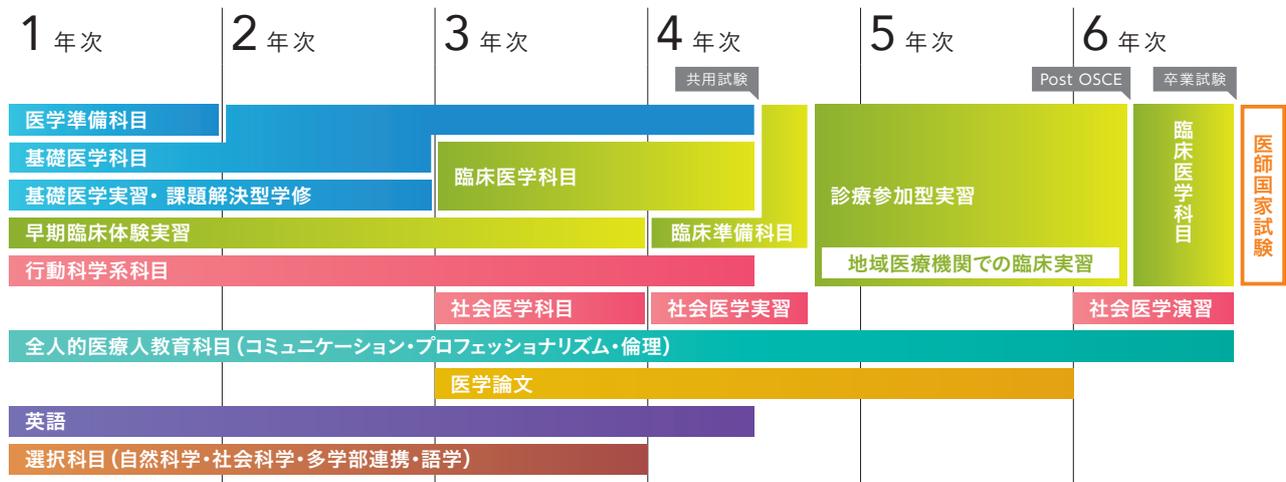
プログラムの振り返りを行い、発表会を開催し、発表内容に関しての評価を行う。

指定教科書他

授業内で随時資料を提示します。

東邦大学医学部 カリキュラムマップ

▶ 6年間の学習プロセス



医師国家試験

POINT

2024 年度入学生から導入される新カリキュラムでは、医療コミュニケーションや生命倫理、多職種連携等を学ぶ医薬合同プログラムを各学年で拡充します。

【医学準備科目・基礎医学科目】

医学を学ぶ基礎を固め、正常と異常の人体を理解できるように科目の水平統合を行う。

【臨床医学科目】

診断・治療の理論を臓器別に学ぶ。

【社会医学科目】

社会環境のなかにおける環境問題や最近の医療事情を学ぶ。

【診療参加型実習】

担当教員の指導の下、診療スタッフの一員として基本的な手技、診断、治療方法を学ぶ。

【全人的医療人教育】

患者さんからの訴えを全人的に捉えるべく他学部との合同授業や介護体験実習等を通じて対人コミュニケーションの基本を学ぶ。

【英語】

総合的な英語力の向上と医療現場での英語を学修する機会を設けている。

ユニット名称：[MM621-501J] 診療参加型臨床実習Ⅰ・Ⅱ（実践的教育から構成する授業科目）（2028年度開講予定）（案）

ユニット責任者	高井 雄二郎						
ユニット対象学年	4・5・6	ユニット授業期間		ユニット時限数	0	ユニット分類	実習

ユニットの学修アウトカム

アウトカム（達成目標）	対応する達成レベル
01 病歴を聴取して身体診察を行うことができる。	2-a,b
02 鑑別診断を想定することができる。	2-c
03 基本的な検査の結果を解釈することができる。	2-d
04 処方を計画することができる。	2-e
05 診療録（カルテ）を記載することができる。	2-h
06 患者の状況について口頭でプレゼンテーションすることができる。	2-h
07 臨床上の問題を明確にしてエビデンスを収集することができる。	5-e
08 患者の申し送りを行い、受け取ることができる。	3-i
09 多職種チームで協働することができる。	3-f

10 緊急性の高い患者の初期対応を行うことができる。	2-g
11 インフォームド・コンセントを得ることができる。	3-i
12 基本的臨床手技を実施することができる。	2-b
13 組織上の問題の同定と改善を通して医療安全に貢献することができる。	2-i

ユニットの科目達成レベル

ユニットについて

5年生における診療参加型臨床実習は、医師という職業者について、医師が行うことを手伝うこと(assistantship)で、医師になるために必要な能力を養う実習である。学生が診療チームに参加し、その一員として診療業務を分担しながら医師の職業的な知識・思考法・技能・態度の基本的な部分を学ぶことを目的としている。単なる知識・技術の修得や診療の経験にとどまらず、実際の患者を相手にした診療業務を通じて、医療現場に立ったときに必要とされる診断および治療等に関する思考・対応力等を養うことにある点に留意する必要がある。

必修診療参加型実習は、内科A(大森病院内科系診療科)4週、内科B(大橋病院または佐倉病院内科系診療科)4週、外科(大森病院または大橋病院または佐倉病院外科系診療科)4週、産婦人科4週、小児科4週、精神科4週、総合診療科2週/救急科2週の8診療科と地域医療実習4週で構成される(計 32 週)。

受講前に必要とされる知識及び技能・態度

4年生までに学修した各臨床科目、全人的医療人教育などの知識・技能・態度が身につけていることが求められる。

ユニットの評価について (フィードバック含む)

臨床現場における形成評価として、内科系診療科では Mini-CEX と CbD、外科系診療科では DOPS と CbD、地域医療では P-MEX が施行されてその都度フィードバックされる。

総括評価としては、項目評価5項目(知識、実技技能、考察、プレゼンテーション、プロフェッショナリズム)を各々6段階評価で 100 点満点、概略評価は7段階で行う(医師にはいけないレベル:0 点 不合格:1 点 学生としてボーダーレベル:2 点 学生として合格点:3 点 学生として優れている:4 点 研修医として合格点:5 点 研修医(医師)として優れている:6 点)。

合格基準は、全ての診療科の項目評価の平均点が60点以上であり、また全ての診療科の概略評価平均点が3点以上であること、かつ1点が1つ以下で0点がないことである。

フィードバックは臨床現場においては適時指導医から、また各診療科・部門での実習終了時に行われる。

なお評価はユニット単位ではなく「サブ領域単位」である。

指定教科書他

基本的なものは各診療科・部門ごとに指定される。詳しくは電子シラバスの「実習一覧」から参照すること。

症例についての学修は教科書にないものが多くなる。その場合、指導医から提示されるもの、メディアセンターの資料・文献を利用する、UpToDate などのメディアセンターで契約している Web 上の Database を利用する、などがあげられる

ユニット責任者	高井 雄二郎						
ユニット対象学年	6	ユニット授業期間		ユニット時限数	0	ユニット分類	実習

ユニットの学修アウトカム

ユニットの科目達成レベル

アウトカム（達成目標）	対応する達成レベル
01 適切な医療面接を行う	2-a
02 適切な身体診察を行う	2-b
03 得られた所見から適切な臨床推論を行う	2-c
04 適切なプレゼンテーションを行う	2-h
05 問題点に則した適切な検査計画を立てる	2-d
06 得られた情報を統合し、診断・治療計画を立てる	2-d
07 臨床上的の問題に対してエビデンスを収集する	5-e
08 正しい診療記録（カルテ）を記録する	2-h
09 患者の申し送りを行う	3-i
10 医療安全上の問題を報告・連絡・相談する	2-i
11 多職種のチームで協働する	3-f
12 インフォームド・コンセントを得る	3-i
13 基本的臨床手技を実施する	2-b
14 緊急性を評価し、適切な初期対応を行う	2-g

15 自分がこれからつく職業が社会でどのように役立つのかを知る	3-e
16 学んだ知識と技術をどのように使うべきか判断することができる	3-a, b
17 自分がこれからつく職業と社会の人々との関係を知り、医師としての職責と幸せを知る	3-e
18 職場の中で学ぶことを知る	3-g

ユニットについて

5年生における診療参加型臨床実習は、医師という職業者について、医師が行うことを手伝うこと(assistantship)で、医師になるために必要な能力を養う実習である。学生が診療チームに参加し、その一員として診療業務を分担しながら医師の職業的な知識・思考法・技能・態度の基本的な部分を学ぶことを目的としている。単なる知識・技術の修得や診療の経験にとどまらず、実際の患者を相手にした診療業務を通じて、医療現場に立ったときに必要とされる診断および治療等に関する思考・対応力等を養うことにある点に留意する必要がある。

選択診療参加型臨床実習は必修科目である診療参加型臨床実習1・2終了後に行われるものであり、6年間の医学教育の集大成となる。卒業後に初期臨床研修医として働き、自ら学べる力をつけることがその重要な目的となる。医師という職業への最終準備となる実習であり、医師としての職責と幸せを知ってほしい(計 12 週)。

受講前に必要とされる知識及び技能・態度

診療参加型臨床実習1・2において、医師としての基本を身につけていることが前提となる。

ユニットの評価について (フィードバック含む)

1. 知識、2. 技能、3. 考察力、4. プロフェッショナリズム・態度の各項目について評価され、100点満点で60点以上の場合に合格と判定される。

また担当した症例のレポートの内容も評価される。

指定教科書他

内科学 第12版 矢崎 義雄/小室 一成 総編集 朝倉書店 2022年 ISBN-13 : 978-4254322804 (デジタル版あり)

標準外科学 第16版 北野 正剛/坂井 義治監修 医学書院 2022年 ISBN-13 : 978-4260047821

医学部教育用施設等一覧表

名 称	場 所	収容 人数	床面積 (m ²)	用 途	備 考
講義室					
第 1	2号館M3F	156	241	講 義	
第 2	2号館M2F	156	241	講 義	クリッカー
第 3	3号館地下1F	130	135	講 義	
第 4	3号館地下1F	130	135	講 義	
大学院講堂 (共用)	本館3F	103	186	講 義	
多目的室					
第 1	2号館M2F	56	198	多目的	
第 2	2号館M3F	35	92	多目的	
第 3	2号館M3F	35	74	多目的	
第 4	3号館2F	38	63	多目的	
第 5	本館3F	60	106	多目的	
第 6	本館3F	35	63	多目的	
実習室					
第 1	2号館M2F	124	448	学生実習	顕微鏡130台
第 2	2号館M2F	135	451	学生実習	
第 3	2号館M3F	134	376	学生実習	パソコン130台、顕微鏡130台
第 4	2号館M3F	120	571	学生実習	
解剖実習室	2号館7F	132	450	学生実習	解剖台22台
SDL室					
1	本館1F	8	17.7	多目的	
2	本館1F	8	13.4	多目的	
3	本館1F	8	16.3	多目的	
4	本館1F	8	15.4	多目的	
5	本館1F	8	15.9	多目的	
6	本館1F	8	15.4	多目的	
7	本館1F	8	15.4	多目的	
8	本館1F	8	15.4	多目的	
9	本館1F	8	15.4	多目的	
10	本館1F	8	14.9	多目的	

名 称	場 所	収容 人数	床面積 (m ²)	用 途	備 考
S D L室センター					
S601～S612 (12室)	1号館6F	8	18	多目的	
N601～N615 (15室)	1号館6F	8	18	多目的	
S801～S814 (14室)	1号館8F	8	18	多目的	
S T L室					
STL (10室)	学生会館 4F	6	18	多目的	
臨床技能学修センター					
模擬診察室 (6室)	2号館M2F	10	22～23	多目的	
セルフトレーニングスペース	2号館M2F	10	130	多目的	各種シミュレーター
医学メディアセンター					
自習ブース (セルフラーニング)	2号館M1F	96	248	多目的	
自習ブース (リサーチスクエア)	2号館M1F	84	1035	多目的	

学生の確保の見通し等を記載した書類

<目次>

(1) 新設組織の概要	
①新設組織の概要（名称、入学定員、収容定員、所在地）	…P. 2
②新設組織の特色	…P. 2
(2) 人材需要の社会的な動向等	
①新設組織で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析	…P. 2
②中長期的な18歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析	…P. 3
③新設組織の主な学生募集地域	…P. 3
④既設組織の定員充足の状況	…P. 4
(3) 学生確保の見通し	
①学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果	…P. 4
ア 既設組織における取組とその目標	…P. 4
イ 新設組織における取組とその目標	…P. 5
ウ 当該取組の実績の分析結果に基づく、新設組織での入学者の見込み数	…P. 5
②競合校の状況分析（立地条件、養成人材、教育内容と方法の類似性と定員充足状況）	…P. 6
ア 競合校の選定理由と新設組織との比較分析、優位性	…P. 6
イ 競合校の入学志願動向等	…P. 7
ウ 学生納付金等の金額設定の理由	…P. 7
③先行事例分析	…P. 8
④学生確保に関するアンケート調査	…P. 8
⑤人材需要に関するアンケート調査等	…P. 8
(4) 新設組織の定員設定の理由	…P. 9

(1) 新設組織の概要

①新設組織の概要（名称、入学定員、収容定員、所在地）

新設組織	入学定員	収容定員	所在地
東邦大学医学部医学科	110	660	東京都大田区大森西5丁目21番16号

②新設組織の特色

本学医学部は、建学の精神「自然・生命・人間」、教育の理念「自然に対する畏敬の念を持ち、生命の尊厳を自覚し、人間の謙虚な心を原点として豊かな人間性と均衡のとれた知識・技能を育成する」に基づいて、「豊かな人間性を備え、倫理観を持って社会に貢献する『より良き臨床医』を育成する」ことを人材育成の目的と定めている。そして、5領域「知識・技能と課題解決力、共生型リーダーシップ、社会的責任感・倫理観、科学的探究心・自己研鑽、国際性・多様性」について、3つのポリシーを定めてカリキュラムを構築、実施し、今後の医療を担う人材を養成・輩出している。令和4年度には改訂前のカリキュラムに基づいて一般社団法人日本医学教育評価機構による医学教育プログラムに対する第三者評価「医学教育分野別評価」を受審し、令和5年10月1日付で認定されている。

(2) 人材需要の社会的な動向等

①新設組織で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析

国立社会保障・人口問題研究所の「日本の将来推計人口（令和5年推計）」によると、15歳以上65歳未満の生産年齢人口は、1990年代後半の8,700万人をピークに令和2年に7,509万人、令和22年には6,213万人にまで減少するとされている。その一方、65歳以上の高齢者人口は令和2年には3,600万人を越えたのち、2043年に3,953万人となりピークを迎える。高齢者人口割合の増加に伴い、医療需要に関しては、少なくとも今後15年間は高止まりの状態が続く中、生産年齢人口割合は漸減していくことから、介護等も含め医療・福祉職種への就労者数を確保することはますます困難になることが予想されている。このような人口構成の変化の影響もあり、医療形態は変化が生じ、急性期医療から在宅等を含めた慢性期医療へ、介護・福祉の体制強化にシフトしていく。

また、厚生労働省の「医療従事者の需給に関する検討会医師需給分科会」による「第5次中間とりまとめ」（令和4年2月）によると、令和2年に実施された医師需給推計では医師需給は令和11年ごろに均衡すると考えられており、需給推計の結果も踏まえ、令和7年度の医学部入学定員については、地域枠も含め令和元年度の9,420名を越えない範囲で運用されることが決定されている。このように全国的には近い将来において医師需給の均衡到来が予想されているものの、地域ごとには医師の地域偏在、診療科偏在の状況が続いており、当面解消される兆しが見えない都道府県の二次医療圏が多数存在していることから、今後も医師養成の需要は見込まれると言える。

実際に本学医学部は、医師偏在指標において県全体での医師不足傾向が続く千葉県および新潟県の当該関係部局と協議を重ねたうえで、二次医療圏ごとに人口の年齢構成が異なり必要とされる医療形態も異なっていること、すなわち県内での地域偏在、診療科偏在があり、これらを解消するためには一定の期間が必要であるため、令和7年度も引き続き地域枠臨時定員増を申請する。

【資料1、2】

②中長期的な18歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析

文部科学省中央教育審議会の第178回大学分科会（令和6年7月19日開催）の参考資料1（関係データ集）における「18歳人口（男女別）の将来推計」および「18歳人口と高等教育機関への進学率等の推移」によると、18歳人口は令和6年度時点で106万人であったが、来年度大学に入学する世代である令和7年度は109万人と回復し、令和12年度までは106～110万人で維持される。しかし、その後は急激に減少し、令和22年度には79万人となることが予測されている。

また、リクルート進学総研の「18歳人口予測 大学・短期大学・専門学校進学率 地元残留率の動向」（2024年2月）によると、地域別18歳人口予測では、令和5年度から令和17年度にかけて減少数が大きいのは東北、甲信越、北海道であるが、南関東（千葉県、東京都、神奈川県および埼玉県）では、令和17年度には約28万人、減少率にして5.2%と、他のエリアと比較して減少率は低いと予想されている。また、大学進学率の推移において、令和5年度の進学率が高いのは南関東で、特に東京都は71.4%で全国1位、神奈川県は65.6%で全国3位と、全国的に見ても高い進学率である。以上のことから、東京都内に位置する本学医学部は、定員充足に際してこの観点での懸念は小さいと言える。

③新設組織の主な学生募集地域

本学医学部の志願者の出身地域分布は、東京都52.4%、神奈川県15.5%、千葉県10.4%、埼玉県6.9%でその他が14.8%となっている。また入学者の出身地域分布は、東京都42.6%、神奈川県13.1%、千葉県23.8%、埼玉県3.3%、その他が17.2%となっており、圧倒的に南関東に集中している。また、上述の文部科学省第178回大学分科会の参考資料1における「若者の人口移動」によると、東京都、神奈川県、千葉県においては、令和4年度の大学進学時の都道府県別流入者が流出者を上回っており、同圏内での進学率が比較的高い地域であると考えられる。

また、令和5年度学校基本調査の結果に基づく、東京都全体における大学入学者の、出身高校所在都道府県別の入学者の割合を上位から順に挙げると、東京都34.5%、神奈川県14.9%、埼玉県11.7%、千葉県9.0%となっており、上述の状況を踏まえると、進学率の高

い南関東エリアにおいては、この圏内を出ずに進学する学生が多い状況と思われる。加えて、日本私立学校振興・共済事業団作成の「私立大学・短期大学等入学志願動向」によると、東京都の大学全体における定員充足状況は、令和3年度：100.80%、令和4年度：103.48%、令和5年度：103.46%であり、さらに医学系統に限定すると、同時系列順に100.20%、100.51%、100.43%と推移しており、東京都全体では収容定員を充足している状況が複数年続いている。

よって、今回入学定員・収容定員の増員の申請を行う本学医学部においても、18歳人口減少の影響を受けることは避けられないものの、その影響度合いは小さいものとする。

【資料3、4、別紙1】

④既設組織の定員充足の状況

本学5学部（医学部・薬学部・理学部・看護学部・健康科学部）のいずれの学部、学科についても、十分な志願者数を確保できている。5学部の平均志願倍率は例年10倍前後で推移しており、過去5カ年度（2020～2024年度入試）の平均志願倍率は10.5倍である。令和6年度は大学全体の入学定員1,000名に対して9,826名の志願があり、倍率にして9.82倍であった。令和6年度の入学定員充足率は、大学全体においては1.05倍であり、学部別では医学部1.00倍、薬学部1.02倍、理学部1.06倍、看護学部1.08倍、健康科学部1.13倍である。過去5カ年度の平均入学定員充足率は、大学全体においては1.06倍、学部別では医学部1.00倍、薬学部1.08倍、理学部1.06倍、看護学部1.08倍、健康科学部1.12倍であり、安定して志願者を確保できていることに加え、過剰な入学定員超過は発生していない。なお詳細資料として、文部科学省指定の様式により平成31年（令和元）度～令和5年度の5カ年度における、各学部・学科別の入学定員（募集人数）、志願者数、受験者数、合格者数、入学者数、辞退者数、入学定員充足率の状況を別紙2に示している。

このように、すべての学部・学科で志願者を十分に確保できているほか、定員も過不足なく充足しており、入学定員管理が適切に行われている。

【別紙2】

（3）学生確保の見通し

①学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

ア 既設組織における取組とその目標

本学医学部においては、毎年8月にオープンキャンパスを開催し、医学部6年間のカリキュラム、学生生活全般に関する説明会、本学教員による模擬講義、シミュレータを用いた実習体験等を行っている。昨年度のオープンキャンパスでは1,374名の来場者があり、うち198名が令和6年度の入学試験を受験し、16名が今年度入学した。また10月から12月には施設見学会を開催し、講義室、実習室等を見学する機会を設けている。昨年度は205

名の来場者があり、うち 60 名が令和 6 年度の入学試験を受験し、12 名が今年度入学した。なお参考として、令和 3 年度および令和 4 年度に実施したオープンキャンパス・施設見学会における来場・受験・入学者数実績を別紙 3 に示す。

学外における学生確保を目的とした広報活動としては、アドミッションセンター、学事統括部大学広報課と医学部入試委員会、大森学事部学事課が分担し、業者主催の学生募集に関するイベントや、医学部志望者にターゲットを定めている医学部進学予備校主催の入試説明会への参加により、受験生やその保護者等が本学を知る機会を設けている。

また、本学は千葉県習志野市に付属中学校・高等学校を有しているが、同校から毎年 25 名程度の受験生がいることから、在校生および保護者を対象とした入試説明会を付属校で開催し、本学教職員から説明を行っている。

なお、本学へ容易に来校することや、説明会へ参加することができない受験生に対しては、ホームページで大学見学を疑似体験できるよう、ウェブオープンキャンパスページを常に整えている。また、SNS も用いて大学の様子を発信している。

【別紙 3】

イ 新設組織における取組とその目標

認可通知受理後、プレスリリース等の配信やホームページでの案内を通じて広く一般に周知するほか、個々の受験生等をターゲットとした広報手段としては、資料請求者、高等学校・予備校等へダイレクトメールや資料の送付を計画している。

新潟県に特化した広報活動としては、県による高校生・既卒生・保護者・高校教員向けのオンライン説明会が 8 月に実施されたほか、9 月上旬にも県が主催する受験生・保護者等向けのオンライン入試説明会があり、本学教職員が参加し説明を行った。これに加え、新潟県内でのバス広告やテレビコマーシャルなどを通じて積極的に広報活動を行うことを予定している。

本学医学部の過去 5 年間における志願者数の推移は、別紙 2 のとおりである。毎年一般入試では 2,500 名程度の志願者があり、特に令和 5 年度は 3,002 名、令和 6 年度は 3,069 名と例年より増加し、一層高い倍率を維持している。令和 3 年度から導入した総合入試、同窓生子女入試においても、募集人員の 8~10 倍程度の受験生から志願があり、アドミッション・ポリシーに則った多様で優秀な学生を確保することができている。

【資料 5、別紙 2（再掲）】

ウ 当該取組の実績の分析結果に基づく、新設組織での入学者の見込み数

従来から実施してきたオープンキャンパスおよび施設見学会の開催、学内外での説明会への参加、インターネットを媒介とした広報活動を継続することで、今後も入学定員分の

入学者（123名）が見込まれる。これらの活動のうち、オープンキャンパスおよび施設見学会については、別紙3に記載のとおり過去の来場実績等に基づき、取組ごとの入学者見込み数を試算している。

本学医学部の過去5年間における入学定員に対する志願倍率は平均20倍以上であり、志願者数も令和5年度入試までの5年間平均で2,782名であること、臨時定員増員の対象となる千葉県地域枠および新潟県地域枠に関して、両方の地域枠を取り入れた令和4年度以降、千葉県地域枠については過去3年間における総志願倍率：22.0倍、志願者数：平均110名、新潟県地域枠については過去3年間における総志願倍率：14.3倍、志願者数：平均95名と高位安定していることから、本学医学部として行う広報活動との接触がない受験生も数多く志願・受験し、最終的に入学までに至る者もいることと思われる。以上により、今回計13名分の臨時入学定員を増員した場合も、これまでどおり十分に入学者を確保ができると考えている。

【資料6、別紙2（再掲）、別紙3（再掲）】

②競合校の状況分析（立地条件、養成人材、教育内容と方法の類似性と定員充足状況）

ア 競合校の選定理由と新設組織との比較分析、優位性

医学部を有する私立大学の中から、東京都にあり、大学規模・学部構成等が似通っておりかつ大手予備校等が公表している入学難易度が類似している東京医科大学医学部、昭和大学医学部、日本大学医学部を競合校と言える。

いずれの大学の医学部についても、6年間の学びを経て医師国家資格を取得し、卒業後は医師として就職（研修）する学生がほとんどであることから、取得できる資格はもとより、就職支援の内容についても大きな差はないと考える。また、教育内容や方法についても、いずれの大学も文部科学省の定める「医学教育モデル・コア・カリキュラム」に準拠したカリキュラムを構築していることから、カリキュラムの大枠・根幹についても劇的な違いは生じにくい。その中であって本学医学部は、医師としての倫理性・人間性の寛容を目指した「全人的医療人教育」プログラムを、全学年を通して敷いていることを特色としている。

立地面に言及すると、本学医学部を置く大森キャンパスは、東京都大田区に所在し、JR線のほか、私鉄（京急線、東急線）と複数の交通機関を使って通学可能であり、東京都だけでなく神奈川県、千葉県、埼玉県など南関東圏の都県に近いという立地上の特性がある。神奈川県については、同県内の人口1位・横浜市、人口2位・川崎市からは特に距離が近い。千葉県に焦点を当てると、本学は船橋市に薬学部・大学院薬学研究科、理学部・大学院理学研究科、健康科学部が所在する習志野キャンパスを有しており、薬剤師・臨床検査技師・看護師等の医療人材の教育を担っているほか、佐倉市には医学部付属の医療センタ

一佐倉病院を置き、千葉県印旛二次医療圏の地域医療支援病院として地域医療に貢献している。さらに習志野市には大学付属の東邦中学校・高等学校も設置しており、千葉県内での知名度は他大学に比較すると高いと考えられ、特に千葉県地域枠学生の確保に有効であると考えられる。東京都内についても、医学部・看護学部のほかに、目黒区に医学部付属の医療センター大橋病院、世田谷区に中高一貫校である駒場東邦中学校・高等学校を有しており、学生確保の訴求力向上につながっている。

入試における実績に目を向けると、4大学とも直近3年間の志願倍率は約21倍～33倍程度で推移しており、本学を含むいずれの大学も志願者を十分確保できている。

学生納付金については、本学は4大学の中で最も6年間の総授業料が低く、入学金や教育・施設等の充実費を含めた6年間の納付金の総額についても、4大学中最も低廉な金額設定としていることから、競合校よりも優位である。

これらの特徴に基づく学生募集活動により、競合校の中にあっても、本学医学部は今後も安定的に志願者を確保できるものとする。

【資料7、8、9、10】

イ 競合校の入学志願動向等

東京医科大学医学部、昭和大学医学部、日本大学医学部と本学医学部の直近3年間の総入学定員、志願者数、志願倍率の推移、および地域枠の入学定員、志願者数、志願倍率の推移について比較した。先述のとおり、いずれの大学も直近3年間の志願倍率は約21倍～33倍で、志願者を十分確保できている。

競合3大学とも新潟県地域枠を設置しており、志願者数、志願倍率の推移について比較した。昭和大学および日本大学は本学と同様に10倍以上の志願倍率で十分確保できている。本学も含め引き続き高い倍率を維持できるものとする。また、新潟県は新潟県地域枠を設置している大学の総志願倍率を公表しており、令和6年度入試では10.3倍であった一方、本学は12.9倍と高い水準である。

千葉県地域枠については、競合3大学は設置していない。また、千葉県は千葉県地域枠の志願者数、志願倍率等を公表していないため競合校以外の他大学との比較もできないが、本学医学部は十分な志願者数を確保し、高い志願倍率を維持している。

【資料6（再掲）、8（再掲）、9（再掲）】

ウ 学生納付金等の金額設定の理由

学生納付金は、大学運営上の管理経費の推移と今後の教育・研究環境の維持・充実に資することを目的とし、これまで同様、以下の金額を設定している。競合校である他3大学と比べても入学金や授業料等に大きな違いはないものの、先述のとおり6年間の納付金の総

額は本学医学部が最も低く、現時点でこれを変更する積極的な理由はない。本学としては、標準的な金額設定と考えている。

<令和7年度 学生納付金>

- 入学金：1,500,000 円
- 授業料：2,500,000 円
- 教育充実費：500,000 円（2 年次以降は各 900,000 円）
- 施設設備費：300,000 円（2 年次以降は各 800,000 円）

【資料10（再掲）】

③先行事例分析

先行事例がなく、該当しない。

④学生確保に関するアンケート調査

令和5年のオープンキャンパスで実施した来場者アンケート調査によると、まず全回答数（353名）のうち高校3年生の回答が30%、既卒生の回答が10.8%と回答総数の4割強を占めた。該当年度の入学試験で本学を受験しようと考えていると回答した割合は58.4%（206名）に上り、また次年度以降に受験する可能性がある高校1・2年生についても、それぞれ12.5%、27.8%が本学を受験を考えていることがわかる。206名という人数は本学医学部の入学定員を上回っており、むろんオープンキャンパス来場者以外にも本学医学部を受験する者がいることから、本アンケート結果から考察しても、十分な定員充足が見込める。

また、来場者の出身高校所在地に目を向けると、南関東エリア（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県）からの来場者で約9割を占めるが、首都圏以外では静岡県、茨城県、新潟県から複数名の回答があったほか、少数回答ではあるが、さらに遠方である広島県や岩手県からも参加があり、全国的な本学医学部に対する関心の高さが窺える。

大学を選ぶ際に重視するポイントとしては、在学生やキャンパスの雰囲気、教育内容（カリキュラム）、学費、立地、教育施設・設備、学生へのサポート体制、国家試験の合格率の順に回答が多く、これまで競合校との比較分析において述べた事項も含まれていることから、これらの事項は本学医学部の特徴であり、かつ志願者の確保に有効に作用していることと考えられる。

【資料11】

⑤人材需要に関するアンケート調査等

新潟県では、深刻な医師不足の下、医師少数区域の医療に従事する医師を確実に確保するため、大学医学部への地域枠の新設・拡大に取り組んでいる。本学医学部においても、2022年度より新潟県からの要請を踏まえ、地域枠（5名）を設け、2023年度に7名、

2024年度は8名と受け入れ体制を拡充している。

また、新潟県が令和6年3月に作成した「第2次新潟県医師確保計画（前期）」において、2036年の必要医師数を達成するため、県外大学への地域枠を拡大する取組が示されている。本学に対しても地域枠定員の維持・拡大について、強く要請を受けているところである。

千葉県が令和6年4月に作成した「千葉県保健医療計画」によると、千葉県における医師数は令和2年度末現在で全国9位の12,935名であるが、医師偏在指標は全国順位38位でありかつ全国平均を下回っており、相対的に医師が少ない状況にある。2次医療圏別の医師数において医師少数地域になっている地域の解消と併せて、小児科や産婦人科等診療科偏在の改善を目指し、県内大学医学部との連携と臨時定員増を活用しながら、令和8年度までに医師数を令和2年度より970名増加させる必要がある。本学に対しても新潟県同様、地域枠定員の維持・拡大について、強く要請されている。

（4）新設組織の定員設定の理由

千葉県および新潟県との協議を経て、以下の理由により、令和7年度医学部臨時定員として千葉県地域枠5名、新潟県地域枠8名を増員する。

【資料12】

〔医師の不足と地域偏在の解消〕

千葉県および新潟県の当該関係部局と協議を重ね、両県ともに医師の不足と地域偏在に大きな課題があることを確認している。千葉県は人口が627万人と多く、県全体として対人口比の医師数が不足している。特に房総半島の安房地域や山武長生夷隅地域は、全国平均を大きく下回っているうえに、今年度からは君津地域保健医療圏も医師不足とみなされる「医師少数地域」になり、房総半島南部の2次医療圏においては医師不足の状況が改善しているとは言い難い。また、東京に隣接した東葛北部・南部地域等の二次医療圏は、人口流入による増加があることから、相対的に医師不足となっている。

新潟県は人口が210万人と、北信越地方のうち日本海に面する4県（新潟・富山・石川・福井）の中でも比較的多く、また県の面積は全国5番目の大きさであるが、臨床研修の必修化以降に研修医の流出が続いた影響により全地域において著しい医師不足であり、令和6年1月10日付で厚生労働省から発表された医師偏在指標は全国順位45位である。

本学医学部は、千葉県および新潟県の両県における地域医療に貢献する意欲が高い学生を確保すべく、臨時的に入学定員を増員のうえ推薦入試および一般入試に地域枠を設定することにより、両県における医師不足解消に寄与したいと考えている。

【資料2（再掲）】

〔医師の診療科偏在の解消〕

千葉県および新潟県ともに、人口が減少し公共交通機関の規模が縮小する地域を多く抱えていることに加え、高齢化が進んでいることから、医療施設へのアクセスが悪く医療を受け難い状況となっており、今後も状況の悪化が見込まれる。これに対応すべく、地域中核病院の総合診療、救急医療体制の充実と訪問診療等を行う医師の確保が喫緊の課題である。このような地域医療に従事、貢献する医師を養成するために、地域枠入学生に対して、1年次から地域医療に関する科目の履修を義務付けている。地域医療に関する講義や演習で知識を修得した上で、夏季休暇期間を利用して千葉県・新潟県にある病院や診療所での見学実習に参加し、該当地域における地域医療への意識づけと理解を深めている。また、高学年次の臨床実習を通して、総合診療、救急医療、訪問診療等への実践能力の育成を、卒後研修を含めたキャリア形成の中で行う体制を整備し、地域医療・診療科偏在の問題解決に貢献する。

なお、新潟県地域枠においては地域医療に貢献しやすい内科・総合診療科が推奨されているが、早期から上述のような教育を行うことで診療科偏在の問題に対する意識付けを促すことで、問題解決に貢献できるものと考えている。

【資料 13】

学生の確保の見通し等を記載した書類・添付資料目次

資料 1	地域の医師確保等の観点からの令和 7 年度医学部入学定員の増加について（通知）	…P. 12
資料 2	医師偏在指標（都道府県別）	…P. 16
資料 3	令和 6 年度医学部志願者・入学者都道府県別一覧	…P. 17
資料 4	令和 6 年度医学部学生の出身都道府県一覧	…P. 18
資料 5	令和 7 年度地域枠広報チラシ・ポストカード（案）	…P. 19
資料 6	過去 3 年間の地域枠入試志願状況	…P. 22
資料 7	医学部カリキュラムマップ	…P. 23
資料 8	東京都・神奈川県私立医学部の志願者数・入学定員充足状況	…P. 24
資料 9	競合校の過去 3 年間志願者数	…P. 26
資料 10	東邦大学医学部および競合校の学生納付金一覧	…P. 28
資料 11	令和 5 年度オープンキャンパスアンケート結果（抜粋）	…P. 29
資料 12	地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書の写し（千葉県・新潟県）	…P. 30
資料 13	「地域医療学」および「地域医療学（千葉）」シラバス	…P. 32
別紙 1	新設組織が置かれる都道府県への入学状況	…P. 44
別紙 2	既設学科等の入学定員の充足状況（直近 5 年間）	…P. 45
別紙 3	既設学科等の学生募集のための PR 活動の過去の実績	…P. 55

6 文科高第 738 号
医政発 0807 第 5 号
令和 6 年 8 月 7 日

各 都 道 府 県 知 事 殿
医学部を置く各国公私立大学長

文部科学省高等教育局長
厚生労働省医政局長
(公 印 省 略)

地域の医師確保等の観点からの令和 7 年度医学部入学定員の増加について (通知)

「経済財政運営と改革の基本方針 2018」(平成 30 年 6 月 15 日閣議決定)、「経済財政運営と改革の基本方針 2019」(令和元年 6 月 21 日閣議決定)及び「令和 7 年度の医学部臨時定員の暫定的な維持について(通知)」(令和 5 年 11 月 27 日付け 5 文科高第 1230 号文部科学省高等教育局長、医政医発 1127 第 3 号厚生労働省医政局長通知)を踏まえ、地域の医師確保等に早急に対応するため、令和 7 年度の医学部入学定員の増加について、別添のとおり取り扱うこととしました。

貴職におかれましては、本取扱の内容について御了知の上、入学定員増を通じて医師確保を図ろうとする場合については、速やかに都道府県・大学間で必要な協議を行っていただき、別添に基づき所要の文書を御提出していただくようお願いいたします。

【本件担当】

文部科学省高等教育局医学教育課 藤本・長澤
電 話 : 03-6734-2509
E-mail : igaku@mext. go. jp

厚生労働省医政局医事課 加藤・染谷・大畑
電 話 : 03-3595-2196
E-mail : jyukyu@mhlw. go. jp

地域の医師確保等の観点からの医学部入学定員の増加について

地域における医師不足の解消が喫緊の課題であり、地域の医師確保等に早急に対応するため、令和7年度の医学部入学定員の増加を行うための認可申請期間の特例を設け、以下のとおり、入学定員の増加等を取り扱う。なお、特例による申請期間については、別途通知する。

1. 入学定員増に関する今年度の方針

(1) 地域の医師確保のための入学定員増

地域の医師確保に資するため、地域の病院又は診療所に将来勤務しようとする学生の確保を目的とした入学定員については、令和5年度までに認可した臨時定員の運用実績（地域枠の欠員及び離脱の状況、離脱防止の取組、義務履行期間中の医師少数区域への配置状況等の実績をいう。）や地域枠及び地元出身者枠の恒久定員内への設置状況等を踏まえ、増員の必要性を精査し、全体として令和元年度の全国の入学定員数を超えない範囲で、かつ、地域の医師確保又は診療科偏在対策に有用な範囲に限り増員申請を認めることとする（ただし、すべての地域枠の従事要件に、特定の診療科を位置付けることを義務付けるものではない。）。

加えて、事前に大学と将来時点における医師不足都道府県等¹との間で調整がついた範囲で、かつ、従事要件が課される者の教育・キャリアにも十分配慮がなされている場合に限ることとし、特に、学生と保護者もしくは法定代理人から志願時に、従事要件・離脱要件への書面同意を取得するとともに、別枠入試により選抜した経緯を踏まえ、入学した地域枠学生が、学生の期間を通じて、地域医療に貢献する意思を継続できるように適切かつ必要な教育プログラムを継続して実施すること²。また、原則として医学部定員の増員が認められていない中、上述のとおり特例として臨時的な増員を認めるという地域枠の趣旨にかんがみ、定員増員分に見合う数の地域枠の学生を確実に確保できるよう対応すること。

令和7年度までの地域枠学生の確保状況及び離脱状況の実績については、令和8年度以降の医学部定員の増員において、これらの実績を踏まえて検討する予定であるので、十分に留意すること。

なお、増員申請をする場合には、文部科学省及び厚生労働省において、増員の必要性等を慎重に精査した上で、増員申請を認める。

(2) 研究医養成のための入学定員増

基礎医学及び社会医学に関する研究医養成拠点としてふさわしい実績を有して

¹ 第8次（前期）医師確保計画策定に向け、厚生労働省医政局地域医療計画課から各都道府県へご提供した「2036年における必要医師数」の上位推計において医師不足である都道府県を中心に、医師不足都道府県以外の都道府県であって医師少数区域等を有する都道府県等を想定

² 例えば、都道府県は、大学や医療機関等と連携し、キャリア形成卒前支援プランの各卒前支援プロジェクトにおいて、地域医療に関する実習や講義の支援、定期的な勉強会等の開催等の方法により、対象学生が将来従事する地域と接する機会を提供し、対象学生の将来地域医療に従事する意識の向上に資することとされている（「キャリア形成プログラム運用指針」（令和3年12月1日付け医政発1201第1号厚生労働省医政局長通知））

おり、かつ、教育研究に係る共同利用拠点等の優れた教育研究資源を活かして、複数大学の連携により社会的要請の強い研究医養成拠点を形成しようとする大学であって、研究医養成の観点から学部・大学院教育を一貫して見通した特別コース及び研究医定着のための奨学金を設ける大学の入学定員について更なる増員を希望する大学については、第8回今後の医学教育の在り方に関する検討会（令和6年3月18日）で示された研究医としてのキャリア支援や海外研修の機会の提供をしながら、Physician Scientist を含む基礎医学や社会医学の素養を有する優れた研究医を養成する拠点を担う大学に限り、全体として令和元年度の全国の入学定員数を超えない範囲で、増員申請を認める。なお、増員申請をする場合には、文部科学省においてこの内容、増員の必要性等を慎重に精査した上で、増員申請を認める。

2. 大学、都道府県が講ずる措置

(1) 大学が講ずる措置

1. (1)の入学定員増について、大学は、地域の医師確保に資するという地域枠の趣旨にかんがみ、増員分についてその他の定員と区別して選抜する方式（別枠方式）により学生を選抜するとともに、増員分の定員数、地域の医師確保の観点からの増員である旨、増員期間、修学資金制度、地域医療等に従事する意思を入学後に翻した際の対応、卒業後に適用されるキャリア形成プログラムの詳細等について募集要項や大学ホームページ等で明記するなど、地域医療等に従事する明確な意思をもった学生を確実に確保する手法を都道府県等と合意の上実施すること。定員増員分に見合う数の地域枠の学生の確保ができなかった場合にも、確保できなかった地域枠の募集人員を地域枠以外の募集人員に振り替えることのないよう、募集要項の作成、入学者選抜の実施等にあたり、必要な対応を行うこと。

なお、自治医科大学の定員増については、医師不足が認められる都道府県に対し行うものとする。

1. (2)の入学定員増について、過去に当該枠組みによる入学定員増を実施した大学は、当初計画していた取組の有効性が評価できる程度に進捗し、第三者による評価等により、有効性の高い取組であることが確認できていることとする。また、大学は、優れた教育研究資源を研究医養成拠点に集約し、複数大学の連携によるコンソーシアムが形成されることを念頭においた制度である性質上、過去に当該枠組みにより入学定員増を実施したことがない大学が、過去に当該枠組みにより入学定員増を実施した他大学の連携大学となっている場合（今年度以降に連携大学となろうとする場合を含む。）には、連携大学との明確な役割分担が説明されていることとする。加えて、入学定員増加開始年度より、研究医養成の観点から卒後・大学院教育を一貫して見通した特別コース（増員数の倍以上）を設定し適切に履修者を確保するとともに、卒後一定期間の研究医としての従事を条件とする奨学金を設定すること。

(2) 都道府県が講ずる措置

1. (1)の入学定員増について、都道府県は、地域の医師確保等に関する計画及び「地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律」（平成元年法律第64号）第4条に規定する都道府県計画（以下「都道府県計画」という。）等に当該入学定員の増加を位置付け、卒後一定期間の地域医療等への従事や離脱に関する要件等を設定する（自治医科大学における増員を除く。）とともに

に、大学と連携し、地域医療等に従事する明確な意思をもった学生について、一般枠等とは別の選抜枠を設定する等、定員増員分に見合う数の地域枠の学生を確実に確保する手法を大学等と合意の上実施すること。

また、修学資金に地域医療介護総合確保基金を活用する場合、当該修学資金の貸与の対象は「キャリア形成プログラム運用指針」（平成30年7月25日付け医政発0725第17号厚生労働省医政局長通知別添。令和3年12月1日付け医政発1201第1号厚生労働省医政局長通知により一部改正。）を参照のこと。

3. 入学定員増の期間

増員期間は1年間（令和7年度まで）とする。

4. 入学定員増等の手続

（1）大学の手続

入学定員増を希望する大学は、別添の「令和7年度入学定員増員計画」を文部科学省に令和6年8月23日（金）までに提出すること。

（2）都道府県における手続

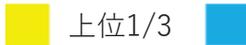
1. （1）の入学定員増については、地域の医師確保等に関する計画及び都道府県計画等に位置付けることを約束する文書を厚生労働省に令和6年8月23日（金）までに提出すること。

（3）その他の手続

文部科学省は、上記入学定員の増加が可能となるよう、必要な関係規則の改正等の措置を講ずる予定である。

医師偏在指標

(都道府県別)


 上位1/3 下位1/3

都道府県コード	都道府県	医師偏在指標
00	全国	255.6
01	北海道	233.8
02	青森県	184.3
03	岩手県	182.5
04	宮城県	247.3
05	秋田県	199.4
06	山形県	200.2
07	福島県	190.5
08	茨城県	193.6
09	栃木県	230.5
10	群馬県	219.7
11	埼玉県	196.8
12	千葉県	213.0
13	東京都	353.9
14	神奈川県	247.5
15	新潟県	184.7
16	富山県	238.8
17	石川県	279.8
18	福井県	246.8
19	山梨県	240.8
20	長野県	219.9
21	岐阜県	221.5
22	静岡県	211.8
23	愛知県	240.2

都道府県コード	都道府県	医師偏在指標
24	三重県	225.6
25	滋賀県	260.4
26	京都府	326.7
27	大阪府	288.6
28	兵庫県	266.5
29	奈良県	268.9
30	和歌山県	274.9
31	鳥取県	270.4
32	島根県	265.1
33	岡山県	299.6
34	広島県	254.2
35	山口県	228.0
36	徳島県	289.3
37	香川県	266.9
38	愛媛県	246.4
39	高知県	268.2
40	福岡県	313.3
41	佐賀県	272.3
42	長崎県	284.0
43	熊本県	271.0
44	大分県	259.7
45	宮崎県	227.0
46	鹿児島県	254.8
47	沖縄県	292.1

※上位1/3の閾値を266.9、下位1/3の閾値を228.0と設定している。

(医師偏在指標について)

医師偏在指標は、医師偏在対策の推進において活用されるものであるが、指標の算定に当たっては、一定の仮定が必要であり、また、入手できるデータの限界などにより指標の算定式に必ずしも全ての医師偏在の状況を表しうる要素を盛り込んでいるものではない。

このため、医師偏在指標の活用にあたっては、医師の絶対的な充足状況を示すものではなく、あくまでも相対的な偏在の状況を表すものであるという性質を十分に理解した上で、数値を絶対的な基準として取り扱うことや機械的な運用を行うことのないよう十分に理解した上で、活用する必要がある。

令和6(2024)年度医学部志願者都道府県別一覽

NO	都道府県	人数	男	女	
1	北海道	34	20	14	1.2%
2	青森	9	6	3	0.3%
3	岩手	2	2	0	0.1%
4	宮城	23	6	17	0.8%
5	秋田	4	2	2	0.1%
6	山形	8	7	1	0.3%
7	福島	20	15	5	0.7%
8	茨城	102	48	54	3.6%
9	栃木	39	24	15	1.4%
10	群馬	39	25	14	1.4%
11	埼玉	194	104	90	6.9%
12	千葉	294	155	139	10.4%
13	東京	1479	710	769	52.4%
14	神奈川	438	232	206	15.5%
15	新潟	80	40	40	2.8%
16	富山	8	4	4	0.3%
17	石川	7	3	4	0.2%
18	福井	11	5	6	0.4%
19	山梨	24	16	8	0.9%
20	長野	37	25	12	1.3%
21	岐阜	13	8	5	0.5%
22	静岡	59	38	21	2.1%
23	愛知	55	40	15	2.0%
24	三重	19	9	10	0.7%
25	滋賀	1	0	1	0.0%
26	京都	19	11	8	0.7%
27	大阪	30	12	18	1.1%
28	兵庫	23	13	10	0.8%
29	奈良	7	5	2	0.2%
30	和歌山	2	1	1	0.1%
31	鳥取	4	3	1	0.1%
32	島根	3	1	2	0.1%
33	岡山	17	10	7	0.6%
34	広島	33	16	17	1.2%
35	山口	10	5	5	0.4%
36	徳島	4	1	3	0.1%
37	香川	3	3	0	0.1%
38	愛媛	12	9	3	0.4%
39	高知	4	2	2	0.1%
40	福岡	22	7	15	0.8%
41	佐賀	5	2	3	0.2%
42	長崎	8	4	4	0.3%
43	熊本	6	4	2	0.2%
44	大分	4	2	2	0.1%
45	宮崎	7	3	4	0.2%
46	鹿児島	29	17	12	1.0%
47	沖縄	21	11	10	0.7%
48	認定	21	13	8	0.7%
49	在外	5	4	1	0.2%
50	文科	1	0	1	0.0%
51	外国	24	15	9	0.9%
		3323			

令和6(2024)年度医学部入学者都道府県別一覽

NO	都道府県	人数	男	女	
1	北海道	2	1	1	1.6%
2	青森	0	0	0	0.0%
3	岩手	0	0	0	0.0%
4	宮城	1	0	1	0.8%
5	秋田	0	0	0	0.0%
6	山形	0	0	0	0.0%
7	福島	0	0	0	0.0%
8	茨城	1	1	0	0.8%
9	栃木	1	1	0	0.8%
10	群馬	1	0	1	0.8%
11	埼玉	4	0	4	3.3%
12	千葉	29	9	20	23.8%
13	東京	52	25	27	42.6%
14	神奈川	16	11	5	13.1%
15	新潟	2	1	1	1.6%
16	富山	0	0	0	0.0%
17	石川	1	1	0	0.8%
18	福井	0	0	0	0.0%
19	山梨	1	1	0	0.8%
20	長野	0	0	0	0.0%
21	岐阜	0	0	0	0.0%
22	静岡	0	0	0	0.0%
23	愛知	1	1	0	0.8%
24	三重	0	0	0	0.0%
25	滋賀	0	0	0	0.0%
26	京都	0	0	0	0.0%
27	大阪	0	0	0	0.0%
28	兵庫	1	1	0	0.8%
29	奈良	1	1	0	0.8%
30	和歌山	0	0	0	0.0%
31	鳥取	0	0	0	0.0%
32	島根	0	0	0	0.0%
33	岡山	0	0	0	0.0%
34	広島	2	0	2	1.6%
35	山口	0	0	0	0.0%
36	徳島	0	0	0	0.0%
37	香川	0	0	0	0.0%
38	愛媛	1	1	0	0.8%
39	高知	0	0	0	0.0%
40	福岡	1	0	1	0.8%
41	佐賀	0	0	0	0.0%
42	長崎	1	0	1	0.8%
43	熊本	0	0	0	0.0%
44	大分	0	0	0	0.0%
45	宮崎	1	0	1	0.8%
46	鹿児島	0	0	0	0.0%
47	沖縄	1	0	1	0.8%
48	認定	1	1	0	0.8%
49	在外	0	0	0	0.0%
50	文科	0	0	0	0.0%
51	外国	1	1	0	0.8%
		123			

令和6(2024)年度医学部学生の出身都道府県一覧

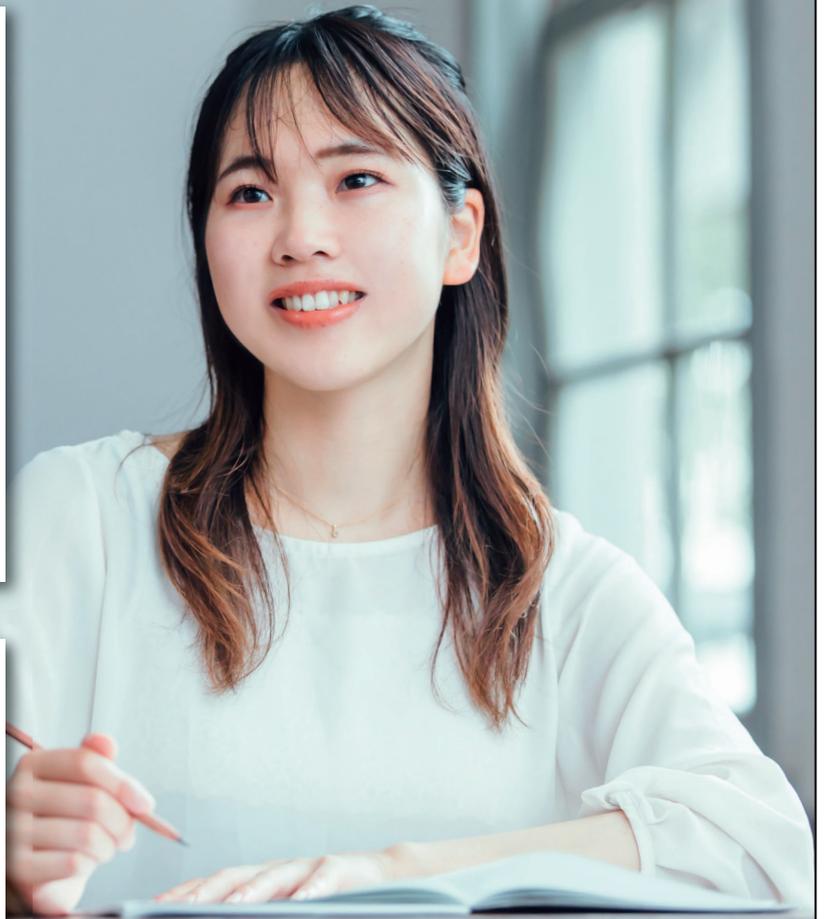
NO	都道府県	男	女	人数
1	北海道	2	1	3
2	青森	0	0	0
3	岩手	1	1	2
4	宮城	4	2	6
5	秋田	0	0	0
6	山形	3	1	4
7	福島	0	0	0
8	茨城	9	4	13
9	栃木	4	1	5
10	群馬	4	2	6
11	埼玉	15	17	32
12	千葉	53	89	142
13	東京	152	174	326
14	神奈川	47	47	94
15	新潟	3	3	6
16	富山	0	0	0
17	石川	1	0	1
18	福井	1	1	2
19	山梨	6	1	7
20	長野	5	3	8
21	岐阜	0	0	0
22	静岡	6	4	10
23	愛知	5	3	8
24	三重	0	0	0
25	滋賀	0	0	0
26	京都	0	0	0
27	大阪	1	0	1
28	兵庫	1	2	3
29	奈良	1	0	1
30	和歌山	0	0	0
31	鳥取	1	0	1
32	島根	0	0	0
33	岡山	0	1	1
34	広島	2	2	4
35	山口	0	0	0
36	徳島	2	0	2
37	香川	1	0	1
38	愛媛	1	2	3
39	高知	1	0	1
40	福岡	3	1	4
41	佐賀	1	0	1
42	長崎	0	1	1
43	熊本	0	0	0
44	大分	1	1	2
45	宮崎	0	1	1
46	鹿児島	3	1	4
47	沖縄	0	2	2
48	その他	4	3	7
	計	344	371	715



千葉県

新潟県

地域枠入試を
実施いたします



地域枠入試とは

※認可申請中

地域枠入試は、都道府県の医師修学資金制度を利用し、地域における医師不足や地域偏在を解消するため、地域医療に貢献しようとする明確な意志を持ち、卒業後、各都道府県が定める要件に則り、所定の地域で医療を担うことが出来る者を選抜する入試区分です。

2025年度
入試日程はこちら

東邦大学医学部

詳しくは裏面へ

千葉県地域枠入試

試験区分	募集人員	出願期間	試験日・試験場	合格発表
推薦入試 (公募制— 千葉県 地域枠)	3名	郵便受付: 2024年11月1日(金)~ 2024年11月6日(水)必着 窓口受付: 2024年11月6日(水) 9:00~17:00	1次試験: 2024年11月15日(金) 試験場:大森キャンパス 2次試験: 2024年11月30日(土) 試験場:大森キャンパス (1次試験合格者のみ)	1次試験: 2024年11月25日(月) 正午 2次試験: 2024年12月4日(水) 正午
一般入試 (千葉県 地域枠)	2名	郵便受付: 2024年12月9日(月)~ 2025年1月22日(水)必着 窓口受付: 2025年1月21日(火)・22日(水) 9:00~17:00	1次試験: 2025年2月4日(火) 試験場:パシフィコ横浜ノース 2次試験: 2025年2月12日(水)・13日(木) のいずれか1日 試験場:大森キャンパス (1次試験合格者のみ)	1次試験: 2025年2月7日(金) 正午 2次試験: 2025年2月15日(土) 正午

<千葉県医師修学資金貸付制度の概要>

貸与金額

月額

20万円

6年間
合計

1,440万円

貸与期間

令和7年4月から正規の修学期間を終了する月まで

免除要件

大学を卒業した日の属する翌月の初日から起算して、1年3か月以内に医師の免許を取得し、キャリア形成プログラムに基づき定められた期間内に修学資金の貸付期間の1.5倍の期間(義務年限)所定の医療機関に勤務したとき、貸付金の返還を免除。

新潟県地域枠入試

試験区分	募集人員	出願期間	試験日・試験場	合格発表
推薦入試 (公募制— 新潟県 地域枠)	6名	郵便受付: 2024年11月1日(金)~ 2024年11月6日(水)必着 窓口受付: 2024年11月6日(水) 9:00~17:00	1次試験: 2024年11月15日(金) 試験場:大森キャンパス 2次試験: 2024年11月30日(土) 試験場:大森キャンパス (1次試験合格者のみ)	1次試験: 2024年11月25日(月) 正午 2次試験: 2024年12月4日(水) 正午
一般入試 (新潟県 地域枠)	2名	郵便受付: 2024年12月9日(月)~ 2025年1月22日(水)必着 窓口受付: 2025年1月21日(火)・22日(水) 9:00~17:00	1次試験: 2025年2月4日(火) 試験場:パシフィコ横浜ノース 2次試験: 2025年2月12日(水)・13日(木) のいずれか1日 試験場:大森キャンパス (1次試験合格者のみ)	1次試験: 2025年2月7日(金) 正午 2次試験: 2025年2月15日(土) 正午

<新潟県医師養成修学資金貸与制度の概要>

貸与金額

月額

30万円

6年間
合計

2,160万円

貸与期間

令和7年4月から正規の修学期間を終了する月まで

免除要件

大学を卒業した後、2年以内に医師の免許を取得し、その後新潟県が指定する医療機関等に9年間在職すること(9年間には初期臨床研修の2年間を含む)。

※将来の診療科の選択については、特に地域医療に貢献できる内科・総合診療科等を推奨します。



東邦大学

医学部 入試係

Tel. 03-5763-6670
〒143-8540 東京都大田区大森西5-21-16

医学部HPは
こちら▶

Web出願は
こちら▶

100th Anniversary
1925-2025 TOHO UNIVERSITY

東邦大学医学部

新潟県

千葉県

地域枠入試を実施いたします

2025年度
各入試の詳細はこちら

募集人数 3名
推薦入試
(公募制-千葉県地域枠)

募集人数 2名
一般入試
(千葉県地域枠)

募集人数 6名
推薦入試
(公募制-新潟県地域枠)

募集人数 2名
一般入試
(新潟県地域枠)

地域枠入試とは
※認可申請中

地域枠入試は、都道府県の医師修学資金制度を利用し、地域における医師不足や地域偏在を解消するため、地域医療に貢献しようとする明確な意志を持ち、卒業後、各都道府県が定める要件に則り、所定の地域で医療を担うことが出来る者を選抜する入試区分です。

過去3年間の地域枠入試志願状況

【地域枠志願状況】

	千葉県								
	一般入試			推薦入試			計		
	定員	志願者数	(千葉県出身者)	定員	志願者数	(千葉県出身者)	定員	志願者数	(千葉県出身者)
令和4(2022)年度	5	87	31				5	87	31
令和5(2023)年度	2	114	34	3	10	3	5	124	37
令和6(2024)年度	2	73	20	3	46	15	5	119	35

過去3年間における志願倍率 22.0

過去3年間における平均志願者数 110

	新潟県								
	一般入試			推薦入試			計		
	定員	志願者数	(新潟県出身者)	定員	志願者数	(新潟県出身者)	定員	志願者数	(新潟県出身者)
令和4(2022)年度	2	48	21	3	34	3	5	82	24
令和5(2023)年度	2	68	23	5	32	9	7	100	32
令和6(2024)年度	2	65	16	6	38	17	8	103	33

過去3年間における志願倍率 14.3

過去3年間における平均志願者数 95

新潟県地域枠の出願状況

	全合計		新潟大除く	
	総倍率	うち県内出身者割合	総倍率	うち県内出身者割合
令和5(2023)年度入試	8.7倍	39.2%	15.2倍	27.9%
令和6(2024)年度入試	10.3倍	33.1%	16.5倍	24.8%

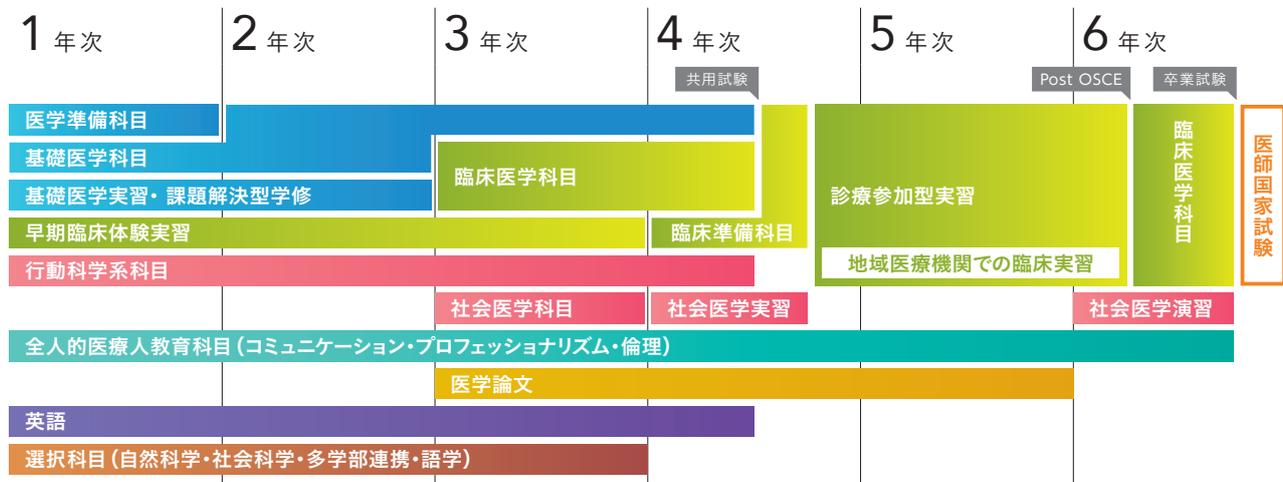
※各大学からの情報を新潟県が集計し作成

※総倍率：各大学の受験者数計÷各大学の定員数計

※県内出身者：受験者数に占める県内高校出身者の割合

東邦大学医学部 カリキュラムマップ

▶ 6年間の学習プロセス



POINT

2024 年度入学生から導入される新カリキュラムでは、医療コミュニケーションや生命倫理、多職種連携等を学ぶ医薬合同プログラムを各学年で拡充します。

【医学準備科目・基礎医学科目】

医学を学ぶ基礎を固め、正常と異常の人体を理解できるように科目の水平統合を行う。

【臨床医学科目】

診断・治療の理論を臓器別に学ぶ。

【社会医学科目】

社会環境のなかにおける環境問題や最近の医療事情を学ぶ。

【診療参加型実習】

担当教員の指導の下、診療スタッフの一員として基本的な手技、診断、治療方法を学ぶ。

【全人的医療人教育】

患者さんからの訴えを全人的に捉えるべく他学部との合同授業や介護体験実習等を通じて対人コミュニケーションの基本を学ぶ。

【英語】

総合的な英語力の向上と医療現場での英語を学修する機会を設けている。

東京都・神奈川県私立医学部の志願者数・入学定員充足状況

日本大学	2022年度	2023年度	2024年度
入学定員	125	135	135
志願者数	3,305	2,890	3,697
志願者倍率	26.44	21.41	27.39
入学者数	125	131	135

日本医科大学	2022年度	2023年度	2024年度
入学定員	123	125	125
志願者数	3,464	3,637	3,945
志願者倍率	28.16	29.10	31.56
入学者数	123	125	126

東京医科大学	2022年度	2023年度	2024年度
入学定員	121	122	123
志願者数	2806	3458	3849
志願者倍率	23.19	28.34	31.29
入学者数	121	122	119

東京女子医科大学	2022年度	2023年度	2024年度
入学定員	110	110	110
志願者数	730	992	1036
志願者倍率	6.64	9.02	9.42
入学者数	110	110	110

東京慈恵会医科大学	2022年度	2023年度	2024年度
入学定員	105	105	105
志願者数	1860	1860	1968
志願者倍率	17.71	17.71	18.74
入学者数	105	105	110

慶応義塾大学	2022年度	2023年度	2024年度
入学定員	110	110	110
志願者数	1407	1427	1497
志願者倍率	12.79	12.97	13.61
入学者数	110	110	110

昭和大学	2022年度	2023年度	2024年度
入学定員	128	129	131
志願者数	4212	4009	3582
志願者倍率	32.91	31.08	27.34
入学者数	128	134	116

順天堂大学	2022年度	2023年度	2024年度
入学定員	138	140	140
志願者数	3,741	4,309	4,849
志願者倍率	27.11	30.78	34.64
入学者数	138	140	140

北里大学	2022年度	2023年度	2024年度
入学定員	120	125	126
志願者数	2255	2120	2087
志願者倍率	18.79	16.96	16.56
入学者数	120	125	117

杏林大学	2022年度	2023年度	2024年度
入学定員	117	118	115
志願者数	3388	3876	3107
志願者倍率	28.96	32.85	27.02
入学者数	117	118	115

聖マリアンナ医科大学	2022年度	2023年度	2024年度
入学定員	115	115	115
志願者数	3,188	3,568	3,366
志願者倍率	28	31	29
入学者数	115	115	115

帝京大学	2022年度	2023年度	2024年度
入学定員	116	116	116
志願者数	7279	7795	7577
志願者倍率	62.75	67.20	65.32
入学者数	116	117	115

東海大学	2022年度	2023年度	2024年度
入学定員	118	118	118
志願者数	3,260	4,885	4,165
志願者倍率	27.63	41.40	35.30
入学者数	112	122	107

※東京・神奈川県私立医科大学・医学部における志願者倍率

26.45

28.59

28.51

競合校の志願者数

東京医科大学	2022年度	2023年度	2024年度
総入学定員	121	122	123
志願者数	2806	3458	3849
志願者倍率	23.19	28.34	31.29
(内、地域枠)			
入学定員【茨城県】	8	8	8
志願者数	29	23	28
志願者倍率	3.63	2.88	3.50
入学定員【山梨県】	2		
志願者数	6		
志願者倍率	3.00		
入学定員【新潟県】	2	3	3
志願者数	8	15	5
志願者倍率	4.00	5.00	1.67
入学定員【埼玉県】		2	2
志願者数		16	14
志願者倍率		8.00	7.00

昭和大学	2022年度	2023年度	2024年度
総入学定員	128	129	131
志願者数	4212	4009	3582
志願者倍率	32.91	31.08	27.34
(内、地域枠)			
入学定員【新潟県】	7	7	7
志願者数	95	101	126
志願者倍率	13.57	14.43	18.00
入学定員【静岡県】	8	8	8
志願者数	113	108	76
志願者倍率	14.13	13.50	9.50
入学定員【茨城県】	4	4	4
志願者数	42	53	40
志願者倍率	10.50	13.25	10.00
入学定員【山梨県】			2
志願者数			6
志願者倍率			3.00

日本大学	2022年度	2023年度	2024年度
総入学定員	125	135	135
志願者数	3,305	2,890	3,697
志願者倍率	26.44	21.41	27.39
(内、地域枠)			
入学定員【埼玉県】	5	5	5
志願者数	47	23	48
志願者倍率	9.40	4.60	9.60
入学定員【新潟県】		2	2
志願者数		23	47
志願者倍率		11.50	23.50
入学定員【茨城県】		3	3
志願者数		27	16
志願者倍率		9.00	5.33
入学定員【静岡県】		3	3
志願者数		17	17
志願者倍率		5.67	5.67
入学定員【神奈川県】		2	
志願者数		6	
志願者倍率		3.00	

東邦大学	2022年度	2023年度	2024年度
総入学定員	120	122	123
志願者数	2480	3203	3323
志願者倍率	20.67	26.25	27.02
(内、地域枠)			
入学定員【千葉県】	5	5	5
志願者数	87	124	119
志願者倍率	17.40	24.80	23.80
入学定員【新潟県】	5	7	8
志願者数	82	100	103
志願者倍率	16.40	14.29	12.88

東邦大学医学部および競合校の学生納付金一覧

東京医科大学	初年度	2年次以降	6年間合計
入学金	1,000,000		
授業料	2,900,000	2,900,000	17,400,000
教育・施設設備充実費	900,000	2,020,000	11,000,000
合計	4,800,000	4,920,000	29,400,000

昭和大学	初年度	2年次以降	6年間合計
入学金	1,500,000		
授業料	3,000,000	3,000,000	18,000,000
教育施設充実費	-	1,500,000	7,500,000
合計	4,500,000	4,500,000	27,000,000

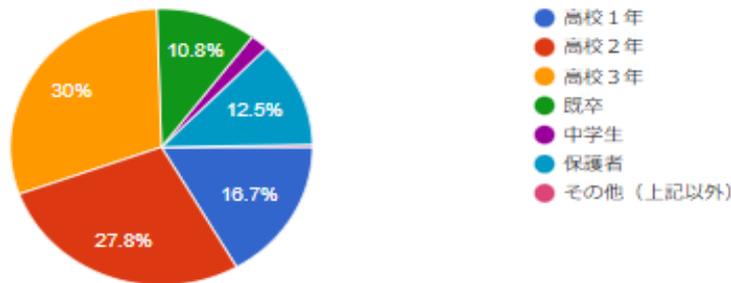
日本大学	初年度	2年次以降	6年間合計
入学金	1,000,000		
授業料	2,500,000	2,500,000	15,000,000
実験実習料	350,000	350,000	2,100,000
施設設備資金	1,500,000	1,500,000	9,000,000
教育充実費	1,000,000	1,000,000	6,000,000
合計	6,350,000	5,350,000	33,100,000

東邦大学	初年度	2年次以降	6年間合計
入学金	1,500,000		
授業料	2,500,000	2,500,000	15,000,000
教育充実費	500,000	900,000	5,000,000
施設充実費	300,000	800,000	4,300,000
合計	4,800,000	4,200,000	25,800,000

令和5（2023）年度オープンキャンパスアンケート結果（抜粋）

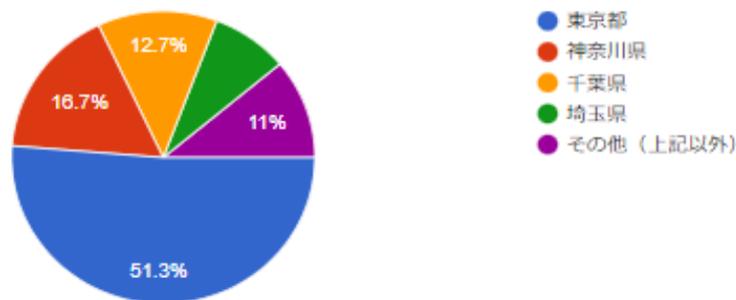
Q5 学年を教えてください。

353 件の回答

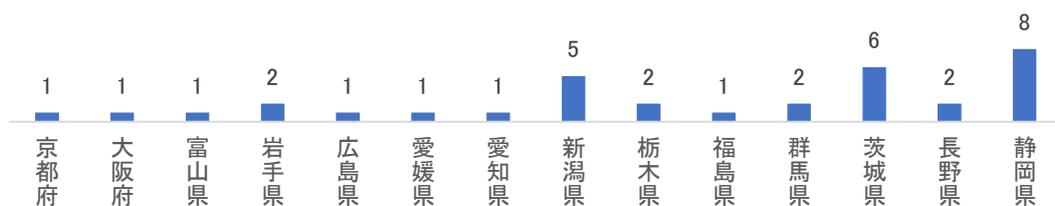


Q6 あなた（お子様）の学校（中学、高校等）所在地を教えてください。

353 件の回答

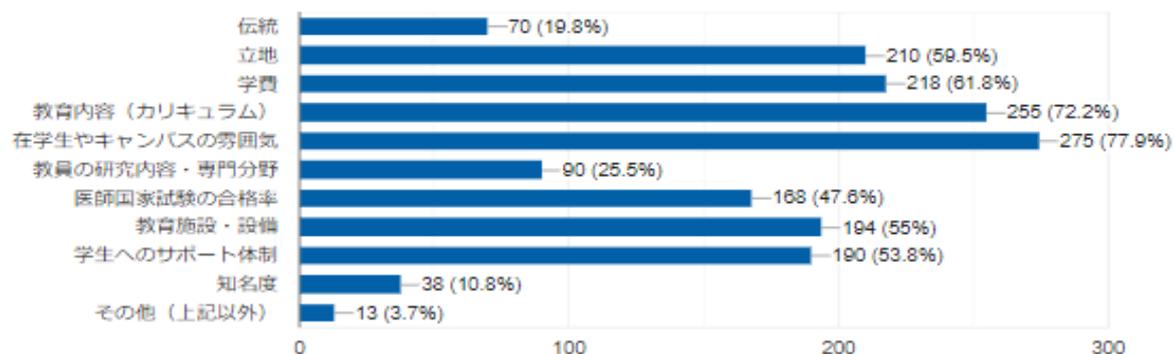


Q6 で「その他（上記以外）」を選択した方は具体的に教えてください。（34 件の回答）



Q7 大学を選ぶ際に重視するポイントを教えてください。（複数回答可）

353 件の回答



医第1232号
令和6年8月16日

厚生労働省医政局長 様

千葉県知事 熊谷 俊人
(公印省略)

地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書

令和6年8月7日付け6文科高第738号、医政発0807第5号に基づき、下記のとおり、令和7年度における地域の医師確保のための入学定員増を行うこととしました。

地域の医師確保等に関する計画、都道府県計画等に沿って、地域卒入学者が地域に定着するよう取組を行います。

記

- 増員数 34名
 - ・ 千葉大学医学部における地域卒：15名
 - ・ 順天堂大学医学部における地域卒：5名
 - ・ 帝京大学医学部における地域卒：2名
 - ・ 東邦大学医学部における地域卒：5名
 - ・ 日本医科大学医学部における地域卒：7名

【担当者】

担 当：千葉県健康福祉部医療整備課
医師確保・地域医療推進室 荒川
電 話：043-223-3883
FAX：043-221-7379
メール：d-chibank@mz.pref.chiba.lg.jp

厚生労働省医政局長 殿

新潟県福祉保健部長 中村 洋心

地域の医師確保のための入学定員増に係る誓約書

令和 6 年 8 月 7 日付け 6 文科高第 738 号、医政発 0807 第 5 号に基づき、下記のとおり、令和 7 年度における地域の医師確保のための入学定員増を行うこととしました。

地域の医師確保等に関する計画、都道府県計画等に沿って、地域枠入学者が地域に定着するよう取組を行います。

記

増員数

79 名

- ・新潟大学医学部における地域枠 : 40 名
- ・順天堂大学医学部における地域枠 : 1 名
- ・関西医科大学医学部における地域枠 : 2 名
- ・昭和大学医学部における地域枠 : 7 名
- ・東邦大学医学部における地域枠 : 8 名
- ・東京医科大学医学部における地域枠 : 3 名
- ・杏林大学医学部における地域枠 : 4 名
- ・北里大学医学部における地域枠 : 3 名
- ・日本医科大学医学部における地域枠 : 2 名
- ・日本大学医学部における地域枠 : 4 名
- ・獨協医科大学医学部における地域枠 : 2 名
- ・帝京大学医学部における地域枠 : 1 名
- ・金沢医科大学医学部における地域枠 : 2 名

担 当 : 医師・看護職員確保対策課 医師確保企画係 綿貫 電話番号 : 025-280-5969 メールアドレス : ngt040290@pref.niigata.lg.jp

科目名称：[MM620-101J] 地域医療学Ⅰ（2024年度）

科目責任者	中村 陽一						
科目対象学年	1	科目授業期間	通年	科目時限数	14	科目分類	演習

科目の学修アウトカム

アウトカム（達成目標）	対応する達成レベル
01 新潟県における医療の状況、医師の偏在の問題点を指摘できる。	1g, 1h, 1i, 5a
02 新潟県における医療現場における、多職種役割を理解できる。	3e, 3h, 3i, 5a
03 新潟県における救急医療、離島・僻地医療、災害医療の問題点を想起できる。	1g, 1h, 1i, 5a
04 新潟県の地域医療の現場で見学したことを概説できる。	1g, h, 1i, 3h, 3i, 5a

科目の科目達成レベル

科目について

2024年度入学の新潟県地域枠学生（1年生）は選択科目の中で、「選択科目」として「地域医療学Ⅰ」を「必修」で受講すること。（学則に規定されており、入学試験要項にも明記されている。）

通年での開催として新潟県での特別プログラム以外に前期1回、後期2回の土曜日の演習形式での授業とする（45時間の学修で1単位）。なお新潟県地域枠以外の学生も若干名、「選択科目」として履修することが可能である。

2024年度は、「地域医療学Ⅰ」と「地域医療学Ⅱ」、「地域医療学Ⅲ」を合同で授業を行い「地域参加型医学教育」をテーマとして実施する。

受講前に必要とされる知識及び技能・態度

地域医療に興味を持ち、新潟県が抱える問題点を想起することができる。病院での見学があり、基本的な身だしなみ、各施設の医療者・患者との適切なコミュニケーションを行うことができる。

科目の評価について

プログラムの振り返りを行い、発表会を開催する。
発表内容に関する評価を行う。

指定教科書他

授業内で随時資料を提示します。

備考

2023 年度以後に入学の千葉県地域枠学生は、文部科学省「ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業」による「地域医療学(千葉)1、2、3」の選択が必要となり、「地域医療学 I、II、III」を選択することはできない。
2024 年度入学の千葉県地域枠学生は「地域医療学(千葉)1」が選択必修である。

科目名称：[MM620-201J] 地域医療学Ⅱ（2024年度）

科目責任者	中村 陽一						
科目対象学年	2	科目授業期間	通年	科目時限数	14	科目分類	演習

科目の学修アウトカム

アウトカム（達成目標）	対応する達成レベル
01 新潟県における医療の状況、医師の偏在の問題点を指摘できる。	1g, 1h, 1i, 5a
02 新潟県における医療現場における、多職種役割を理解できる。	3e, 3h, 3i, 5a
03 新潟県における救急医療、離島・僻地医療、災害医療の問題点を想起できる。	1g, 1h, 1i, 5a
04 新潟県の地域医療の現場で見学したことを概説できる。	1g, h, 1i, 3h, 3i, 5a

科目の科目達成レベル

科目について

2024年度入学の新潟県地域枠学生（1年生）は選択科目の中で、「選択科目」として「地域医療学Ⅰ」を「必修」で受講すること。（学則に規定されており、入学試験要項にも明記されている。）

通年での開催として新潟県での特別プログラム以外に前期1回、後期2回の土曜日の演習形式での授業とする（45時間の学修で1単位）。なお新潟県地域枠以外の学生も若干名、「選択科目」として履修することが可能である。

2024年度は、「地域医療学Ⅰ」と「地域医療学Ⅱ」、「地域医療学Ⅲ」を合同で授業を行い「地域参加型医学教育」をテーマとして実施する。

受講前に必要とされる知識及び技能・態度

地域医療に興味を持ち、新潟県が抱える問題点を想起することができる。病院での見学があり、基本的な身だしなみ、各施設の医療者・患者との適切なコミュニケーションを行うことができる。

科目の評価について

プログラムの振り返りを行い、発表会を開催する。
発表内容に関する評価を行う。

指定教科書他

授業内で随時資料を提示します。

備考

2023 年度以後に入学の千葉県地域枠学生は、文部科学省「ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業」による「地域医療学(千葉)1、2、3」の選択が必要となり、「地域医療学 I、II、III」を選択することはできない。
2024 年度入学の千葉県地域枠学生は「地域医療学(千葉)1」が選択必修である。

科目名称：[MM620-301J] 地域医療学Ⅲ（2024年度）

科目責任者	中村 陽一						
科目対象学年	2	科目授業期間	通年	科目時限数	14	科目分類	演習

科目の学修アウトカム

アウトカム（達成目標）	対応する達成レベル
01 新潟県における医療の状況、医師の偏在の問題点を指摘できる。	1g, 1h, 1i, 5a
02 新潟県における医療現場における、多職種の役割を理解できる。	3e, 3h, 3i, 5a
03 新潟県における救急医療、離島・僻地医療、災害医療の問題点を想起できる。	1g, 1h, 1i, 5a
04 新潟県の地域医療の現場で見学したことを概説できる。	1g, h, 1i, 3h, 3i, 5a

科目の科目達成レベル

科目について

2024年度入学の新潟県地域枠学生（1年生）は選択科目の中で、「選択科目」として「地域医療学Ⅰ」を「必修」で受講すること。（学則に規定されており、入学試験要項にも明記されている。）

通年での開催として新潟県での特別プログラム以外に前期1回、後期2回の土曜日の演習形式での授業とする（45時間の学修で1単位）。なお新潟県地域枠以外の学生も若干名、「選択科目」として履修することが可能である。

2024年度は、「地域医療学Ⅰ」と「地域医療学Ⅱ」、「地域医療学Ⅲ」を合同で授業を行い「地域参加型医学教育」をテーマとして実施する。

受講前に必要とされる知識及び技能・態度

地域医療に興味を持ち、新潟県が抱える問題点を想起することができる。病院での見学があり、基本的な身だしなみ、各施設の医療者・患者との適切なコミュニケーションを行うことができる。

科目の評価について

プログラムの振り返りを行い、発表会を開催する。
発表内容に関する評価を行う。

指定教科書他

授業内で随時資料を提示します。

備考

2023 年度以後に入学の千葉県地域枠学生は、文部科学省「ポストコロナ時代の医療人材養成拠点形成事業」による「地域医療学(千葉)1、2、3」の選択が必要となり、「地域医療学 I、II、III」を選択することはできない。
2024 年度入学の千葉県地域枠学生は「地域医療学(千葉)1」が選択必修である。

科目名称：[MM620-103J] 地域医療学（千葉）I（2024年度）

科目責任者	蛭田 啓之						
科目対象学年	1	科目授業期間	通年	科目時限数	28	科目分類	演習

科目の学修アウトカム

アウトカム（達成目標）	対応する達成レベル
01 専門分野に偏らない、幅広い臨床医学・社会医学の知識を修得し、それらを医療現場で生かすことができる（DP1）。	
02 専門分野に偏らない、幅広い医療を実践する能力を修得する（DP2）。	
03 患者とその家族に寄り添い、患者のニーズに基づいた全人的医療を提供する能力を修得する（DP3）。	
04 実地医療に基づいた臨床研究を遂行する能力を修得する（DP4）。	
05 地域の保健・福祉・医療を理解した医療者となる（DP5）。	
06 地域に根付いた文化を尊重した医療を実践する（DP6）。	
07 学生や医療者の地域医療に対する高い情熱と好奇心を有する地域志向型リーダーシップを涵養する（DP7）。	

08 千葉県総合/救急診療の現状について、地域における医療および介護を学ぶ。	
--	--

科目の科目達成レベル

科目について

大学の専門診療とは異なる視点でいわゆる総合診療・救急医学について低学年のうちから学びつつ、地方(千葉県)で行われている医療行政、災害時対応を段階的に学んで頂きます。また、知識の学びを現実と結び付けられるように体験実習と振り返りを行うことで地域医療への高い情熱と好奇心を育み、地域医療に貢献できる人材を養成します。具体的には次のような人材像・知識基盤を中心に、態度領域をまでの学びを深めることが可能です。

- 1)総合力:地域医療の現場で総合的に患者・生活者をみることが出来る。
- 2)適応力:医療や社会の状況に応じて、自らの能力を最適化し、発揮できる。
- 3)教育力:地域医療人材を育成し、地域の課題を踏まえた教育研究を実施する。

2023年4月入学以後の千葉県地域枠学生は選択科目の中で、「選択」としてⅠ・Ⅱ・Ⅲを受講しなければならない。通年での開催として特別プログラム以外に前期2回・後期2回+αの土曜日の演習および講義形式での授業とする(千葉県の地域医療・行政施設での特別プログラム時間数が未定であり、学内での授業コマ数を適宜調整する。Ⅰ～Ⅲそれぞれ28時間の学修で各2単位)。

なお、地域医療学(千葉県・新潟県)との合同授業となる場合があり、地域枠以外の学生も若干名、履修することが可能である。

受講前に必要とされる知識及び技能・態度

地域医療に興味を持ち、千葉県が抱える問題点を想起することができる。

医療・行政施設での見学があり、基本的な身だしなみ、各施設の医療者・患者・利用者・職員との適切なコミュニケーションを行うことができる。

- Ⅰ(1年次):千葉県の総合/救急診療や介護の現場の現状について。
- Ⅱ(2年次):千葉県の医療行政の現状と、リーダーシップ能力育成について。
- Ⅲ(3年次):千葉県の災害医療の現状(災害時対応と医療体制)について。

科目の評価について

地域医療プログラムの準備段階では、課題に対する評価を行う。

プログラムの振り返りを行い、発表会を開催し、発表内容に関しての評価を行う。

指定教科書他

授業内で随時資料を提示します。

科目名称：[MM620-203J] 地域医療学（千葉）Ⅱ（2024年度）

科目責任者	蛭田 啓之						
科目対象学年	1	科目授業期間	通年	科目時限数	28	科目分類	演習

科目の学修アウトカム

アウトカム（達成目標）	対応する達成レベル
01 専門分野に偏らない、幅広い臨床医学・社会医学の知識を修得し、それらを医療現場で生かすことができる（DP1）。	
02 専門分野に偏らない、幅広い医療を実践する能力を修得する（DP2）。	
03 患者とその家族に寄り添い、患者のニーズに基づいた全人的医療を提供する能力を修得する（DP3）。	
04 実地医療に基づいた臨床研究を遂行する能力を修得する（DP4）。	
05 地域の保健・福祉・医療を理解した医療者となる（DP5）。	
06 地域に根付いた文化を尊重した医療を実践する（DP6）。	
07 学生や医療者の地域医療に対する高い情熱と好奇心を有する地域志向型リーダーシップを涵養する（DP7）。	

08 千葉県総合/救急診療の現状について、地域における医療および介護を学ぶ。	
--	--

科目の科目達成レベル

科目について

大学の専門診療とは異なる視点でいわゆる総合診療・救急医学について低学年のうちから学びつつ、地方(千葉県)で行われている医療行政、災害時対応を段階的に学んで頂きます。また、知識の学びを現実と結び付けられるように体験実習と振り返りを行うことで地域医療への高い情熱と好奇心を育み、地域医療に貢献できる人材を養成します。

具体的には次のような人材像・知識基盤を中心に、態度領域をまでの学びを深めることが可能です。

- 1)総合力:地域医療の現場で総合的に患者・生活者をみることが出来る。
- 2)適応力:医療や社会の状況に応じて、自らの能力を最適化し、発揮できる。
- 3)教育力:地域医療人材を育成し、地域の課題を踏まえた教育研究を実施する。

2023年4月入学以後の千葉県地域枠学生は選択科目の中で、「選択」としてⅠ・Ⅱ・Ⅲを受講しなければならない。通年での開催として特別プログラム以外に前期2回・後期2回+ α の土曜日の演習および講義形式での授業とする(千葉県の地域医療・行政施設での特別プログラム時間数が未定であり、学内での授業コマ数を適宜調整する。Ⅰ～Ⅲそれぞれ28時間の学修で各2単位)。

なお、地域医療学(千葉県・新潟県)との合同授業となる場合があり、地域枠以外の学生も若干名、履修することが可能である。

受講前に必要とされる知識及び技能・態度

地域医療に興味を持ち、千葉県が抱える問題点を想起することができる。

医療・行政施設での見学があり、基本的な身だしなみ、各施設の医療者・患者・利用者・職員との適切なコミュニケーションを行うことができる。

- Ⅰ(1年次):千葉県の総合/救急診療や介護の現場の現状について。
- Ⅱ(2年次):千葉県の医療行政の現状と、リーダーシップ能力育成について。
- Ⅲ(3年次):千葉県の災害医療の現状(災害時対応と医療体制)について。

科目の評価について

地域医療プログラムの準備段階では、課題に対する評価を行う。

プログラムの振り返りを行い、発表会を開催し、発表内容に関しての評価を行う。

指定教科書他

授業内で随時資料を提示します。

科目名称：[MM620-203J] 地域医療学（千葉）Ⅲ（2025年度開講予定）（案）

科目責任者	佐々木 陽典 一林 亮						
科目対象学年	3	科目授業期間	通年	科目時限数	28	科目分類	演習

科目の学修アウトカム

アウトカム（達成目標）	対応する達成レベル
01 専門分野に偏らない、幅広い臨床医学・社会医学の知識を修得し、それらを医療現場で生かすことができる（DP1）。	
02 専門分野に偏らない、幅広い医療を実践する能力を修得する（DP2）。	
03 患者とその家族に寄り添い、患者のニーズに基づいた全人的医療を提供する能力を修得する（DP3）。	
04 実地医療に基づいた臨床研究を遂行する能力を修得する（DP4）。	
05 地域の保健・福祉・医療を理解した医療者となる（DP5）。	
06 地域に根付いた文化を尊重した医療を実践する（DP6）。	
07 学生や医療者の地域医療に対する高い情熱と好奇心を有する地域志向型リーダーシップを涵養する（DP7）。	

08 千葉県総合/救急診療の現状について、地域における医療および介護を学ぶ。	
--	--

科目の科目達成レベル

科目について

大学の専門診療とは異なる視点でいわゆる総合診療・救急医学について低学年のうちから学びつつ、地方(千葉県)で行われている医療行政、災害時対応を段階的に学んで頂きます。また、知識の学びを現実と結び付けられるように体験実習と振り返りを行うことで地域医療への高い情熱と好奇心を育み、地域医療に貢献できる人材を養成します。

具体的には次のような人材像・知識基盤を中心に、態度領域をまでの学びを深めることが可能です。

- 1)総合力:地域医療の現場で総合的に患者・生活者をみることが出来る。
- 2)適応力:医療や社会の状況に応じて、自らの能力を最適化し、発揮できる。
- 3)教育力:地域医療人材を育成し、地域の課題を踏まえた教育研究を実施する。

2023年4月入学以後の千葉県地域枠学生は選択科目の中で、「選択」としてⅠ・Ⅱ・Ⅲを受講しなければならない。通年での開催として特別プログラム以外に前期2回・後期2回+ α の土曜日の演習および講義形式での授業とする(千葉県の地域医療・行政施設での特別プログラム時間数が未定であり、学内での授業コマ数を適宜調整する。Ⅰ～Ⅲそれぞれ28時間の学修で各2単位)。

なお、地域医療学(千葉県・新潟県)との合同授業となる場合があり、地域枠以外の学生も若干名、履修することが可能である。

受講前に必要とされる知識及び技能・態度

地域医療に興味を持ち、千葉県が抱える問題点を想起することができる。

医療・行政施設での見学があり、基本的な身だしなみ、各施設の医療者・患者・利用者・職員との適切なコミュニケーションを行うことができる。

- Ⅰ(1年次):千葉県の総合/救急診療や介護の現場の現状について。
- Ⅱ(2年次):千葉県の医療行政の現状と、リーダーシップ能力育成について。
- Ⅲ(3年次):千葉県の災害医療の現状(災害時対応と医療体制)について。

科目の評価について

地域医療プログラムの準備段階では、課題に対する評価を行う。

プログラムの振り返りを行い、発表会を開催し、発表内容に関しての評価を行う。

指定教科書他

授業内で随時資料を提示します。

新設組織が置かれる都道府県への入学状況

○出身高校の所在地県別の入学者数の構成比（上位5都道府県）※直近年度

	都道府県名	人 数	構成比
1	東京都	54,268人	34.5%
2	神奈川県	23,390人	14.9%
3	埼玉県	18,327人	11.7%
4	千葉県	14,112人	9.0%
5	茨城県	5,375人	3.4%
	全 体	157,086人	100.0%

※「学校基本調査」の「出身高校の所在地県別入学者数」から作成すること。

※大学、学部、学部の学科、短期大学、短期大学の学科を設置する場合のみ作成（専門職大学、専門職短期大学、高等専門学校を含む）。大学院は作成不要。

○新設組織が置かれる都道府県の定員充足状況

	新組織所在地 (都道府県)	充足率		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
1	東京都	100.80%	103.48%	103.46%
2				

※2校地で教育課程を実施する場合はそれぞれの状況を記載すること。

○新設組織の学問分野（系統区分）の定員充足状況

	系統区分	充足率		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
1	医学（大学）	100.20%	100.51%	100.43%
2				

※「系統区分」は日本私立学校振興・共済事業団の「今日の私学財政」の系統区分に従うこと。

1. 各選抜方法の状況

		H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	0人	0人	15人	15人	15人	9人	
	延べ人数	志願者数	0人	0人	157人	124人	136人	83人
		受験者数	0人	0人	157人	124人	136人	83人
		合格者数	0人	0人	21人	21人	24人	13人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	157人	124人	136人	83人
		受験者数	0人	0人	157人	124人	136人	83人
		合格者数	0人	0人	21人	21人	24人	13人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	0人	0人	21人	21人	24人	13人	
	学校推薦型選抜	募集人数	0人	25人	25人	28人	33人	22人
		延べ人数	志願者数	0人	21人	20人	52人	65人
受験者数			0人	21人	20人	51人	64人	31人
合格者数			0人	17人	17人	19人	24人	15人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
実人数		志願者数	0人	21人	20人	52人	65人	32人
		受験者数	0人	21人	20人	51人	64人	31人
		合格者数	0人	17人	17人	19人	24人	15人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
入学者数		0人	17人	17人	19人	24人	15人	
一般選抜		募集人数	115人	90人	75人	77人	74人	86人
		延べ人数	志願者数	2693人	2789人	2547人	2304人	3002人
	受験者数		2487人	2605人	2393人	2173人	2696人	2471人
	合格者数		273人	278人	237人	217人	211人	243人
	うち追加合格者数		127人	148人	129人	103人	108人	123人
	辞退者数		86人	85人	86人	89人	48人	79人
	実人数	志願者数	2693人	2789人	2547人	2304人	3002人	2667人
		受験者数	2487人	2605人	2393人	2173人	2696人	2471人
		合格者数	273人	278人	237人	217人	211人	243人
		うち追加合格者数	127人	148人	129人	103人	108人	123人
		辞退者数	86人	85人	86人	89人	48人	79人
	入学者数	115人	98人	77人	80人	74人	89人	
	共通テスト利用入試	募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人
受験者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
実人数		志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
入学者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人	
その他の特別選抜		募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人
	受験者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	合計	募集人数	115人	115人	115人	120人	122人	117人
		延べ人数	志願者数	2693人	2810人	2724人	2480人	3203人
受験者数			2487人	2626人	2570人	2348人	2896人	2585人
合格者数			273人	295人	275人	257人	259人	272人
うち追加合格者数			127人	148人	129人	103人	108人	123人
辞退者数			86人	85人	86人	89人	48人	79人
実人数		志願者数	2693人	2810人	2724人	2480人	3203人	2782人
		受験者数	2487人	2626人	2570人	2348人	2896人	2585人
		合格者数	273人	295人	275人	257人	259人	272人
		うち追加合格者数	127人	148人	129人	103人	108人	123人
		辞退者数	86人	85人	86人	89人	48人	79人
入学者数		115人	115人	115人	120人	122人	117人	

3. 入学定員充足率

	H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均
入学定員	115人	115人	115人	120人	122人	117.4
入学定員充足率	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
歩留率	0.42	0.39	0.42	0.47	0.47	0.43

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

1. 各選抜方法の状況

		H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	3人	0人	25人	25人	25人	16人	
	延べ人数	志願者数	17人	13人	113人	142人	154人	88人
		受験者数	17人	13人	109人	139人	150人	86人
		合格者数	3人	5人	36人	52人	53人	30人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		実人数	17人	13人	113人	142人	154人	88人
	実人数	志願者数	17人	13人	109人	139人	150人	86人
		受験者数	17人	13人	109人	139人	150人	86人
		合格者数	3人	5人	36人	52人	53人	30人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		入学者数	3人	5人	36人	52人	53人	30人
	学校推薦型選抜	募集人数	87人	90人	70人	70人	70人	77人
延べ人数		志願者数	140人	259人	229人	225人	273人	225人
		受験者数	140人	256人	229人	223人	273人	224人
		合格者数	86人	121人	137人	149人	152人	129人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	7人	14人	10人	12人	9人
		実人数	140人	259人	229人	225人	273人	225人
実人数		志願者数	140人	256人	229人	223人	273人	224人
		受験者数	140人	256人	229人	223人	273人	224人
		合格者数	86人	121人	137人	149人	152人	129人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	7人	14人	10人	12人	9人
		入学者数	86人	95人	104人	125人	112人	104人
一般選抜		募集人数	100人	110人	110人	110人	110人	108人
	延べ人数	志願者数	1000人	1118人	986人	1128人	909人	1028人
		受験者数	916人	1026人	925人	1059人	852人	956人
		合格者数	272人	328人	276人	214人	257人	269人
		うち追加合格者数	32人	71人	24人	35人	33人	39人
		辞退者数	21人	23人	23人	16人	16人	20人
		実人数	1000人	808人	717人	846人	709人	816人
	実人数	志願者数	916人	741人	672人	796人	663人	758人
		受験者数	916人	741人	672人	796人	663人	758人
		合格者数	272人	292人	237人	181人	203人	237人
		うち追加合格者数	32人	71人	24人	35人	33人	39人
		辞退者数	21人	23人	23人	16人	16人	20人
		入学者数	124人	132人	95人	58人	73人	96人
	共通テスト利用入試	募集人数	30人	20人	15人	15人	15人	19人
延べ人数		志願者数	741人	705人	562人	510人	495人	603人
		受験者数	739人	701人	558人	509人	494人	600人
		合格者数	204人	175人	155人	134人	137人	161人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	22人	20人	8人	11人	5人	13人
		実人数	741人	705人	562人	510人	495人	603人
実人数		志願者数	739人	701人	558人	509人	494人	600人
		受験者数	739人	701人	558人	509人	494人	600人
		合格者数	204人	175人	155人	134人	137人	161人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	22人	20人	8人	11人	5人	13人
		入学者数	25人	9人	5人	6人	3人	10人
その他の特別選抜		募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	7人	5人	4人	3人	3人	4人
		受験者数	7人	5人	4人	3人	3人	4人
		合格者数	3人	0人	4人	2人	0人	2人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	1人	0人	0人	0人
		実人数	7人	5人	4人	3人	3人	4人
	実人数	志願者数	7人	5人	4人	3人	3人	4人
		受験者数	7人	5人	4人	3人	3人	4人
		合格者数	3人	0人	4人	2人	0人	2人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	1人	0人	0人	0人
		入学者数	3人	0人	3人	2人	0人	2人
	合計	募集人数	220人	220人	220人	220人	220人	220人
延べ人数		志願者数	1905人	2100人	1894人	2008人	1834人	1948人
		受験者数	1819人	2001人	1825人	1933人	1772人	1870人
		合格者数	568人	629人	608人	551人	599人	591人
		うち追加合格者数	32人	71人	24人	35人	33人	39人
		辞退者数	43人	50人	46人	37人	33人	42人
		実人数	1905人	1790人	1625人	1726人	1634人	1736人
実人数		志願者数	1819人	1716人	1572人	1670人	1583人	1672人
		受験者数	1819人	1716人	1572人	1670人	1583人	1672人
		合格者数	568人	593人	569人	518人	545人	559人
		うち追加合格者数	32人	71人	24人	35人	33人	39人
		辞退者数	43人	50人	46人	37人	33人	42人
		入学者数	241人	241人	243人	243人	241人	242人

3. 入学定員充足率

	H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均
入学定員	220人	220人	220人	220人	220人	220人
入学定員充足率	1.10	1.10	1.10	1.10	1.10	1.10
歩留率	0.42	0.38	0.40	0.44	0.40	0.41

（備考）特記事項がある場合は記載すること。
 ・その他の特別選抜には、社会人入試、編入学試験が該当するが、いずれも募集人数を若干名としているため、募集人数欄は0人としている。

1. 各選抜方法の状況

		H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	0人	0人	0人	0人	8人	2人	
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	28人	6人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	28人	6人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	13人	3人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	28人	6人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	28人	6人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	13人	3人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	0人	0人	0人	0人	11人	2人	
	学校推薦型選抜	募集人数	12人	12人	12人	12人	12人	12人
		延べ人数	志願者数	23人	24人	36人	25人	20人
受験者数			23人	24人	36人	25人	20人	26人
合格者数			22人	19人	26人	18人	17人	20人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
実人数		志願者数	23人	24人	36人	25人	20人	26人
		受験者数	23人	24人	36人	25人	20人	26人
		合格者数	22人	19人	26人	18人	17人	20人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
入学者数		22人	19人	26人	18人	16人	20人	
一般選抜		募集人数	58人	58人	58人	58人	53人	57人
		延べ人数	志願者数	594人	560人	533人	444人	398人
	受験者数		527人	510人	460人	386人	340人	445人
	合格者数		216人	211人	262人	251人	204人	229人
	うち追加合格者数		67人	22人	83人	70人	0人	48人
	辞退者数		5人	4人	13人	18人	8人	10人
	実人数	志願者数	469人	431人	419人	365人	325人	402人
		受験者数	431人	402人	375人	325人	290人	365人
		合格者数	195人	190人	236人	222人	184人	205人
		うち追加合格者数	67人	21人	80人	65人	0人	47人
		辞退者数	5人	4人	13人	18人	8人	10人
	入学者数	57人	60人	53人	55人	58人	57人	
	共通テスト利用入試	募集人数	10人	10人	10人	10人	7人	9人
		延べ人数	志願者数	462人	444人	502人	334人	326人
受験者数			462人	444人	502人	334人	324人	413人
合格者数			171人	175人	230人	176人	162人	183人
うち追加合格者数			58人	31人	69人	23人	0人	36人
辞退者数			1人	2人	7人	4人	2人	3人
実人数		志願者数	328人	292人	337人	228人	237人	284人
		受験者数	328人	292人	337人	228人	236人	284人
		合格者数	143人	133人	179人	138人	126人	144人
		うち追加合格者数	58人	31人	69人	23人	0人	36人
		辞退者数	1人	2人	7人	4人	2人	3人
入学者数		6人	8人	6人	6人	5人	6人	
その他の特別選抜		募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人
	受験者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	合計	募集人数	80人	80人	80人	80人	80人	80人
		延べ人数	志願者数	1079人	1028人	1071人	803人	772人
受験者数			1012人	978人	998人	745人	712人	889人
合格者数			409人	405人	518人	445人	396人	435人
うち追加合格者数			125人	53人	152人	93人	0人	85人
辞退者数			6人	6人	20人	22人	10人	13人
実人数		志願者数	820人	747人	792人	618人	610人	717人
		受験者数	782人	718人	748人	578人	574人	680人
		合格者数	360人	342人	441人	378人	340人	372人
		うち追加合格者数	125人	52人	149人	88人	0人	83人
		辞退者数	6人	6人	20人	22人	10人	13人
入学者数		85人	87人	85人	79人	90人	85人	

3. 入学定員充足率

	H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均
入学定員	60人	60人	60人	60人	60人	60人
入学定員充足率	1.42	1.45	1.42	1.32	1.50	1.42
歩留率	0.21	0.21	0.16	0.18	0.23	0.20

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

1. 各選抜方法の状況

		H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	15人	16人	16人	16人	16人	16人	
	延べ人数	志願者数	83人	79人	67人	49人	74人	70人
		受験者数	83人	79人	67人	49人	74人	70人
		合格者数	26人	25人	24人	25人	31人	26人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	2人	4人	4人	1人	3人
	実人数	志願者数	83人	79人	67人	49人	74人	70人
		受験者数	83人	79人	67人	49人	74人	70人
		合格者数	26人	25人	24人	25人	31人	26人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	2人	4人	4人	1人	3人
	入学者数	24人	22人	18人	19人	27人	22人	
	学校推薦型選抜	募集人数	12人	12人	12人	12人	12人	12人
延べ人数		志願者数	10人	13人	22人	14人	17人	15人
		受験者数	10人	13人	22人	14人	17人	15人
		合格者数	10人	13人	22人	14人	17人	15人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
実人数		志願者数	10人	13人	22人	14人	17人	15人
		受験者数	10人	13人	22人	14人	17人	15人
		合格者数	10人	13人	22人	14人	17人	15人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
入学者数		10人	13人	22人	14人	17人	15人	
一般選抜		募集人数	40人	40人	40人	40人	40人	40人
	延べ人数	志願者数	622人	572人	520人	448人	438人	520人
		受験者数	561人	509人	450人	389人	398人	461人
		合格者数	155人	219人	209人	204人	168人	191人
		うち追加合格者数	0人	58人	60人	37人	0人	31人
		辞退者数	3人	4人	14人	7人	3人	6人
	実人数	志願者数	473人	425人	405人	356人	342人	400人
		受験者数	443人	397人	366人	325人	322人	371人
		合格者数	146人	195人	194人	190人	153人	176人
		うち追加合格者数	0人	56人	58人	36人	0人	30人
		辞退者数	3人	4人	14人	7人	3人	6人
	入学者数	37人	38人	38人	41人	44人	40人	
	共通テスト利用入試	募集人数	13人	12人	12人	12人	12人	12人
延べ人数		志願者数	529人	515人	500人	359人	375人	456人
		受験者数	529人	515人	500人	359人	375人	456人
		合格者数	159人	240人	276人	197人	148人	204人
		うち追加合格者数	0人	88人	121人	60人	0人	54人
		辞退者数	2人	5人	4人	6人	4人	4人
実人数		志願者数	335人	308人	318人	222人	246人	286人
		受験者数	335人	308人	318人	222人	246人	286人
		合格者数	117人	156人	177人	127人	105人	136人
		うち追加合格者数	0人	73人	88人	46人	0人	41人
		辞退者数	2人	5人	4人	6人	4人	4人
入学者数		15人	11人	6人	8人	11人	10人	
その他の特別選抜		募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	合計	募集人数	80人	80人	80人	80人	80人	80人
延べ人数		志願者数	1244人	1179人	1109人	870人	904人	1061人
		受験者数	1183人	1116人	1039人	811人	864人	1003人
		合格者数	350人	497人	531人	440人	364人	436人
		うち追加合格者数	0人	146人	181人	97人	0人	85人
		辞退者数	7人	11人	22人	17人	8人	13人
実人数		志願者数	901人	825人	812人	641人	679人	772人
		受験者数	871人	797人	773人	610人	659人	742人
		合格者数	299人	389人	417人	356人	306人	353人
		うち追加合格者数	0人	129人	146人	82人	0人	71人
		辞退者数	7人	11人	22人	17人	8人	13人
入学者数		86人	84人	84人	82人	99人	87人	

3. 入学定員充足率

	H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均
入学定員	60人	60人	60人	60人	60人	60人
入学定員充足率	1.43	1.40	1.40	1.37	1.65	1.45
歩留率	0.25	0.17	0.16	0.19	0.27	0.21

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）
 大学学部学科等名：東邦大学理学部生物分子科学科

別紙2-5

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	14人	13人	16人	16人	16人	15人	
	延べ人数	志願者数	47人	55人	49人	49人	45人	49人
		受験者数	47人	55人	49人	49人	45人	49人
		合格者数	24人	34人	23人	26人	30人	27人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	3人	5人	4人	3人	9人	5人
	実人数	志願者数	47人	55人	49人	49人	45人	49人
		受験者数	47人	55人	49人	49人	45人	49人
		合格者数	24人	34人	23人	26人	30人	27人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	3人	5人	4人	3人	9人	5人
	入学者数	19人	23人	17人	21人	18人	20人	
	学校推薦型選抜	募集人数	10人	10人	10人	10人	10人	10人
延べ人数		志願者数	16人	19人	19人	13人	12人	16人
		受験者数	16人	19人	19人	13人	12人	16人
		合格者数	16人	19人	19人	13人	12人	16人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
実人数		志願者数	16人	19人	19人	13人	12人	16人
		受験者数	16人	19人	19人	13人	12人	16人
		合格者数	16人	19人	19人	13人	12人	16人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
入学者数		16人	19人	19人	13人	12人	16人	
一般選抜		募集人数	41人	42人	40人	40人	40人	41人
	延べ人数	志願者数	541人	595人	449人	402人	343人	466人
		受験者数	484人	525人	384人	333人	304人	406人
		合格者数	148人	142人	162人	201人	178人	166人
		うち追加合格者数	3人	29人	33人	54人	21人	28人
		辞退者数	6人	4人	8人	10人	4人	6人
	実人数	志願者数	418人	453人	351人	319人	283人	365人
		受験者数	385人	418人	312人	278人	265人	332人
		合格者数	141人	135人	145人	182人	165人	154人
		うち追加合格者数	3人	28人	32人	51人	20人	27人
		辞退者数	6人	4人	8人	10人	4人	6人
	入学者数	36人	25人	32人	37人	37人	33人	
	共通テスト利用入試	募集人数	15人	15人	14人	14人	14人	14人
延べ人数		志願者数	443人	479人	379人	215人	386人	380人
		受験者数	443人	479人	379人	215人	384人	380人
		合格者数	157人	160人	152人	161人	169人	160人
		うち追加合格者数	34人	31人	59人	53人	1人	36人
		辞退者数	2人	1人	3人	4人	4人	3人
実人数		志願者数	282人	319人	233人	138人	256人	246人
		受験者数	282人	319人	233人	138人	255人	245人
		合格者数	114人	119人	104人	107人	125人	114人
		うち追加合格者数	33人	31人	50人	39人	1人	31人
		辞退者数	2人	1人	3人	4人	4人	3人
入学者数		14人	17人	15人	15人	9人	14人	
その他の特別選抜		募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	合計	募集人数	80人	80人	80人	80人	80人	80人
延べ人数		志願者数	1047人	1148人	896人	679人	786人	911人
		受験者数	990人	1078人	831人	610人	745人	851人
		合格者数	345人	355人	356人	401人	389人	369人
		うち追加合格者数	37人	60人	92人	107人	22人	64人
		辞退者数	11人	10人	15人	17人	17人	14人
実人数		志願者数	763人	846人	652人	519人	596人	675人
		受験者数	730人	811人	613人	478人	577人	642人
		合格者数	295人	307人	291人	328人	332人	311人
		うち追加合格者数	36人	59人	82人	90人	21人	58人
		辞退者数	11人	10人	15人	17人	17人	14人
入学者数		85人	84人	83人	86人	76人	83人	

3. 入学定員充足率

	H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均
入学定員	60人	60人	60人	60人	60人	60人
入学定員充足率	1.42	1.40	1.38	1.43	1.27	1.38
歩留率	0.25	0.24	0.23	0.21	0.20	0.23

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

1. 各選抜方法の状況

		H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	7人	10人	12人	12人	12人	11人	
	延べ人数	志願者数	15人	16人	24人	30人	31人	23人
		受験者数	15人	16人	24人	30人	31人	23人
		合格者数	10人	11人	19人	23人	19人	16人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	1人	3人	1人	1人
	実人数	志願者数	15人	16人	24人	30人	31人	23人
		受験者数	15人	16人	24人	30人	31人	23人
		合格者数	10人	11人	19人	23人	19人	16人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	1人	3人	1人	1人
	入学者数	10人	9人	15人	13人	18人	13人	
	学校推薦型選抜	募集人数	7人	7人	7人	7人	7人	7人
延べ人数		志願者数	13人	7人	15人	15人	14人	13人
		受験者数	13人	7人	15人	15人	14人	13人
		合格者数	13人	7人	15人	15人	14人	13人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
実人数		志願者数	13人	7人	15人	15人	14人	13人
		受験者数	13人	7人	15人	15人	14人	13人
		合格者数	13人	7人	15人	15人	14人	13人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
入学者数		13人	7人	15人	15人	14人	13人	
一般選抜		募集人数	37人	35人	37人	37人	37人	37人
	延べ人数	志願者数	353人	418人	416人	378人	261人	365人
		受験者数	314人	365人	353人	327人	233人	318人
		合格者数	114人	146人	153人	157人	135人	141人
		うち追加合格者数	0人	0人	42人	40人	18人	20人
		辞退者数	2人	4人	6人	7人	7人	5人
	実人数	志願者数	277人	315人	322人	294人	208人	283人
		受験者数	252人	288人	290人	269人	190人	258人
		合格者数	112人	138人	140人	146人	124人	132人
		うち追加合格者数	0人	0人	40人	39人	18人	19人
		辞退者数	2人	4人	6人	7人	7人	5人
	入学者数	30人	53人	23人	29人	18人	31人	
	共通テスト利用入試	募集人数	19人	18人	14人	14人	14人	16人
延べ人数		志願者数	407人	441人	424人	369人	272人	383人
		受験者数	407人	438人	424人	368人	272人	382人
		合格者数	229人	169人	235人	199人	192人	205人
		うち追加合格者数	23人	0人	40人	36人	3人	20人
		辞退者数	4人	5人	5人	6人	6人	5人
実人数		志願者数	296人	298人	287人	250人	201人	266人
		受験者数	296人	296人	287人	249人	201人	266人
		合格者数	184人	134人	170人	149人	151人	158人
		うち追加合格者数	22人	0人	38人	33人	3人	19人
		辞退者数	4人	5人	5人	6人	6人	5人
入学者数		20人	10人	19人	13人	16人	16人	
その他の特別選抜		募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	合計	募集人数	70人	70人	70人	70人	70人	70人
延べ人数		志願者数	788人	882人	879人	792人	578人	784人
		受験者数	749人	826人	816人	740人	550人	736人
		合格者数	366人	333人	422人	394人	360人	375人
		うち追加合格者数	23人	0人	82人	76人	21人	40人
		辞退者数	6人	10人	12人	16人	14人	12人
実人数		志願者数	601人	636人	648人	589人	454人	586人
		受験者数	576人	607人	616人	563人	436人	560人
		合格者数	319人	290人	344人	333人	308人	319人
		うち追加合格者数	22人	0人	78人	72人	21人	39人
		辞退者数	6人	10人	12人	16人	14人	12人
入学者数		73人	79人	72人	70人	66人	72人	

3. 入学定員充足率

	H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均
入学定員	60人	60人	60人	60人	60人	60人
入学定員充足率	1.22	1.32	1.20	1.17	1.10	1.20
歩留率	0.20	0.24	0.17	0.18	0.18	0.19

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

1. 各選抜方法の状況

		H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	10人	10人	13人	13人	13人	12人	
	延べ人数	志願者数	15人	21人	30人	33人	33人	26人
		受験者数	15人	21人	30人	33人	33人	26人
		合格者数	9人	14人	18人	17人	17人	15人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	3人	0人	3人	1人
	実人数	志願者数	15人	21人	30人	33人	33人	26人
		受験者数	15人	21人	30人	33人	33人	26人
		合格者数	9人	14人	18人	17人	17人	15人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	3人	0人	3人	1人
	入学者数	7人	13人	12人	16人	13人	12人	
	学校推薦型選抜	募集人数	20人	20人	19人	19人	19人	19人
		延べ人数	志願者数	35人	39人	55人	46人	40人
受験者数			35人	39人	55人	46人	40人	43人
合格者数			34人	38人	55人	46人	40人	43人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			0人	1人	0人	1人	0人	0人
実人数		志願者数	35人	39人	55人	46人	40人	43人
		受験者数	35人	39人	55人	46人	40人	43人
		合格者数	34人	38人	55人	46人	40人	43人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	1人	0人	1人	0人	0人
入学者数		33人	37人	55人	45人	40人	42人	
一般選抜		募集人数	45人	45人	45人	45人	45人	45人
		延べ人数	志願者数	375人	403人	417人	334人	280人
	受験者数		335人	364人	376人	297人	246人	324人
	合格者数		128人	107人	111人	115人	107人	114人
	うち追加合格者数		11人	15人	34人	24人	14人	20人
	辞退者数		4人	4人	1人	3人	2人	3人
	実人数	志願者数	306人	335人	334人	274人	237人	297人
		受験者数	280人	310人	313人	249人	214人	273人
		合格者数	121人	104人	107人	103人	104人	108人
		うち追加合格者数	11人	15人	33人	24人	14人	19人
		辞退者数	4人	4人	1人	3人	2人	3人
	入学者数	48人	39人	29人	33人	36人	37人	
	共通テスト利用入試	募集人数	25人	25人	23人	23人	23人	24人
		延べ人数	志願者数	255人	245人	251人	137人	203人
受験者数			255人	245人	250人	137人	201人	218人
合格者数			131人	133人	90人	63人	106人	105人
うち追加合格者数			37人	62人	35人	17人	0人	30人
辞退者数			5人	0人	4人	3人	1人	3人
実人数		志願者数	254人	245人	246人	137人	201人	217人
		受験者数	254人	245人	245人	137人	199人	216人
		合格者数	131人	133人	90人	63人	106人	105人
		うち追加合格者数	37人	62人	35人	17人	0人	30人
		辞退者数	5人	0人	4人	3人	1人	3人
入学者数		18人	17人	8人	10人	18人	14人	
その他の特別選抜		募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人
	受験者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	うち追加合格者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	辞退者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	合計	募集人数	100人	100人	100人	100人	100人	100人
		延べ人数	志願者数	680人	708人	753人	550人	556人
受験者数			640人	669人	711人	513人	520人	611人
合格者数			302人	292人	274人	241人	270人	276人
うち追加合格者数			48人	77人	69人	41人	14人	50人
辞退者数			9人	5人	8人	7人	6人	7人
実人数		志願者数	610人	640人	665人	490人	511人	583人
		受験者数	584人	615人	643人	465人	486人	559人
		合格者数	295人	289人	270人	229人	267人	270人
		うち追加合格者数	48人	77人	68人	41人	14人	50人
		辞退者数	9人	5人	8人	7人	6人	7人
入学者数		106人	106人	104人	104人	107人	105人	

3. 入学定員充足率

	H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均
入学定員	60人	60人	60人	60人	60人	60人
入学定員充足率	1.77	1.77	1.73	1.73	1.78	1.76
歩留率	0.35	0.36	0.38	0.43	0.40	0.38

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）
 大学学部学科等名：東邦大学理学部生命圏環境科学科

別紙2-8

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	8人	8人	13人	13人	13人	11人	
	延べ人数	志願者数	56人	52人	33人	42人	34人	43人
		受験者数	56人	52人	33人	42人	34人	43人
		合格者数	28人	24人	24人	24人	27人	25人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	1人	4人	1人	4人	2人
	実人数	志願者数	56人	52人	33人	42人	34人	43人
		受験者数	56人	52人	33人	42人	34人	43人
		合格者数	28人	24人	24人	24人	27人	25人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	1人	4人	1人	4人	2人
	入学者数	26人	20人	20人	21人	15人	20人	
	学校推薦型選抜	募集人数	5人	5人	5人	5人	5人	5人
延べ人数		志願者数	12人	15人	19人	14人	11人	14人
		受験者数	12人	15人	19人	14人	11人	14人
		合格者数	12人	15人	19人	14人	11人	14人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
実人数		志願者数	12人	15人	19人	14人	11人	14人
		受験者数	12人	15人	19人	14人	11人	14人
		合格者数	12人	15人	19人	14人	11人	14人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
入学者数		12人	15人	19人	14人	11人	14人	
一般選抜		募集人数	39人	39人	36人	36人	36人	37人
	延べ人数	志願者数	431人	422人	353人	301人	251人	352人
		受験者数	387人	367人	308人	259人	220人	308人
		合格者数	140人	119人	137人	154人	149人	140人
		うち追加合格者数	42人	13人	42人	47人	20人	33人
		辞退者数	7人	10人	2人	5人	8人	6人
	実人数	志願者数	332人	304人	274人	236人	194人	268人
		受験者数	302人	282人	249人	213人	178人	245人
		合格者数	126人	109人	124人	136人	129人	125人
		うち追加合格者数	40人	13人	37人	44人	20人	31人
		辞退者数	7人	10人	2人	5人	8人	6人
	入学者数	23人	24人	17人	27人	35人	25人	
	共通テスト利用入試	募集人数	8人	8人	6人	6人	6人	7人
延べ人数		志願者数	193人	164人	154人	107人	103人	144人
		受験者数	193人	164人	154人	107人	103人	144人
		合格者数	50人	80人	108人	57人	76人	74人
		うち追加合格者数	0人	37人	77人	34人	3人	30人
		辞退者数	1人	2人	1人	3人	0人	1人
実人数		志願者数	192人	160人	151人	106人	102人	142人
		受験者数	192人	160人	151人	106人	102人	142人
		合格者数	50人	79人	108人	57人	76人	74人
		うち追加合格者数	0人	37人	77人	34人	3人	30人
		辞退者数	1人	2人	1人	3人	0人	1人
入学者数		3人	6人	8人	1人	7人	5人	
その他の特別選抜		募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	合計	募集人数	60人	60人	60人	60人	60人	60人
延べ人数		志願者数	692人	653人	559人	464人	399人	553人
		受験者数	648人	598人	514人	422人	368人	510人
		合格者数	230人	238人	288人	249人	263人	254人
		うち追加合格者数	42人	50人	119人	81人	23人	63人
		辞退者数	10人	13人	7人	9人	12人	10人
実人数		志願者数	592人	531人	477人	398人	341人	468人
		受験者数	562人	509人	452人	375人	325人	445人
		合格者数	216人	227人	275人	231人	243人	238人
		うち追加合格者数	40人	50人	114人	78人	23人	61人
		辞退者数	10人	13人	7人	9人	12人	10人
入学者数		64人	65人	64人	63人	68人	65人	

3. 入学定員充足率

	H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均
入学定員	60人	60人	60人	60人	60人	60人
入学定員充足率	1.07	1.08	1.07	1.05	1.13	1.08
歩留率	0.28	0.27	0.22	0.25	0.26	0.26

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）
 大学学部学科等名：東邦大学看護学部看護学科

別紙2-9

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	10人	10人	10人	10人	10人	10人	
	延べ人数	志願者数	82人	70人	61人	56人	34人	61人
		受験者数	82人	66人	61人	55人	34人	60人
		合格者数	22人	15人	20人	19人	18人	19人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	82人	70人	61人	56人	34人	61人
		受験者数	82人	66人	61人	55人	34人	60人
		合格者数	22人	15人	20人	19人	18人	19人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	22人	15人	20人	19人	18人	19人	
	学校推薦型選抜	募集人数	37人	37人	37人	37人	37人	37人
延べ人数		志願者数	78人	50人	78人	80人	35人	64人
		受験者数	77人	50人	77人	80人	35人	64人
		合格者数	36人	38人	50人	38人	35人	39人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
実人数		志願者数	78人	50人	78人	80人	35人	64人
		受験者数	77人	50人	77人	80人	35人	64人
		合格者数	36人	38人	50人	38人	35人	39人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
入学者数		36人	38人	50人	38人	35人	39人	
一般選抜		募集人数	55人	55人	55人	55人	55人	55人
	延べ人数	志願者数	509人	415人	292人	350人	311人	375人
		受験者数	480人	382人	275人	328人	287人	350人
		合格者数	138人	134人	86人	117人	169人	129人
		うち追加合格者数	35人	26人	2人	39人	51人	31人
		辞退者数	14人	15人	7人	8人	26人	14人
	実人数	志願者数	509人	415人	292人	350人	311人	375人
		受験者数	480人	382人	275人	328人	287人	350人
		合格者数	138人	134人	86人	117人	169人	129人
		うち追加合格者数	35人	26人	2人	39人	51人	31人
		辞退者数	14人	15人	7人	8人	26人	14人
	入学者数	55人	57人	41人	51人	58人	52人	
	共通テスト利用入試	募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
延べ人数		志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
実人数		志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
入学者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人	
その他の特別選抜		募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	1人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	1人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	1人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	1人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	1人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	1人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	合計	募集人数	102人	102人	102人	102人	102人	102人
延べ人数		志願者数	669人	535人	431人	487人	380人	500人
		受験者数	639人	498人	413人	464人	356人	474人
		合格者数	196人	187人	156人	175人	222人	187人
		うち追加合格者数	35人	26人	2人	39人	51人	31人
		辞退者数	14人	15人	7人	8人	26人	14人
実人数		志願者数	669人	535人	431人	487人	380人	500人
		受験者数	639人	498人	413人	464人	356人	474人
		合格者数	196人	187人	156人	175人	222人	187人
		うち追加合格者数	35人	26人	2人	39人	51人	31人
		辞退者数	14人	15人	7人	8人	26人	14人
入学者数		113人	110人	111人	108人	111人	111人	

3. 入学定員充足率

	H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均
入学定員	102人	102人	102人	102人	102人	102人
入学定員充足率	1.11	1.08	1.09	1.06	1.09	1.08
歩留率	0.58	0.59	0.71	0.62	0.50	0.60

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

・その他の特別選抜には、社会人入試が該当するが、募集人数を若干名としているため、募集人数欄は0人としている。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）
 大学学部学科等名：東邦大学健康科学部看護学科

別紙2-10

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	延べ人数	志願者数	0人	6人	2人	9人	9人	5人
		受験者数	0人	6人	9人	2人	9人	5人
		合格者数	0人	3人	4人	2人	4人	3人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	6人	9人	2人	9人	5人
		受験者数	0人	6人	9人	2人	9人	5人
		合格者数	0人	3人	4人	2人	4人	3人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	0人	3人	4人	2人	4人	3人	
	学校推薦型選抜	募集人数	15人	15人	15人	15人	15人	15人
延べ人数		志願者数	35人	37人	46人	35人	46人	40人
		受験者数	35人	37人	46人	34人	45人	39人
		合格者数	25人	24人	30人	29人	30人	28人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
実人数		志願者数	35人	37人	46人	35人	46人	40人
		受験者数	35人	37人	46人	34人	45人	39人
		合格者数	25人	24人	30人	29人	30人	28人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
入学者数		25人	24人	30人	29人	30人	28人	
一般選抜		募集人数	45人	45人	45人	45人	45人	45人
	延べ人数	志願者数	395人	496人	443人	322人	299人	391人
		受験者数	393人	491人	438人	309人	280人	382人
		合格者数	123人	113人	128人	113人	104人	116人
		うち追加合格者数	57人	42人	69人	27人	9人	41人
		辞退者数	11人	15人	10人	18人	13人	13人
	実人数	志願者数	395人	384人	365人	261人	244人	330人
		受験者数	393人	379人	360人	251人	229人	322人
		合格者数	123人	113人	128人	113人	104人	116人
		うち追加合格者数	57人	42人	69人	27人	9人	41人
		辞退者数	11人	15人	10人	18人	13人	13人
	入学者数	39人	38人	34人	37人	34人	36人	
	共通テスト利用入試	募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
延べ人数		志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
実人数		志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
入学者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人	
その他の特別選抜		募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	合計	募集人数	60人	60人	60人	60人	60人	60人
延べ人数		志願者数	430人	539人	498人	359人	354人	436人
		受験者数	428人	534人	493人	345人	334人	427人
		合格者数	148人	140人	162人	144人	138人	146人
		うち追加合格者数	57人	42人	69人	27人	9人	41人
		辞退者数	11人	15人	10人	18人	13人	13人
実人数		志願者数	430人	427人	420人	298人	299人	375人
		受験者数	428人	422人	415人	287人	283人	367人
		合格者数	148人	140人	162人	144人	138人	146人
		うち追加合格者数	57人	42人	69人	27人	9人	41人
		辞退者数	11人	15人	10人	18人	13人	13人
入学者数		64人	65人	68人	68人	68人	67人	

3. 入学定員充足率

	H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均
入学定員	60人	60人	60人	60人	60人	60人
入学定員充足率	1.07	1.08	1.13	1.13	1.13	1.11
歩留率	0.43	0.46	0.42	0.47	0.49	0.46

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

- ・総合型選抜には同窓生子女入試、社会人入試が該当するが、いずれも募集人数を若干名としているため、募集人数欄は0人としている。
- ・健康科学部の「共通テスト利用入試」は、共通テスト（旧センター試験）の結果に加え、面接試験を実施しているため、一般入試の人数と併せ、「一般選抜」の欄に計上している。

既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績

①募集を行った学科等名称及び取組の名称：東邦大学医学部 オープンキャンパス

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	278人	560人	①取組概要 R4年度入試（R3開催）の0Cは7月21日に事前予約制、午前と午後のそれぞれ定員150名とした入替制による対面開催で全体説明会、実習体験、模擬講義、解剖実習室見学等を行った。 R5年度入試（R4開催）の0Cは7月23日に事前予約制、午前と午後のそれぞれ定員300名とした入替制による対面開催で全体説明会、実習体験、模擬講義、解剖実習室見学等を行った。 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 参加者総数のうち、過去実績に基づき25%が受験対象者と仮定する。R3・R4年度はコロナ禍中の開催であったため、申込定員も一定の上限をかけていたが、今後は定員を拡大して開催できることを考慮し、仮にコロナ禍前であるR元（2019）年度の来場者数（1450人）を想定する場合には、1450人×25%=362.5人が受験対象者数となる。そのうえで、過去実績に基づき9.5%の入学率を想定すると、362.5人×9.5%=34人程度の入学者が見込まれる。 ③「うち受験対象者数(b)」該当者の判断基準 参加者のうち、高校1・2年生や中学生以下の生徒等は明らかに当該年度の受験生にはなり得ないため、高校3年生・既卒生の人数を受験対象者数とした。
うち受験対象者数(b)	83人	127人	
うち受験者数(c)	35人	70人	
うち入学者数(d)	6人	14人	
(受験率 c/b)	42.2%	55.1%	
(入学率 d/b)	7.2%	11.0%	

②募集を行った学科等名称及び取組の名称：東邦大学医学部 施設見学会

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	192人	195人	①取組概要 R4年度入試（R3開催）の見学会は10月23日、30日、11月6日に事前予約制、定員を設け、対面開催で開催し、実習室、演習室等の見学と個別相談会を開催した。 R5年度入試（R4開催）の見学会は10月22日、12月17日に事前予約制、定員を設け、対面開催で開催し、実習室、演習室等の見学と個別相談会を開催した。 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 参加者総数のうち、過去実績に基づき94%が受験対象者と仮定する。施設見学会はコロナ禍以降の取り組みであり、今後もオープンキャンパスほどの規模に拡大する予定はないため、今後、2割程度来場者が増えると仮定し、本試算においては230人と設定すると、230人×94%=216.2人が受験対象者数となる。そのうえで、過去実績に基づき5.2%の入学率を想定すると、216.2人×5.2%=11人程度の入学者が見込まれる。 ③「うち受験対象者数(b)」該当者の判断基準 参加者のうち、高校1・2年生や中学生以下の生徒等は明らかに当該年度の受験生にはなり得ないため、高校3年生・既卒生の人数を受験対象者数とした。
うち受験対象者数(b)	181人	183人	
うち受験者数(c)	51人	56人	
うち入学者数(d)	9人	10人	
(受験率 c/b)	28.2%	30.6%	
(入学率 d/b)	5.0%	5.5%	

③募集を行った学科等名称及び取組の名称：

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)			①取組概要 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 ※入学率等を用いて、本取組に関する参加者等総数の見込みから予想される入学者の人数を分析してください。
うち受験対象者数(b)			
うち受験者数(c)			
うち入学者数(d)			
(受験率 c/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	
(入学率 d/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	

④募集を行った学科等名称及び取組の名称：

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)			①取組概要 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 ※入学率等を用いて、本取組に関する参加者等総数の見込みから予想される入学者の人数を分析してください。
うち受験対象者数(b)			
うち受験者数(c)			
うち入学者数(d)			
(受験率 c/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	
(入学率 d/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	

⑤募集を行った学科等名称及び取組の名称：

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)			①取組概要 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 ※入学率等を用いて、本取組に関する参加者等総数の見込みから予想される入学者の人数を分析してください。
うち受験対象者数(b)			
うち受験者数(c)			
うち入学者数(d)			
(受験率 c/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	
(入学率 d/b)	#DIV/0!	#DIV/0!	

教 員 名 簿

学 長 又 は 校 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
-	学長	ワタナベ ヨシノリ 渡邊 善則 <令和6年7月>		博士（医学）		東邦大学 学長 (令和6年7月1日)